

法務総合研究所研究部報告

3

—少年非行の特質及び非行少年の処遇等に関する研究—

| | | |
|----------------------------|------------|-----|
| はしがき | 河 内 悠 紀... | i |
| 要旨紹介 | 柳 俊 夫... | ii |
| 犯罪少年の実態調査結果 | 長 島 裕... | 1 |
| | 横 地 環 | |
| | 栗 栖 素 子 | |
| 少年保護事件の審理及び処分状況 | 長 島 裕... | 51 |
| | 横 地 環 | |
| | 橋 本 三保子 | |
| 少年保護観察対象者の成り行きに関する研究 | 生 島 浩... | 103 |
| | 河原田 徹 | |

1 9 9 9

法務総合研究所

は し が き

この研究部報告第3号は、法務総合研究所研究部が平成10年度に実施した「非行少年の審判及び処遇に関する総合的研究」のうち、「犯罪少年の実態調査——検察の少年調査票に基づく調査分析結果」、「少年保護事件の審理及び処分状況——司法統計年報（少年編）に基づく調査分析結果」及び「少年保護観察対象者の成り行きに関する研究」の各結果をとりまとめて刊行するものである。

少年非行問題は、我が国においても、第二次世界大戦後、刑事政策上の緊要な課題として、しばしば取り上げられている。法務総合研究所が初めて世に送り出した昭和35年の「犯罪白書」創刊号においても、当時の情勢として、青少年犯罪の増加と悪質化が指摘されており、その後も少年非行・少年犯罪問題を取り上げた犯罪白書は少なくないが、平成10年版犯罪白書においても、平成2年版の白書に引き続き、特集として「少年非行の動向と非行少年の処遇」を取り上げている。これは、昭和58年のピーク以降、10歳代の少年人口が61年をピークに減少傾向にあることなども反映して減少傾向を示していた少年刑法犯検挙人員が、平成7年を境に、増加に転じた上、特に強盗等の凶悪事犯や覚せい剤事犯の増加、社会の耳目を引く凶悪・特異な事犯の発生等もあって、少年非行問題について、かつてないほどに高い関心が寄せられていることや、少年法について、近年、少年審判における事実認定が問題となる事件が生じたことなどを契機として、事実認定手続を中心とする少年審判の在り方が各方面から問われるようになり、その制定以後、実質的改正を見ることのなかった同法についても、改正をめぐる議論が活発化していること等の状況がその背景となっている。

その特集の中で、前記調査結果の概要を記述しているが、本報告では、これをより深く、より広範に分析し、最近における我が国の少年非行の動向、特質及び背景を明らかにし、非行少年に対する少年審判の実績と問題点を探ることを試みている。

本研究調査の結果が、各方面でなされている議論に何程かの寄与をなし得るとすれば幸いである。

終わりに、本研究調査に当たって御協力をいただいた関係各機関及び各位に対し、改めて謝意を表する次第である。

平成11年3月

法務総合研究所長

河 内 悠 紀

要 旨 紹 介

この研究部報告には、3編の報告が掲載されているが、その利用の参考のため、各報告の要旨を紹介する。

「犯罪少年の実態調査——検察の少年調査票に基づく調査分析結果」は、少年非行の特質を明らかにするため、昭和42年から平成9年までの間に、全国の地方検察庁で受理した業過事件、道路交通法違反事件等の一定の事件を除いた少年事件から無作為に10分の1を抽出したもの（総数が32万254人で、うち女子が5万2,896人）を対象とし、その人員が比較的多い傷害、恐喝、窃盗及び横領（対象4罪）事件に係る少年（対象少年）を中心に調査分析したものである。

その結果、近年の少年非行の特質として、次のことが明らかになった。

① 動機に関し、恐喝、窃盗及び横領においては「利欲」を動機とするものが一貫して50%を超え、いまや「困窮・生活苦」を動機とする少年非行はほとんど見られない。一方、「遊び」を動機とするものは、近年、その比率が上昇傾向を見せている。また、傷害において、近年、「激情」を動機とするものの比率が、「怨恨・報復」を動機とするものよりもはるかに高くなっている。「計画的犯行」の比率は、対象4罪中では最も高い恐喝においても、近年、この比率が低下傾向を見せている。これらの調査結果は、抑制力の不足、短絡的な行動傾向といった最近の非行少年の特性をうかがわせるように思われる。

② 共犯者の有無について見ると、恐喝において共犯率が極めて高く、また、傷害、窃盗及び横領の共犯率は、近年は下降傾向を示しているものの、なお高い水準にある。少年非行については、集団による非行が多いことが指摘されているが、これらの調査結果もこれを裏付けるものといえる。

また、そのほかの特筆すべき点としては、次のことが明らかになった。

① 犯行場所に関して、傷害及び恐喝は、路上を犯行場所とするものの比率が一貫して高く、また、学校等とするものの比率は、傷害では校内暴力が問題とされた昭和50年代後半に急上昇し、恐喝でも50年代後半から60年代初めにかけてピークがあったが、その後は下降している。

② 犯行場所に関して、窃盗では、デパート等とするものの比率が最も高い年次が多く、自転車・バイクの窃取場所となることが多い建物等周辺を犯行場所とするものが、50年代以降、やや上昇している。

③ 被害者との関係に関して、被害者と知人・友人・顔見知りの関係にあるものの比率が、傷害で上昇しているのに対し、恐喝では下降している。

④ 被害者との関係に関して、16歳未満を被害者とするものの比率は、傷害で長期的な上昇傾向が認められ、恐喝では、非行の低年齢化に特徴づけられた50年代末から60年代初めにかけて高い比率を占めていたが、その後は低下傾向を示している。

⑤ 非行歴のある者の占める比率は、いずれの非行においても、長期的には低下傾向が見られる。

⑥ 反省の態度に関し、49年以降の全年次を通じて、窃盗では、傷害と比べて、反省の態度を示す者の比率が高くなっていることなどを指摘することができる。

「少年保護事件の審理及び処分状況——司法統計年報（少年編）に基づく調査分析結果」は、昭和32年から平成9年までの約40年間の少年保護事件の審理及び処分状況を明らかにするために、司法統計年報（少年編）に掲げられた統計数値を集計・分析したものである。

その結果、少年保護事件の審理状況に関しては、次のことが認められた。

- ① 審理期間が昭和50年代初頭以降、短くなる傾向が認められるが、特に殺人、強盗等の凶悪事犯については、窃盗及び真犯と比べて1月以内に審理を終える人員の占める比率が高くなっている。
- ② 付添人選任人員及び同選任率の増加・上昇傾向が、近年顕著であり、特に、弁護士が付添人として選任される割合が高くなっている。また、殺人、強盗、強盗致傷及び覚せい剤取締法違反における付添人選任率は、60年前後から上昇しており、一般保護事件全体の付添人選任率より高くなっている。
- ③ 抗告事件既済人員は、近年おおむね増加傾向を示しており、その保護処分決定人員総数に対する比率も上昇している。
- ④ 試験観察終了人員は、近年、減少傾向を示している。

また、少年保護事件の処分状況に関しては、次のことが認められた。

- ① 一般保護事件の終局処分の構成比を見ると、長期的には、審判不開始が上昇傾向を示しているのに対し、検察官送致、少年院送致、保護観察及び不処分は、いずれもおおむね低下傾向を示している。
- ② 非行名別の処分状況を見ると、検察官送致の比率は、殺人、強盗、覚せい剤取締法違反のいずれにおいても低下傾向を示しており、近年は、殺人では少年院送致、強盗及び覚せい剤取締法違反では保護観察の比率が最も高くなっている。
- ③ 一般保護事件において相当数を占めている不処分及び審判不開始の理由を見ると、不処分では保護的措置が、審判不開始では保護的措置及び事案軽微が、その大半を占めている。一方、非行無しを理由とする不処分又は審判不開始は、近年減少傾向にあるが、昭和44年以降の28年間に、殺人では38人、強盗では43人、強盗致傷では13人、覚せい剤取締法違反では151人が、それぞれ非行無しとして不処分又は審判不開始とされている。

「少年保護観察対象者の成り行きに関する研究」は、法務大臣官房司法法制調査部の保護統計に基づき、昭和63年から平成9年までの最近10年間のデータを用いて、「保護観察終了事由」、「保護観察終了時の成績」、「保護観察中の犯罪・非行による処分」の三つを指標として少年保護観察対象者の成り行きを見たものである。

その結果、次のことが明らかになった。

- ① 保護観察処分少年では解除の比率は上昇傾向にあるが、少年院仮退院者では退院の比率に大きな変化は認められず、いずれにおいても、保護処分取消しの比率は、おおむね低下する傾向を示している。
- ② 保護観察処分少年及び少年院仮退院者のいずれについても、成績良好者の割合は上昇傾向にある。
- ③ 再犯率と再処分の内容の推移を見ると、保護観察処分少年及び少年院仮退院者のいずれも、平成8年まではおおむね低下傾向にあったが、9年では上昇している。
- ④ 保護観察処分少年について見ると、殺人で処分になった者の再処分時の非行名は、すべて業過及び道路交通法違反であり、強盗では窃盗及び道路交通法違反、薬物事犯では、毒劇法違反や覚せい剤取締法違反という同種非行等による再処分が多い。
- ⑤ 少年院仮退院者について見ると、殺人及び強盗で少年院送致になった者は、窃盗等により再処分を受けている場合が多く、薬物事犯では、毒劇法違反や覚せい剤取締法違反という同種非行等による再処分を受けている場合が多い。

これらの調査研究の結果が広く各方面で利用されることを希望する。

研究第一部長

柳 俊 夫

犯罪少年の実態調査結果

— 検察の少年調査票に基づく調査分析 —

| | | |
|-------|-----|-----|
| 研 究 官 | 長 島 | 裕 |
| 研究官補 | 横 地 | 環 |
| 研究官補 | 栗 栖 | 素 子 |

目 次

| | | |
|-----|----------------------|----|
| 第 1 | 本調査研究の概要 | 5 |
| 第 2 | 犯行地と居住地との関連 | 6 |
| 第 3 | 犯行場所 | 7 |
| 第 4 | 犯行動機 | 9 |
| 第 5 | 犯行の計画性..... | 11 |
| 第 6 | 犯行と自動車との関連性..... | 11 |
| 第 7 | 共犯関係..... | 12 |
| 1 | 共犯の有無及び人数..... | 12 |
| 2 | 共犯事件における役割..... | 13 |
| 第 8 | 被害者との関係, 被害程度等 | 14 |
| 1 | 被害者との関係 | 14 |
| 2 | 被害者の年齢層 | 15 |
| 3 | 被害金額 | 15 |
| 4 | 身体被害程度 | 16 |
| 第 9 | 非行歴及び再犯期間 | 16 |
| 1 | 非行歴 | 16 |
| 2 | 再犯期間 | 17 |
| 第10 | 反省の態度 | 17 |
| 第11 | まとめ | 18 |

第1 本調査研究の概要

本調査研究は、少年非行の特質を明らかにするため、昭和42年から平成9年までの間に、全国の地方検察庁で受理した業過事件、道路交通法違反事件等の一定の事件を除いた少年事件から無作為に10分の1を抽出したもの（総数が32万254人で、うち女子が5万2,896人）を対象とし、その人員が比較的多い傷害、恐喝、窃盗及び横領（遺失物等横領を含む。以下、この4罪を「対象4罪」という。）事件に係る少年（以下「対象少年」という。）を中心に調査分析した結果を紹介しようとするものである。

対象少年は、傷害が2万2,317人、恐喝が1万2,707人、窃盗が20万6,180人、横領が2万2,636人であり、この年次別、罪名別人員等は表「調査対象少年の総数及び罪名別人員」のとおりである。また、長い期間のうちには集計の基準が変わっているものや、ある年次以降の数値しか明らかにされていないものもあるので、限られた年次についての紹介にとどめた事項もある。なお、本文中では主にグラフによって過去の推移を紹介することとし、末尾の資料にこれらのグラフの基となった実人員又は比率の数値を掲げてある。

表 調査対象少年の総数及び罪名別人員

(昭和42年～平成9年)

| 年次 | 総数 | | 傷害 | | 恐喝 | | 窃盗 | | 横領 | |
|-----|---------|--------|--------|-------|--------|-------|---------|--------|--------|-------|
| | | 女子 | | 女子 | | 女子 | | 女子 | | 女子 |
| 総数 | 320,254 | 52,896 | 22,317 | 1,692 | 12,707 | 1,105 | 206,180 | 37,578 | 22,636 | 2,016 |
| 42年 | 12,439 | 1,005 | 1,544 | ... | 775 | ... | 6,904 | ... | 80 | ... |
| 43 | 10,750 | 1,016 | 1,237 | ... | 574 | ... | 6,377 | ... | 71 | ... |
| 44 | 9,466 | 829 | 998 | 15 | 528 | 12 | 5,745 | 693 | 71 | 2 |
| 45 | 9,127 | 786 | 928 | 14 | 494 | 11 | 5,716 | 664 | 90 | 1 |
| 46 | 8,283 | 843 | 841 | 7 | 474 | 14 | 5,285 | 722 | 97 | 4 |
| 47 | 8,267 | 938 | 707 | 9 | 439 | 24 | 5,553 | 812 | 122 | 5 |
| 48 | 8,298 | 994 | 699 | 14 | 380 | 25 | 5,696 | 844 | 202 | 2 |
| 49 | 8,440 | 1,160 | 577 | 8 | 389 | 34 | 6,183 | 1,040 | 200 | 1 |
| 50 | 8,668 | 1,432 | 578 | 36 | 443 | 41 | 6,318 | 1,279 | 200 | 3 |
| 51 | 8,906 | 1,716 | 571 | 11 | 382 | 34 | 6,575 | 1,548 | 281 | 11 |
| 52 | 8,732 | 1,795 | 575 | 26 | 338 | 40 | 6,271 | 1,585 | 321 | 13 |
| 53 | 9,836 | 1,804 | 582 | 36 | 302 | 20 | 7,168 | 1,608 | 422 | 12 |
| 54 | 10,047 | 1,707 | 546 | 25 | 255 | 21 | 7,363 | 1,513 | 555 | 16 |
| 55 | 11,533 | 2,033 | 590 | 52 | 281 | 36 | 8,527 | 1,766 | 732 | 19 |
| 56 | 12,479 | 2,143 | 757 | 89 | 357 | 37 | 9,093 | 1,808 | 778 | 30 |
| 57 | 12,620 | 2,098 | 735 | 64 | 426 | 60 | 9,026 | 1,730 | 933 | 43 |
| 58 | 14,160 | 2,509 | 772 | 109 | 485 | 85 | 8,919 | 1,824 | 1,147 | 56 |
| 59 | 14,750 | 2,535 | 773 | 124 | 480 | 60 | 9,148 | 1,708 | 1,318 | 82 |
| 60 | 14,655 | 2,431 | 785 | 92 | 541 | 70 | 9,108 | 1,653 | 1,271 | 92 |
| 61 | 13,679 | 2,489 | 824 | 133 | 551 | 48 | 8,579 | 1,701 | 1,129 | 98 |
| 62 | 12,850 | 2,313 | 723 | 83 | 448 | 44 | 8,182 | 1,611 | 1,036 | 88 |
| 63 | 13,351 | 2,674 | 808 | 96 | 466 | 55 | 8,227 | 1,797 | 1,184 | 133 |
| 元 | 12,486 | 2,633 | 757 | 104 | 379 | 50 | 7,818 | 1,692 | 1,101 | 153 |
| 2 | 11,530 | 2,426 | 620 | 75 | 340 | 36 | 6,821 | 1,473 | 1,226 | 157 |
| 3 | 10,564 | 2,185 | 641 | 83 | 295 | 30 | 5,972 | 1,235 | 1,350 | 160 |
| 4 | 9,001 | 1,696 | 552 | 68 | 284 | 38 | 5,045 | 945 | 1,360 | 157 |
| 5 | 8,596 | 1,594 | 575 | 71 | 333 | 38 | 4,820 | 941 | 1,417 | 177 |
| 6 | 7,828 | 1,507 | 554 | 79 | 325 | 38 | 4,410 | 928 | 1,346 | 163 |
| 7 | 6,927 | 1,303 | 504 | 57 | 346 | 39 | 4,067 | 865 | 912 | 112 |
| 8 | 5,835 | 1,109 | 490 | 61 | 286 | 31 | 3,560 | 760 | 770 | 99 |
| 9 | 6,151 | 1,193 | 474 | 51 | 311 | 34 | 3,704 | 833 | 914 | 127 |

注 昭和42・43年の総数以外の女子数は不明である。

第2 犯行地と居住地との関連

図1は、昭和42年以降の傷害・恐喝・窃盗事件につき、犯行が対象少年の居住地と同一市町村内で行われたものの総数に占める比率の推移を見たものである（年次別の比率及び実人員数については資料1参照。）。

傷害は、昭和50年代後半から同一市町村内で行われたものの比率が高まっており、56年以降は、同一市町村内で行われたものが、おおむね80％台となっている。一方、窃盗は、同一市町村内で行われたものが、一貫して70％台となっており、恐喝は、60％台から80％台で推移しているものの、最近の約10年間は70％台となっている。

図1 犯行地と居住地が同一市町村であるものの比率

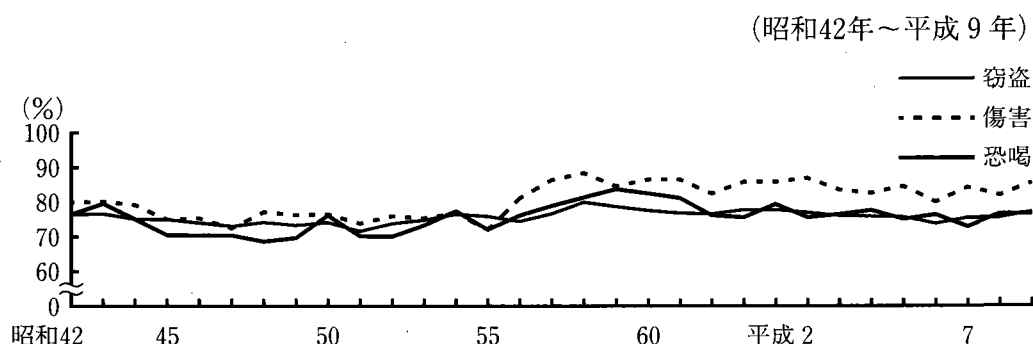
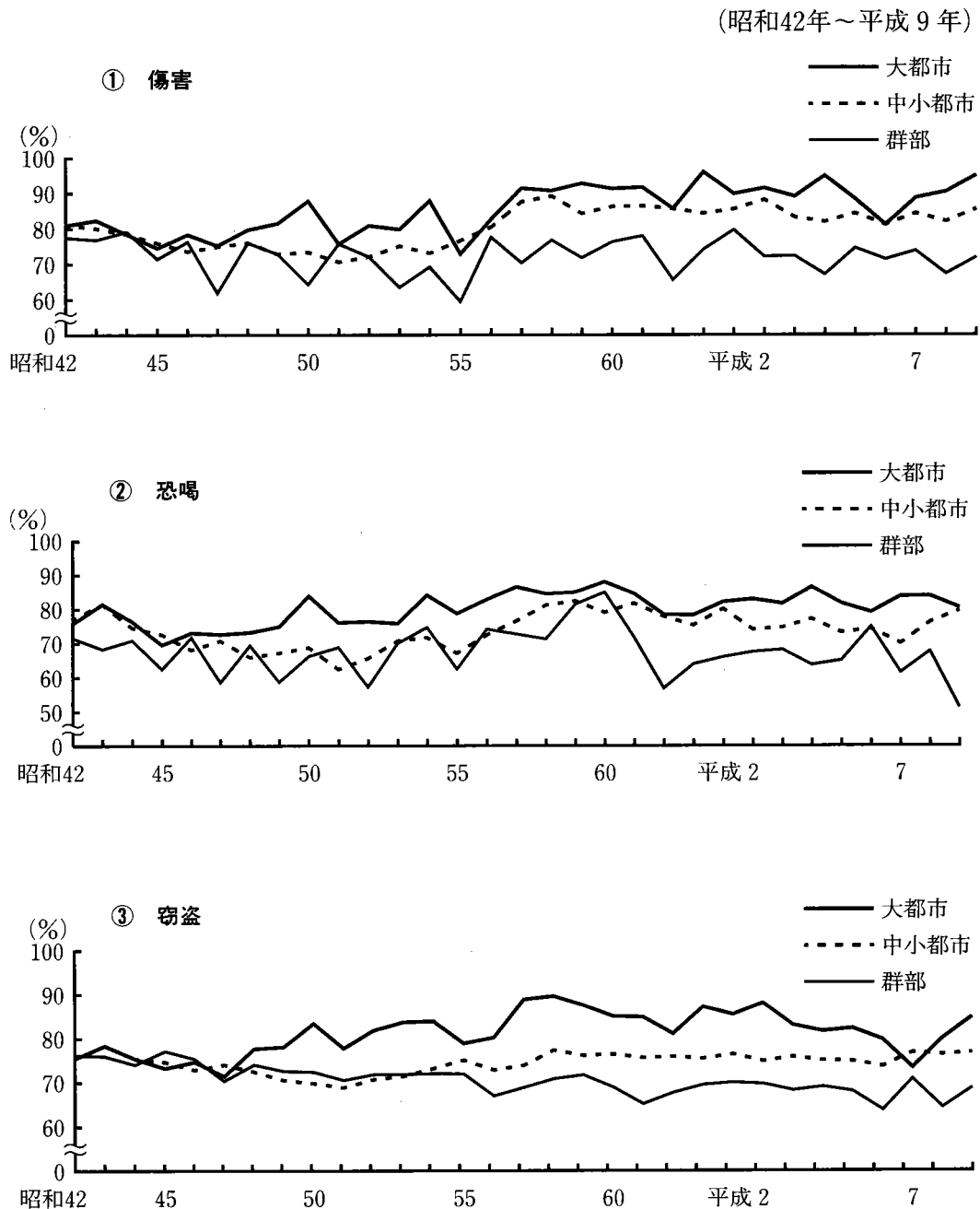


図2は、昭和42年以降の傷害・恐喝・窃盗事件につき、犯行地（大都市、中小都市又は郡部）別に、犯行が対象少年の居住地と同一市町村内で行われたものの総数に占める比率の推移を見たものである（年次別の比率及び実人員数については資料2参照。）。

いずれの罪においても、犯行地が大都市である場合には、ほぼ一貫して犯行地と居住地が同一であるものの比率が高くなっているが、犯行地が郡部である場合には、この比率が低くなっている。犯行地が大都市で対象少年が同一市町村に居住するものの比率は、最近10年間、傷害では80％台から90％台、恐喝及び窃盗ではおおむね80％台である。一方、犯行地が郡部で対象少年が同一市町村に居住するものの比率は、同じ期間、傷害ではおおむね70％台、恐喝では20％台から40％台、窃盗ではおおむね60％台である。

図2 犯行地別に見た居住地と同一市町村であるものの比率



注 大都市とは、東京23区、大阪市、名古屋市、京都市、横浜市、神戸市、北九州市、札幌市、川崎市及び福岡市の10大都市を、中小都市とは、10大都市以外の都市をいう。

第3 犯行場所

図3は、犯行場所を「一般住宅」、「学校・官公署」(以下「学校等」という。),「興業場・遊技場」,「デパート・マーケット」(以下「デパート等」という。),「公園・境内・遊園地」(以下「公園等」という。),「建物敷地周辺」(以下「建物等周辺」という。),「路上」等に分類した上、昭和49年以降の傷害・恐喝・窃盗事件について、それぞれ、犯行場所別人員の総数に占める比率の推移を見たものである(ただし、

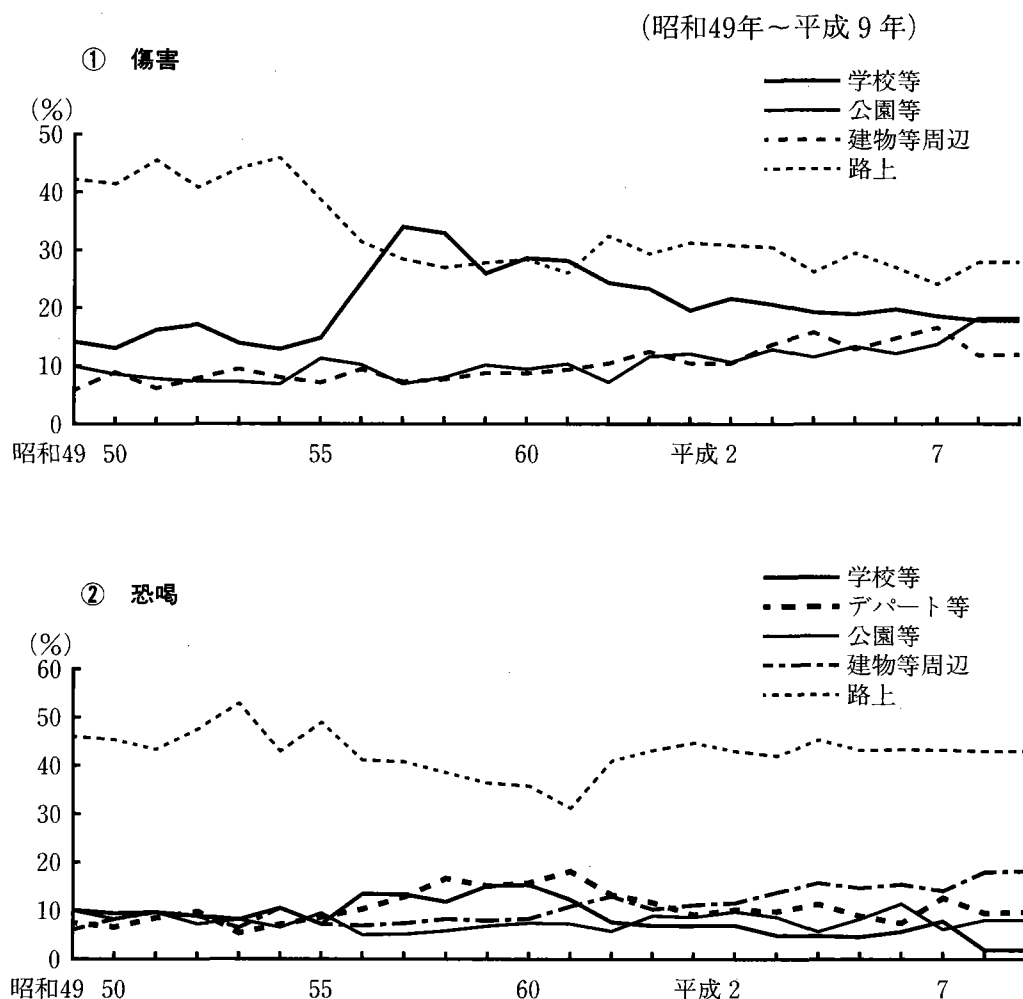
「学校等」を除いては過去に10％を超えたことのあるものに限る。) (年次別の比率及び実人員数については資料3参照。)

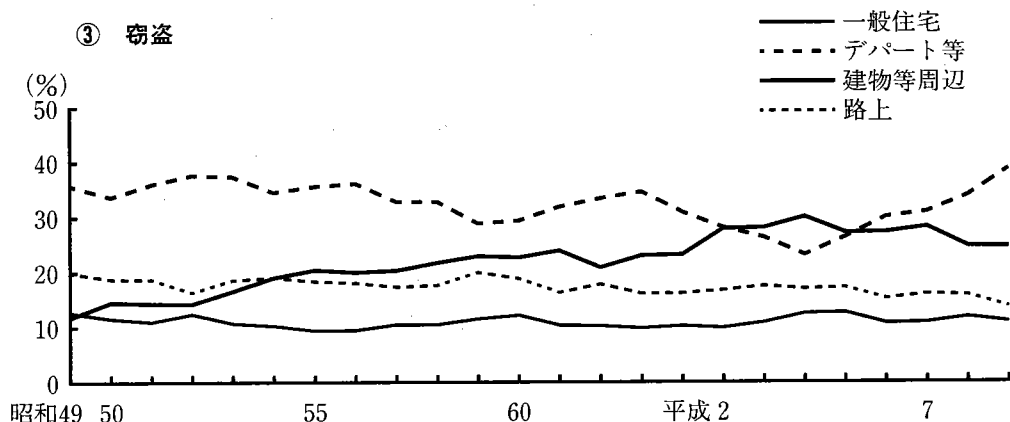
傷害では、ほとんどの年次において、路上を犯行場所とする者の比率が最も高く、昭和50年代前半までは40％を超えていたが、その後は下降し、平成4年以降の6年間は20％台となっている。また、学校等を犯行場所とする者の比率が、昭和50年代前半までは10％台であったものの、50年代後半に急上昇して30％台となった。しかし、その後は下降傾向を示し、平成元年以降は、20％前後で推移している。さらに、公園等を犯行場所とする者は、昭和60年代前半までは10％の前後であったが、近年、この比率が上昇し、平成9年には20％に達している。

恐喝では、犯行場所を路上とする者の比率が一貫して最も高く、おおむね40％台で推移している。学校等を犯行場所とする人員は、昭和50年代後半から60年代初めにかけては10％を超えていたが、その後は下降し、平成9年は3％未満である。

窃盗では、デパート等を犯行場所とする者が最も高い年次が多く、おおむね30％台で推移している。また、建物等周辺とする者は、昭和50年代前半までは10％台であったが、55年以降は高くなっており、おおむね20％台から30％台で推移している。

図3 犯行場所別人員の比率





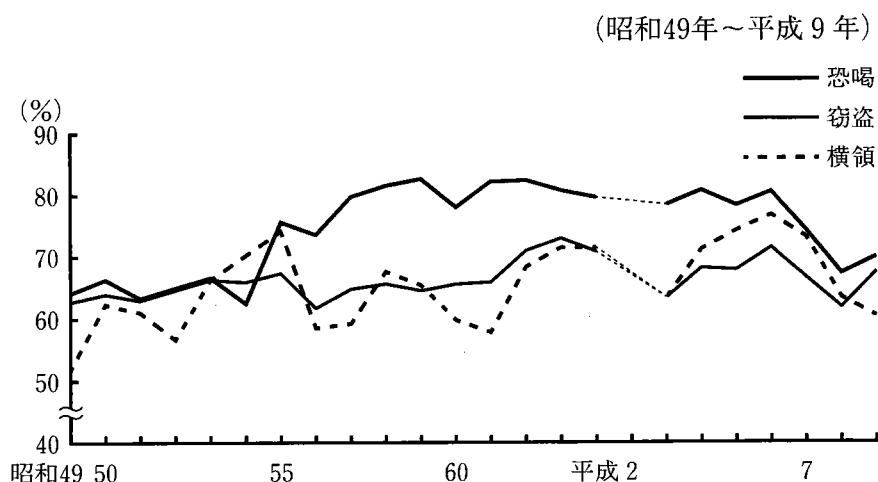
第4 犯行動機

図4は、犯行動機を「遊び」、「困窮・生活苦」、「利欲」、「激情」、「怨恨・報復」、「共犯者に誘われ」等に分類した上、昭和49年以降の恐喝・窃盗・横領事件について、犯行動機が利欲である者の占める比率の推移を見たものである（対象4罪についての年次別の犯行動機別比率及び同実人員数については資料4～7参照。）。

恐喝は、窃盗及び横領と比べると、利欲を動機とする者の比率が高くなっており、特に、昭和50年代後半から平成6年にかけては80%の前後で推移している。窃盗は、昭和49年以降、60%台から70%台で、横領は、この期間、50%台から70%台で、それぞれ推移している。

なお、困窮・生活苦の比率は、窃盗及び横領では、ほとんどの年次において1%に満たず、恐喝においても、最も高い比率を示す年次でも3%台にすぎない。

図4 利欲を動機とする者の比率



注 平成2年の数値は、不詳である。

図5は、昭和49年以降の傷害事件について、動機の多くを占める「激情」及び「怨恨・報復」を動機とする者の占める比率の推移を見たものである（年次別の犯行動機別比率及び同実人員数については資料4参照。）。

激情を理由とするものが怨恨・報復を理由とするものよりも高くなっており、昭和63年以降の10年

間は、激情を理由とする者がおおむね 50 % 台、怨恨・報復を理由とする者が 20 % 台から 30 % 台となっている。

図 5 傷害の主な動機別の比率

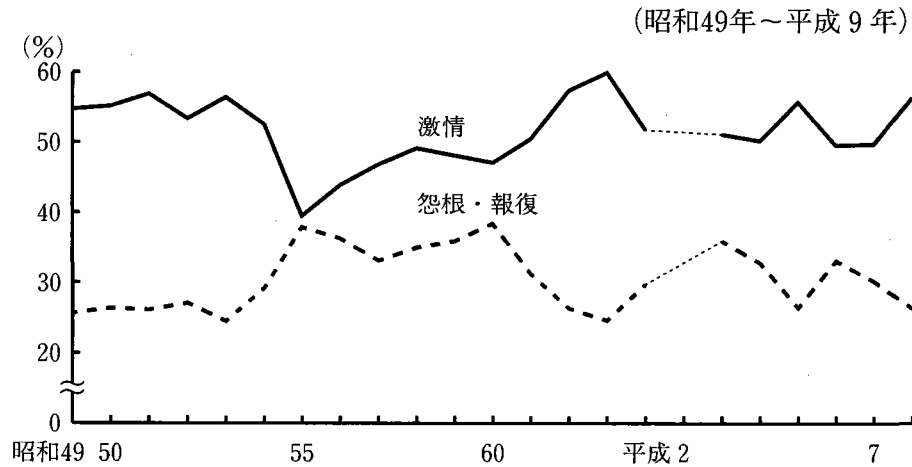


図 6 は、昭和 49 年以降の対象 4 罪に係る事件について、「遊び」を動機とする者の占める比率の推移を見たものである（対象 4 罪についての年次別の犯行動機別比率及び同実人員数については資料 4～7 参照。）。

窃盗及び横領においては、遊びを動機とする者の比率が高く、ほとんどの年次において 20 % を超え、30 % 台に達する年次もある。また、傷害及び恐喝においても、過去数年、これを動機とする者の比率が上昇傾向を見せている。

図 6 遊びを動機とする者の比率

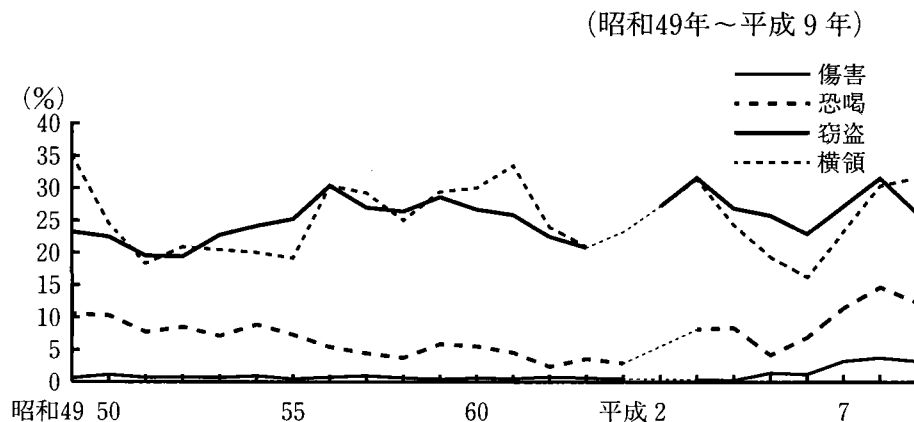
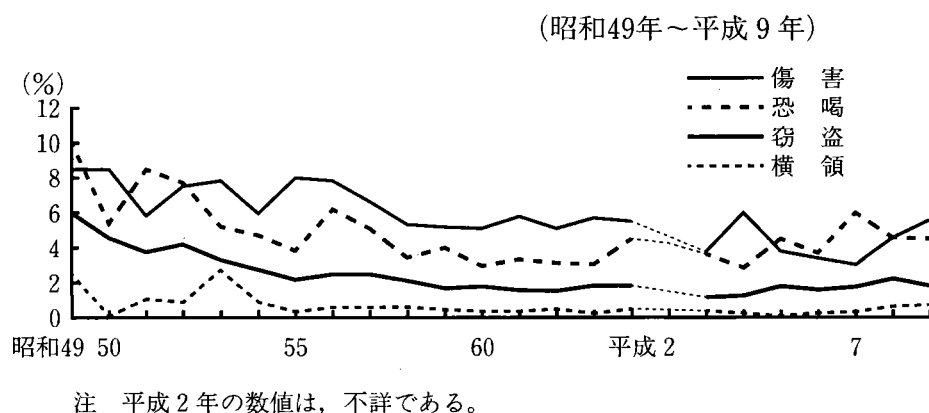


図 7 は、昭和 49 年以降の対象 4 罪に係る事件について、「共犯者に誘われ」を動機とする者の占める比率の推移を見たものである（対象 4 罪についての年次別の犯行動機別比率及び同実人員数については資料 4～7 参照。）。

共犯者に誘われの比率は、いずれの罪名においても、毎年、10 % 以下となっているが、傷害及び恐喝

は、窃盗及び横領より高くなっている。

図7 「共犯者に誘われ」を動機とする者の比率

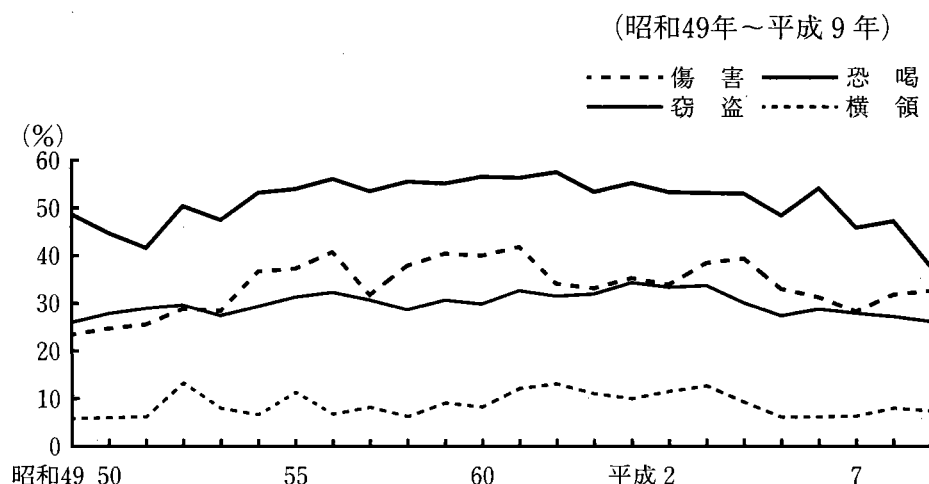


第5 犯行の計画性

図8は、昭和49年以降の対象4罪に係る事件について、「計画的犯行」である者の占める比率の推移を見たものである（年次別の比率及び実人員数については資料8参照。）。

計画的犯行の比率は、恐喝はおおむね40％台から50％台で、傷害は20％台から40％台で、窃盗は20％台から30％台で、横領は高い年次においても10％台で、それぞれ推移している。なお、恐喝は平成9年に初めて30％台に低下している。

図8 計画的犯行の比率

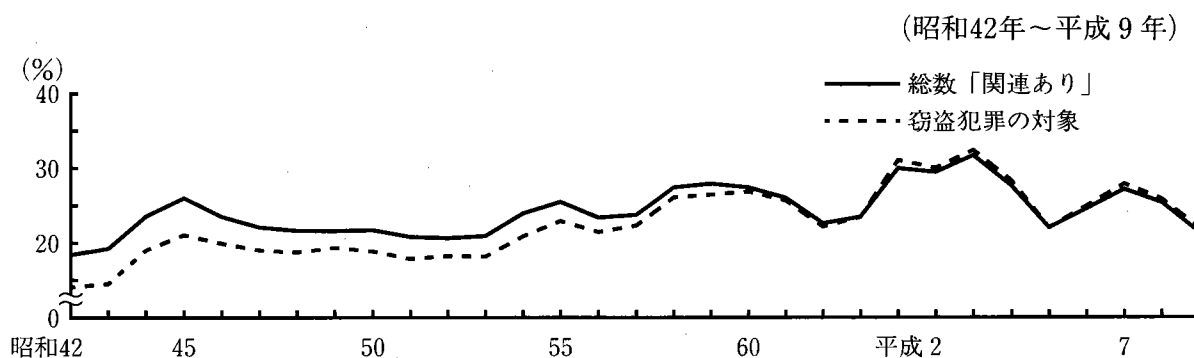


第6 犯行と自動車との関連性

図9は、昭和42年以降の全対象事件（対象4罪以外の事件に係るものを含む。）について、自動車を犯罪の手段とし、あるいは犯罪の対象とするなど、自動車と関連のある犯罪に係る人員の占める比率、及び、窃盗について、自動車を窃盗の対象とする事件に係る人員の占める比率の推移を見たものである（年次別の比率及び実人員数については資料9参照。）。

窃盗中の自動車を対象とする事件は、長期的には上昇する傾向が見られ、昭和50年代前半までは10%台の年次が多かったが、63年以降の10年間は20%台から30%台で推移している。

図9 自動車と関連のあるものの比率



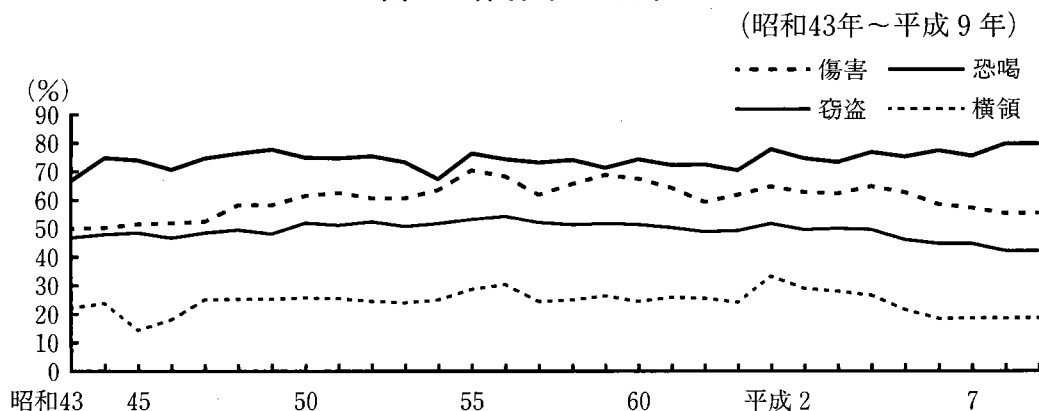
第7 共犯関係

1 共犯の有無及び人数

図10は、昭和43年以降の対象4罪に係る事件について、共犯者がいる者の占める比率(以下、「共犯率」という。)の推移を見たものである(年次別の共犯者の有無別人員及び共犯者数別人員の比率については資料10参照。)

恐喝においては共犯率が他の3罪と比較して高く、毎年、おおむね70%台で推移し、平成8年及び9年には80%に達しているのに対し、傷害は、昭和50年以降、おおむね60%台から70%台で推移したが、近年は下降傾向にあり、平成6年以降は50%台である。窃盗は、おおむね50%前後で推移したが、近年は下降傾向にあり、4年以降は40%台である。横領は、おおむね20%台であったが、6年以降は10%台である。

図10 罪名別の共犯率

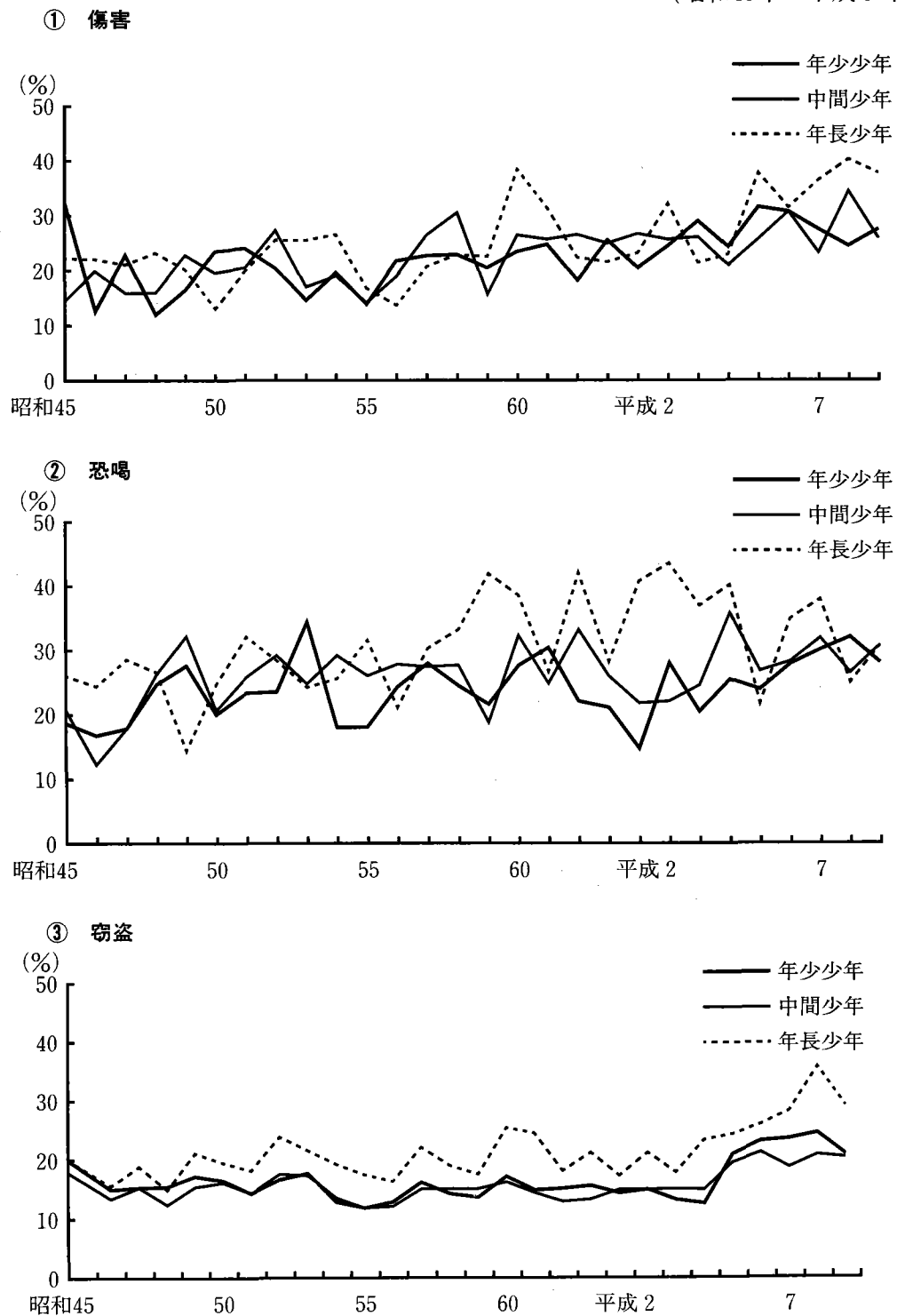


2 共犯事件における役割

図11は、昭和45年以降の傷害・恐喝・窃盗事件について、共犯者がいる対象少年のうち、本人が主犯であるものの比率の推移を、年齢層別に見たものである（年次別の比率及び実人員数については資料11参照。）。

図11 共犯者がいる事件のうち本人が主犯であるものの比率

(昭和45年～平成9年)



近年、年少少年については、窃盗及び恐喝において、本人が主犯である比率が上昇する傾向が見られる。年少少年について本人が主犯であるものの比率は、昭和 63 年以降の 10 年間、傷害ではおおむね 20 % 台で、恐喝では 10 % 台から 30 % 台で、窃盗では 10 % 台から 20 % 台で、それぞれ推移している。

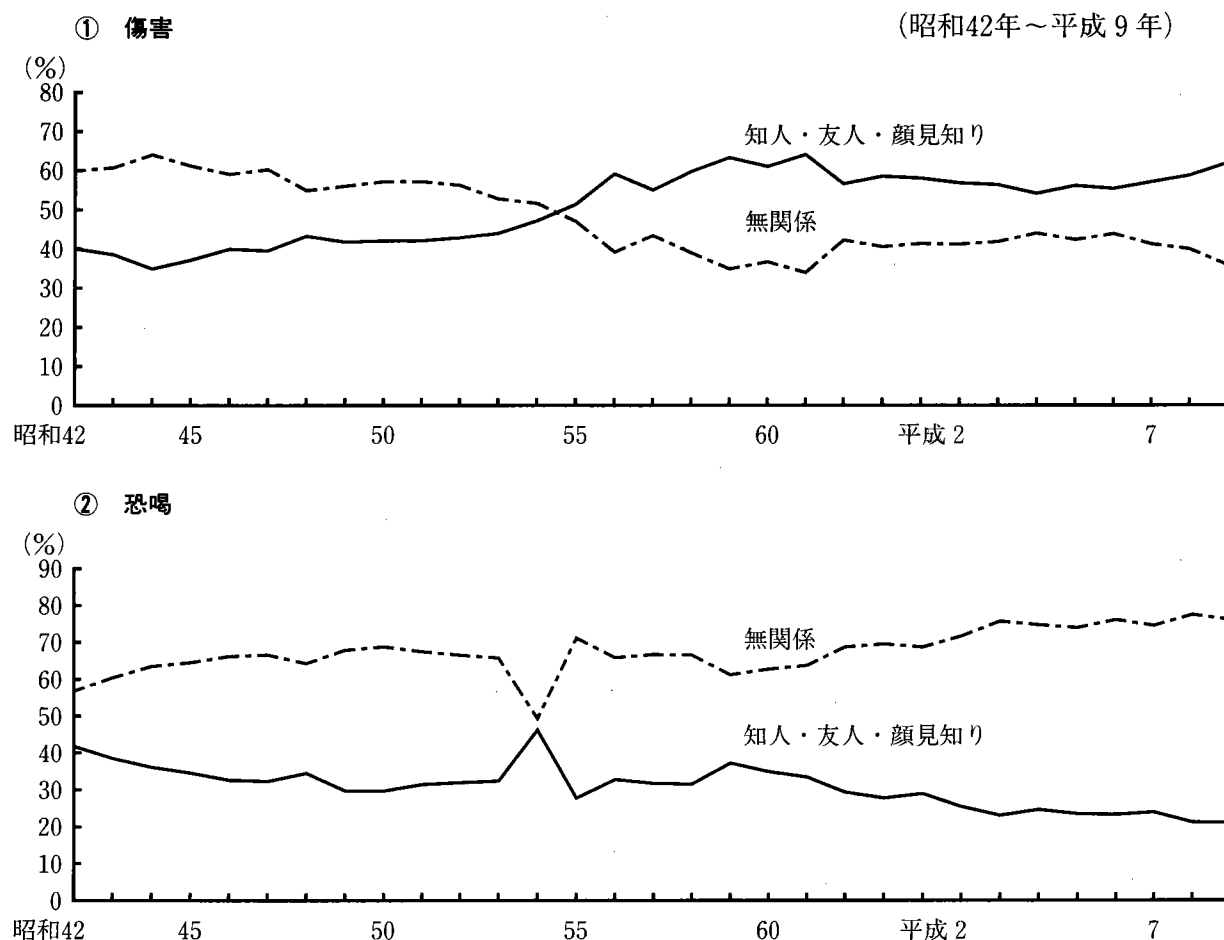
第 8 被害者との関係、被害程度等

1 被害者との関係

図 12 は、昭和 42 年以降の傷害・恐喝事件について、被害者との関係を見たものである（年次別の比率及び実人員数については資料 12 参照。）。

近年、被害者と「知人・友人・顔見知り」の関係にある者の比率が、傷害で上昇しているのに対し、恐喝では下降している。傷害においては、知人・友人・顔見知りの関係にあるものが、昭和 40 年代前半には 30 % 台であり、「無関係」の比率よりも低かったが、50 年代半ばにこれが逆転し、以降は、知人・友人・顔見知りの関係にあるものが 50 % 台から 60 % 台となっている。恐喝では、知人・友人・顔見知りの関係にあるものが、昭和 61 年以前はおおむね 30 % 台であったが、その後は 20 % 台である。

図12 被害者との関係別の比率



2 被害者の年齢層

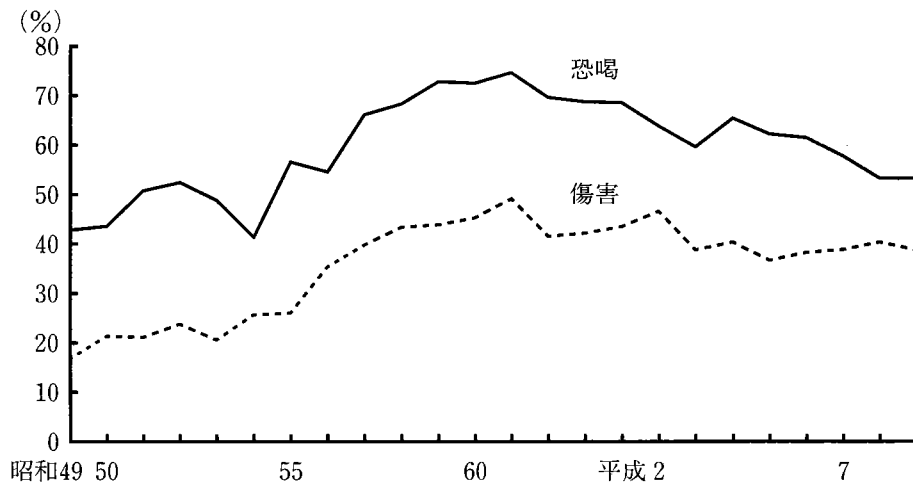
図13は、昭和49年以降の傷害・恐喝事件について、被害者が16歳未満のものの比率の推移について見たものである（年次別の被害者の年齢層別人員及びその構成比については資料13参照。）。

16歳未満を被害者とする者の比率については、傷害で長期的な上昇傾向が認められ、近年は30%台から40%台である。恐喝では、非行の低年齢化に特徴づけられた50年代末から60年代初めにかけて、おおむね70%の高い比率を占めていたが、その後は低下傾向を示している。もっとも、平成7年以降も50%台であり、なお過半数を占めている。

なお、いずれの罪についても、20歳未満を被害者とする者の比率が昭和50年代に上昇し、以後はおおむね横ばい状態で推移している。

図13 被害者が16歳未満のものの比率

（昭和49年～平成9年）



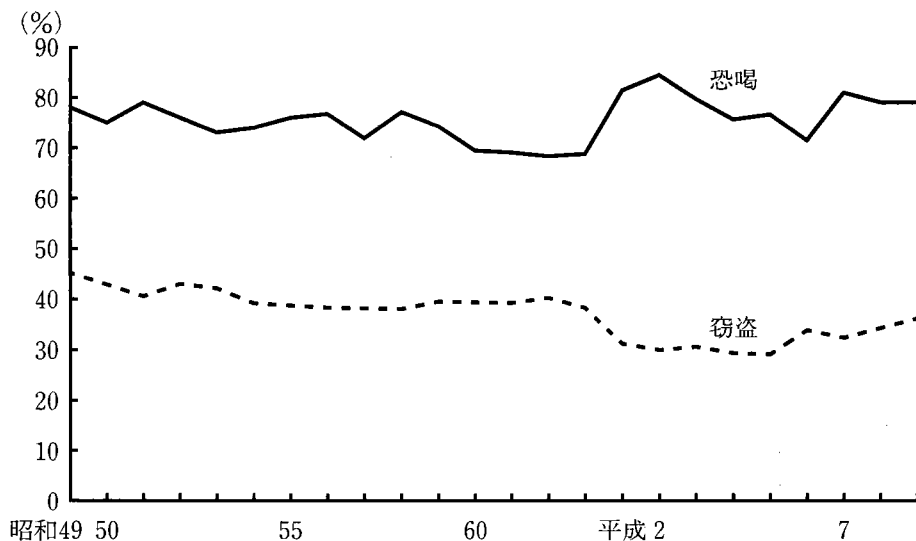
3 被害金額

図14は、昭和49年以降の窃盗・恐喝事件について、被害金額が1万円未満のものの比率の推移を見たものである（年次別の被害金額区分別構成比については資料14参照）。

恐喝は、窃盗に比べて、被害金額の少ない1万円未満の事件の比率が高くなっている。

図14 被害金額が1万円未満のものの比率

（昭和49年～平成9年）

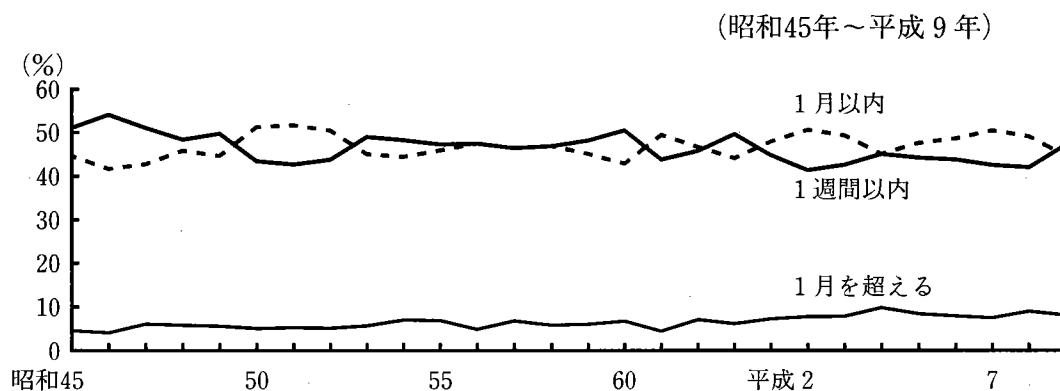


4 身体被害程度

図15は、昭和45年以降の傷害事件について、被害状況（被害者の負傷程度）を見たものである（年次別の被害状況別人員及び構成比については資料15参照。）。

被害状況別構成比に関しては、昭和45年以降、1週間以内の被害に係るもの及び1週間を超えて1月以内の被害に係るものが、いずれも40％台から50％台で推移しており、この間に大きな変化は認められない。

図15 傷害の被害状況別の比率



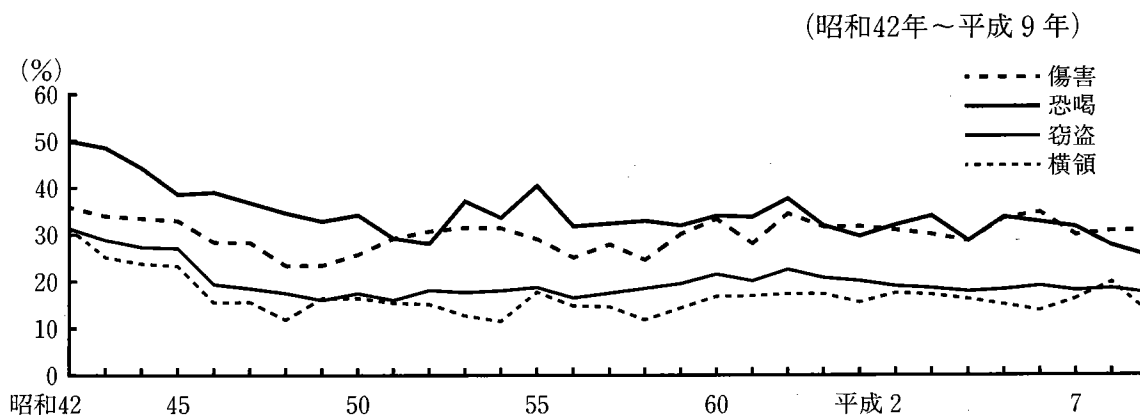
第9 非行歴及び再犯期間

1 非行歴

図16は、昭和42年以降の対象4罪に係る事件について、非行歴のある者の占める比率の推移を見たものである（年次別の比率及び実人員数については資料16参照。）。

非行歴のある者の比率は、恐喝、窃盗及び横領において、長期的な低下傾向が認められ、特に恐喝においては昭和40年代前半には50％に近かったが、平成8年及び9年には20％台となっている。昭和63年以降の10年間については、傷害は30％台で、恐喝は20％台から30％台で、窃盗は10％台から20％台で、横領は10％台で、それぞれ推移している。

図16 非行歴のある者の占める比率



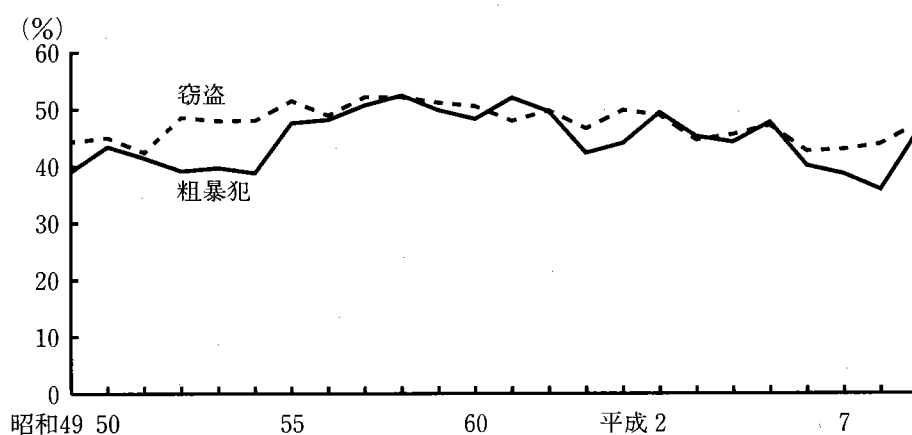
2 再犯期間

図 17 は、昭和 49 年以降の窃盗・粗暴犯（暴行、傷害、脅迫、恐喝、凶器準備集合及び暴力行為等処罰法違反をいう。）について、前回処分（保護処分又は刑事処分）を受けた対象少年の再犯期間（前回処分を受けた日から、調査対象となっている事件のうち、最初の犯罪までの期間をいう。）が 6 月未満である者の比率の推移を見たものである（年次別の再犯期間別の構成比については資料 17 参照。）。

再犯期間別構成比の上では、窃盗は、再犯期間が 6 月未満のものが 40 % 台から 50 % 台で推移しているが、昭和 63 年以降の 10 年間は 40 % 台である。粗暴犯では、50 % 台の年次もあるが、63 年以降の 10 年間については、30 % 台から 40 % 台で推移しており、再犯期間が長いものの比率が上昇する傾向が見られる。

図 17 再犯期間が 6 月未満である者の比率

(昭和 49 年～平成 9 年)

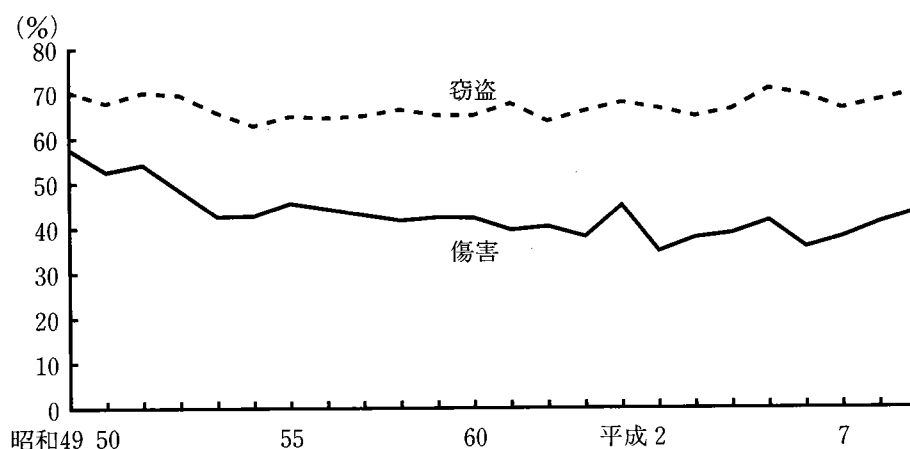


第 10 反省の態度

図 18 は、昭和 49 年以降の窃盗・傷害事件について、対象少年の犯行後における反省の程度に関して大いに反省していると認められる者の比率の推移を見たものである（年次別の反省態度別構成比については資料 18 参照。）。

図 18 犯行後到大いに反省していると認められる者の比率

(昭和 49 年～平成 9 年)



傷害では、反省の態度を示す者（大いに反省の者）の比率が、長期的には、低下する傾向が見受けられ、昭和 50 年の前後には 50 %を超えていたものの、近年は 30 %台から 40 %台である。また、窃盗は、傷害と比べて、反省の態度を示す者（大いに反省の者）の比率が高く、一貫して 60 %台から 70 %台となっている。

第 11 まとめ

少年非行については、近年、凶悪・粗暴事犯が著しく増加しているほか、集団による非行、処分歴のない少年による非行の増加傾向も認められ、また、非行少年の特性についても、規範意識や対人関係の希薄化、抑制力の不足と短絡的な行動傾向等が指摘されている。そこで、本調査研究に基づき、近年の少年非行の特質を見てみると以下のとおりである。

まず、動機に関し、恐喝、窃盗及び横領においては「利欲」を動機とするものが一貫して 50 %を超え、いまや「困窮・生活苦」を動機とする少年非行はほとんど見られない。一方、「遊び」を動機とするものは、窃盗及び横領においては、おおむね 20 %台から 30 %台で推移しており、しかもその比率は、近年、上昇傾向を示しているが、傷害及び恐喝においても、近年、その比率が上昇傾向を見せている。また、傷害において、近年、「激情」を動機とするものの比率が、「怨恨・報復」を動機とするものよりもはるかに高くなっている。「計画的犯行」の比率は、対象 4 罪中では最も高い恐喝においても、おおむね 40 %台から 50 %台で推移している上、近年、この比率が低下傾向を見せている。これらの調査結果は、抑制力の不足、短絡的な行動傾向といった最近の非行少年の特性をうかがわせるように思われる。

次に、共犯者の有無について見ると、恐喝において共犯率が極めて高く、昭和 55 年以降は、おおむね 70 %台で推移しており、また、傷害、窃盗及び横領の共犯率は、近年は下降傾向を示してはいるものの、傷害は平成 6 年以降おおむね 50 %台後半で推移し、窃盗は 9 年は約 40 %であって、なお高い水準にある。少年非行については、集団による非行が多いことが指摘されているが、これらの調査結果もこれを裏付けるものといえよう。

そのほかの特筆すべき点としては、

- ① 犯行場所に関して、傷害及び恐喝は、路上を犯行場所とするものの比率が一貫して高く、また、学校等とするものの比率は、傷害では校内暴力が問題とされた昭和 50 年代後半に急上昇し、恐喝でも 50 年代後半から 60 年代初めにかけてピークがあったが、その後は下降していること
 - ② 犯行場所に関して、窃盗では、デパート等とするものの比率が最も高い年次が多く、その非行の多くはいわゆる「万引き」ではないかと思われるが、自転車・バイクの窃盗場所となることが多い建物等周辺を犯行場所とするものが、50 年代以降、やや上昇していること
 - ③ 被害者との関係に関して、被害者と知人・友人・顔見知りの関係にあるものの比率が、傷害で上昇しているのに対し、恐喝では下降していること
 - ④ 被害者との関係に関して、傷害及び恐喝のいずれにおいても、20 歳未満を被害者とする比率が高くなっているが、なかでも 16 歳未満を被害者とするものの比率は、傷害で長期的な上昇傾向が認められ、恐喝では、非行の低年齢化に特徴づけられた 50 年代末から 60 年代初めにかけて、おおむね 70 %の高い比率を占めていたが、その後は低下傾向を示していること
 - ⑤ 非行歴のある者の占める比率は、いずれの非行においても、長期的には低下傾向が見られること
 - ⑥ 反省の態度に関し、昭和 49 年以降の全年次を通じて、窃盗では、傷害と比べて、反省の態度を示す者の比率が高くなっていること
- などを指摘することができる。

資料1 犯行地・居住地が同一市町村であるものの比率

(昭和42年～平成9年)

| 年次 | 傷 害 | 恐 喝 | 窃 盗 |
|-----|--------------|------------|--------------|
| 42年 | 80.3 (1,240) | 76.3 (591) | 75.8 (5,234) |
| 43 | 79.9 (988) | 79.3 (455) | 76.4 (4,872) |
| 44 | 79.1 (789) | 74.6 (394) | 74.9 (4,303) |
| 45 | 75.0 (696) | 70.2 (347) | 74.9 (4,282) |
| 46 | 75.3 (633) | 69.8 (331) | 73.7 (3,896) |
| 47 | 72.3 (511) | 70.2 (308) | 72.9 (4,049) |
| 48 | 77.0 (538) | 68.4 (260) | 73.9 (4,207) |
| 49 | 75.7 (437) | 69.2 (269) | 72.9 (4,508) |
| 50 | 76.6 (443) | 75.6 (335) | 73.9 (4,668) |
| 51 | 73.6 (420) | 70.2 (268) | 71.3 (4,691) |
| 52 | 75.7 (435) | 69.5 (235) | 73.5 (4,610) |
| 53 | 74.9 (436) | 72.5 (219) | 74.4 (5,336) |
| 54 | 77.1 (421) | 76.9 (196) | 75.8 (5,583) |
| 55 | 72.2 (426) | 71.5 (201) | 75.6 (6,445) |
| 56 | 80.1 (606) | 75.4 (269) | 73.6 (6,693) |
| 57 | 85.7 (630) | 78.6 (335) | 76.2 (6,882) |
| 58 | 87.6 (676) | 80.6 (391) | 79.3 (7,069) |
| 59 | 84.2 (651) | 83.1 (399) | 78.2 (7,151) |
| 60 | 86.0 (675) | 81.9 (443) | 77.1 (7,025) |
| 61 | 85.9 (708) | 80.8 (445) | 76.1 (6,530) |
| 62 | 81.7 (591) | 75.7 (339) | 76.0 (6,217) |
| 63 | 85.5 (691) | 74.7 (348) | 77.2 (6,351) |
| 元 | 85.2 (645) | 79.2 (300) | 77.3 (6,041) |
| 2 | 86.3 (535) | 75.0 (255) | 76.4 (5,213) |
| 3 | 82.8 (531) | 75.6 (223) | 75.9 (4,533) |
| 4 | 82.1 (453) | 77.1 (219) | 75.1 (3,787) |
| 5 | 83.8 (482) | 74.5 (248) | 75.1 (3,619) |
| 6 | 79.2 (439) | 75.7 (246) | 72.9 (3,216) |
| 7 | 83.9 (423) | 72.0 (249) | 75.0 (3,051) |
| 8 | 81.0 (397) | 76.2 (218) | 74.7 (2,660) |
| 9 | 85.4 (405) | 76.2 (237) | 76.9 (2,849) |

注 () 内は、実数である。

資料2 犯行地別に見た居住地と同一市町村
であるものの比率

(昭和42年～平成9年)

| ① 傷害 | | | |
|------|------------|------------|------------|
| 年次 | 大都市 | 中小都市 | 郡部 |
| 42年 | 81.0 (298) | 81.1 (645) | 78.0 (297) |
| 43 | 82.6 (199) | 80.4 (526) | 76.9 (263) |
| 44 | 78.7 (177) | 79.1 (413) | 79.3 (199) |
| 45 | 74.6 (147) | 76.6 (386) | 71.8 (163) |
| 46 | 78.5 (128) | 73.6 (349) | 76.5 (156) |
| 47 | 75.7 (112) | 75.1 (301) | 62.0 (98) |
| 48 | 79.6 (113) | 76.3 (293) | 76.3 (132) |
| 49 | 81.8 (139) | 73.2 (227) | 73.2 (71) |
| 50 | 88.1 (155) | 74.2 (216) | 64.9 (72) |
| 51 | 75.8 (157) | 70.8 (187) | 76.0 (76) |
| 52 | 81.2 (164) | 72.5 (222) | 73.1 (49) |
| 53 | 79.9 (147) | 75.4 (227) | 63.9 (62) |
| 54 | 87.9 (145) | 73.2 (221) | 69.6 (55) |
| 55 | 72.9 (132) | 76.2 (231) | 59.4 (63) |
| 56 | 81.7 (187) | 79.8 (319) | 78.1 (100) |
| 57 | 91.1 (175) | 87.4 (374) | 70.4 (81) |
| 58 | 90.9 (180) | 89.4 (390) | 76.8 (106) |
| 59 | 93.0 (173) | 84.3 (382) | 71.6 (96) |
| 60 | 91.3 (189) | 86.5 (378) | 76.6 (108) |
| 61 | 91.8 (156) | 86.5 (428) | 78.0 (124) |
| 62 | 85.2 (138) | 85.0 (374) | 65.3 (79) |
| 63 | 96.3 (182) | 84.3 (409) | 74.6 (100) |
| 元 | 89.5 (128) | 85.4 (415) | 79.7 (102) |
| 2 | 91.5 (130) | 88.2 (330) | 72.1 (75) |
| 3 | 88.8 (127) | 83.2 (336) | 72.3 (68) |
| 4 | 95.0 (113) | 81.4 (281) | 67.0 (59) |
| 5 | 88.0 (110) | 84.4 (309) | 75.0 (63) |
| 6 | 80.7 (109) | 80.6 (274) | 70.9 (56) |
| 7 | 88.6 (109) | 84.4 (260) | 74.0 (54) |
| 8 | 90.7 (78) | 81.8 (266) | 67.1 (53) |
| 9 | 95.3 (82) | 85.8 (271) | 72.2 (52) |

注 () 内は、実数である。

② 恐喝

| 年 次 | 大 都 市 | 中小都市 | 郡 部 |
|-----|------------|------------|------------|
| 42年 | 76.2 (154) | 77.9 (331) | 71.6 (106) |
| 43 | 81.6 (120) | 81.4 (267) | 68.7 (68) |
| 44 | 76.5 (101) | 74.7 (236) | 71.3 (57) |
| 45 | 69.5 (98) | 72.5 (206) | 62.3 (43) |
| 46 | 73.2 (82) | 68.1 (205) | 72.1 (44) |
| 47 | 72.8 (99) | 71.2 (178) | 58.5 (31) |
| 48 | 73.1 (79) | 65.9 (151) | 69.8 (30) |
| 49 | 75.0 (120) | 67.3 (115) | 58.6 (34) |
| 50 | 84.2 (170) | 68.9 (133) | 66.7 (32) |
| 51 | 76.2 (147) | 62.6 (92) | 69.0 (29) |
| 52 | 76.4 (113) | 65.8 (102) | 57.1 (20) |
| 53 | 75.9 (82) | 70.8 (109) | 70.0 (28) |
| 54 | 84.2 (80) | 71.9 (92) | 75.0 (24) |
| 55 | 78.6 (92) | 67.1 (94) | 62.5 (15) |
| 56 | 82.8 (77) | 72.4 (152) | 74.1 (40) |
| 57 | 86.6 (97) | 76.4 (201) | 72.5 (37) |
| 58 | 84.4 (92) | 81.1 (257) | 71.2 (42) |
| 59 | 85.0 (119) | 82.5 (227) | 81.5 (53) |
| 60 | 88.1 (111) | 78.9 (269) | 85.1 (63) |
| 61 | 84.2 (101) | 81.8 (287) | 71.3 (57) |
| 62 | 78.4 (76) | 77.7 (237) | 56.5 (26) |
| 63 | 78.0 (85) | 75.2 (233) | 63.8 (30) |
| 元 | 81.9 (59) | 80.5 (214) | 65.9 (27) |
| 2 | 82.7 (62) | 73.8 (166) | 67.5 (27) |
| 3 | 81.3 (61) | 74.4 (145) | 68.0 (17) |
| 4 | 86.4 (51) | 77.0 (144) | 63.2 (24) |
| 5 | 81.5 (75) | 72.9 (153) | 64.5 (20) |
| 6 | 78.8 (78) | 74.2 (144) | 75.0 (24) |
| 7 | 83.3 (70) | 69.8 (150) | 61.7 (29) |
| 8 | 83.6 (46) | 75.8 (147) | 67.6 (25) |
| 9 | 80.0 (40) | 79.2 (179) | 51.4 (18) |

注 () 内は、実数である。

③ 窃盗

| 年 次 | 大 都 市 | 中小都市 | 郡 部 |
|-----|--------------|--------------|--------------|
| 42年 | 75.6 (1,183) | 75.7 (2,966) | 76.4 (1,085) |
| 43 | 78.5 (1,019) | 75.8 (2,868) | 76.1 (985) |
| 44 | 75.5 (954) | 75.0 (2,420) | 74.0 (929) |
| 45 | 73.1 (942) | 74.9 (2,447) | 77.1 (893) |
| 46 | 74.7 (796) | 72.8 (2,293) | 75.5 (807) |
| 47 | 71.5 (849) | 74.2 (2,468) | 70.3 (732) |
| 48 | 77.7 (967) | 72.4 (2,535) | 74.1 (705) |
| 49 | 78.0 (1,294) | 70.6 (2,535) | 72.7 (679) |
| 50 | 83.6 (1,388) | 69.9 (2,577) | 72.4 (703) |
| 51 | 77.9 (1,306) | 68.7 (2,682) | 70.6 (703) |
| 52 | 81.6 (1,285) | 70.5 (2,702) | 71.9 (623) |
| 53 | 83.6 (1,555) | 71.1 (3,094) | 71.9 (687) |
| 54 | 84.0 (1,659) | 73.0 (3,206) | 72.1 (718) |
| 55 | 78.9 (1,631) | 75.1 (4,001) | 72.0 (813) |
| 56 | 79.9 (1,608) | 72.9 (4,188) | 67.0 (897) |
| 57 | 88.6 (1,768) | 73.7 (4,123) | 68.8 (991) |
| 58 | 89.7 (1,822) | 77.4 (4,301) | 71.0 (946) |
| 59 | 87.8 (1,827) | 76.3 (4,242) | 71.9 (1,082) |
| 60 | 85.0 (1,681) | 76.4 (4,361) | 69.2 (983) |
| 61 | 84.9 (1,522) | 75.8 (4,182) | 65.1 (826) |
| 62 | 81.0 (1,464) | 76.0 (3,973) | 67.8 (780) |
| 63 | 87.2 (1,602) | 75.4 (3,965) | 69.5 (784) |
| 元 | 85.4 (1,313) | 76.4 (3,977) | 70.0 (751) |
| 2 | 87.9 (1,058) | 75.0 (3,417) | 69.7 (738) |
| 3 | 82.9 (870) | 75.9 (3,009) | 68.2 (654) |
| 4 | 81.5 (773) | 74.8 (2,431) | 69.0 (583) |
| 5 | 81.9 (745) | 74.7 (2,374) | 68.1 (500) |
| 6 | 79.5 (615) | 73.2 (2,210) | 63.5 (391) |
| 7 | 73.1 (571) | 76.5 (2,063) | 70.6 (417) |
| 8 | 79.8 (541) | 76.1 (1,727) | 63.9 (392) |
| 9 | 84.7 (555) | 76.7 (1,901) | 68.7 (393) |

注 () 内は、実数である。

資料3 犯行場所別人員の比率

(昭和49年～平成9年)

① 傷害

| 年次 | 学 校 等 | 公 園 等 | 建物等周辺 | 路 上 |
|-----|------------|-----------|------------|------------|
| 49年 | 14.6 (84) | 9.9 (57) | 5.9 (34) | 42.3 (244) |
| 50 | 13.3 (77) | 8.8 (51) | 9.2 (53) | 41.3 (239) |
| 51 | 16.6 (95) | 8.1 (46) | 6.3 (36) | 45.7 (261) |
| 52 | 17.4 (100) | 7.7 (44) | 8.2 (47) | 40.7 (234) |
| 53 | 14.1 (82) | 7.7 (45) | 10.0 (58) | 44.3 (258) |
| 54 | 13.2 (72) | 7.1 (39) | 8.4 (46) | 46.0 (251) |
| 55 | 14.9 (88) | 11.7 (69) | 7.5 (44) | 38.8 (229) |
| 56 | 23.9 (181) | 10.8 (82) | 10.0 (76) | 32.1 (243) |
| 57 | 34.1 (251) | 7.1 (52) | 7.8 (57) | 29.0 (213) |
| 58 | 33.2 (256) | 8.3 (64) | 8.0 (62) | 27.3 (211) |
| 59 | 26.3 (203) | 10.5 (81) | 9.1 (70) | 27.8 (215) |
| 60 | 28.8 (226) | 9.9 (78) | 9.0 (71) | 28.7 (225) |
| 61 | 28.5 (235) | 10.8 (89) | 9.7 (80) | 26.3 (217) |
| 62 | 24.8 (179) | 7.5 (54) | 10.7 (77) | 32.8 (237) |
| 63 | 23.5 (190) | 12.0 (97) | 12.9 (104) | 29.5 (238) |
| 元 | 20.1 (152) | 12.4 (94) | 10.8 (82) | 31.6 (239) |
| 2 | 22.1 (137) | 11.0 (68) | 10.8 (67) | 31.1 (193) |
| 3 | 20.9 (134) | 13.3 (85) | 14.2 (91) | 30.7 (197) |
| 4 | 19.6 (108) | 11.8 (65) | 16.3 (90) | 26.6 (147) |
| 5 | 19.0 (109) | 13.9 (80) | 13.0 (75) | 29.9 (172) |
| 6 | 20.2 (112) | 12.5 (69) | 15.3 (85) | 27.1 (150) |
| 7 | 18.8 (95) | 14.1 (71) | 17.1 (86) | 24.2 (122) |
| 8 | 18.2 (89) | 18.6 (91) | 12.2 (60) | 28.2 (138) |
| 9 | 20.0 (95) | 20.5 (97) | 14.3 (68) | 22.2 (105) |

注 () 内は、実数である。

② 恐喝

| 年 次 | 学 校 等 | デパート等 | 公 園 等 | 建物等周辺 | 路 上 |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 49年 | 10.5 (41) | 7.5 (29) | 9.8 (38) | 5.9 (23) | 46.5 (181) |
| 50 | 9.5 (42) | 6.5 (29) | 8.6 (38) | 8.1 (36) | 45.6 (202) |
| 51 | 9.7 (37) | 8.9 (34) | 10.2 (39) | 9.7 (37) | 43.7 (167) |
| 52 | 8.9 (30) | 9.8 (33) | 7.1 (24) | 8.3 (28) | 47.6 (161) |
| 53 | 8.3 (25) | 5.6 (17) | 8.3 (25) | 6.6 (20) | 53.0 (160) |
| 54 | 10.6 (27) | 7.1 (18) | 6.3 (16) | 10.6 (27) | 43.1 (110) |
| 55 | 7.1 (20) | 8.5 (24) | 9.6 (27) | 7.5 (21) | 49.1 (138) |
| 56 | 13.4 (48) | 10.1 (36) | 5.0 (18) | 6.7 (24) | 41.2 (147) |
| 57 | 13.4 (57) | 12.4 (53) | 4.9 (21) | 7.3 (31) | 41.1 (175) |
| 58 | 11.8 (57) | 16.7 (81) | 5.6 (27) | 8.2 (40) | 38.8 (188) |
| 59 | 15.2 (73) | 14.8 (71) | 6.7 (32) | 7.9 (38) | 36.7 (176) |
| 60 | 15.3 (83) | 15.3 (83) | 7.4 (40) | 8.1 (44) | 36.2 (196) |
| 61 | 12.7 (70) | 18.0 (99) | 7.3 (40) | 10.7 (59) | 31.4 (173) |
| 62 | 7.6 (34) | 13.6 (61) | 6.0 (27) | 12.9 (58) | 40.6 (182) |
| 63 | 6.9 (32) | 11.8 (55) | 8.8 (41) | 10.1 (47) | 43.3 (202) |
| 元 | 6.6 (25) | 9.2 (35) | 8.4 (32) | 11.1 (42) | 44.9 (170) |
| 2 | 6.8 (23) | 10.3 (35) | 9.4 (32) | 11.5 (39) | 43.2 (147) |
| 3 | 4.7 (14) | 9.8 (29) | 8.5 (25) | 13.9 (41) | 42.0 (124) |
| 4 | 4.6 (13) | 11.6 (33) | 5.6 (16) | 15.8 (45) | 45.8 (130) |
| 5 | 4.5 (15) | 8.7 (29) | 8.1 (27) | 14.7 (49) | 43.2 (144) |
| 6 | 5.5 (18) | 7.1 (23) | 11.4 (37) | 15.4 (50) | 43.4 (141) |
| 7 | 7.8 (27) | 12.7 (44) | 5.8 (20) | 14.2 (49) | 43.1 (149) |
| 8 | 1.7 (5) | 9.4 (27) | 8.0 (23) | 18.2 (52) | 43.0 (123) |
| 9 | 2.6 (8) | 10.0 (31) | 8.0 (25) | 16.1 (50) | 45.3 (141) |

注 () 内は、実数である。

③ 窃盗

| 年 次 | 一般住宅 | デパート等 | 建物等周辺 | 路 上 |
|-----|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 49年 | 12.5 (771) | 35.8 (2,213) | 11.8 (729) | 19.8 (1,222) |
| 50 | 11.8 (747) | 33.7 (2,129) | 14.5 (916) | 18.7 (1,183) |
| 51 | 11.2 (734) | 36.0 (2,368) | 14.4 (945) | 18.8 (1,239) |
| 52 | 12.4 (779) | 37.6 (2,359) | 14.4 (900) | 16.6 (1,041) |
| 53 | 11.1 (797) | 37.7 (2,703) | 16.8 (1,202) | 18.8 (1,344) |
| 54 | 10.5 (772) | 34.6 (2,551) | 19.1 (1,407) | 19.5 (1,435) |
| 55 | 9.6 (822) | 35.9 (3,062) | 20.6 (1,759) | 18.7 (1,596) |
| 56 | 9.6 (873) | 36.3 (3,303) | 20.1 (1,831) | 18.4 (1,677) |
| 57 | 10.8 (972) | 33.0 (2,981) | 20.3 (1,836) | 17.4 (1,575) |
| 58 | 10.5 (936) | 33.3 (2,973) | 21.5 (1,917) | 17.7 (1,582) |
| 59 | 11.8 (1,078) | 28.7 (2,621) | 23.0 (2,101) | 20.0 (1,833) |
| 60 | 12.3 (1,116) | 29.1 (2,651) | 22.6 (2,058) | 19.2 (1,750) |
| 61 | 10.5 (903) | 31.2 (2,675) | 24.1 (2,065) | 16.6 (1,420) |
| 62 | 10.1 (830) | 33.2 (2,716) | 20.9 (1,707) | 17.8 (1,453) |
| 63 | 10.0 (826) | 34.7 (2,851) | 22.7 (1,870) | 16.1 (1,324) |
| 元 | 10.2 (800) | 31.1 (2,433) | 22.9 (1,792) | 16.0 (1,253) |
| 2 | 10.0 (681) | 28.4 (1,939) | 27.5 (1,874) | 16.5 (1,126) |
| 3 | 11.1 (660) | 26.5 (1,584) | 28.0 (1,675) | 17.4 (1,041) |
| 4 | 12.3 (619) | 23.0 (1,158) | 30.0 (1,515) | 16.9 (854) |
| 5 | 12.7 (614) | 25.7 (1,238) | 27.2 (1,313) | 17.3 (833) |
| 6 | 10.7 (473) | 30.0 (1,324) | 27.2 (1,200) | 15.1 (667) |
| 7 | 10.7 (436) | 30.7 (1,248) | 27.9 (1,135) | 15.8 (644) |
| 8 | 11.8 (419) | 33.7 (1,200) | 24.6 (875) | 15.6 (554) |
| 9 | 10.9 (402) | 38.6 (1,430) | 24.4 (904) | 13.6 (503) |

注 () 内は、実数である。

資料4 傷害の主な動機別の比率

(昭和49年～平成9年)

| 年次 | 激情 | 怨恨・報復 | 遊び | 共犯者に誘われ |
|-----|------------|------------|----------|----------|
| 49年 | 55.1 (318) | 25.6 (148) | 0.9 (5) | 8.5 (49) |
| 50 | 55.4 (320) | 26.3 (152) | 1.2 (7) | 8.5 (49) |
| 51 | 57.3 (327) | 26.1 (149) | 0.9 (5) | 5.8 (33) |
| 52 | 53.6 (308) | 27.1 (156) | 1.0 (6) | 7.5 (43) |
| 53 | 56.7 (330) | 24.4 (142) | 0.9 (5) | 7.9 (46) |
| 54 | 52.9 (289) | 29.1 (159) | 1.3 (7) | 5.9 (32) |
| 55 | 39.5 (233) | 38.0 (224) | 0.8 (5) | 8.0 (47) |
| 56 | 44.1 (334) | 36.5 (276) | 1.1 (8) | 7.9 (60) |
| 57 | 47.1 (346) | 33.3 (245) | 1.4 (10) | 6.8 (50) |
| 58 | 49.4 (381) | 35.2 (272) | 1.0 (8) | 5.4 (42) |
| 59 | 48.3 (373) | 36.1 (279) | 0.8 (6) | 5.2 (40) |
| 60 | 47.3 (371) | 38.7 (304) | 1.0 (8) | 5.1 (40) |
| 61 | 50.8 (419) | 31.7 (261) | 0.8 (7) | 5.8 (48) |
| 62 | 57.8 (418) | 26.7 (193) | 1.1 (8) | 5.1 (37) |
| 63 | 60.4 (488) | 24.9 (201) | 0.9 (7) | 5.7 (46) |
| 元 | 52.0 (394) | 29.9 (226) | 0.7 (5) | 5.5 (42) |
| 2 | ... | ... | ... | ... |
| 3 | 51.5 (330) | 36.3 (233) | 0.6 (4) | 3.6 (23) |
| 4 | 50.5 (279) | 33.2 (183) | 0.5 (3) | 6.0 (33) |
| 5 | 56.2 (323) | 26.6 (153) | 1.7 (10) | 3.8 (22) |
| 6 | 49.8 (276) | 33.6 (186) | 1.4 (8) | 3.4 (19) |
| 7 | 50.0 (252) | 30.6 (154) | 3.6 (18) | 3.0 (15) |
| 8 | 56.5 (277) | 26.7 (131) | 4.1 (20) | 4.5 (22) |
| 9 | 51.3 (243) | 30.4 (144) | 3.6 (17) | 5.5 (26) |

注 1 () 内は、実数である。
2 平成2年の数値は、不詳である。

資料5 恐喝の主な動機別の比率

(昭和49年～平成9年)

| 年次 | 遊 び | | 困窮・生活苦 | | 利 欲 | | 怨恨・報復 | | 共犯者に誘われ | |
|-----|------|------|--------|------|------|-------|-------|------|---------|------|
| 49年 | 10.8 | (42) | 1.5 | (6) | 64.3 | (250) | 3.1 | (12) | 10.0 | (39) |
| 50 | 10.6 | (47) | 2.7 | (12) | 66.6 | (295) | 4.7 | (21) | 5.6 | (25) |
| 51 | 8.1 | (31) | 1.8 | (7) | 63.4 | (242) | 2.1 | (8) | 8.4 | (32) |
| 52 | 8.9 | (30) | 3.0 | (10) | 64.8 | (219) | 4.1 | (14) | 7.7 | (26) |
| 53 | 7.6 | (23) | 3.6 | (11) | 66.9 | (202) | 5.3 | (16) | 5.3 | (16) |
| 54 | 9.4 | (24) | 1.6 | (4) | 62.4 | (159) | 7.5 | (19) | 4.7 | (12) |
| 55 | 7.8 | (22) | 0.4 | (12) | 75.8 | (213) | 4.3 | (12) | 3.9 | (11) |
| 56 | 5.9 | (21) | 2.8 | (10) | 73.7 | (263) | 2.8 | (10) | 6.2 | (22) |
| 57 | 4.9 | (21) | 1.4 | (6) | 79.6 | (339) | 2.3 | (10) | 5.2 | (22) |
| 58 | 4.1 | (20) | 0.6 | (3) | 81.4 | (395) | 3.3 | (16) | 3.5 | (17) |
| 59 | 6.3 | (30) | 0.6 | (3) | 82.5 | (396) | 1.9 | (9) | 4.0 | (19) |
| 60 | 6.1 | (33) | 1.3 | (7) | 78.4 | (424) | 3.1 | (17) | 3.0 | (16) |
| 61 | 5.4 | (30) | 0.9 | (5) | 82.2 | (453) | 1.8 | (10) | 3.3 | (18) |
| 62 | 2.7 | (12) | 0.7 | (3) | 82.4 | (369) | 1.8 | (8) | 3.1 | (14) |
| 63 | 4.1 | (19) | 1.9 | (9) | 80.9 | (377) | 3.2 | (15) | 3.0 | (14) |
| 元 | 3.2 | (12) | 1.8 | (7) | 79.7 | (302) | 1.8 | (7) | 4.5 | (17) |
| 2 | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| 3 | 8.5 | (25) | 1.4 | (4) | 78.3 | (231) | 2.7 | (8) | 3.7 | (11) |
| 4 | 8.8 | (25) | 0.7 | (2) | 80.6 | (229) | 2.1 | (6) | 2.8 | (8) |
| 5 | 4.5 | (15) | 1.2 | (4) | 78.1 | (260) | 2.7 | (9) | 4.5 | (15) |
| 6 | 7.1 | (23) | 1.5 | (5) | 80.3 | (261) | 1.8 | (6) | 3.7 | (12) |
| 7 | 11.6 | (40) | 0.3 | (1) | 74.6 | (258) | 2.3 | (8) | 6.1 | (21) |
| 8 | 15.0 | (43) | 1.4 | (4) | 67.1 | (192) | 2.8 | (8) | 4.5 | (13) |
| 9 | 12.5 | (39) | 2.3 | (7) | 69.8 | (217) | 3.2 | (10) | 4.5 | (14) |

注 1 () 内は、実数である。

2 平成2年の数値は、不詳である。

資料 6 窃盗の主な動機別の比率

(昭和 49 年～平成 9 年)

| 年 次 | 遊 び | 困窮・生活苦 | 利 欲 | 共犯者に誘われ |
|-----|--------------|-----------|--------------|-----------|
| 49年 | 23.5 (1,452) | 1.5 (94) | 63.0 (3,896) | 6.0 (368) |
| 50 | 22.7 (1,436) | 1.4 (89) | 64.0 (4,046) | 4.6 (289) |
| 51 | 19.8 (1,305) | 1.3 (86) | 62.9 (4,133) | 3.8 (247) |
| 52 | 19.6 (1,228) | 1.3 (83) | 64.9 (4,072) | 4.2 (261) |
| 53 | 23.0 (1,646) | 1.4 (100) | 66.3 (4,755) | 3.3 (237) |
| 54 | 24.3 (1,789) | 0.8 (61) | 66.1 (4,870) | 2.8 (207) |
| 55 | 25.4 (2,169) | 0.7 (57) | 67.6 (5,760) | 2.2 (186) |
| 56 | 30.2 (2,750) | 0.8 (69) | 61.8 (5,623) | 2.5 (225) |
| 57 | 27.3 (2,463) | 0.9 (79) | 64.8 (5,851) | 2.5 (225) |
| 58 | 26.7 (2,383) | 0.5 (49) | 65.7 (5,861) | 2.2 (194) |
| 59 | 28.8 (2,638) | 0.8 (76) | 64.3 (5,880) | 1.7 (153) |
| 60 | 27.1 (2,468) | 0.8 (74) | 65.6 (5,971) | 1.8 (165) |
| 61 | 26.4 (2,263) | 0.5 (46) | 66.0 (5,666) | 1.6 (139) |
| 62 | 23.1 (1,894) | 0.3 (28) | 70.9 (5,803) | 1.5 (124) |
| 63 | 21.3 (1,754) | 0.5 (39) | 73.1 (6,013) | 1.8 (149) |
| 元 | 23.5 (1,840) | 0.6 (43) | 70.7 (5,527) | 1.8 (143) |
| 2 | ... | ... | ... | ... |
| 3 | 31.6 (1,890) | 0.5 (30) | 63.3 (3,780) | 1.2 (71) |
| 4 | 27.1 (1,367) | 0.5 (25) | 68.1 (3,434) | 1.3 (67) |
| 5 | 25.9 (1,249) | 0.5 (23) | 67.6 (3,257) | 1.8 (86) |
| 6 | 23.0 (1,015) | 0.6 (25) | 71.5 (3,151) | 1.6 (71) |
| 7 | 26.8 (1,091) | 0.7 (27) | 66.6 (2,708) | 1.7 (68) |
| 8 | 31.5 (1,120) | 0.6 (22) | 61.4 (2,185) | 2.2 (77) |
| 9 | 26.2 (969) | 1.1 (40) | 67.2 (2,489) | 1.8 (67) |

注 1 () 内は、実数である。

2 平成 2 年の数値は、不詳である。

資料7 横領の主な動機別の比率

(昭和49年～平成9年)

| 年次 | 遊 び | | 困窮・生活苦 | | 利 欲 | | 共犯者に誘われ | |
|-----|------|-------|--------|------|------|---------|---------|------|
| 49年 | 35.5 | (71) | 0.5 | (1) | 53.0 | (106) | 2.5 | (5) |
| 50 | 24.5 | (49) | — | (—) | 62.5 | (125) | — | (—) |
| 51 | 18.5 | (52) | — | (—) | 60.9 | (171) | 1.1 | (3) |
| 52 | 21.2 | (68) | 0.3 | (1) | 57.0 | (183) | 0.9 | (3) |
| 53 | 20.6 | (87) | 0.5 | (2) | 65.9 | (278) | 2.8 | (12) |
| 54 | 20.4 | (113) | 0.2 | (1) | 70.3 | (390) | 0.9 | (5) |
| 55 | 19.5 | (143) | 0.5 | (4) | 74.0 | (542) | 0.4 | (3) |
| 56 | 30.5 | (237) | 1.4 | (11) | 58.7 | (457) | 0.6 | (5) |
| 57 | 29.5 | (275) | 2.3 | (21) | 59.2 | (552) | 0.6 | (6) |
| 58 | 25.2 | (289) | 0.8 | (9) | 67.7 | (776) | 0.6 | (7) |
| 59 | 29.7 | (391) | — | (—) | 65.6 | (865) | 0.5 | (6) |
| 60 | 30.3 | (385) | 0.3 | (4) | 60.3 | (766) | 0.4 | (5) |
| 61 | 33.4 | (377) | 0.3 | (3) | 57.9 | (654) | 0.4 | (5) |
| 62 | 24.8 | (257) | 0.4 | (4) | 67.0 | (694) | 0.5 | (5) |
| 63 | 21.1 | (250) | 0.3 | (3) | 71.4 | (845) | 0.2 | (2) |
| 元 | 23.2 | (255) | — | (—) | 71.5 | (787) | 0.5 | (6) |
| 2 | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| 3 | 30.4 | (410) | 0.1 | (2) | 63.0 | (851) | 0.4 | (6) |
| 4 | 24.5 | (333) | 0.2 | (3) | 70.6 | (960) | 0.3 | (4) |
| 5 | 19.2 | (272) | 0.1 | (1) | 74.0 | (1,049) | 0.1 | (2) |
| 6 | 16.5 | (222) | 0.4 | (5) | 77.0 | (1,036) | 0.3 | (4) |
| 7 | 23.7 | (216) | 0.1 | (1) | 72.9 | (665) | 0.3 | (3) |
| 8 | 30.4 | (234) | 0.5 | (4) | 63.5 | (489) | 0.6 | (5) |
| 9 | 31.6 | (289) | 1.9 | (17) | 60.0 | (548) | 0.7 | (6) |

注 1 () 内は、実数である。

2 平成2年の数値は、不詳である。

資料 8 計画的犯行の比率

(昭和 49 年～平成 9 年)

| 年 次 | 傷 害 | 恐 喝 | 窃 盗 | 横 領 |
|-----|------------|------------|--------------|------------|
| 49年 | 23.6 (136) | 48.6 (189) | 26.2 (1,621) | 6.0 (12) |
| 50 | 24.7 (143) | 44.9 (199) | 28.0 (1,772) | 6.5 (13) |
| 51 | 25.4 (145) | 41.6 (159) | 29.1 (1,914) | 6.4 (18) |
| 52 | 28.5 (164) | 50.3 (170) | 29.8 (1,866) | 13.4 (43) |
| 53 | 28.7 (167) | 47.4 (143) | 27.5 (1,969) | 8.1 (34) |
| 54 | 36.4 (199) | 52.9 (135) | 29.4 (2,168) | 7.0 (39) |
| 55 | 37.1 (219) | 53.7 (151) | 31.2 (2,664) | 11.5 (84) |
| 56 | 40.2 (304) | 56.0 (200) | 32.3 (2,940) | 6.8 (53) |
| 57 | 31.7 (233) | 53.3 (227) | 30.8 (2,776) | 8.4 (78) |
| 58 | 37.3 (288) | 55.3 (268) | 28.7 (2,560) | 6.5 (75) |
| 59 | 40.1 (310) | 54.8 (263) | 30.5 (2,794) | 9.1 (120) |
| 60 | 39.6 (311) | 56.2 (304) | 29.6 (2,700) | 8.3 (105) |
| 61 | 41.7 (344) | 55.9 (308) | 32.5 (2,792) | 12.0 (135) |
| 62 | 34.4 (249) | 57.1 (256) | 31.3 (2,562) | 13.0 (135) |
| 63 | 32.7 (264) | 53.0 (247) | 31.5 (2,594) | 10.9 (129) |
| 元 | 35.1 (266) | 54.9 (208) | 33.9 (2,654) | 9.8 (108) |
| 2 | 33.5 (208) | 52.9 (180) | 32.9 (2,241) | 11.4 (140) |
| 3 | 37.9 (243) | 52.5 (155) | 33.4 (1,997) | 12.4 (168) |
| 4 | 38.9 (215) | 52.5 (149) | 29.8 (1,503) | 9.0 (123) |
| 5 | 32.7 (188) | 47.7 (159) | 26.9 (1,296) | 5.9 (84) |
| 6 | 30.9 (171) | 53.5 (174) | 28.2 (1,243) | 5.8 (78) |
| 7 | 27.6 (139) | 45.1 (156) | 27.1 (1102) | 6.0 (55) |
| 8 | 31.0 (152) | 46.5 (133) | 26.5 (945) | 7.5 (58) |
| 9 | 31.9 (151) | 37.3 (116) | 25.6 (947) | 6.8 (62) |

注 () 内は、実数である。

資料 9 全対象事件における自動車関連事件及び
窃盗における自動車対象事件の比率

(昭和 42 年～平成 9 年)

| 年 次 | 全対象事件中の自動車関連事件 | | 窃盗事件中の自動車対象事件 | |
|-----|----------------|---------|---------------|---------|
| 42年 | 18.6 | (1,802) | 14.2 | (982) |
| 43 | 19.5 | (1,680) | 14.7 | (939) |
| 44 | 23.6 | (1,789) | 19.2 | (1,101) |
| 45 | 26.0 | (1,906) | 21.3 | (1,220) |
| 46 | 23.6 | (1,591) | 20.2 | (1,067) |
| 47 | 22.2 | (1,505) | 19.2 | (1,067) |
| 48 | 21.7 | (1,485) | 18.8 | (1,112) |
| 49 | 21.7 | (1,545) | 19.5 | (1,160) |
| 50 | 21.9 | (1,594) | 19.1 | (1,205) |
| 51 | 20.9 | (1,563) | 18.0 | (1,184) |
| 52 | 20.7 | (1,493) | 18.3 | (1,148) |
| 53 | 20.9 | (1,688) | 18.2 | (1,305) |
| 54 | 23.9 | (1,966) | 20.8 | (1,534) |
| 55 | 25.5 | (2,406) | 23.0 | (1,965) |
| 56 | 23.3 | (2,383) | 21.3 | (1,941) |
| 57 | 23.7 | (2,398) | 22.2 | (2,003) |
| 58 | 27.3 | (2,729) | 25.8 | (2,301) |
| 59 | 27.7 | (2,828) | 26.2 | (2,401) |
| 60 | 27.2 | (2,781) | 26.7 | (2,429) |
| 61 | 25.9 | (2,514) | 25.4 | (2,183) |
| 62 | 22.5 | (2,064) | 21.9 | (1,793) |
| 63 | 23.3 | (2,164) | 23.1 | (1,900) |
| 元 | 29.7 | (2,612) | 30.7 | (2,401) |
| 2 | 29.0 | (2,218) | 29.7 | (2,027) |
| 3 | 31.4 | (2,128) | 32.3 | (1,929) |
| 4 | 27.1 | (1,563) | 27.8 | (1,401) |
| 5 | 21.6 | (1,205) | 21.8 | (1,049) |
| 6 | 24.1 | (1,232) | 24.1 | (1,063) |
| 7 | 26.9 | (1,273) | 27.6 | (1,122) |
| 8 | 25.1 | (1,038) | 25.8 | (917) |
| 9 | 21.1 | (907) | 21.8 | (806) |

注 () 内は、実数である。

資料 10 共犯者の有無別人員・共犯者数別人員の比率

(昭和 43 年～平成 9 年)

① 傷害

| 年 次 | 総 数 | 共 犯 の 人 員 | | | | | |
|-----|-------|-----------|------|------|-------|-------|-------|
| | | 共犯なし | 共犯あり | 1 人 | 2・3 人 | 4・5 人 | 6 人以上 |
| 43年 | 1,237 | 610 | 627 | 18.0 | 18.6 | 8.0 | 6.1 |
| 44 | 998 | 491 | 507 | 17.5 | 19.6 | 7.3 | 6.3 |
| 45 | 928 | 446 | 482 | 18.0 | 19.4 | 5.9 | 8.6 |
| 46 | 841 | 403 | 438 | 16.3 | 21.0 | 6.4 | 8.3 |
| 47 | 707 | 337 | 370 | 16.8 | 19.4 | 8.2 | 7.9 |
| 48 | 698 | 291 | 407 | 18.2 | 18.9 | 8.2 | 13.0 |
| 49 | 577 | 242 | 335 | 16.3 | 19.9 | 9.0 | 12.8 |
| 50 | 578 | 223 | 355 | 16.3 | 19.0 | 10.7 | 15.4 |
| 51 | 571 | 210 | 361 | 16.8 | 22.1 | 9.5 | 14.9 |
| 52 | 575 | 222 | 353 | 17.2 | 18.1 | 10.8 | 15.3 |
| 53 | 582 | 227 | 355 | 13.7 | 15.6 | 12.4 | 19.2 |
| 54 | 546 | 201 | 345 | 12.5 | 20.1 | 10.4 | 20.1 |
| 55 | 590 | 174 | 416 | 15.1 | 15.6 | 11.4 | 28.5 |
| 56 | 757 | 227 | 530 | 12.8 | 18.2 | 12.7 | 26.3 |
| 57 | 735 | 278 | 457 | 11.6 | 17.4 | 11.8 | 21.4 |
| 58 | 772 | 269 | 503 | 12.8 | 18.1 | 13.2 | 21.0 |
| 59 | 773 | 240 | 533 | 12.7 | 17.7 | 15.1 | 23.4 |
| 60 | 785 | 250 | 535 | 15.5 | 21.8 | 12.0 | 18.9 |
| 61 | 824 | 290 | 534 | 14.4 | 21.1 | 11.4 | 17.8 |
| 62 | 723 | 291 | 432 | 13.0 | 22.1 | 13.0 | 11.6 |
| 63 | 808 | 303 | 505 | 16.6 | 21.5 | 12.9 | 11.5 |
| 元 | 756 | 263 | 493 | 16.9 | 19.8 | 13.6 | 14.8 |
| 2 | 620 | 230 | 390 | 15.5 | 21.5 | 13.5 | 12.4 |
| 3 | 641 | 241 | 400 | 15.6 | 22.2 | 14.0 | 10.6 |
| 4 | 552 | 192 | 360 | 17.0 | 23.7 | 10.0 | 14.5 |
| 5 | 574 | 210 | 364 | 16.3 | 22.8 | 11.7 | 12.5 |
| 6 | 554 | 228 | 326 | 17.5 | 19.3 | 13.4 | 8.7 |
| 7 | 531 | 241 | 290 | 15.5 | 25.6 | 9.5 | 6.9 |
| 8 | 490 | 216 | 274 | 15.9 | 21.4 | 10.4 | 8.2 |
| 9 | 474 | 213 | 259 | 13.3 | 21.1 | 9.3 | 11.0 |

注 共犯の人員の数値は、比率である。

② 恐喝

| 年 次 | 総 数 | 共 犯 の 人 員 | | | | | |
|-----|-----|-----------|------|------|-------|-------|-------|
| | | 共犯なし | 共犯あり | 1 人 | 2・3 人 | 4・5 人 | 6 人以上 |
| 43年 | 574 | 193 | 381 | 22.8 | 28.2 | 11.5 | 3.8 |
| 44 | 528 | 133 | 395 | 26.9 | 32.8 | 11.0 | 4.2 |
| 45 | 494 | 127 | 366 | 26.5 | 29.1 | 13.0 | 5.5 |
| 46 | 474 | 137 | 337 | 21.9 | 34.2 | 10.5 | 4.4 |
| 47 | 439 | 110 | 329 | 23.7 | 36.4 | 12.1 | 2.7 |
| 48 | 380 | 91 | 289 | 22.6 | 33.9 | 13.7 | 5.8 |
| 49 | 389 | 84 | 305 | 24.4 | 33.9 | 13.4 | 6.7 |
| 50 | 443 | 110 | 333 | 25.1 | 35.0 | 10.2 | 5.0 |
| 51 | 382 | 96 | 286 | 29.1 | 30.6 | 12.3 | 2.9 |
| 52 | 338 | 81 | 257 | 27.8 | 30.2 | 13.3 | 4.7 |
| 53 | 302 | 77 | 224 | 31.5 | 27.5 | 10.9 | 4.3 |
| 54 | 255 | 82 | 173 | 24.7 | 31.8 | 6.3 | 5.1 |
| 55 | 281 | 66 | 215 | 25.3 | 32.4 | 12.1 | 6.8 |
| 56 | 357 | 90 | 267 | 29.4 | 30.5 | 8.1 | 6.7 |
| 57 | 426 | 112 | 314 | 27.2 | 31.0 | 10.6 | 4.9 |
| 58 | 485 | 125 | 360 | 28.0 | 29.9 | 12.2 | 4.1 |
| 59 | 480 | 137 | 343 | 28.8 | 29.4 | 9.0 | 4.4 |
| 60 | 541 | 138 | 403 | 28.3 | 33.5 | 9.2 | 3.5 |
| 61 | 551 | 152 | 399 | 29.9 | 31.2 | 9.3 | 2.0 |
| 62 | 448 | 122 | 326 | 29.9 | 29.0 | 10.0 | 3.8 |
| 63 | 466 | 135 | 331 | 30.3 | 30.0 | 8.4 | 2.4 |
| 元 | 379 | 83 | 296 | 28.0 | 36.9 | 10.3 | 2.9 |
| 2 | 340 | 85 | 255 | 28.8 | 33.2 | 11.8 | 1.2 |
| 3 | 295 | 78 | 217 | 29.2 | 30.2 | 8.1 | 6.1 |
| 4 | 284 | 64 | 219 | 35.2 | 29.6 | 10.6 | 1.8 |
| 5 | 333 | 82 | 251 | 28.8 | 30.3 | 13.8 | 2.4 |
| 6 | 325 | 72 | 252 | 33.8 | 30.5 | 11.7 | 1.5 |
| 7 | 346 | 83 | 263 | 28.9 | 37.0 | 8.1 | 2.0 |
| 8 | 286 | 57 | 229 | 32.2 | 32.5 | 9.8 | 5.6 |
| 9 | 311 | 70 | 241 | 29.3 | 33.8 | 10.6 | 3.9 |

注 共犯の人員の数値は、比率である。

③ 窃盗

| 年 次 | 総 数 | 共 犯 の 人 員 | | | | | |
|-----|-------|-----------|-------|------|-------|-------|-------|
| | | 共犯なし | 共犯あり | 1 人 | 2・3 人 | 4・5 人 | 6 人以上 |
| 43年 | 6,377 | 3,370 | 3,007 | 18.7 | 20.2 | 5.8 | 2.5 |
| 44 | 5,745 | 2,990 | 2,755 | 19.6 | 20.1 | 5.7 | 2.6 |
| 45 | 5,716 | 2,928 | 2,787 | 19.5 | 20.5 | 5.9 | 2.9 |
| 46 | 5,285 | 2,800 | 2,485 | 19.9 | 19.4 | 5.3 | 2.5 |
| 47 | 5,553 | 2,834 | 2,719 | 20.8 | 20.3 | 5.3 | 2.6 |
| 48 | 5,696 | 2,847 | 2,849 | 21.5 | 19.8 | 5.9 | 2.8 |
| 49 | 6,183 | 3,178 | 3,005 | 22.3 | 19.1 | 4.9 | 2.3 |
| 50 | 6,318 | 3,019 | 3,299 | 24.0 | 20.8 | 5.4 | 2.0 |
| 51 | 6,575 | 3,185 | 3,390 | 24.6 | 19.3 | 5.6 | 2.1 |
| 52 | 6,271 | 2,958 | 3,313 | 26.1 | 19.7 | 5.4 | 1.6 |
| 53 | 7,168 | 3,500 | 3,665 | 26.1 | 18.1 | 5.1 | 1.7 |
| 54 | 7,363 | 3,545 | 3,818 | 26.7 | 18.7 | 4.7 | 1.8 |
| 55 | 8,527 | 3,960 | 4,566 | 27.5 | 19.5 | 4.7 | 1.9 |
| 56 | 9,093 | 4,108 | 4,985 | 28.6 | 19.4 | 5.0 | 1.8 |
| 57 | 9,026 | 4,256 | 4,770 | 27.6 | 19.6 | 4.2 | 1.4 |
| 58 | 8,919 | 4,284 | 4,634 | 27.8 | 18.3 | 4.6 | 1.3 |
| 59 | 9,148 | 4,387 | 4,761 | 27.3 | 19.3 | 4.2 | 1.2 |
| 60 | 9,108 | 4,411 | 4,697 | 26.9 | 19.1 | 4.1 | 1.4 |
| 61 | 8,579 | 4,230 | 4,349 | 28.6 | 17.2 | 3.8 | 1.1 |
| 62 | 8,182 | 4,170 | 4,012 | 27.5 | 16.8 | 3.8 | 0.9 |
| 63 | 8,227 | 4,121 | 4,104 | 27.6 | 16.9 | 4.3 | 1.0 |
| 元 | 7,818 | 3,733 | 4,085 | 28.6 | 18.1 | 4.5 | 1.0 |
| 2 | 6,821 | 3,444 | 3,377 | 27.8 | 17.2 | 3.8 | 0.8 |
| 3 | 5,972 | 2,954 | 3,015 | 28.0 | 17.5 | 3.9 | 1.1 |
| 4 | 5,045 | 2,539 | 2,506 | 27.7 | 17.0 | 3.9 | 1.0 |
| 5 | 4,820 | 2,577 | 2,243 | 24.8 | 17.3 | 3.3 | 1.1 |
| 6 | 4,410 | 2,418 | 1,991 | 25.0 | 15.9 | 3.4 | 0.8 |
| 7 | 4,067 | 2,235 | 1,831 | 25.6 | 16.1 | 2.7 | 0.6 |
| 8 | 3,560 | 2,047 | 1,513 | 24.1 | 14.7 | 2.9 | 0.8 |
| 9 | 3,704 | 2,231 | 1,473 | 23.2 | 13.2 | 2.8 | 0.6 |

注 共犯の人員の数値は、比率である。

④ 横領

| 年 次 | 総 数 | 共 犯 の 人 員 | | | | | |
|-----|-------|-----------|------|------|------|------|------|
| | | 共犯なし | 共犯あり | 1人 | 2・3人 | 4・5人 | 6人以上 |
| 43年 | 71 | 55 | 16 | 14.1 | 7.0 | — | 1.4 |
| 44 | 71 | 54 | 17 | 18.3 | 4.2 | — | — |
| 45 | 90 | 77 | 13 | 8.9 | 5.6 | — | — |
| 46 | 97 | 80 | 17 | 8.2 | 9.3 | — | — |
| 47 | 122 | 91 | 31 | 16.4 | 7.4 | 1.6 | — |
| 48 | 202 | 151 | 51 | 17.8 | 5.9 | 1.0 | 0.5 |
| 49 | 200 | 149 | 51 | 15.5 | 8.5 | 1.5 | — |
| 50 | 200 | 148 | 52 | 18.5 | 5.5 | 2.0 | — |
| 51 | 281 | 208 | 73 | 18.1 | 7.1 | 0.4 | 0.4 |
| 52 | 321 | 240 | 81 | 19.3 | 5.0 | 0.6 | 0.3 |
| 53 | 422 | 320 | 102 | 19.2 | 5.0 | — | — |
| 54 | 555 | 416 | 139 | 17.1 | 7.2 | 0.7 | — |
| 55 | 732 | 519 | 213 | 19.5 | 7.8 | 1.8 | — |
| 56 | 778 | 536 | 242 | 20.4 | 9.8 | 0.8 | 0.1 |
| 57 | 933 | 696 | 237 | 18.6 | 6.0 | 0.5 | 0.2 |
| 58 | 1,147 | 862 | 285 | 18.0 | 5.7 | 1.2 | — |
| 59 | 1,318 | 964 | 354 | 19.2 | 7.1 | 0.5 | 0.2 |
| 60 | 1,271 | 961 | 310 | 17.5 | 6.3 | 0.6 | — |
| 61 | 1,129 | 832 | 297 | 20.7 | 5.0 | 0.6 | — |
| 62 | 1,036 | 768 | 268 | 17.0 | 8.1 | 0.6 | 0.2 |
| 63 | 1,184 | 895 | 289 | 17.3 | 5.5 | 1.4 | 0.2 |
| 元 | 1,101 | 725 | 376 | 24.0 | 8.6 | 1.5 | 0.1 |
| 2 | 1,226 | 870 | 356 | 22.5 | 5.3 | 1.0 | 0.2 |
| 3 | 1,350 | 970 | 380 | 20.0 | 7.3 | 0.9 | — |
| 4 | 1,360 | 994 | 366 | 21.0 | 5.5 | 0.3 | 0.1 |
| 5 | 1,417 | 1,111 | 306 | 16.5 | 4.2 | 0.8 | 0.1 |
| 6 | 1,346 | 1,100 | 246 | 14.1 | 3.9 | 0.3 | — |
| 7 | 912 | 738 | 174 | 14.8 | 4.2 | 0.1 | — |
| 8 | 770 | 624 | 146 | 16.1 | 2.5 | 0.3 | 0.1 |
| 9 | 914 | 743 | 171 | 14.9 | 3.7 | 0.1 | — |

注 共犯の人員の数値は、比率である。

資料 11 共犯者がいるうちの主犯の比率

(昭和 45 年～平成 9 年)

① 傷害

| 年 次 | 年少少年 | 中間少年 | 年長少年 |
|-----|-----------|-----------|-----------|
| 45年 | 32.8 (21) | 14.1 (24) | 22.2 (55) |
| 46 | 12.1 (8) | 20.0 (31) | 22.1 (48) |
| 47 | 23.1 (15) | 15.6 (19) | 20.8 (38) |
| 48 | 11.9 (10) | 16.0 (25) | 23.4 (39) |
| 49 | 16.5 (14) | 22.6 (24) | 19.9 (28) |
| 50 | 23.5 (23) | 19.3 (23) | 12.7 (17) |
| 51 | 24.0 (25) | 20.6 (27) | 20.0 (24) |
| 52 | 20.5 (23) | 27.4 (34) | 25.4 (29) |
| 53 | 14.7 (16) | 16.9 (20) | 25.6 (32) |
| 54 | 19.6 (20) | 18.8 (27) | 26.5 (26) |
| 55 | 13.9 (19) | 14.3 (22) | 17.4 (21) |
| 56 | 21.5 (48) | 18.4 (32) | 13.7 (18) |
| 57 | 22.6 (56) | 26.2 (32) | 20.2 (17) |
| 58 | 22.8 (68) | 30.6 (37) | 23.2 (19) |
| 59 | 20.3 (61) | 15.6 (22) | 22.4 (19) |
| 60 | 23.1 (71) | 26.6 (38) | 38.5 (30) |
| 61 | 24.8 (76) | 25.8 (34) | 31.9 (29) |
| 62 | 18.3 (36) | 26.6 (33) | 22.5 (23) |
| 63 | 25.5 (69) | 25.0 (33) | 21.4 (21) |
| 元 | 20.4 (51) | 26.8 (37) | 23.2 (23) |
| 2 | 24.3 (51) | 25.7 (29) | 32.3 (21) |
| 3 | 29.1 (53) | 26.3 (35) | 21.5 (17) |
| 4 | 24.0 (37) | 20.6 (26) | 22.9 (16) |
| 5 | 31.5 (51) | 25.4 (34) | 37.3 (25) |
| 6 | 30.6 (41) | 30.8 (33) | 31.6 (24) |
| 7 | 27.6 (35) | 22.8 (23) | 36.4 (20) |
| 8 | 24.6 (31) | 34.5 (30) | 40.4 (23) |
| 9 | 27.4 (26) | 26.2 (28) | 38.0 (19) |

注 () 内は、実数である。

② 恐喝

| 年 次 | 年少少年 | | 中間少年 | | 年長少年 | |
|-----|------|-------|------|------|------|------|
| 45年 | 18.6 | (16) | 20.7 | (31) | 26.0 | (34) |
| 46 | 16.5 | (15) | 12.0 | (18) | 24.0 | (23) |
| 47 | 17.4 | (19) | 17.4 | (23) | 28.4 | (25) |
| 48 | 24.5 | (25) | 26.0 | (26) | 26.4 | (23) |
| 49 | 27.5 | (103) | 32.0 | (4) | 14.0 | (13) |
| 50 | 19.7 | (109) | 20.5 | (4) | 24.2 | (17) |
| 51 | 23.0 | (116) | 25.0 | (1) | 31.9 | (17) |
| 52 | 23.4 | (111) | 28.9 | (1) | 28.6 | (22) |
| 53 | 33.7 | (73) | 24.7 | (1) | 24.0 | (13) |
| 54 | 17.9 | (41) | 29.1 | (1) | 25.0 | (13) |
| 55 | 17.9 | (89) | 25.7 | (1) | 31.3 | (10) |
| 56 | 23.0 | (86) | 27.6 | (6) | 21.1 | (15) |
| 57 | 27.8 | (148) | 27.2 | (3) | 29.7 | (5) |
| 58 | 24.9 | (180) | 27.5 | (4) | 32.6 | (15) |
| 59 | 21.6 | (183) | 18.7 | (2) | 41.7 | (14) |
| 60 | 26.6 | (191) | 32.2 | (6) | 38.8 | (16) |
| 61 | 30.2 | (194) | 24.6 | (6) | 26.5 | (11) |
| 62 | 21.9 | (160) | 33.0 | (3) | 41.9 | (7) |
| 63 | 20.9 | (151) | 25.9 | (3) | 27.8 | (7) |
| 元 | 14.5 | (139) | 21.6 | (3) | 40.6 | (13) |
| 2 | 28.0 | (106) | 21.6 | (4) | 43.3 | (17) |
| 3 | 20.2 | (88) | 24.3 | (2) | 36.7 | (12) |
| 4 | 25.2 | (93) | 35.4 | (2) | 40.0 | (11) |
| 5 | 23.7 | (97) | 26.3 | (3) | 21.9 | (9) |
| 6 | 27.3 | (108) | 28.1 | (5) | 34.5 | (10) |
| 7 | 29.7 | (97) | 31.6 | (4) | 37.5 | (15) |
| 8 | 31.7 | (74) | 26.0 | (3) | 25.0 | (12) |
| 9 | 27.9 | (29) | 30.4 | (31) | 30.0 | (9) |

注 () 内は、実数である。

③ 窃盗

| 年 次 | 年少少年 | 中間少年 | 年長少年 |
|-----|------------|------------|------------|
| 45年 | 19.9 (206) | 17.9 (181) | 18.1 (133) |
| 46 | 14.9 (162) | 13.4 (116) | 15.7 (84) |
| 47 | 15.3 (192) | 15.3 (144) | 19.0 (98) |
| 48 | 15.6 (223) | 12.4 (121) | 14.9 (65) |
| 49 | 17.4 (248) | 15.6 (167) | 21.2 (104) |
| 50 | 16.8 (267) | 16.1 (196) | 19.7 (96) |
| 51 | 14.5 (232) | 14.6 (197) | 18.3 (78) |
| 52 | 16.5 (268) | 17.5 (214) | 23.8 (107) |
| 53 | 17.9 (322) | 17.4 (243) | 22.1 (98) |
| 54 | 13.3 (263) | 14.2 (194) | 19.7 (90) |
| 55 | 12.1 (288) | 12.0 (199) | 17.9 (91) |
| 56 | 12.9 (352) | 12.1 (206) | 16.6 (87) |
| 57 | 16.4 (446) | 15.1 (228) | 22.2 (107) |
| 58 | 14.6 (395) | 15.2 (211) | 19.3 (95) |
| 59 | 13.8 (362) | 15.1 (242) | 17.7 (76) |
| 60 | 17.4 (465) | 16.5 (256) | 25.3 (91) |
| 61 | 15.1 (365) | 14.6 (218) | 24.3 (90) |
| 62 | 15.2 (329) | 13.1 (182) | 18.3 (71) |
| 63 | 15.9 (348) | 13.4 (204) | 21.5 (80) |
| 元 | 14.5 (332) | 15.2 (213) | 17.4 (60) |
| 2 | 15.3 (264) | 15.1 (193) | 21.4 (67) |
| 3 | 13.4 (211) | 15.1 (164) | 18.1 (51) |
| 4 | 12.7 (164) | 15.1 (129) | 23.0 (65) |
| 5 | 20.9 (233) | 19.3 (155) | 24.2 (69) |
| 6 | 23.3 (220) | 21.4 (159) | 25.9 (62) |
| 7 | 23.4 (199) | 18.7 (130) | 28.2 (57) |
| 8 | 24.4 (186) | 20.9 (125) | 35.4 (40) |
| 9 | 21.0 (149) | 20.4 (118) | 28.9 (46) |

注 () 内は、実数である。

資料 12 被害者との関係別の比率

(昭和 42 年～平成 9 年)

① 傷害

| 年 次 | 知人・友人・顔見知り | | 無 関 係 | |
|-----|------------|-------|-------|-------|
| 42年 | 39.6 | (612) | 59.2 | (914) |
| 43 | 38.2 | (472) | 60.7 | (751) |
| 44 | 35.0 | (349) | 64.0 | (639) |
| 45 | 37.3 | (346) | 61.3 | (569) |
| 46 | 40.0 | (336) | 59.1 | (497) |
| 47 | 39.0 | (276) | 60.5 | (428) |
| 48 | 43.3 | (303) | 55.1 | (385) |
| 49 | 41.8 | (241) | 55.8 | (322) |
| 50 | 42.0 | (243) | 57.1 | (330) |
| 51 | 42.0 | (240) | 57.3 | (327) |
| 52 | 43.0 | (247) | 56.7 | (326) |
| 53 | 43.8 | (255) | 52.7 | (307) |
| 54 | 46.9 | (256) | 51.8 | (283) |
| 55 | 50.8 | (300) | 48.3 | (285) |
| 56 | 59.8 | (453) | 39.4 | (298) |
| 57 | 54.8 | (403) | 43.5 | (320) |
| 58 | 60.1 | (464) | 39.2 | (303) |
| 59 | 63.5 | (491) | 34.7 | (268) |
| 60 | 61.1 | (480) | 37.1 | (291) |
| 61 | 64.6 | (532) | 34.2 | (282) |
| 62 | 56.8 | (411) | 42.7 | (309) |
| 63 | 58.5 | (473) | 40.6 | (328) |
| 元 | 58.3 | (441) | 41.5 | (314) |
| 2 | 56.9 | (353) | 41.3 | (256) |
| 3 | 56.5 | (362) | 41.8 | (268) |
| 4 | 54.3 | (300) | 44.4 | (245) |
| 5 | 56.7 | (326) | 42.3 | (243) |
| 6 | 55.6 | (308) | 44.0 | (244) |
| 7 | 57.5 | (290) | 41.7 | (210) |
| 8 | 59.0 | (289) | 40.4 | (198) |
| 9 | 62.4 | (296) | 36.5 | (173) |

注 () 内は、実数である。

② 恐喝

| 年 次 | 知人・友人・顔見知り | | 無 関 係 | |
|-----|------------|-------|-------|-------|
| 42年 | 42.1 | (326) | 56.6 | (439) |
| 43 | 39.0 | (224) | 60.6 | (348) |
| 44 | 36.3 | (191) | 63.7 | (335) |
| 45 | 34.8 | (172) | 64.8 | (320) |
| 46 | 33.1 | (157) | 66.5 | (315) |
| 47 | 32.8 | (144) | 67.0 | (294) |
| 48 | 35.0 | (133) | 64.5 | (245) |
| 49 | 30.1 | (117) | 68.4 | (266) |
| 50 | 30.2 | (134) | 69.5 | (308) |
| 51 | 31.7 | (121) | 68.1 | (260) |
| 52 | 32.2 | (109) | 67.5 | (228) |
| 53 | 32.8 | (99) | 66.2 | (200) |
| 54 | 46.7 | (119) | 49.0 | (125) |
| 55 | 28.1 | (79) | 71.9 | (202) |
| 56 | 33.1 | (118) | 66.4 | (237) |
| 57 | 32.2 | (137) | 66.9 | (285) |
| 58 | 31.8 | (154) | 67.2 | (326) |
| 59 | 37.9 | (182) | 61.3 | (294) |
| 60 | 35.3 | (191) | 63.2 | (342) |
| 61 | 33.8 | (186) | 64.2 | (354) |
| 62 | 29.5 | (132) | 69.2 | (310) |
| 63 | 28.1 | (131) | 70.0 | (326) |
| 元 | 29.3 | (111) | 69.1 | (262) |
| 2 | 25.6 | (87) | 72.4 | (246) |
| 3 | 23.1 | (68) | 75.9 | (224) |
| 4 | 25.0 | (71) | 75.0 | (213) |
| 5 | 24.0 | (80) | 74.2 | (247) |
| 6 | 23.4 | (76) | 76.3 | (248) |
| 7 | 24.3 | (84) | 74.9 | (259) |
| 8 | 21.3 | (61) | 78.0 | (223) |
| 9 | 21.5 | (67) | 76.5 | (238) |

注 () 内は、実数である。

資料 13 被害者の年齢層別構成比

(昭和 49 年～平成 9 年)

① 傷害

| 年 次 | 総 数 | 14 歳未満 | 14～16 歳未満 | 16～18 歳未満 | 18～20 歳未満 | 20～25 歳未満 | 25～50 歳未満 | 50 歳以上 |
|-----|-----|---------|------------|------------|------------|------------|------------|---------|
| 49年 | 577 | 6 (1.0) | 93 (16.1) | 126 (21.8) | 101 (17.5) | 90 (15.6) | 145 (25.1) | 13(2.3) |
| 50 | 578 | 12(2.1) | 111 (19.2) | 141 (24.4) | 92 (15.9) | 97 (16.8) | 110 (19.0) | 13(2.2) |
| 51 | 567 | 13(2.3) | 107 (18.9) | 137 (24.2) | 83 (14.6) | 106 (18.7) | 106 (18.7) | 15(2.6) |
| 52 | 571 | 12(2.1) | 125 (21.9) | 123 (21.5) | 92 (16.1) | 100 (17.5) | 103 (18.0) | 16(2.8) |
| 53 | 577 | 11(1.9) | 108 (18.7) | 125 (21.7) | 91 (15.8) | 110 (19.1) | 119 (20.6) | 13(2.3) |
| 54 | 544 | 7 (1.3) | 133 (24.4) | 103 (18.9) | 97 (17.8) | 89 (16.4) | 102 (18.8) | 13(2.4) |
| 55 | 587 | 21(3.6) | 131 (22.3) | 136 (23.2) | 109 (18.6) | 82 (14.0) | 97 (16.5) | 11(1.9) |
| 56 | 754 | 32(4.2) | 233 (30.9) | 188 (24.9) | 91 (12.1) | 81 (10.7) | 110 (14.6) | 19(2.5) |
| 57 | 729 | 49(6.7) | 240 (32.9) | 140 (19.2) | 97 (13.3) | 67 (9.2) | 119 (16.3) | 17(2.3) |
| 58 | 770 | 44(5.7) | 287 (37.3) | 142 (18.4) | 71 (9.2) | 69 (9.0) | 136 (17.7) | 21(2.7) |
| 59 | 756 | 50(6.6) | 280 (37.0) | 163 (21.6) | 68 (9.0) | 67 (8.9) | 105 (13.9) | 23(3.0) |
| 60 | 771 | 50(6.5) | 295 (38.3) | 152 (19.7) | 62 (8.0) | 70 (9.1) | 120 (15.6) | 22(2.9) |
| 61 | 813 | 49(6.0) | 348 (42.8) | 151 (18.6) | 71 (8.7) | 64 (7.9) | 109 (13.4) | 21(2.6) |
| 62 | 706 | 42(5.9) | 250 (35.4) | 147 (20.8) | 84 (11.9) | 67 (9.5) | 98 (13.9) | 18(2.5) |
| 63 | 803 | 55(6.8) | 282 (35.1) | 164 (20.4) | 83 (10.3) | 72 (9.0) | 130 (16.2) | 17(2.1) |
| 元 | 755 | 54(7.2) | 272 (36.0) | 149 (19.7) | 81 (10.7) | 72 (9.5) | 112 (14.8) | 15(2.0) |
| 2 | 609 | 48(7.9) | 233 (38.3) | 125 (20.5) | 63 (10.3) | 50 (8.2) | 78 (12.8) | 12(2.0) |
| 3 | 631 | 56(8.9) | 187 (29.6) | 135 (21.4) | 71 (11.3) | 71 (11.3) | 99 (15.7) | 12(1.9) |
| 4 | 548 | 41(7.5) | 179 (32.7) | 117 (21.4) | 69 (12.6) | 58 (10.6) | 68 (12.4) | 16(2.9) |
| 5 | 570 | 45(7.9) | 162 (28.4) | 145 (25.4) | 73 (12.8) | 57 (10.0) | 80 (14.0) | 8 (1.4) |
| 6 | 552 | 29(5.3) | 181 (32.8) | 122 (22.1) | 57 (10.3) | 66 (12.0) | 81 (14.7) | 16(2.9) |
| 7 | 501 | 36(7.2) | 157 (31.3) | 117 (23.4) | 58 (11.6) | 34 (6.8) | 88 (17.6) | 11(2.2) |
| 8 | 488 | 34(7.0) | 162 (33.2) | 120 (24.6) | 53 (10.9) | 39 (8.0) | 69 (14.1) | 11(2.3) |
| 9 | 468 | 25(5.3) | 156 (33.3) | 123 (26.3) | 53 (11.3) | 33 (7.1) | 68 (14.5) | 10(2.1) |

注 () 内は、構成比である。

② 恐喝

| 年 次 | 総 数 | 14 歳未満 | 14～16 歳未満 | 16～18 歳未満 | 18～20 歳未満 | 20～25 歳未満 | 25～50 歳未満 | 50 歳以上 |
|-----|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|
| 49年 | 389 | 34(8.7) | 132(33.9) | 130(33.4) | 44(11.3) | 31(8.0) | 13(3.3) | —(—) |
| 50 | 443 | 46(10.4) | 147(33.2) | 142(32.1) | 48(10.8) | 37(8.4) | 17(3.8) | 2(0.5) |
| 51 | 378 | 37(9.8) | 154(40.7) | 119(31.5) | 40(10.6) | 15(4.0) | 12(3.2) | 1(0.3) |
| 52 | 331 | 44(13.3) | 129(39.0) | 87(26.3) | 39(11.8) | 19(5.7) | 11(3.3) | 2(0.6) |
| 53 | 298 | 40(13.4) | 105(35.2) | 96(32.2) | 30(10.1) | 16(5.4) | 9(3.0) | 2(0.7) |
| 54 | 248 | 22(8.9) | 79(31.9) | 94(37.9) | 37(14.9) | 8(3.2) | 8(3.2) | —(—) |
| 55 | 278 | 39(14.0) | 118(42.4) | 68(24.5) | 28(10.1) | 14(5.0) | 11(4.0) | —(—) |
| 56 | 354 | 63(17.8) | 129(36.4) | 93(26.3) | 38(10.7) | 14(4.0) | 13(3.7) | 4(1.1) |
| 57 | 420 | 105(25.0) | 171(40.7) | 80(19.0) | 38(9.0) | 14(3.3) | 11(2.6) | 1(0.2) |
| 58 | 482 | 114(23.7) | 212(44.0) | 98(20.3) | 28(5.8) | 25(5.2) | 4(0.8) | 1(0.2) |
| 59 | 472 | 115(24.4) | 226(47.9) | 83(17.6) | 31(6.6) | 12(2.5) | 5(1.1) | —(—) |
| 60 | 530 | 135(25.5) | 247(46.6) | 92(17.4) | 30(5.7) | 17(3.2) | 9(1.7) | —(—) |
| 61 | 542 | 150(27.7) | 253(46.7) | 89(16.4) | 27(5.0) | 12(2.2) | 8(1.5) | 3(0.6) |
| 62 | 441 | 111(25.2) | 195(44.2) | 94(21.3) | 27(6.1) | 7(1.6) | 7(1.6) | —(—) |
| 63 | 458 | 110(24.0) | 203(44.3) | 97(21.2) | 26(5.7) | 12(2.6) | 8(1.7) | 2(0.4) |
| 元 | 373 | 83(22.3) | 171(45.8) | 88(23.6) | 19(5.1) | 7(1.9) | 5(1.3) | —(—) |
| 2 | 334 | 73(21.9) | 139(41.6) | 82(24.6) | 24(7.2) | 12(3.6) | 3(0.9) | 1(0.3) |
| 3 | 293 | 60(20.5) | 113(38.6) | 72(24.6) | 26(8.9) | 16(5.5) | 4(1.4) | 2(0.7) |
| 4 | 280 | 55(19.6) | 128(45.7) | 50(17.9) | 27(9.6) | 9(3.2) | 10(3.6) | 1(0.4) |
| 5 | 327 | 65(19.9) | 137(41.9) | 71(21.7) | 22(6.7) | 25(7.6) | 7(2.1) | —(—) |
| 6 | 323 | 66(20.4) | 131(40.6) | 80(24.8) | 22(6.8) | 17(5.3) | 6(1.9) | 1(0.3) |
| 7 | 344 | 74(21.5) | 124(36.0) | 102(29.7) | 29(8.4) | 11(3.2) | 4(1.2) | —(—) |
| 8 | 283 | 48(17.0) | 102(36.0) | 74(26.1) | 36(12.7) | 12(4.2) | 11(3.9) | —(—) |
| 9 | 308 | 63(20.5) | 100(32.5) | 96(31.2) | 23(7.5) | 9(2.9) | 15(4.9) | 2(0.6) |

注 () 内は、構成比である。

資料 14 被害金額区分別構成比

(昭和 49 年～平成 9 年)

① 窃盗

| 年 次 | 総 数 | 5 千円未満 | 1 万円未満 | 5 万円未満 | 10 万円未満 | 10 万円以上 |
|-----|-------|--------|--------|--------|---------|---------|
| 49年 | 6,106 | 20.7 | 25.0 | 37.0 | 8.2 | 9.2 |
| 50 | 6,181 | 20.1 | 23.4 | 36.4 | 9.2 | 10.9 |
| 51 | 6,501 | 18.5 | 22.4 | 39.4 | 9.4 | 10.3 |
| 52 | 6,148 | 19.6 | 23.5 | 36.3 | 9.3 | 11.3 |
| 53 | 6,972 | 18.6 | 23.8 | 36.5 | 10.3 | 10.9 |
| 54 | 7,199 | 17.9 | 21.3 | 38.6 | 11.0 | 11.2 |
| 55 | 8,359 | 18.0 | 20.9 | 39.6 | 10.2 | 11.2 |
| 56 | 8,952 | 18.0 | 20.5 | 39.9 | 10.6 | 10.9 |
| 57 | 8,760 | 18.1 | 20.4 | 39.8 | 11.2 | 10.6 |
| 58 | 8,705 | 18.3 | 20.1 | 40.7 | 9.9 | 11.0 |
| 59 | 8,941 | 17.7 | 21.7 | 40.3 | 9.4 | 10.9 |
| 60 | 8,840 | 18.2 | 21.3 | 39.7 | 9.9 | 10.9 |
| 61 | 8,321 | 17.4 | 22.0 | 39.4 | 10.3 | 10.9 |
| 62 | 7,890 | 17.3 | 23.3 | 37.9 | 10.1 | 11.4 |
| 63 | 7,970 | 16.3 | 22.2 | 37.4 | 10.9 | 13.3 |
| 元 | 7,456 | 11.5 | 20.2 | 39.2 | 15.1 | 16.5 |
| 2 | 6,495 | 10.7 | 19.6 | 38.5 | 16.6 | 17.2 |
| 3 | 5,542 | 9.8 | 20.9 | 38.6 | 17.6 | 17.0 |
| 4 | 4,733 | 9.1 | 20.3 | 42.1 | 15.8 | 15.9 |
| 5 | 4,508 | 10.5 | 18.7 | 42.9 | 15.8 | 15.5 |
| 6 | 4,122 | 12.4 | 21.8 | 40.8 | 13.3 | 15.2 |
| 7 | 3,787 | 10.6 | 21.7 | 42.2 | 14.3 | 14.8 |
| 8 | 3,472 | 10.5 | 24.0 | 41.6 | 13.5 | 11.6 |
| 9 | 3,544 | 11.7 | 24.9 | 41.1 | 13.3 | 11.3 |

注 総数は、被害なし及び不明を除く実数である。

② 恐喝

| 年 次 | 総 数 | 5 千円未満 | 1 万円未満 | 5 万円未満 | 10 万円未満 | 10 万円以上 |
|-----|-----|--------|--------|--------|---------|---------|
| 49年 | 341 | 64.8 | 13.5 | 16.7 | 2.6 | 2.3 |
| 50 | 378 | 59.5 | 15.6 | 21.4 | 2.1 | 1.3 |
| 51 | 323 | 68.4 | 10.5 | 16.4 | 1.5 | 3.1 |
| 52 | 278 | 60.8 | 15.5 | 16.5 | 2.2 | 5.0 |
| 53 | 250 | 56.0 | 17.2 | 22.0 | 1.2 | 3.6 |
| 54 | 209 | 54.1 | 20.1 | 18.7 | 2.9 | 4.3 |
| 55 | 234 | 60.3 | 15.8 | 14.1 | 3.8 | 6.0 |
| 56 | 297 | 59.3 | 17.8 | 16.5 | 3.0 | 3.4 |
| 57 | 360 | 58.3 | 13.6 | 19.4 | 4.2 | 4.4 |
| 58 | 436 | 56.2 | 21.1 | 16.3 | 2.8 | 3.7 |
| 59 | 413 | 52.8 | 22.0 | 19.4 | 2.2 | 3.6 |
| 60 | 464 | 51.5 | 18.3 | 23.3 | 4.3 | 2.6 |
| 61 | 464 | 45.7 | 23.7 | 24.1 | 3.2 | 3.2 |
| 62 | 374 | 45.5 | 23.0 | 24.6 | 3.2 | 3.7 |
| 63 | 398 | 47.7 | 21.1 | 20.4 | 5.3 | 5.5 |
| 元 | 277 | 51.3 | 30.3 | 28.5 | 3.6 | 4.7 |
| 2 | 240 | 53.3 | 31.3 | 27.1 | 4.6 | 4.6 |
| 3 | 215 | 54.0 | 25.6 | 28.4 | 4.7 | 6.0 |
| 4 | 214 | 43.9 | 31.8 | 27.6 | 5.6 | 7.5 |
| 5 | 221 | 42.5 | 34.4 | 37.1 | 5.9 | 5.4 |
| 6 | 239 | 41.4 | 30.1 | 35.6 | 5.9 | 5.0 |
| 7 | 248 | 44.4 | 36.7 | 25.4 | 6.5 | 6.9 |
| 8 | 200 | 48.0 | 31.0 | 34.0 | 4.5 | 4.0 |
| 9 | 221 | 45.7 | 32.6 | 32.1 | 5.9 | 4.1 |

注 総数は、被害なし及び不明を除く実数である。

資料 15 傷害の被害状況別の比率

(昭和 45 年～平成 9 年)

| 年 次 | 総 数 | 1 週間以内 | 1 月以内 | 1 月を超える |
|-----|-----|------------|------------|----------|
| 45年 | 922 | 471 (51.1) | 410 (44.5) | 41 (4.4) |
| 46 | 839 | 453 (54.0) | 351 (41.8) | 35 (4.2) |
| 47 | 707 | 361 (51.1) | 303 (42.9) | 43 (6.1) |
| 48 | 698 | 338 (48.4) | 319 (45.7) | 41 (5.9) |
| 49 | 575 | 286 (49.7) | 257 (44.7) | 32 (5.6) |
| 50 | 575 | 250 (43.5) | 296 (51.5) | 29 (5.0) |
| 51 | 564 | 242 (42.9) | 292 (51.8) | 30 (5.3) |
| 52 | 570 | 250 (43.9) | 290 (50.9) | 30 (5.3) |
| 53 | 571 | 280 (49.0) | 259 (45.4) | 32 (5.6) |
| 54 | 542 | 263 (48.5) | 241 (44.5) | 38 (7.0) |
| 55 | 590 | 280 (47.5) | 270 (45.8) | 40 (6.8) |
| 56 | 746 | 356 (47.7) | 354 (47.5) | 36 (4.8) |
| 57 | 730 | 339 (46.4) | 343 (47.0) | 48 (6.6) |
| 58 | 766 | 359 (46.9) | 362 (47.3) | 45 (5.9) |
| 59 | 765 | 370 (48.4) | 349 (45.6) | 46 (6.0) |
| 60 | 772 | 389 (50.4) | 331 (42.9) | 52 (6.7) |
| 61 | 810 | 357 (44.1) | 400 (49.4) | 35 (4.3) |
| 62 | 710 | 325 (45.8) | 335 (47.2) | 50 (7.0) |
| 63 | 796 | 396 (49.7) | 352 (44.2) | 48 (6.0) |
| 元 | 752 | 338 (44.9) | 360 (47.9) | 54 (7.2) |
| 2 | 609 | 253 (41.5) | 309 (50.7) | 47 (7.7) |
| 3 | 633 | 270 (42.7) | 314 (49.6) | 49 (7.7) |
| 4 | 535 | 241 (45.0) | 242 (45.2) | 52 (9.7) |
| 5 | 569 | 251 (44.1) | 271 (47.6) | 47 (8.3) |
| 6 | 553 | 242 (43.8) | 268 (48.5) | 43 (7.8) |
| 7 | 500 | 212 (42.4) | 252 (50.4) | 36 (7.2) |
| 8 | 488 | 205 (42.0) | 240 (49.2) | 43 (8.8) |
| 9 | 473 | 223 (47.1) | 213 (45.0) | 37 (7.8) |

注 1 () 内は、構成比である。

2 総数は、不明を除く。

資料 16 非行歴のある者の占める比率

(昭和 42 年～平成 9 年)

| 年 次 | 傷 害 | 恐 喝 | 窃 盗 | 横 領 |
|-----|------------|------------|--------------|------------|
| 42年 | 36.2 (556) | 49.7 (382) | 31.4 (2,159) | 32.5 (26) |
| 43 | 33.9 (416) | 48.6 (276) | 28.8 (1,824) | 25.4 (18) |
| 44 | 33.4 (330) | 44.4 (232) | 27.4 (1,564) | 23.9 (17) |
| 45 | 33.2 (306) | 38.7 (190) | 27.2 (1,548) | 23.3 (21) |
| 46 | 28.6 (240) | 39.2 (186) | 19.4 (1,024) | 15.5 (15) |
| 47 | 28.4 (201) | 36.9 (162) | 18.6 (1,032) | 15.6 (19) |
| 48 | 23.6 (165) | 34.7 (131) | 17.5 (997) | 11.9 (24) |
| 49 | 23.6 (136) | 32.9 (128) | 15.9 (982) | 16.5 (33) |
| 50 | 25.6 (148) | 34.3 (152) | 17.5 (1,104) | 16.5 (33) |
| 51 | 29.1 (166) | 29.3 (112) | 16.0 (1,053) | 15.3 (43) |
| 52 | 30.6 (176) | 28.1 (95) | 18.2 (1,140) | 15.3 (49) |
| 53 | 31.6 (184) | 37.4 (113) | 17.8 (1,273) | 12.8 (54) |
| 54 | 31.5 (172) | 33.7 (86) | 18.1 (1,331) | 11.5 (64) |
| 55 | 29.8 (176) | 40.6 (114) | 18.9 (1,611) | 18.2 (133) |
| 56 | 25.0 (189) | 31.9 (114) | 16.4 (1,494) | 14.8 (115) |
| 57 | 28.2 (207) | 32.4 (138) | 17.5 (1,582) | 14.6 (136) |
| 58 | 24.6 (190) | 33.0 (160) | 18.3 (1,636) | 11.8 (135) |
| 59 | 29.8 (230) | 31.9 (153) | 19.6 (1,794) | 14.3 (188) |
| 60 | 33.5 (263) | 34.0 (184) | 21.7 (1,973) | 16.8 (214) |
| 61 | 27.9 (230) | 33.8 (186) | 20.1 (1,726) | 17.0 (192) |
| 62 | 34.4 (249) | 37.7 (169) | 22.7 (1,858) | 17.4 (180) |
| 63 | 31.6 (255) | 32.0 (149) | 20.9 (1,717) | 17.1 (202) |
| 元 | 31.8 (241) | 29.6 (112) | 20.2 (1,581) | 15.2 (167) |
| 2 | 30.8 (191) | 32.1 (109) | 18.9 (1,292) | 17.5 (214) |
| 3 | 30.0 (192) | 33.9 (100) | 18.5 (1,107) | 17.0 (230) |
| 4 | 28.6 (158) | 28.9 (82) | 17.9 (905) | 16.0 (218) |
| 5 | 33.6 (193) | 33.9 (113) | 18.3 (881) | 14.8 (210) |
| 6 | 34.8 (193) | 32.6 (106) | 19.1 (841) | 13.7 (185) |
| 7 | 30.0 (151) | 31.8 (110) | 18.0 (732) | 16.3 (149) |
| 8 | 30.8 (151) | 27.6 (79) | 18.4 (656) | 19.9 (153) |
| 9 | 31.0 (147) | 25.7 (80) | 17.6 (651) | 13.3 (122) |

注 () 内は、実数である。

資料 17 再犯期間別の構成比

(昭和 49 年～平成 9 年)

① 窃盗

| 年 次 | 総 数 | 6 月未満 | 1 年未満 | 1 年以上 2 年未満 | 2 年以上 |
|-----|-------|-------|-------|----------------|-------|
| 49年 | 848 | 44.5 | 24.1 | 19.6 | 11.9 |
| 50 | 863 | 44.9 | 24.1 | 21.0 | 10.0 |
| 51 | 1,014 | 42.6 | 24.6 | 22.8 | 10.1 |
| 52 | 1,057 | 48.4 | 25.3 | 18.3 | 8.0 |
| 53 | 1,108 | 47.8 | 24.0 | 19.2 | 8.9 |
| 54 | 1,163 | 47.9 | 23.6 | 19.4 | 9.0 |
| 55 | 1,452 | 51.4 | 22.2 | 17.5 | 9.0 |
| 56 | 1,359 | 49.2 | 25.5 | 17.3 | 8.0 |
| 57 | 1,434 | 52.0 | 24.1 | 16.2 | 7.7 |
| 58 | 1,448 | 52.6 | 24.3 | 16.0 | 7.0 |
| 59 | 1,574 | 51.5 | 24.5 | 16.4 | 7.6 |
| 60 | 1,732 | 50.8 | 24.5 | 18.4 | 6.4 |
| 61 | 1,576 | 48.0 | 28.0 | 18.0 | 6.0 |
| 62 | 1,684 | 49.8 | 25.6 | 17.6 | 7.0 |
| 63 | 1,486 | 46.5 | 28.0 | 19.0 | 6.5 |
| 元 | 1,412 | 49.5 | 23.3 | 18.3 | 8.9 |
| 2 | 1,138 | 48.9 | 24.5 | 18.9 | 7.6 |
| 3 | 923 | 44.3 | 26.3 | 19.4 | 10.0 |
| 4 | 817 | 45.4 | 25.3 | 21.7 | 7.6 |
| 5 | 799 | 46.9 | 23.4 | 20.3 | 9.4 |
| 6 | 764 | 42.5 | 22.5 | 22.5 | 12.4 |
| 7 | 641 | 42.6 | 25.0 | 20.3 | 12.2 |
| 8 | 580 | 43.6 | 26.9 | 20.0 | 9.5 |
| 9 | 560 | 47.3 | 23.4 | 20.5 | 8.8 |

注 総数は、実数であり、前回処分なし及び再犯期間不明を除く。

② 粗暴犯

| 年 次 | 総 数 | 6 月未満 | 1 年未満 | 1 年以上 2 年未満 | 2 年以上 |
|-----|-----|-------|-------|----------------|-------|
| 49年 | 337 | 38.6 | 23.1 | 21.1 | 17.2 |
| 50 | 350 | 43.4 | 30.6 | 22.6 | 3.4 |
| 51 | 380 | 41.3 | 25.5 | 21.8 | 11.3 |
| 52 | 391 | 39.1 | 22.3 | 23.8 | 14.8 |
| 53 | 364 | 39.6 | 25.5 | 21.4 | 13.5 |
| 54 | 357 | 38.7 | 23.5 | 22.4 | 15.4 |
| 55 | 436 | 47.5 | 23.9 | 17.7 | 11.0 |
| 56 | 349 | 47.9 | 23.8 | 17.5 | 10.9 |
| 57 | 373 | 50.4 | 23.3 | 16.6 | 9.7 |
| 58 | 406 | 52.5 | 24.6 | 16.7 | 6.2 |
| 59 | 441 | 50.1 | 25.9 | 16.6 | 7.5 |
| 60 | 510 | 48.4 | 23.7 | 19.0 | 8.8 |
| 61 | 463 | 52.3 | 25.3 | 14.9 | 7.6 |
| 62 | 435 | 50.1 | 20.7 | 19.8 | 9.4 |
| 63 | 409 | 42.1 | 25.7 | 18.6 | 13.7 |
| 元 | 381 | 43.6 | 23.6 | 19.9 | 12.9 |
| 2 | 333 | 49.5 | 21.9 | 18.0 | 10.5 |
| 3 | 295 | 45.4 | 23.1 | 20.0 | 11.5 |
| 4 | 253 | 43.9 | 24.5 | 20.9 | 10.7 |
| 5 | 321 | 47.7 | 19.0 | 21.8 | 11.5 |
| 6 | 293 | 39.9 | 24.9 | 20.8 | 14.3 |
| 7 | 263 | 38.4 | 28.9 | 19.4 | 13.3 |
| 8 | 234 | 35.5 | 25.6 | 23.1 | 15.8 |
| 9 | 220 | 45.9 | 25.0 | 19.5 | 9.5 |

注 総数は、実数であり、前回処分なし及び再犯期間不明を除く。

資料 18 反省態度別構成比

(昭和 49 年～平成 9 年)

① 窃盗

| 年 次 | 総 数 | 大いに反省 | 少しは反省 | 無 反 省 |
|-----|-------|-------|-------|-------|
| 49年 | 6,129 | 70.5 | 25.0 | 4.4 |
| 50 | 6,318 | 68.1 | 26.7 | 4.3 |
| 51 | 6,539 | 70.2 | 24.9 | 4.9 |
| 52 | 6,271 | 69.8 | 25.2 | 4.7 |
| 53 | 7,122 | 65.9 | 29.8 | 4.3 |
| 54 | 7,363 | 63.0 | 31.8 | 4.5 |
| 55 | 8,484 | 64.8 | 29.8 | 5.4 |
| 56 | 9,093 | 64.6 | 29.1 | 6.1 |
| 57 | 9,005 | 65.0 | 28.6 | 6.4 |
| 58 | 8,919 | 66.4 | 27.0 | 6.6 |
| 59 | 9,085 | 66.4 | 27.8 | 5.8 |
| 60 | 9,180 | 65.0 | 28.9 | 5.4 |
| 61 | 8,504 | 68.0 | 26.8 | 5.2 |
| 62 | 8,182 | 63.5 | 29.9 | 5.6 |
| 63 | 8,143 | 65.9 | 28.7 | 5.5 |
| 元 | 7,818 | 67.7 | 26.7 | 4.4 |
| 2 | 6,785 | 66.8 | 28.0 | 5.2 |
| 3 | 5,972 | 64.8 | 30.5 | 4.6 |
| 4 | 5,023 | 66.1 | 28.9 | 5.0 |
| 5 | 4,820 | 70.8 | 23.7 | 4.9 |
| 6 | 4,378 | 69.5 | 24.4 | 6.1 |
| 7 | 4,067 | 66.5 | 26.5 | 5.7 |
| 8 | 3,548 | 68.2 | 27.4 | 4.5 |
| 9 | 3,683 | 70.0 | 27.1 | 2.9 |

注 総数は、不明を除く実数である。

② 傷害

| 年 次 | 総 数 | 大いに反省 | 少しは反省 | 無 反 省 |
|-----|-----|-------|-------|-------|
| 49年 | 574 | 58.0 | 33.1 | 8.9 |
| 50 | 578 | 52.8 | 37.9 | 8.3 |
| 51 | 562 | 54.4 | 36.5 | 9.1 |
| 52 | 567 | 48.7 | 42.0 | 9.4 |
| 53 | 577 | 42.8 | 46.8 | 10.4 |
| 54 | 546 | 43.0 | 49.5 | 7.5 |
| 55 | 588 | 45.7 | 42.2 | 12.1 |
| 56 | 753 | 44.4 | 43.8 | 11.8 |
| 57 | 732 | 43.3 | 43.4 | 13.3 |
| 58 | 771 | 41.9 | 43.3 | 14.8 |
| 59 | 767 | 42.5 | 45.1 | 12.4 |
| 60 | 779 | 42.4 | 46.1 | 11.6 |
| 61 | 817 | 39.7 | 46.4 | 14.0 |
| 62 | 709 | 40.5 | 45.0 | 14.2 |
| 63 | 793 | 38.3 | 45.6 | 16.0 |
| 元 | 740 | 45.1 | 41.6 | 12.9 |
| 2 | 615 | 35.0 | 49.8 | 15.3 |
| 3 | 637 | 37.8 | 49.9 | 12.2 |
| 4 | 551 | 38.8 | 47.2 | 14.0 |
| 5 | 571 | 41.5 | 42.0 | 16.3 |
| 6 | 542 | 35.6 | 47.6 | 16.8 |
| 7 | 484 | 38.0 | 44.2 | 15.9 |
| 8 | 480 | 41.0 | 46.3 | 12.7 |
| 9 | 471 | 43.5 | 46.5 | 10.0 |

注 総数は、不明を除く実数である。

少年保護事件の審理及び処分状況

—司法統計年報に基づく調査分析結果—

| | | |
|-------|-----|-----|
| 研 究 官 | 長 島 | 裕 |
| 研究官補 | 横 地 | 環 |
| 研究官補 | 橋 本 | 三保子 |

目 次

| | | |
|-----|---------------------|----|
| 第 1 | 概説 | 55 |
| 1 | 本調査の概要 | 55 |
| 2 | 家庭裁判所における終局処理人員の推移 | 55 |
| 第 2 | 少年保護事件の審理状況 | 56 |
| 1 | 身柄事件 | 56 |
| 2 | 審理期間 | 57 |
| 3 | 付添人選任状況 | 59 |
| 4 | 抗告事件 | 60 |
| 5 | 試験観察 | 61 |
| 第 3 | 少年保護事件の処分状況 | 62 |
| 1 | 少年保護事件の終局処分の状況 | 62 |
| 2 | 年齢層別の処分状況 | 64 |
| 3 | 男女別終局決定の動向 | 64 |
| 4 | 非行名別の処分状況 | 67 |
| (1) | 殺人 | 67 |
| (2) | 強盗 | 68 |
| (3) | 窃盗 | 68 |
| (4) | 傷害 | 69 |
| (5) | 覚せい剤取締法違反 | 69 |
| (6) | 虞犯 | 71 |
| 5 | 不処分及び審判不開始の状況 | 71 |
| (1) | 不処分・審判不開始の理由 | 71 |
| (2) | 非行無しを理由とする不処分・審判不開始 | 73 |
| 第 4 | まとめ | 75 |

第1 概説

1 本調査の概要

本調査報告においては、これまでの少年保護事件の審理及び処分状況を明らかにするため、司法統計年報（少年編）に掲げられた統計数値を集計・分析した結果を取りまとめたものを紹介することとした。

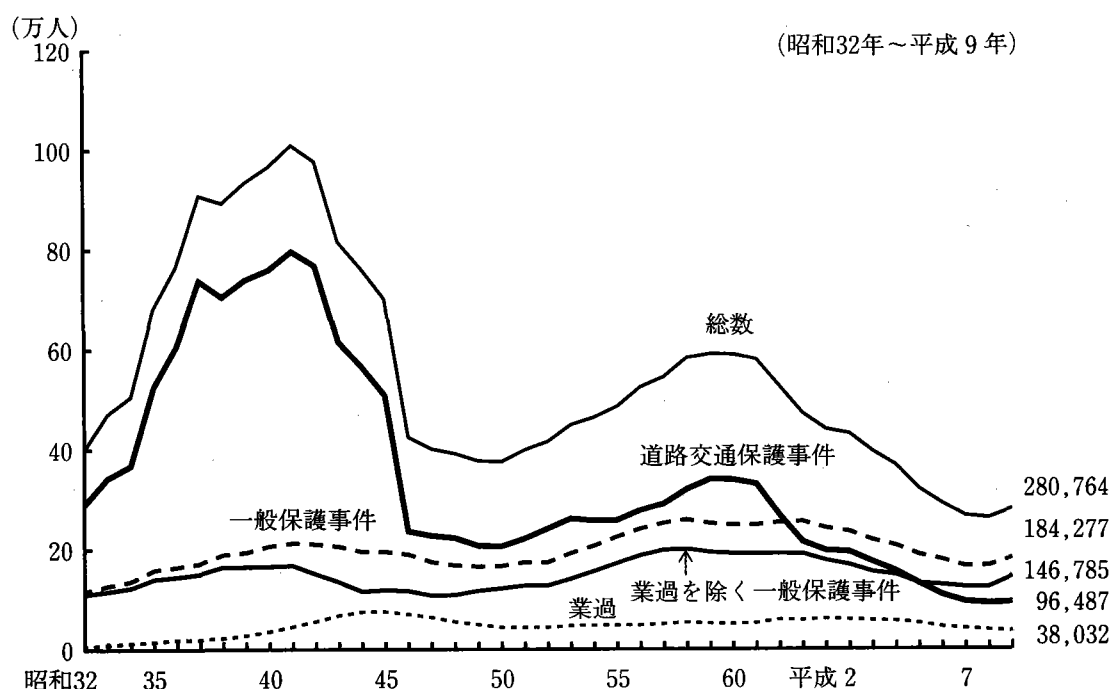
この集計・分析の対象としたのは昭和32年から平成9年までの約40年間であるが、長い期間のうちには集計の基準が変わっているものや、ある年次以降の数値しか明らかにされていないものもあり、さらに、長い年次についての調査・分析の結果のすべてを紹介することにさほどの意味がないと思われることもあり、限られた年次についての紹介にとどめた事項もある。

なお、本報告においては、司法統計にいう「終局総人員」から「移送・回付」及び「従たる事件」の人員を除いたものを「終局処理人員」としている。また、非行名については、司法統計年報の区分に従っており、強盗という場合には強盗致傷、強盗致死及び強盗強姦を含まないし、傷害という場合には傷害致死を含まない。

2 家庭裁判所における終局処理人員の推移

図1は、昭和32年から平成9年までの間について、少年保護事件の終局処理人員の推移を、総数、一般保護事件、業務上（重）過失致死傷（以下「業過」という。）を除く一般保護事件、業過、道路交通保護事件の別に見たものである（各年次の終局処理人員については資料1参照。）。

図1 少年保護事件の終局処理人員



昭和32年から平成9年までの間の少年保護事件の終局処理人員総数については、昭和41年に約101万人の最高値を記録しているが、同年には道路交通保護事件が総数の約79%を占め、一般保護事件（業過を除く）は約17%を、業過は約5%を、それぞれ占めるに過ぎなかった。その後、道路交通保護事件の減少に伴い、少年保護事件総数も減少し、特に46年には前年の約70万人から約43万人へと激減しているが、これは45年の道路交通法の一部改正によって、交通反則通告制度が少年にも適用されることとなり、反則金を納付した少年は家庭裁判所の審判に付されないこととなったことなどによるものと思われる。

昭和51年から、終局処理人員総数は再び増加に転じ、59年には約59万人のピークに達したが、そのうち、道路交通保護事件は50%台を、一般保護事件（業過を除く）は30%台を、業過は10%弱を、それぞれ占めていた。

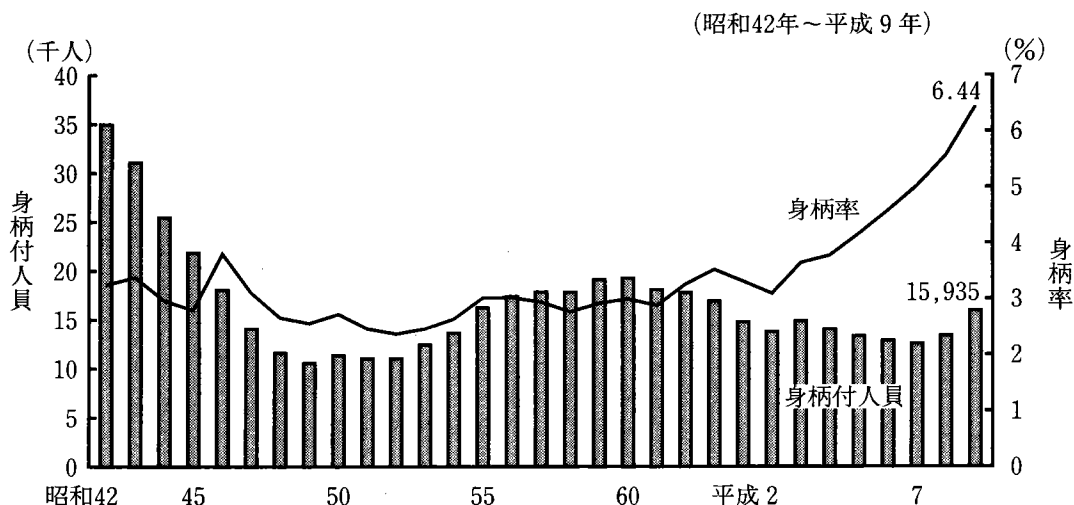
昭和60年以降の終局処理人員は、少年保護事件のいずれの種別人員も減少傾向を示していたが、平成8年及び9年には、業過を除く一般保護事件が増加し、これに伴って終局処理人員総数も増加を示している。

第2 少年保護事件の審理状況

1 身柄事件

図2は、昭和42年から平成9年までの間について、少年保護事件終局決定人員のうちの受理時身柄付人員及び同人員の終局総人員（簡易送致事件に係る人員を除く。）に占める比率（以下、「身柄率」という。）の推移を見たものである（各年次の受理時身柄付人員については資料2参照。）。

図2 受理時身柄付人員及び身柄率



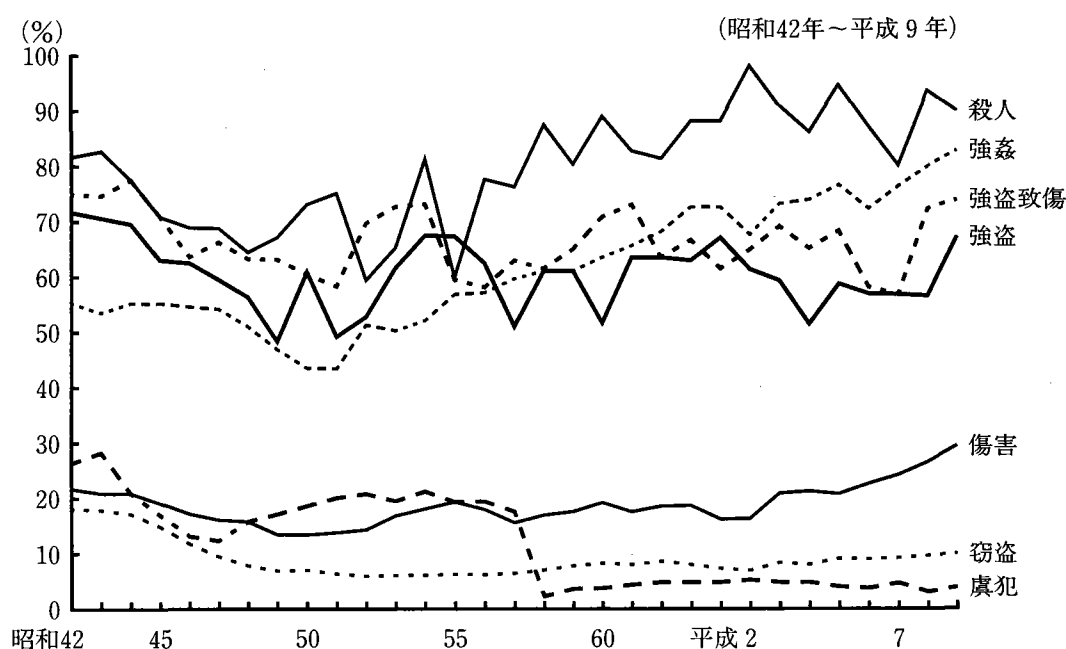
受理時身柄付人員は、昭和42年及び43年には3万人を超えていたが、その後は減少して49年には約1万1,000人となった。その後は増加傾向を示し、60年に約1万9,000人のピークを記録した後は再び減少傾向を示していたが、平成8年及び9年には増加しており、9年は約1万6,000人である。終局総人員についての身柄率は、4年までは2%台から3%台で推移したが、この間の3年から上昇し、9年には6%を超えている。

さらに、昭和42年から平成9年までの間について、身柄率を、主要な非行名別に見たものが図3であ

る（各年次の非行名別受理時身柄付人員については資料3参照。）。

身柄率は、殺人では変動がやや大きいものの、昭和58年以降は一貫して80%台又は90%台である。また、63年以降の10年間は、強盗は50%台から60%台、強盗致傷は50%台から70%台、強姦は60%台から80%台で、それぞれ推移している。これに対し、窃盗は、47年以降、おおむね10%以下であり、また、傷害は、近年は上昇の傾向が認められ、45年から平成2年までの間は10%台であったが、平成3年以降は20%台であり、9年には約30%に達している。ぐ犯は、昭和57年以前は、おおむね10%台から20%台であったが、58年以降は2%台から5%台となっている。

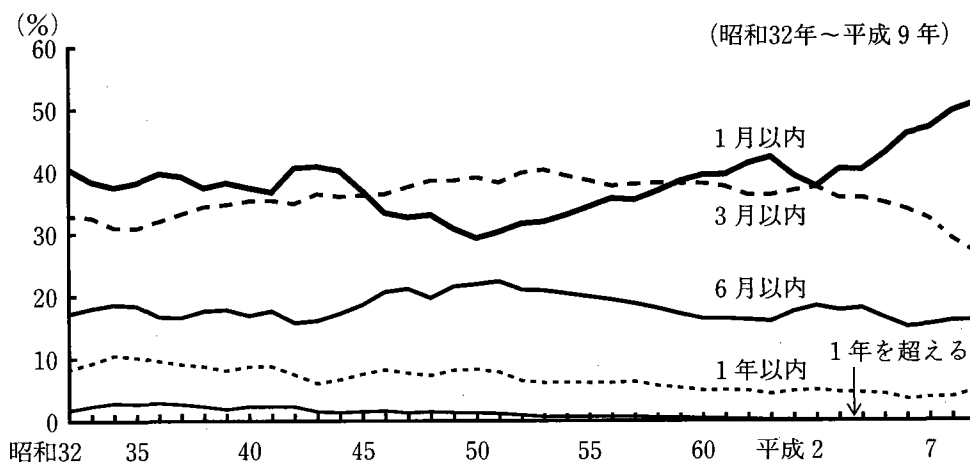
図3 非行名別既済人員総数に占める身柄率



2 審理期間

図4は、昭和32年から平成9年までの間について、一般保護事件終局総人員についての審理期間別構成比の推移を見たものである（各年次の審理期間別人員については資料4参照。）。

図4 一般保護事件の審理期間別構成比



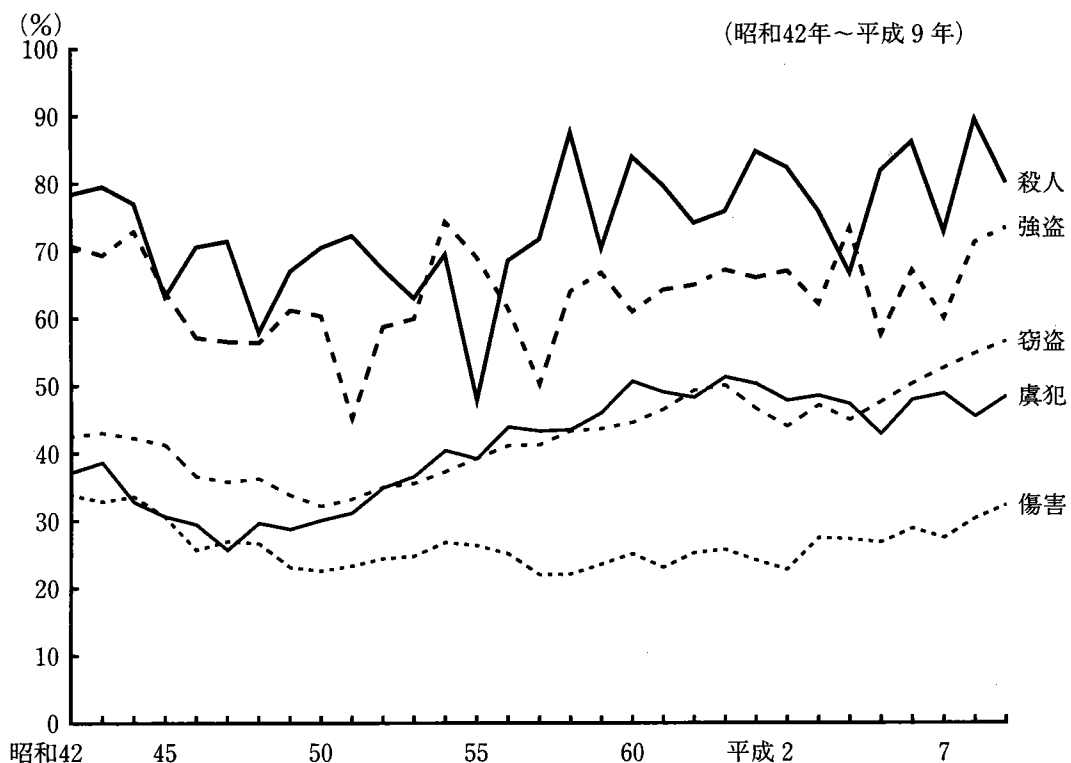
一般保護事件の審理期間を期間別の構成比で見ると、昭和50年代初頭以降、審理期間は短期化する傾

向が見受けられる。

1月以内に審理を終えている人員の終局総人員に占める比率は、昭和50年には約30%であったが、その後はおおむね上昇傾向を示し、平成9年には50%を超えている。1月を超えて3月以内に審理を終えているものは、昭和50年代前半には40%前後であったが、平成8年及び9年には20%台にまで低下している。3月を超えて6月以内に審理を終えているものは、昭和40年代半ばから50年代半ばまでは、おおむね20%を超えていたが、その後はおおむね20%未満で推移している。

図5は、昭和42年から平成9年までの間について、殺人、強盗、傷害、窃盗及び虞犯の別に、1月以内に審理を終えている人員の終局総人員に占める比率の推移を見たものである（各年次の非行名別・審理期間別人員については資料5参照。）。

図5 非行名別の終局総人員に占める審理期間が1月以内の人員の比率



昭和63年以降の10年間については、1月以内に審理を終える人員の終局総人員に占める比率が、殺人では、変動が大きいものの、おおむね70%台から80%台、強盗では、おおむね50%台から70%台となっているのに対し、窃盗及び虞犯では、40%台から50%台、傷害では、20%台から30%台となっており、殺人・強盗等の凶悪事犯が、窃盗、虞犯及び傷害よりも、1月以内に審理を終える人員の占める比率が高くなっている。

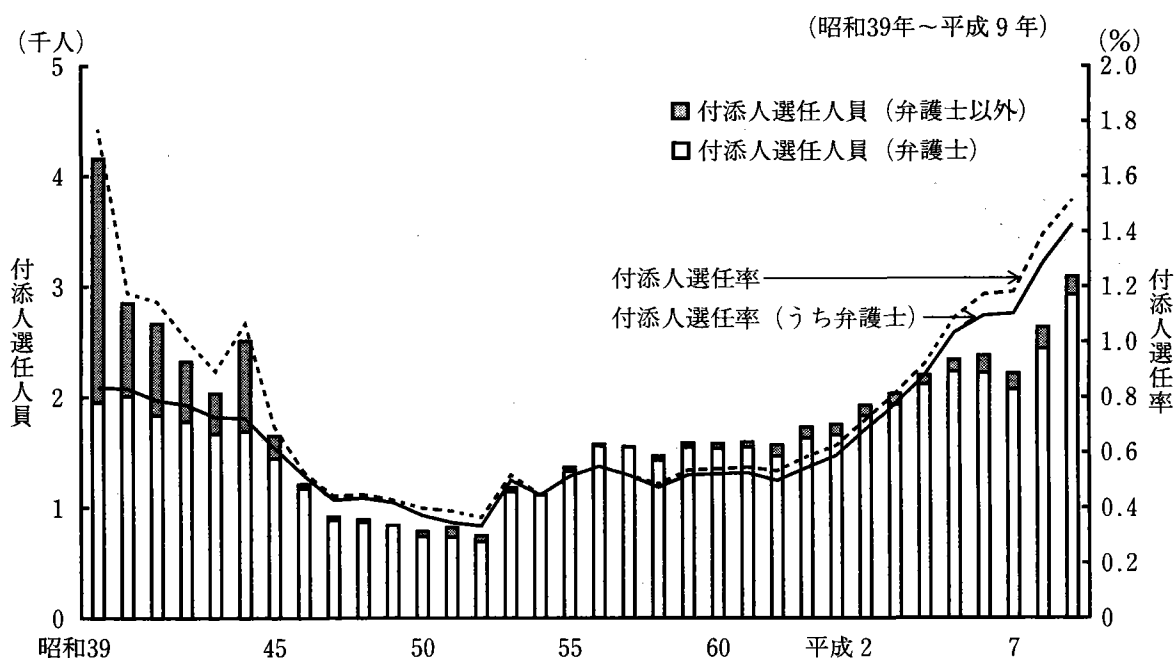
一方、6月を超える長期間の審理を要した人員の比率は、殺人では、昭和50年代以前は多くの年次において5%を超え、20%に達した年次もあったが、63年以降の10年間は10%を超えたことはなく、平成5年以降の4年間は1%台から3%台（人員にして1人か2人）である。強盗については、昭和40年代から50年代初頭にかけては10%を超える年次も多かったが、63年以降の10年間はおおむね5%台から8%台で推移している。また、虞犯については、審理に長期間を要する人員の比率が高く、6月を超える審理期間に係るものは、平成元年以降、16%台から18%台の間を推移している。

3 付添人選任状況

少年保護事件において、少年及び保護者は、家庭裁判所の許可を受けて付添人を選任することができるが、弁護士を付添人に選任するにはこの許可を必要としない。また、保護者は、家庭裁判所の許可を受けて自ら付添人となることができることとされている。

図6は、昭和39年から平成9年までの間について、一般保護事件終局総人員のうちで付添人の選任がなされた人員（以下、「付添人選任人員」という。）及びこの人員の終局総人員に占める比率（同じく「付添人選任率」という。）の推移を、付添人が弁護士である場合と弁護士ではない場合について見たものである（各年次の付添人選任人員等については資料6参照。）。

図6 一般保護事件終局総人員中の付添人選任人員及び付添人選任率

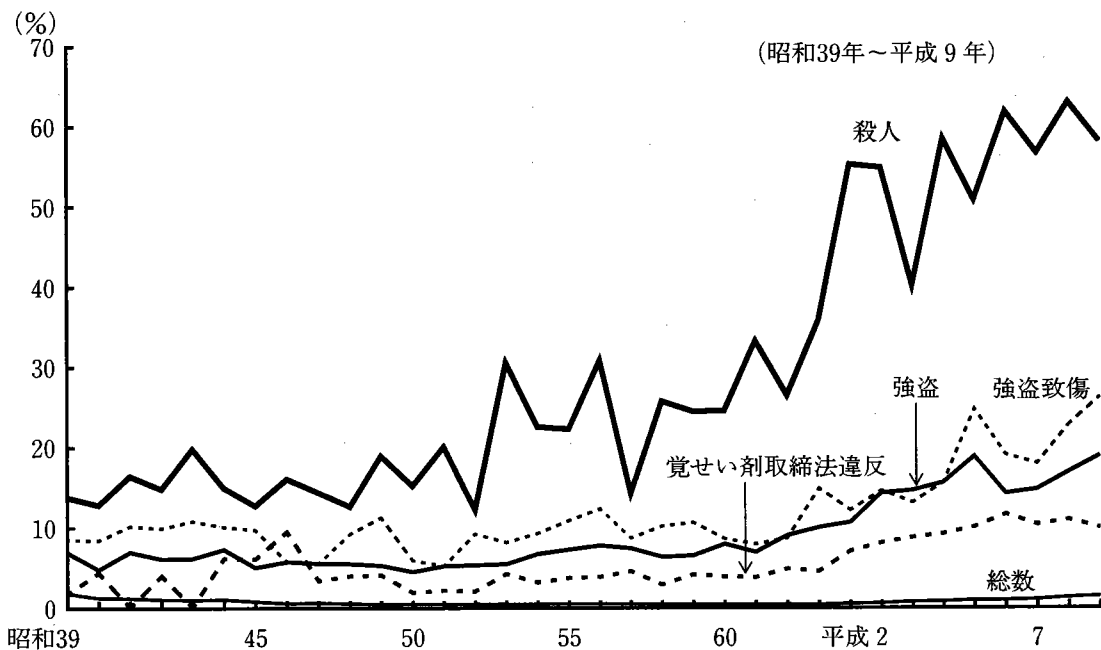


付添人選任人員及び付添人選任率は昭和52年を底に増加・上昇傾向が顕著である。同年の付添人選任人員は755人であったが、平成9年における同人員は3,139人に達している。また、昭和53年の付添人選任率は0.3%台であったが、平成9年には1.5%を超えている。なお、昭和30年代末から40年代前半にかけても、付添人選任人員は多かったものの、当時と比べると、近年は、弁護士が付添人として選任される比率が高くなっている。

さらに、付添人選任率の推移を、殺人等の主要な罪名別（なお、これらの罪名は、殺人を除いては、平成9年において、罪名別の終局処理人員が300人を超え、かつ、総数中に占める付添人の選任があるものの比率が比較的高いものを選択している。）に見たものが図7である（各年次の非行名別付添人選任人員については資料7参照。）。

殺人、強盗、強盗致傷及び覚せい剤取締法違反のいずれも、昭和60年前後から付添人選任率が上昇し、一般保護事件全体の付添人選任率よりもはるかに高い数値で推移している。平成5年以降の5年間の付添人選任率は、殺人では50%台から60%台、強盗致傷では10%台から20%台、強盗では10%台、覚せい剤取締法違反ではおおむね10%台である。

図7 非行名別一般保護事件終局総人員中の付添人選任率



4 抗告事件

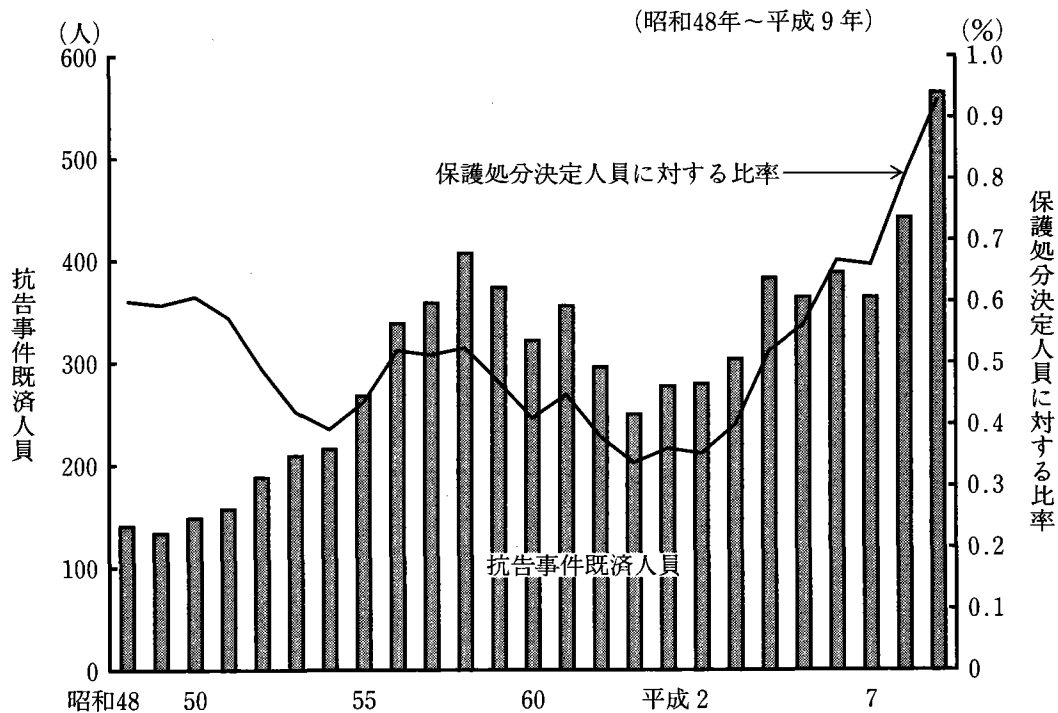
家庭裁判所における保護処分決定に対しては、決定に影響を及ぼす法令の違反、重大な事実の誤認又は処分の著しい不当を理由とするときに限り、少年、その法定代理人又は付添人から抗告することができる。ただし、付添人は、選任者である保護者の明示した意思に反して、抗告することはできないこととされている。

図8は、昭和48年から平成9年までの間について、保護処分決定人員に対する抗告事件の既済人員及び保護処分決定人員総数に対する抗告事件既済人員の比率の推移を見たものである（各年次の抗告既済人員については資料8参照。）。

抗告事件既済人員は、昭和58年をピークに減少傾向にあったが、その後、63年の254人を底に平成元年以降は増加傾向を示し、8年には400人を、9年には500人を、それぞれ超えている。

抗告事件既済人員の保護処分決定人員に対する比率も、昭和63年には0.3%であったが、平成3年以降、顕著な上昇傾向を示し、9年には0.9%に達している。

図8 抗告事件既済人員及び同人員の保護処分決定人員に対する比率

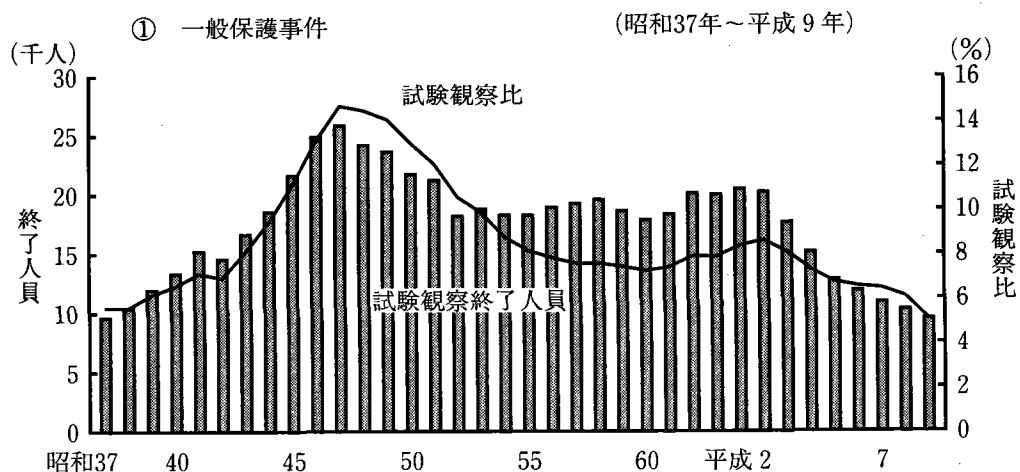


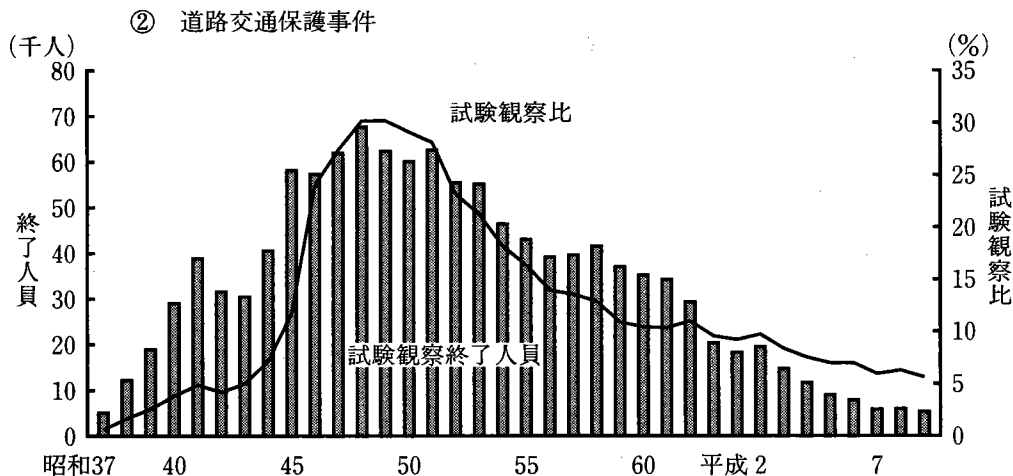
5 試験観察

家庭裁判所は、保護処分を決定するため必要があると認めるときは、家庭裁判所調査官に少年を直接観察させる試験観察に付することができることとされている。

図9は、昭和37年から平成9年までの間における試験観察終了人員及び終局処理人員に対する試験観察終了人員の比率（以下、「試験観察比」という。）の推移を、一般保護事件、道路交通保護事件の別に見たものである（各年次の試験観察人員については資料9参照。）。

図9 試験観察終了人員及び試験観察比





一般保護事件の試験観察終了人員は、昭和30年代から40年代前半にかけて増加し、40年代半ばから50年代初頭までの間は2万人を超え、試験観察比も10%台を示したが、53年以降は減少・低下し、平成9年は約9,500人、約5%となっている。

道路交通保護事件の試験観察終了人員は、昭和30年代後半から増加傾向を示し、47年から51年までの間は6万人を超え、試験観察比が30%に達する年次も認められたが、交通短期保護観察が導入された52年以降は減少・低下傾向を示し、平成9年には約5,400人、約6%となっている。

第3 少年保護事件の処分状況

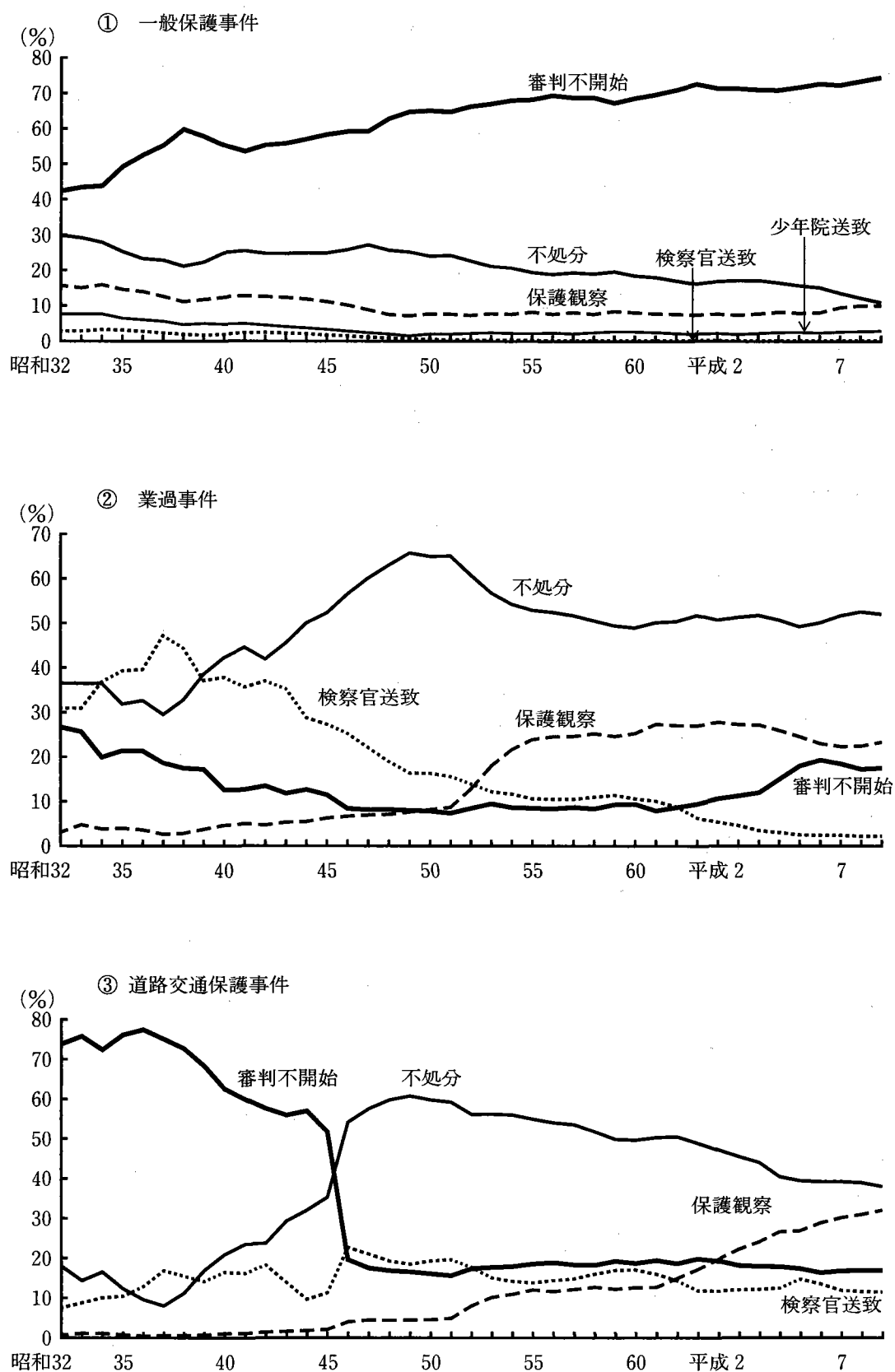
1 少年保護事件の終局処分の状況

図10は、昭和32年から平成9年までの間について、少年保護事件において終局処分人員の比較的多い審判不開始、不処分、保護観察、少年院送致及び検察官送致（以下、これらを「主な処分」という。）の終局処理人員総数に占める比率の推移を、業過を除く一般保護事件（以下、特に断りのない限り「一般保護事件」という。）、業過及び道路交通保護事件別に見たものである（各年次の少年保護事件種類別の主な処分別人員については資料10参照。）。

一般保護事件においては、例年、多数が審判不開始とされている上、この構成比には上昇傾向が認められ、昭和30年代前半には40%台であったものの、近年は70%を超えており、平成9年は約75%である。これに対し、検察官送致、少年院送致、保護観察及び不処分は、いずれもおおむね長期的には低下傾向を示しており、昭和63年以降の10年間は、検察官送致が0.2%から0.4%、少年院送致が2%から3%、保護観察が7%台から10%台、不処分が11%台から17%台の間で推移している。なお、保護観察に関しては、平成6年9月に短期保護観察制度が導入され、7年以降はこの構成比が上昇しており、8年及び9年は約10%である。

図10 少年保護事件種類別の処分別構成比

(昭和32年～平成9年)



業過事件においては、昭和30年代半ばには検察官送致の構成比が最も高く、30%台後半から40%台後半で推移していたが、その後は長期的に下降し、平成5年以降の5年間は2%台となっている。これに対し、昭和39年以降、検察官送致に替わって最も高い比率を占めているのが不処分であり、40年代後半から50年代前半にかけては60%台に達していたが、50年代半ば以降はおおむね50%前後となっている。保護観察は、昭和51年以前には10%未満であったが、交通短期保護観察制度が導入された52年以降急激に上昇し、54年以降は20%台で推移している。少年院送致は0.3%以下と一貫して低く、審判不開始については、平成5年以降の5年間は17%台から19%台の間で推移している。

道路交通保護事件においては、交通反則通告制度が少年にも適用されることとなった昭和45年を境に、審判不開始の構成比が大きく下降する一方、不処分の構成比が上昇している。その後、不処分は49年には60%台に達したものの、50年代以降は下降傾向を示し、平成5年以降の5年間は37%台から39%台である。保護観察は、交通短期保護観察が導入された昭和52年には前年の約5%から約8%へと上昇し、54年には10%台に、平成2年には20%台に、それぞれ達した上、8年及び9年は30%台となっている。一方、昭和63年以降の10年間、審判不開始は16%台から19%台の間で、検察官送致は11%台から13%台の間で、少年院送致は0.1%から0.5%の間で、それぞれ推移している。

2 年齢層別の処分状況

図11は、昭和42年から平成9年までの間について、一般保護事件（ここでは、昭和43年までは業過を、44年以降は車両運転による業過を除く。）の年齢層別（いずれも、行為時年齢による。）の終局処理人員総数（行為時年齢が14歳未満の者は含まれていない。）及び主な処分別の構成比の推移を見たものである（各年次の年齢層別・処分別人員については資料11参照。）。

いずれの年齢層においても、審判不開始の構成比が最も高く、不処分の構成比がおおむねこれに次いでいるが、短期保護観察制度が導入された翌年の平成7年以降は保護観察の構成比が上昇しており、特に年長少年については、保護観察の構成比が不処分の構成比を上回っている。また、年齢層が高くなるに従って審判不開始の比率が低くなる一方、保護処分（少年院送致及び保護観察）の比率が高くなっている。

年長少年について、昭和63年以降の10年間の主な処分別構成比を見ると、審判不開始は40%台で、保護観察は18%から27%の間で、不処分は17%から26%の間で、少年院送致は7%から11%の間で、検察官送致は1%から3%の間で、それぞれ推移している。

中間少年について、同じく10年間の主な処分別構成比を見ると、審判不開始は50%台から60%台で、不処分はおおむね20%台で、保護観察は10%台で、少年院送致は3%から6%の間で、検察官送致は0.2%未満で、それぞれ推移している。

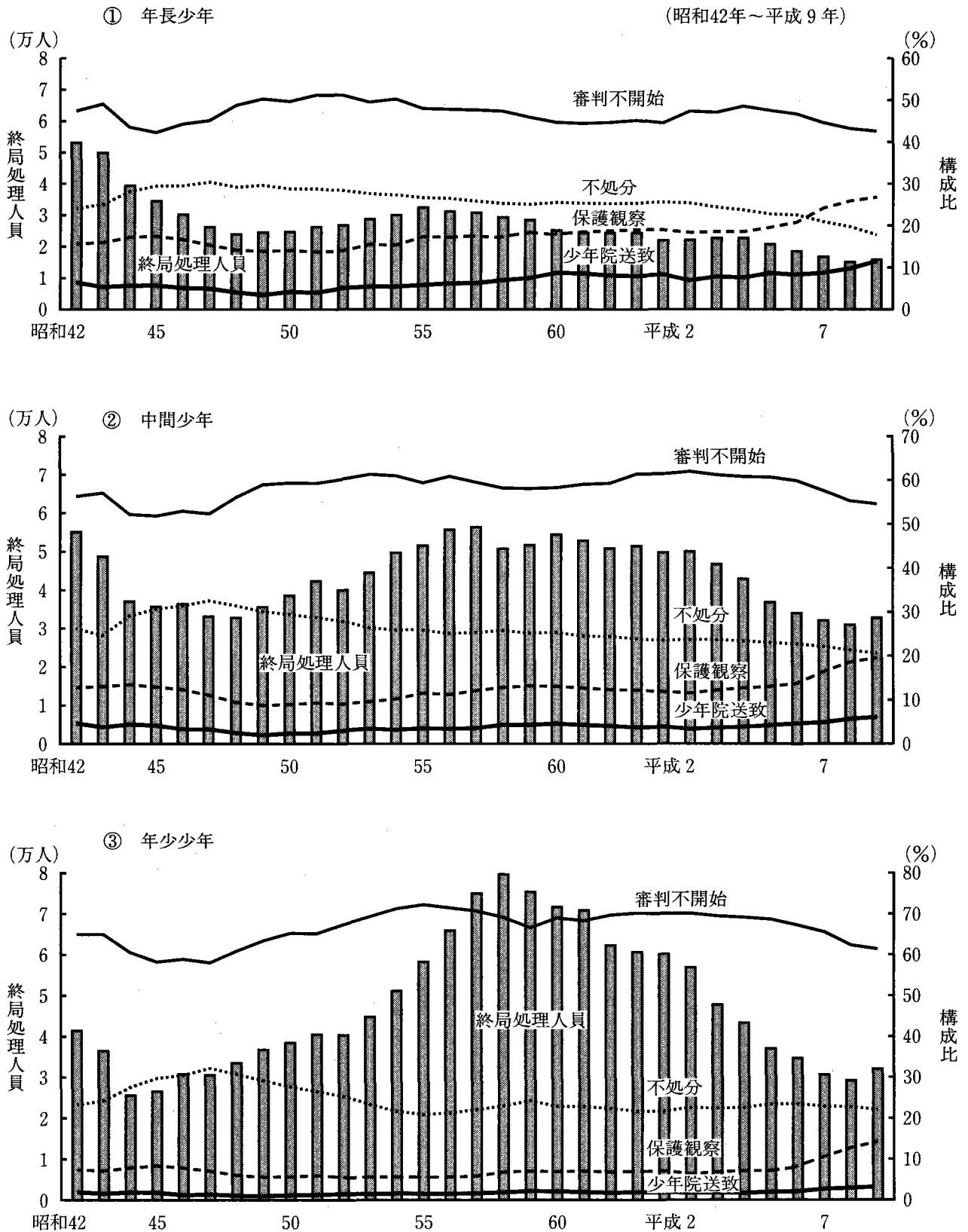
年少少年について、同じく10年間の主な処分別構成比を見ると、審判不開始は60%台で、不処分は20%台で、保護観察は6%から14%の間で、少年院送致は1%から3%の間で、それぞれ推移している。

3 男女別終局決定の動向

図12は、昭和32年から平成9年までの間の一般保護事件について、男女別の終局処理人員総数及び主な処分別構成比の推移を見たものである（各年次の男女別の主な処分別人員については資料12参照。）。

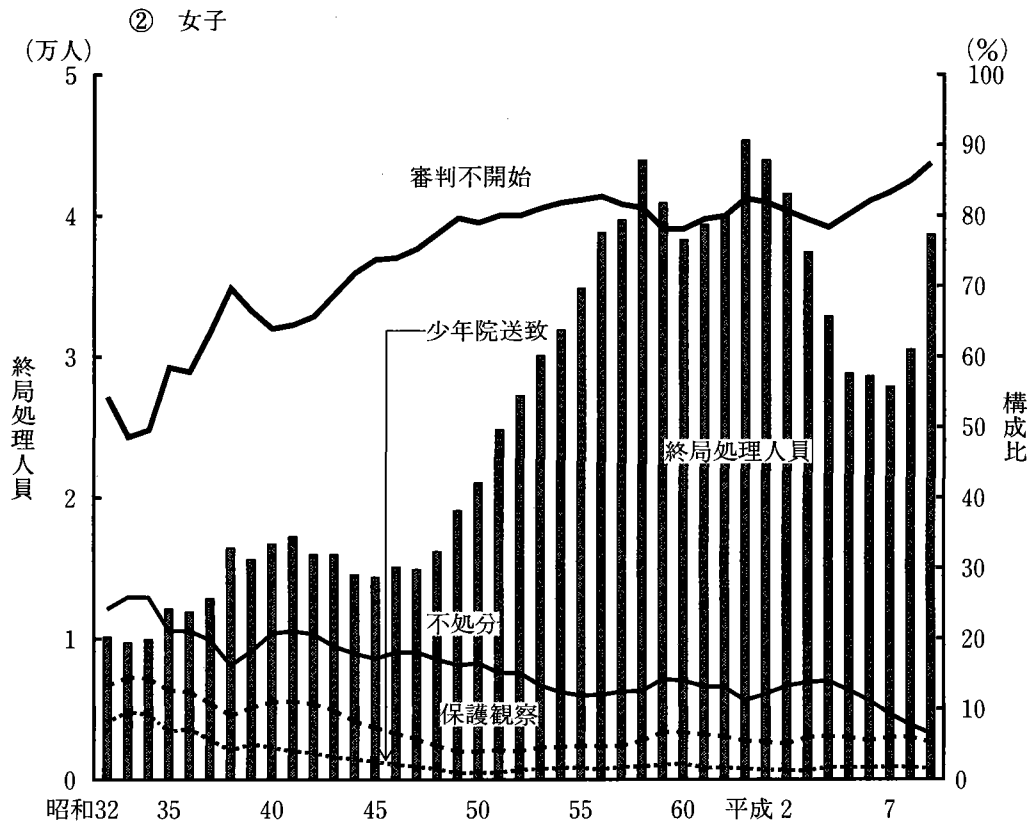
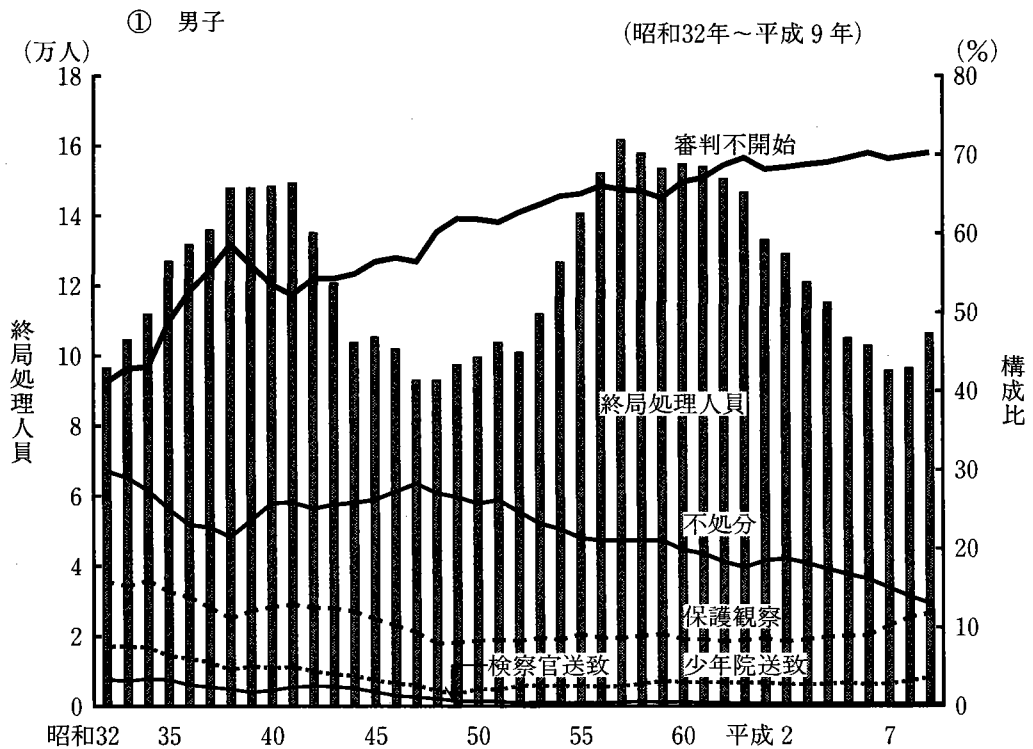
終局処理人員総数を見ると、男子では昭和41年と57年をピークとする波が、また、女子では58年及び63年をピークとする波が見られるが、女子については平成9年における増加が著しい。さらに、主な処分別人員の構成比の推移を見ると、審判不開始の構成比は女子が男子よりも高いが、その他の終局決定の構成比は男子が女子よりも高くなっている。

図11 年齢層別一般保護事件終局処理人員及び処分別構成比



- 注 1 「非行無し」による不処分及び審判不開始を除く。
 2 昭和44年以降は、「所在不明等」・「その他」による不処分・審判不開始及び年齢超過による検察官送致を含まない。
 3 検察官送致は図示していない。

図12 男女別一般保護事件終局処理人員及び処分別構成比



注 女子の検察官送致は図示していない。

男子の主な処分別構成比は、昭和63年以降の10年間については、審判不開始は70%台で、不処分は11%から18%の間で、保護観察は7%から11%の間で、少年院送致は2%から4%の間で、検察官送致は0.4%未満で、それぞれ推移している。

女子の主な処分別構成比は、昭和63年以降の10年間については、審判不開始は70%台から80%台で、不処分は5%から14%の間で、保護観察は4%から6%の間で、少年院送致は1%台で、検察官送致はおおむね0.1%未満で、それぞれ推移している。

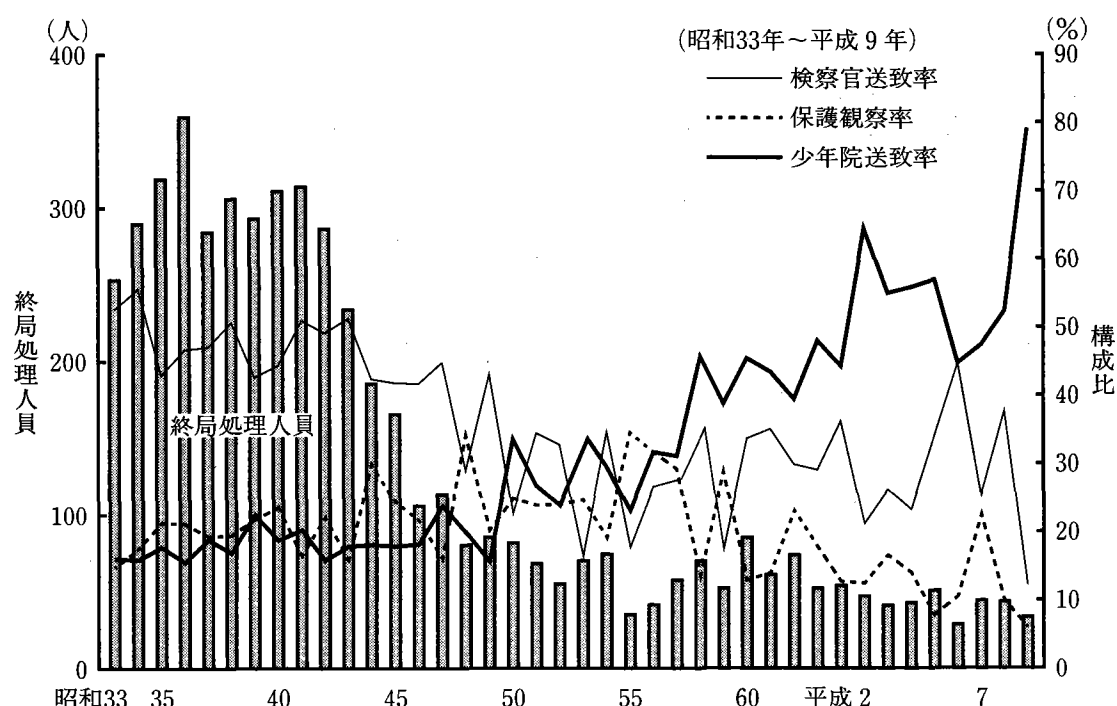
4 非行名別の処分状況

(1) 殺人

図13は、昭和33年から平成9年までの間について、殺人の終局処理人員総数（行為時年齢が14歳未満の者は含まれていない。）並びに検察官送致、少年院送致及び保護観察の各処分の構成比の推移を示したものである（各年次の殺人の処分別人員については資料13参照。）。

殺人の検察官送致の構成比は、昭和40年代まではおおむね40%を超え、50年代前半まではほとんどの年次において他の処分の構成比よりも高かったが、その後低下して、50年代後半以降、おおむね20%台から30%台で推移し、ほとんどの年次において少年院送致の構成比よりも低くなっている。平成9年の検察官送致の構成比は約12%（4人）である。これに対し、少年院送致の構成比は、昭和40年代以前はおおむね10%台であったものが、50年代半ばから上昇し、50年代末からはおおむね40%台から50%台となっている上、平成9年には80%近く（26人）に達している。保護観察の構成比は、おおむね10%台から20%台で推移しているが、9年は約6%（2人）である。

図13 殺人の終局処理人員及び処分別構成比



注 1 図11の注1・2に同じ。

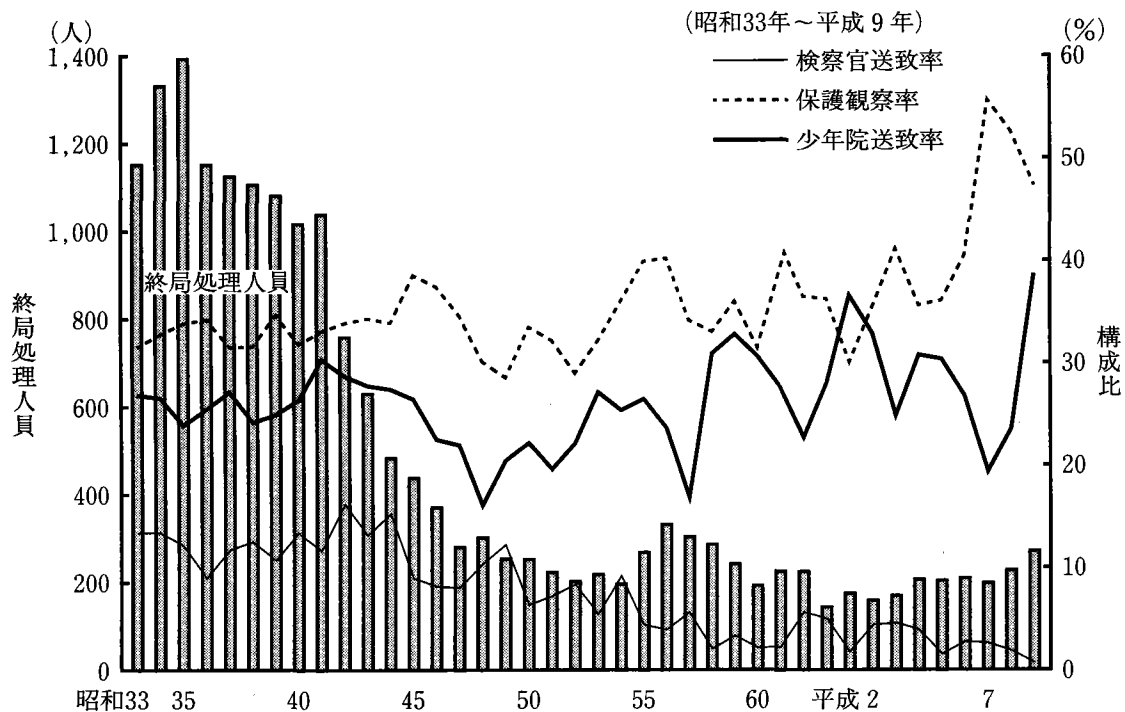
2 不処分及び審判不開始については図示していない。

(2) 強盗

図14は、昭和33年から平成9年までの間について、強盗の終局処理人員総数（行為時年齢が14歳未満の者は含まれていない。）並びに検察官送致、少年院送致及び保護観察の各処分の構成比の推移を示したものである（各年次の強盗の処分別人員については資料14参照。）。

この40年間では保護観察の構成比が最も高い年次が多く、おおむね30%台から40%台で推移していたが、平成7年及び8年には50%を超えている。少年院送致の構成比は、おおむね20%台から30%台で推移している。検察官送致の構成比は、長期的には低下傾向を示しており、40年代前半までは、おおむね10%台であったが、50年以降は一貫して10%未満であり、平成5年以降は3%未満である。

図14 強盗の終局処理人員及び処分別構成比



注 1 図11の注1・2に同じ。

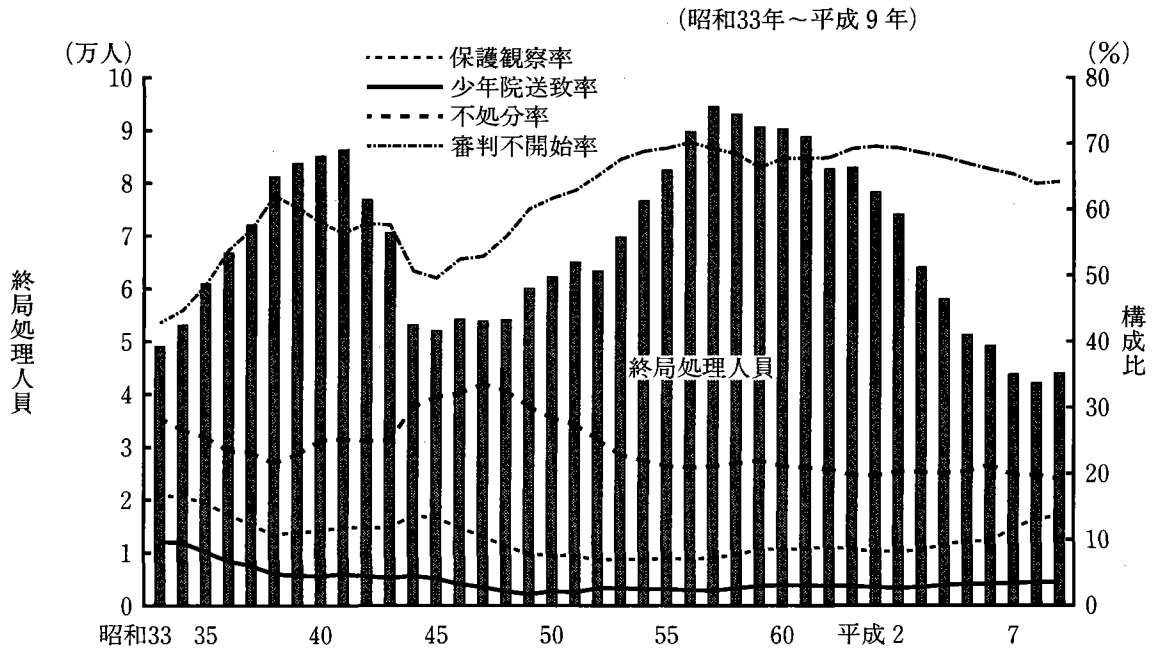
2 不処分及び審判不開始については図示していない。

(3) 窃盗

図15は、昭和33年から平成9年までの間について、窃盗の終局処理人員総数（行為時年齢が14歳未満の者は含まれていない。）並びに少年院送致、保護観察、不処分及び審判不開始の各処分の構成比の推移を示したものである（各年次の窃盗の処分別人員については資料15参照。）。

窃盗の処分別人員については、この約40年間一貫して、高い順に、審判不開始、不処分、保護観察、少年院送致、検察官送致となっており、審判不開始は昭和50年代初めから60%台で、不処分は50年代半ばから20%の前後で、それぞれ推移している。保護観察は、40年代末から平成6年までの間は10%未満であったが、7年以降は10%を超えている。昭和50年代前半以降、少年院送致は2%から4%の間で、検察官送致は0.1%又は0.2%で、それぞれ推移している。

図15 窃盗の終局処理人員及び処分別構成比



- 注 1 図11の注1・2に同じ。
2 検察官送致は図示していない。

(4) 傷害

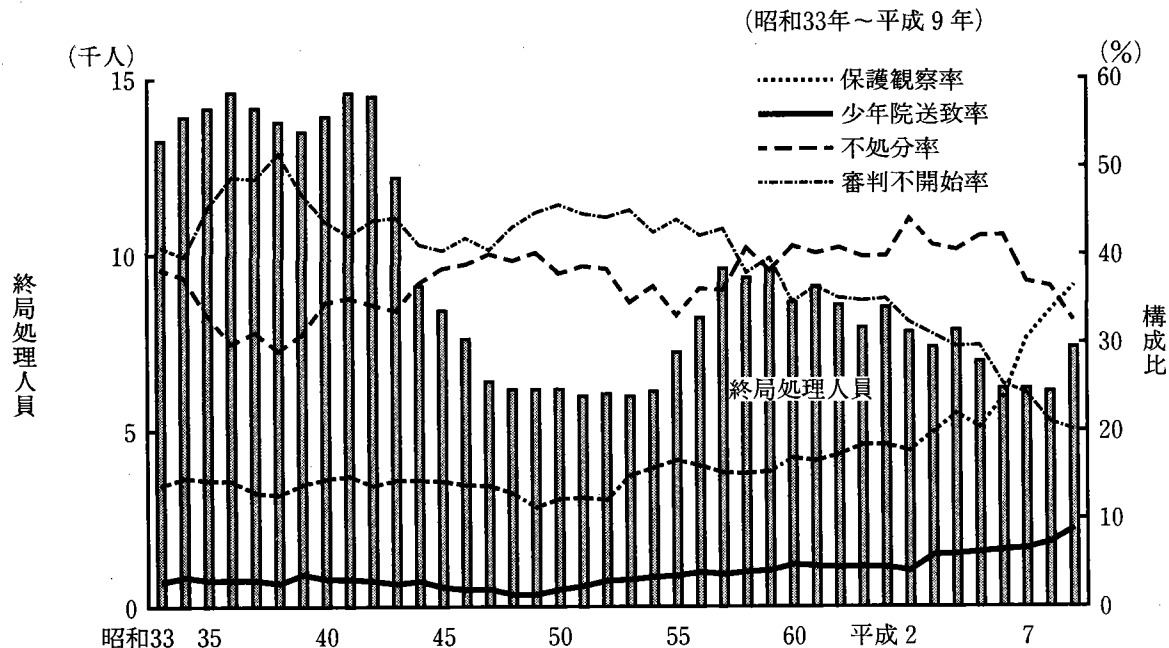
図16は、昭和33年から平成9年までの間について、傷害の終局処理人員総数（行為時年齢が14歳未満の者は含まれていない。）並びに少年院送致、保護観察、不処分及び審判不開始の構成比の推移を示したものである（各年次の傷害の処分別人員については資料16参照。）。

傷害の処分別構成比については、昭和50年代後半までは審判不開始が最も高く、おおむね40%前後で推移していたが、その後は低下傾向を示し続け、平成4年以降は20%台である。昭和50年代末から構成比が最も高くなった不処分は、この約40年間、おおむね30%台から40%台で推移している。保護観察は、50年代末から上昇傾向を示し、特に平成3年までは10%台であったものが、7年以降は30%台に達している。少年院送致も、昭和50年代初めには2%台であったが、平成4年以降は6%台、8年には7%台となり、9年には約9%に達している。検察官送致は40年代までは4%台の年次もあったが、平成4年以降は1%未満である。

(5) 覚せい剤取締法違反

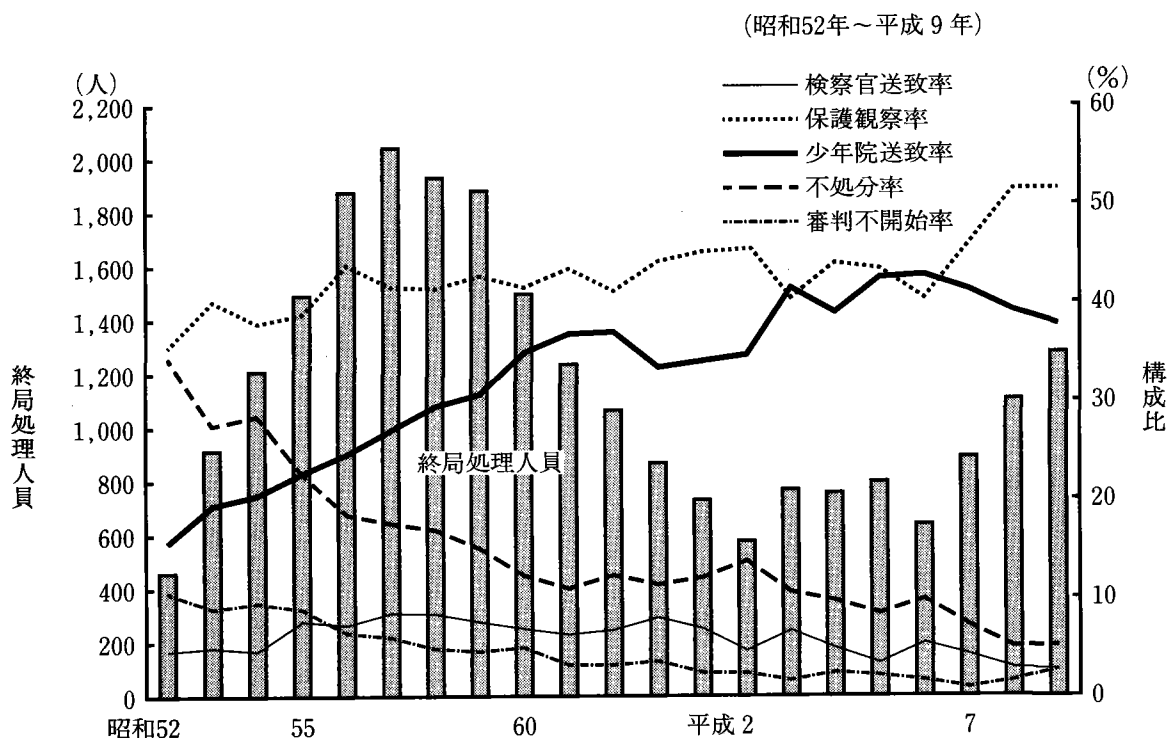
図17は、昭和52年から平成9年までの間について、覚せい剤取締法違反の終局処理人員総数（行為時年齢が14歳未満の者は含まれていない。）及び主な処分の構成比の推移を見たものである（各年次の覚せい剤取締法違反の処分別人員については資料17参照。）。

図16 傷害の終局処理人員及び処分別構成比



注 1 図11の注1・2に同じ。
2 検察官送致は図示していない。

図17 覚せい剤取締法違反の終局処理人員及び処分別構成比



注 図11の注1・2に同じ。

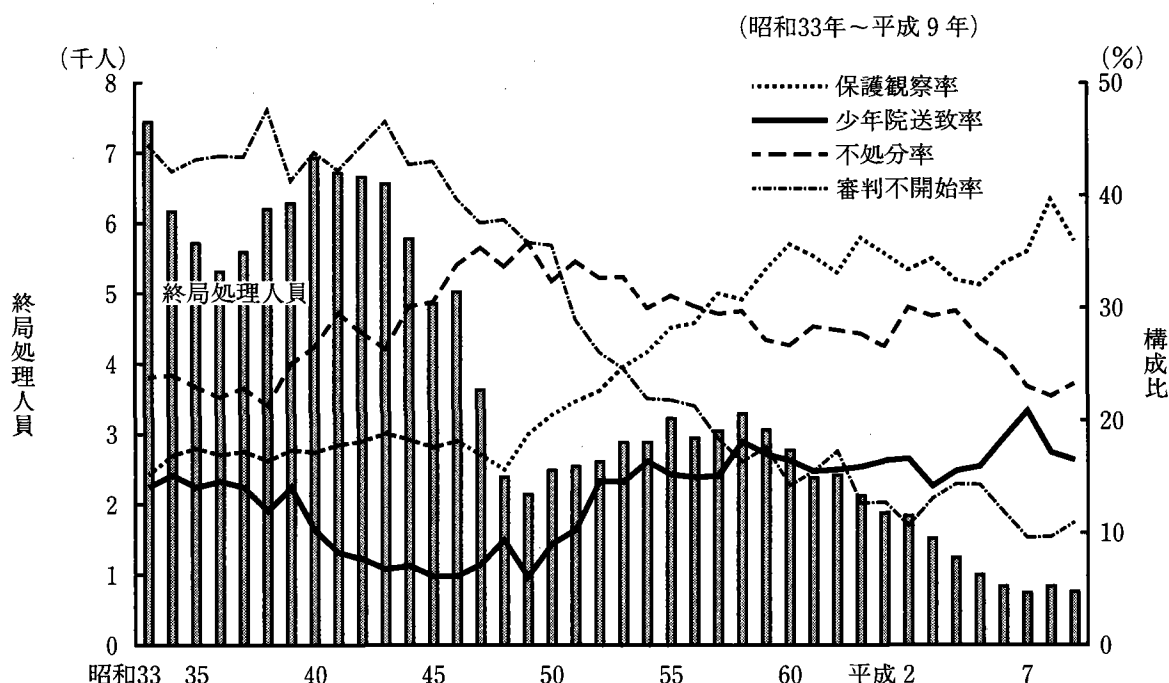
覚せい剤取締法違反の処分別構成比については、ほとんどの年次において、保護観察が最も高く、昭和56年以降は40%台で推移していたが、平成8年及び9年には50%を超えている。少年院送致の構成比は、長期的には上昇傾向にあり、昭和52年には約16%であったものが59年に30%台となり、さらに平成3年以降は、40%の前後で推移している。検察官送致の構成比は、昭和50年代後半には8%台であったが、その後は下降傾向を示しており、平成8年及び9年は2%台である。不処分の構成比は4年以降は10%未満であり、審判不開始の構成比は元年以降、おおむね1%台又は2%台である。

(6) 虞犯

図18は、昭和33年から平成9年までの間について、虞犯の終局処理人員総数（行為時年齢が14歳未満の者は含まれていない。）並びに少年院送致、保護観察、不処分及び審判不開始の各処分の構成比の推移を示したものである（各年次の虞犯の処分別人員については資料18参照。）。

虞犯の処分別構成比については、昭和50年代後半からは保護観察が最も高く、58年以降は30%台で推移している。これに対して、不処分及び不開始の構成比は低下傾向を示しており、50年代初めには、いずれも30%台であったものが、50年代半ば以降、不処分はおおむね20%台、審判不開始はおおむね10%台である。また、少年院送致の比率は、50年代初め以降、おおむね10%台である。

図18 虞犯の終局処理人員及び主な処分別構成比



注 昭和44年以降は、「所在不明等」・「その他」による不処分・審判不開始を含まない。

5 不処分及び審判不開始の状況

(1) 不処分・審判不開始の理由

少年保護事件においては、不処分及び審判不開始とされる人員が相当数を占めているが、昭和42年から平成9年までの間について、業過を含む一般保護事件の不処分の理由（保護的措置（調査・審判の過程で、家庭裁判所調査官・裁判官により教育的・保護的措置がとられた場合）、別件保護中及びその他（非行無し、所在不明等））別人員の推移を見たのが図19であり、審判不開始の理由（保護的措置、別件保護

中、事案軽微及びその他（非行無し、所在不明等）別人員の推移を見たのが図20である（各年次の不処分及び審判不開始の理由別人員については資料19～20参照。）。

図19 不処分の理由別人員

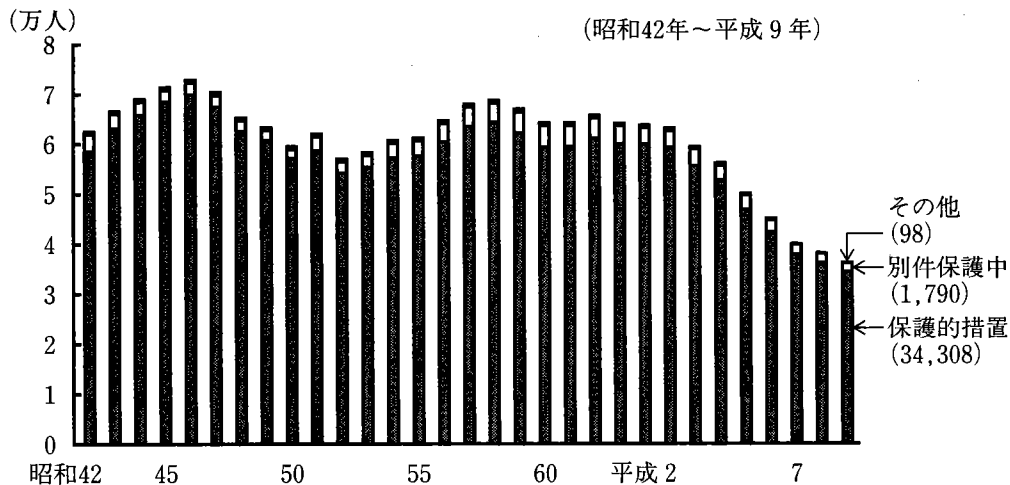
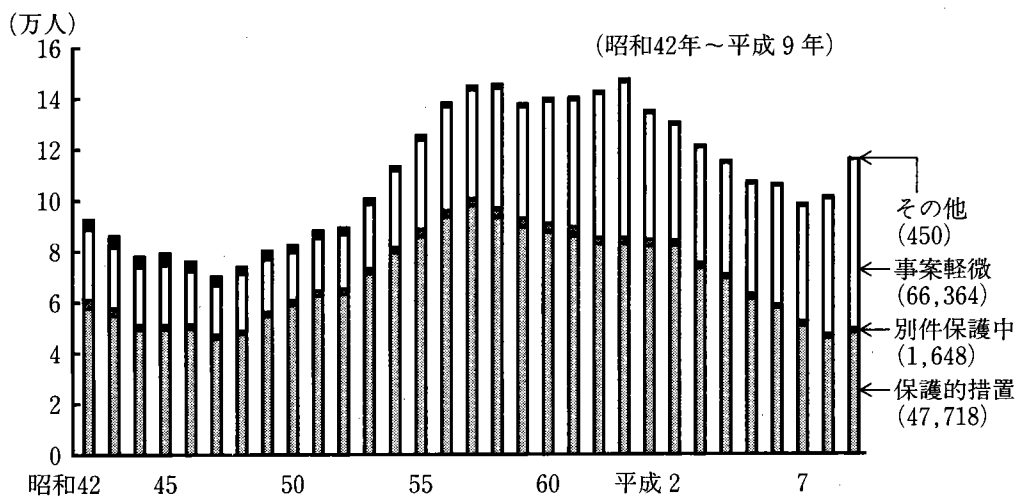


図20 審判不開始の理由別人員



不処分については、毎年、保護的措置を理由とするものが不処分人員総数の90%以上を占めており、別件保護中を理由とするものが同じく2%から8%の間で推移しており、非行無しを理由とするものは毎年1%に満たない。

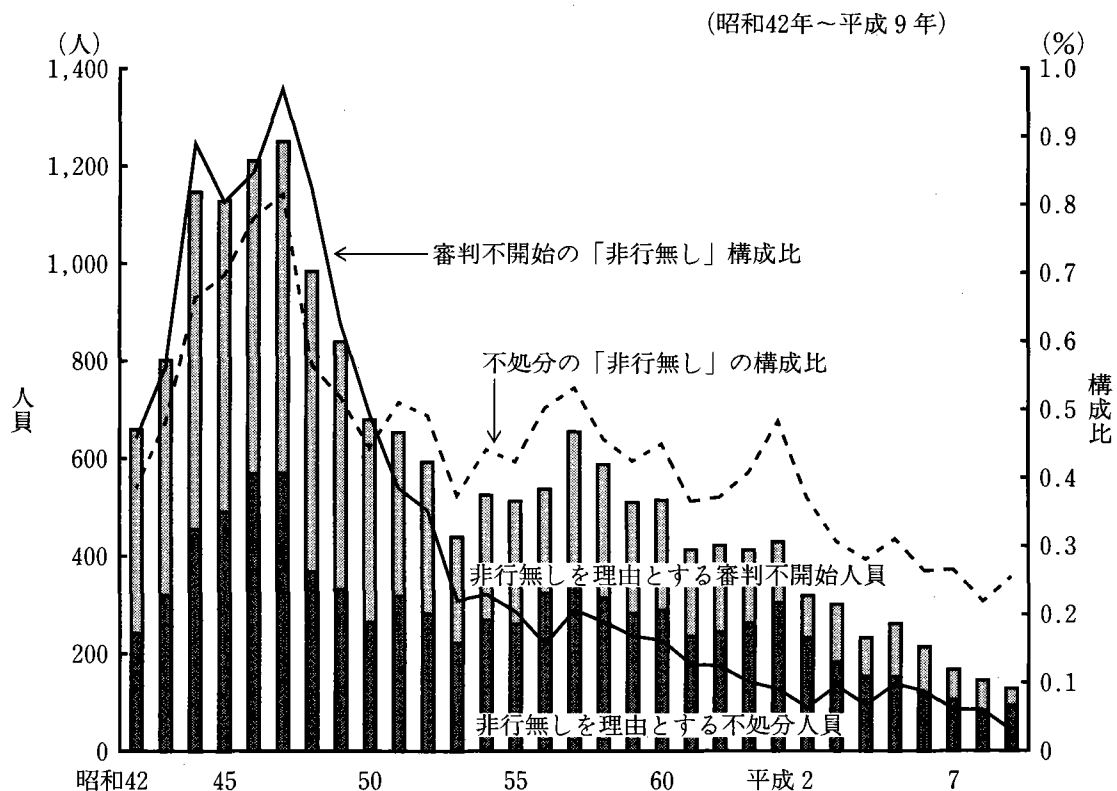
審判不開始については、保護的措置を理由とするものが多く、昭和50年代前半には審判不開始人員総数のうち70%を超える構成比を占めていたが、その後は下降傾向を示し、平成8年及び9年には40%台となっている。また、事案軽微を理由とするものは、昭和50年代半ばまではおおむね20%台であった

が、その後は上昇傾向を示しており、平成8年及び9年は50%台であり、保護的措置を上回っている。別件保護中を理由とするものは、昭和42年及び43年には約4%であったが、平成5年以降の5年間は1%台である。非行無しを理由とするものは、毎年1%に満たない。

(2) 非行無しを理由とする不処分・審判不開始

不処分又は審判不開始の人員総数に占める理由別処分人員の比率は高くないが、非行無しを理由として不処分及び審判不開始とされた人員並びにその構成比の推移を、昭和42年から平成9年までの間について見たのが図21である（各年次の不処分及び審判不開始の人員については資料21参照。）。

図21 非行無しを理由とする不処分・審判不開始人員及び構成比



昭和40年代半ばには、非行無しの理由による不処分人員は500人を、同理由による審判不開始人員は600人を、それぞれ超えていたが、その後、長期的には、非行無しを理由とする不処分・審判不開始の人員・構成比共に減少・低下傾向を示しており、平成8年及び9年の同人員は、不処分及び審判不開始のいずれも100人未満である。

なお、一般保護事件の終局総人員に占める非行無しを理由とする不処分及び審判不開始の合計人員の比率は、近年は0.1%に満たないが、昭和44年から49年の間は0.4%を超えており、特に47年には0.6%に達していた。

図22は、総数並びに非行無しを理由とする不処分・審判不開始人員が比較的多い窃盗、傷害及び業過（車両運転）について、昭和44年から平成9年までの間に、非行無しを理由として不処分又は審判不開始とされた人員の不処分及び審判不開始の合計人員中に占める比率の推移を見たものである（各年次の非行名別の非行無しを理由とする不処分・審判不開始人員については資料22参照。）。

平成5年以降の5年間については、総数は0.2%未満を、窃盗は0.03%から0.06%の間を、傷害は

0.4%未満を、業過（車両運転）は0.1%から0.4%の間を、それぞれ推移している。

図22 非行名別の非行無しを理由とする不処分・審判不開始の比率

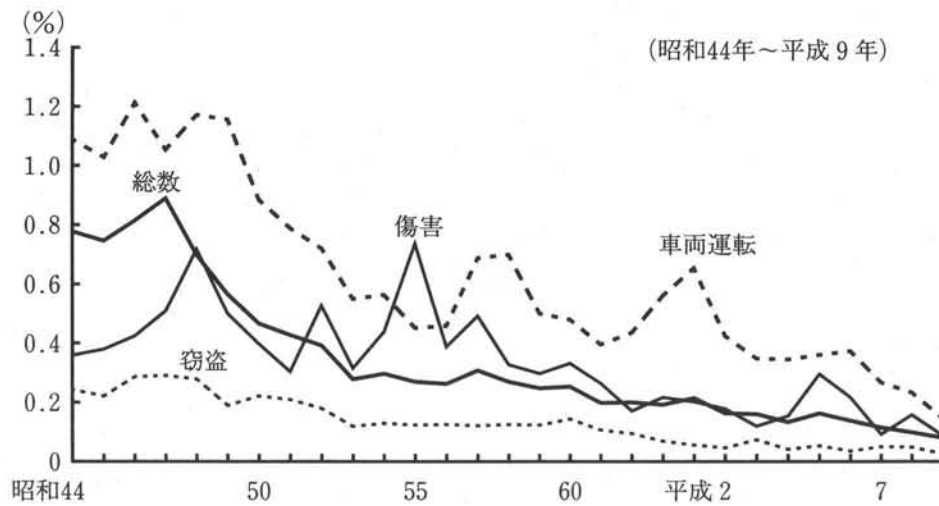
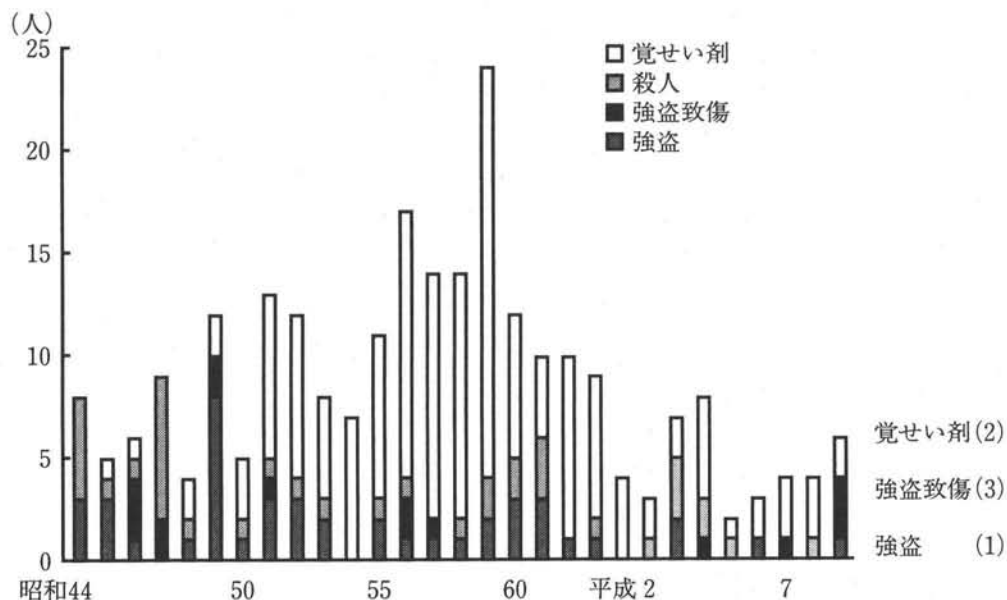


図23は、殺人、強盗、強盗致傷及び覚せい剤取締法違反について、昭和44年から平成9年までの間の、非行無しを理由とする不処分・審判不開始人員を見たものである（各年次の非行名別の非行無しを理由とする不処分・審判不開始人員については資料23参照）。

昭和44年以降、殺人で38人、強盗で44人、強盗致傷で16人、覚せい剤取締法違反で153人が、それぞれ非行無しとして不処分・審判不開始とされている。

図23 非行名別非行無しを理由とする不処分・審判不開始人員



注 () 内は実数である。

第4 まとめ

以上見たとおり、少年保護事件の審理状況の上では、審理期間が昭和50年代初頭以降、短くなる傾向が認められ、特に殺人、強盗等の凶悪事犯については、窃盗、虞犯及び傷害と比べて1月以内に審理を終える人員の占める比率が高くなっている。また、付添人選任人員及び同選任率の増加・上昇傾向が、近年顕著であり、弁護士が付添人として選任される割合も高くなっている。特に、殺人、強盗、強盗致傷及び覚せい剤取締法違反における付添人選任率は、昭和60年前後から上昇しており、一般保護事件全体の付添人選任率より高くなっている。さらに、抗告事件既済人員は、近年おおむね増加傾向を示しており、その保護処分決定人員総数に対する比率も上昇している。

少年保護事件の処分状況に関しては、一般保護事件の終局処分の構成比を見ると、長期的には、審判不開始が上昇傾向を示しているのに対し、検察官送致、少年院送致、保護観察及び不処分は、いずれもおおむね低下傾向を示している。また、非行名別の処分状況を見ると、検察官送致の比率は、殺人、強盗、覚せい剤取締法違反のいずれにおいても低下傾向を示しており、近年は、殺人では少年院送致、強盗及び覚せい剤取締法違反では保護観察の比率が最も高くなっている。さらに、一般保護事件において相当数を占めている不処分及び審判不開始の理由を見ると、不処分では保護的措置が、審判不開始では保護的措置及び事案軽微が、その大半を占めている。一方、非行無しを理由とする不処分又は審判不開始は、近年減少傾向にあるが、昭和44年以降の29年間に、殺人では38人、強盗では44人、強盗致傷では16人、覚せい剤取締法違反では153人が、それぞれ非行無しとして不処分又は審判不開始とされている。

資料1 少年保護事件の終局処理人員

(昭和27年～平成9年)

| 年 次 | 総 数 | 一般保護事件 | | | 道路交通 保護事件 |
|-----|-----------|---------|---------|--------|--------------|
| | | | 業過を除く | 業 過 | |
| 27年 | 164,571 | 126,925 | 125,736 | 1,189 | 37,646 |
| 28 | 182,035 | 110,750 | 108,820 | 1,930 | 71,285 |
| 29 | 253,581 | 103,924 | 100,943 | 2,981 | 149,657 |
| 30 | 298,680 | 108,182 | 103,636 | 4,546 | 190,498 |
| 31 | 309,929 | 103,551 | 97,062 | 6,489 | 206,378 |
| 32 | 398,861 | 116,276 | 108,036 | 8,240 | 282,585 |
| 33 | 466,796 | 125,362 | 114,874 | 10,488 | 341,434 |
| 34 | 503,218 | 136,618 | 122,717 | 13,901 | 366,600 |
| 35 | 678,810 | 158,902 | 139,537 | 19,365 | 519,908 |
| 36 | 769,329 | 165,074 | 143,599 | 21,475 | 604,255 |
| 37 | 904,176 | 171,087 | 149,395 | 21,692 | 733,089 |
| 38 | 891,349 | 189,626 | 165,185 | 24,441 | 701,723 |
| 39 | 929,100 | 194,269 | 163,908 | 30,361 | 734,831 |
| 40 | 959,706 | 202,158 | 166,116 | 36,042 | 757,548 |
| 41 | 1,007,995 | 214,346 | 167,177 | 47,169 | 793,649 |
| 42 | 977,098 | 210,499 | 151,677 | 58,822 | 766,599 |
| 43 | 819,769 | 207,500 | 137,391 | 70,109 | 612,269 |
| 44 | 764,097 | 196,380 | 119,148 | 77,232 | 567,717 |
| 45 | 704,671 | 197,920 | 119,935 | 77,985 | 506,751 |
| 46 | 426,840 | 191,583 | 117,739 | 73,844 | 235,257 |
| 47 | 401,671 | 175,707 | 108,721 | 66,986 | 225,964 |
| 48 | 391,863 | 167,706 | 109,932 | 57,774 | 224,157 |
| 49 | 375,198 | 168,045 | 117,316 | 50,729 | 207,153 |
| 50 | 373,487 | 167,088 | 121,171 | 45,917 | 206,399 |
| 51 | 397,444 | 175,683 | 129,437 | 46,246 | 221,761 |
| 52 | 414,764 | 172,951 | 128,534 | 44,417 | 241,813 |
| 53 | 451,831 | 190,841 | 142,509 | 48,332 | 260,990 |
| 54 | 464,495 | 209,338 | 158,819 | 50,519 | 255,157 |
| 55 | 486,277 | 225,686 | 176,226 | 49,460 | 260,591 |
| 56 | 524,455 | 243,464 | 191,613 | 51,851 | 280,991 |
| 57 | 549,094 | 255,964 | 201,657 | 54,307 | 293,130 |
| 58 | 582,782 | 259,858 | 202,660 | 57,198 | 322,924 |
| 59 | 591,541 | 251,135 | 195,316 | 55,819 | 340,406 |
| 60 | 589,421 | 249,788 | 194,184 | 55,604 | 339,633 |
| 61 | 579,536 | 250,189 | 194,081 | 56,108 | 329,347 |
| 62 | 519,723 | 254,957 | 191,488 | 63,469 | 264,766 |
| 63 | 470,529 | 255,439 | 193,004 | 62,435 | 215,090 |
| 元 | 440,209 | 242,835 | 178,160 | 64,675 | 197,374 |
| 2 | 432,383 | 234,460 | 171,616 | 62,844 | 197,923 |
| 3 | 395,414 | 219,859 | 159,169 | 60,690 | 175,555 |
| 4 | 366,518 | 209,056 | 148,993 | 60,063 | 157,462 |
| 5 | 323,032 | 191,186 | 134,801 | 56,385 | 131,846 |
| 6 | 292,900 | 181,240 | 132,628 | 48,612 | 111,660 |
| 7 | 265,781 | 168,418 | 124,441 | 43,977 | 97,363 |
| 8 | 264,292 | 169,231 | 127,974 | 41,257 | 95,061 |
| 9 | 280,764 | 184,277 | 146,245 | 38,032 | 96,487 |

資料2 受理時身柄付人員及び身柄率

(昭和42年～平成9年)

| 年次 | 42年 | 43年 | 44年 | 45年 | 46年 | 47年 | 48年 |
|--------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 受理時 身柄付人員 | 34,734 (3.24) | 31,031 (3.42) | 25,586 (3.03) | 21,933 (2.82) | 18,142 (3.83) | 14,313 (3.22) | 11,754 (2.73) |
| 年次 | 49年 | 50年 | 51年 | 52年 | 53年 | 54年 | 55年 |
| 受理時 身柄付人員 | 10,729 (2.59) | 11,556 (2.77) | 11,176 (2.51) | 11,187 (2.39) | 12,632 (2.48) | 13,749 (2.66) | 16,391 (3.03) |
| 年次 | 56年 | 57年 | 58年 | 59年 | 60年 | 61年 | 62年 |
| 受理時 身柄付人員 | 17,634 (3.06) | 17,963 (2.97) | 17,929 (2.80) | 19,201 (2.95) | 19,428 (3.03) | 18,225 (2.91) | 18,080 (3.33) |
| 年次 | 63年 | 元年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 |
| 受理時 身柄付人員 | 17,186 (3.58) | 15,107 (3.32) | 14,053 (3.13) | 15,167 (3.72) | 14,318 (3.81) | 13,669 (4.22) | 13,251 (4.68) |
| 年次 | 7年 | 8年 | 9年 | | | | |
| 受理時 身柄付人員 | 12,880 (5.11) | 13,675 (5.65) | 15,935 (6.44) | | | | |

注 () 内は受理時身柄付人員の終局総人員(簡易送致に係る人員を除く。)に占める比率(身柄率)である。

資料3 非行名別の受理時身柄付人員及び身柄率

(昭和42年～平成9年)

| 年次 | 窃盗 | 強盗 | 傷害 | 殺人 | 強盗致傷 | 強姦 | 虞犯 |
|-----|--------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-------------|-------------|
| 42年 | 15,314(18.4) | 744(71.7) | 3,706(21.9) | 258(81.6) | 417(75.0) | 2,519(55.4) | 2,399(26.6) |
| 43 | 14,019(18.2) | 628(70.6) | 2,995(21.0) | 216(82.8) | 356(74.8) | 2,152(53.7) | 2,629(28.2) |
| 44 | 11,876(17.4) | 510(69.7) | 2,416(21.1) | 177(78.3) | 319(76.9) | 1,710(55.3) | 1,867(21.1) |
| 45 | 10,279(15.1) | 421(62.8) | 2,030(19.1) | 137(70.6) | 350(71.3) | 1,472(55.3) | 1,265(17.2) |
| 46 | 8,289(12.0) | 327(62.4) | 1,632(17.1) | 89(69.0) | 253(63.6) | 1,375(54.7) | 969(13.2) |
| 47 | 6,638(9.9) | 237(59.3) | 1,298(16.2) | 99(68.8) | 245(66.4) | 1,158(54.3) | 679(12.4) |
| 48 | 5,334(7.9) | 229(56.4) | 1,234(15.9) | 61(64.2) | 185(62.9) | 973(51.0) | 590(16.2) |
| 49 | 5,298(7.2) | 198(48.1) | 1,047(13.6) | 63(67.0) | 227(63.2) | 844(47.0) | 563(17.2) |
| 50 | 5,635(7.4) | 227(61.0) | 1,058(13.6) | 67(72.8) | 199(60.9) | 726(43.5) | 703(18.6) |
| 51 | 5,069(6.4) | 149(49.0) | 1,027(14.0) | 54(75.0) | 170(58.2) | 608(43.4) | 763(20.1) |
| 52 | 4,904(6.4) | 158(52.3) | 1,080(14.5) | 39(59.1) | 140(69.0) | 567(51.5) | 801(21.0) |
| 53 | 5,345(6.3) | 186(60.4) | 1,244(16.8) | 53(64.6) | 175(72.6) | 549(50.6) | 841(19.7) |
| 54 | 5,751(6.3) | 191(67.3) | 1,390(18.2) | 78(81.3) | 172(73.2) | 556(51.9) | 921(21.5) |
| 55 | 6,458(6.5) | 256(67.4) | 1,741(19.2) | 24(60.0) | 180(60.2) | 656(56.8) | 910(19.4) |
| 56 | 6,928(6.4) | 290(63.3) | 1,850(18.2) | 35(77.8) | 158(57.9) | 666(56.9) | 863(19.6) |
| 57 | 7,422(6.6) | 201(51.0) | 1,830(15.9) | 49(76.6) | 204(63.0) | 632(59.4) | 825(17.8) |
| 58 | 7,852(7.0) | 225(60.5) | 1,937(17.0) | 71(87.7) | 193(61.1) | 500(61.3) | 127(2.5) |
| 59 | 8,792(7.9) | 208(60.8) | 2,011(17.5) | 49(80.3) | 177(63.7) | 552(60.4) | 178(3.8) |
| 60 | 9,295(8.5) | 133(51.6) | 2,060(19.5) | 93(89.4) | 176(69.8) | 464(63.0) | 187(4.1) |
| 61 | 8,765(8.2) | 193(63.7) | 1,950(17.6) | 64(83.1) | 221(73.2) | 462(65.5) | 188(4.4) |
| 62 | 8,865(8.9) | 184(63.7) | 1,975(18.7) | 74(81.3) | 205(62.9) | 423(67.7) | 188(4.4) |
| 63 | 8,441(8.5) | 128(62.7) | 1,855(18.9) | 52(88.1) | 229(66.8) | 397(72.7) | 195(5.1) |
| 元 | 7,040(7.6) | 155(67.1) | 1,723(16.4) | 54(88.5) | 180(61.4) | 383(72.7) | 196(5.4) |
| 2 | 6,441(7.4) | 132(61.4) | 1,599(16.7) | 57(98.3) | 230(65.0) | 301(67.8) | 186(5.6) |
| 3 | 6,640(8.7) | 139(59.4) | 1,857(21.0) | 55(91.7) | 283(69.2) | 269(73.3) | 152(5.2) |
| 4 | 5,759(8.4) | 157(51.6) | 2,060(21.5) | 44(86.3) | 248(65.1) | 264(73.9) | 135(5.3) |
| 5 | 5,783(9.5) | 151(58.8) | 1,771(20.9) | 58(95.1) | 295(68.1) | 263(76.9) | 80(4.3) |
| 6 | 5,439(9.4) | 186(57.2) | 1,708(22.6) | 33(89.2) | 340(58.4) | 231(72.2) | 59(3.8) |
| 7 | 4,926(9.5) | 143(57.0) | 1,851(24.2) | 41(80.4) | 358(57.2) | 246(75.9) | 66(4.8) |
| 8 | 4,979(10.0) | 201(56.8) | 1,991(26.4) | 46(93.9) | 612(72.2) | 200(79.7) | 50(3.4) |
| 9 | 5,297(10.2) | 274(67.0) | 2,650(29.5) | 37(90.2) | 1,007(74.0) | 365(83.1) | 60(4.2) |

注 資料2の注に同じ。

資料4 一般保護事件の審理期間別人員

(昭和32年～平成9年)

| 年次 | 1月以内 | 3月以内 | 6月以内 | 1年以内 | 1年を超える |
|-----|----------------|----------------|---------------|---------------|-------------|
| 32年 | 58,391 (40.0) | 47,613 (32.7) | 25,177 (17.3) | 12,103 (8.3) | 2,527 (1.7) |
| 33 | 59,980 (38.1) | 50,927 (32.4) | 28,112 (17.9) | 14,586 (9.3) | 3,660 (2.3) |
| 34 | 63,957 (37.2) | 52,991 (30.9) | 31,986 (18.6) | 17,805 (10.4) | 4,989 (2.9) |
| 35 | 74,527 (38.0) | 60,181 (30.7) | 36,325 (18.5) | 19,996 (10.2) | 5,172 (2.6) |
| 36 | 79,731 (39.5) | 64,554 (32.0) | 33,017 (16.4) | 18,820 (9.3) | 5,628 (2.8) |
| 37 | 80,179 (38.9) | 68,381 (33.2) | 33,929 (16.5) | 18,338 (8.9) | 5,289 (2.6) |
| 38 | 84,313 (37.2) | 77,777 (34.3) | 39,897 (17.6) | 19,723 (8.7) | 5,228 (2.3) |
| 39 | 87,993 (37.9) | 80,346 (34.6) | 41,328 (17.8) | 18,456 (8.0) | 3,994 (1.7) |
| 40 | 89,817 (37.2) | 84,842 (35.2) | 40,316 (16.7) | 21,032 (8.7) | 5,153 (2.1) |
| 41 | 92,838 (36.5) | 89,715 (35.2) | 44,578 (17.5) | 21,878 (8.6) | 5,604 (2.2) |
| 42 | 100,185 (40.3) | 85,989 (34.6) | 38,570 (15.5) | 18,472 (7.4) | 5,309 (2.1) |
| 43 | 99,878 (40.7) | 88,933 (36.3) | 38,649 (15.8) | 14,323 (5.8) | 3,490 (1.4) |
| 44 | 92,812 (39.8) | 83,574 (35.9) | 39,412 (16.9) | 14,892 (6.4) | 2,371 (1.0) |
| 45 | 86,977 (37.2) | 84,049 (35.9) | 42,678 (18.3) | 16,871 (7.2) | 3,229 (1.4) |
| 46 | 75,662 (33.5) | 81,847 (36.3) | 46,454 (20.6) | 18,192 (8.1) | 3,476 (1.5) |
| 47 | 66,965 (32.6) | 76,849 (37.4) | 43,504 (21.2) | 15,553 (7.6) | 2,576 (1.3) |
| 48 | 64,622 (33.1) | 75,008 (38.5) | 38,827 (19.9) | 13,857 (7.1) | 2,763 (1.4) |
| 49 | 60,059 (30.7) | 75,228 (38.5) | 41,901 (21.4) | 15,549 (8.0) | 2,625 (1.3) |
| 50 | 57,911 (29.5) | 77,092 (39.2) | 43,023 (21.9) | 15,886 (8.1) | 2,636 (1.3) |
| 51 | 62,448 (30.2) | 78,914 (38.1) | 46,531 (22.5) | 16,493 (8.0) | 2,482 (1.2) |
| 52 | 64,374 (31.6) | 80,962 (39.7) | 43,049 (21.1) | 13,692 (6.7) | 1,865 (0.9) |
| 53 | 72,236 (32.0) | 91,064 (40.3) | 47,336 (20.9) | 13,732 (6.1) | 1,641 (0.7) |
| 54 | 81,355 (33.1) | 97,218 (39.5) | 50,146 (20.4) | 15,617 (6.3) | 1,803 (0.7) |
| 55 | 91,706 (34.5) | 103,061 (38.8) | 52,997 (19.9) | 16,169 (6.1) | 1,805 (0.7) |
| 56 | 101,731 (35.7) | 107,162 (37.7) | 55,881 (19.6) | 17,871 (6.3) | 1,938 (0.7) |
| 57 | 106,792 (35.7) | 114,059 (38.2) | 56,779 (19.0) | 19,132 (6.4) | 2,134 (0.7) |
| 58 | 112,354 (37.1) | 116,784 (38.5) | 54,903 (18.1) | 17,216 (5.7) | 1,749 (0.6) |
| 59 | 113,454 (38.5) | 112,762 (38.3) | 50,893 (17.3) | 16,081 (5.5) | 1,380 (0.5) |
| 60 | 116,204 (39.8) | 111,655 (38.3) | 48,146 (16.5) | 14,281 (4.9) | 1,503 (0.5) |
| 61 | 115,502 (39.7) | 110,597 (38.0) | 48,630 (16.7) | 14,676 (5.0) | 1,465 (0.5) |
| 62 | 122,739 (41.7) | 107,130 (36.4) | 48,089 (16.4) | 14,718 (5.0) | 1,313 (0.4) |
| 63 | 125,048 (42.6) | 107,023 (36.4) | 47,727 (16.2) | 12,942 (4.4) | 1,045 (0.4) |
| 元 | 110,200 (39.5) | 104,086 (37.3) | 49,706 (17.8) | 13,935 (5.0) | 947 (0.3) |
| 2 | 101,203 (37.8) | 101,785 (38.0) | 50,034 (18.7) | 14,081 (5.3) | 984 (0.4) |
| 3 | 101,715 (40.6) | 90,375 (36.1) | 45,242 (18.1) | 11,937 (4.8) | 970 (0.4) |
| 4 | 95,889 (40.5) | 85,570 (36.1) | 43,308 (18.3) | 11,430 (4.8) | 797 (0.3) |
| 5 | 92,545 (43.0) | 76,057 (35.4) | 35,935 (16.7) | 9,704 (4.5) | 898 (0.4) |
| 6 | 94,165 (46.3) | 69,416 (34.2) | 31,248 (15.4) | 7,801 (3.8) | 587 (0.3) |
| 7 | 88,992 (47.2) | 61,959 (32.9) | 29,503 (15.7) | 7,397 (3.9) | 558 (0.3) |
| 8 | 94,103 (49.9) | 55,964 (29.7) | 30,525 (16.2) | 7,609 (4.0) | 482 (0.3) |
| 9 | 104,970 (51.2) | 56,084 (27.4) | 33,095 (16.2) | 10,105 (4.9) | 570 (0.3) |

注 () 内は構成比である。

資料5 非行名別の審理期間別人員

| 年次 | 殺人 | | | 強盗 | | | 傷害 | | | 窃盗 | | | 虞犯 | | |
|-----|------|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|
| | 1月以内 | 6月以内 | 6月超え | 1月以内 | 6月以内 | 6月超え | 1月以内 | 6月以内 | 6月超え | 1月以内 | 6月以内 | 6月超え | 1月以内 | 6月以内 | 6月超え |
| | 248 | 53 | 15 | 738 | 189 | 110 | 5,851 | 9,397 | 1,909 | 40,424 | 44,512 | 9,644 | 3,349 | 4,108 | 1,555 |
| 42年 | 208 | 41 | 12 | 620 | 166 | 104 | 4,792 | 8,271 | 1,408 | 38,026 | 42,551 | 7,153 | 3,627 | 4,365 | 1,346 |
| 43 | 177 | 35 | 16 | 536 | 139 | 57 | 3,991 | 6,778 | 1,096 | 34,038 | 39,405 | 6,532 | 2,963 | 4,519 | 1,411 |
| 44 | 124 | 48 | 24 | 437 | 153 | 81 | 3,439 | 6,445 | 1,260 | 34,402 | 40,674 | 7,688 | 2,292 | 3,657 | 1,420 |
| 45 | 91 | 31 | 7 | 302 | 137 | 85 | 2,583 | 6,056 | 1,259 | 30,769 | 44,019 | 8,209 | 2,198 | 3,814 | 1,354 |
| 46 | 103 | 33 | 8 | 228 | 118 | 54 | 2,258 | 5,121 | 913 | 28,823 | 44,643 | 6,963 | 1,419 | 2,872 | 1,200 |
| 47 | 55 | 33 | 7 | 231 | 120 | 56 | 2,172 | 5,024 | 806 | 29,969 | 45,072 | 6,761 | 1,098 | 1,634 | 926 |
| 48 | 63 | 23 | 8 | 254 | 116 | 42 | 1,861 | 5,122 | 965 | 30,877 | 50,928 | 7,842 | 947 | 1,617 | 712 |
| 49 | 65 | 16 | 11 | 227 | 88 | 57 | 1,834 | 5,169 | 1,001 | 29,446 | 53,917 | 7,919 | 1,139 | 1,835 | 811 |
| 50 | 53 | 17 | 3 | 138 | 115 | 52 | 1,766 | 4,866 | 948 | 31,500 | 55,162 | 7,720 | 1,196 | 1,720 | 873 |
| 51 | 45 | 16 | 5 | 178 | 84 | 40 | 1,879 | 5,038 | 692 | 33,191 | 53,949 | 6,627 | 1,335 | 1,704 | 783 |
| 52 | 52 | 19 | 11 | 185 | 84 | 39 | 1,875 | 4,880 | 796 | 37,199 | 60,751 | 6,408 | 1,571 | 1,897 | 811 |
| 53 | 67 | 18 | 11 | 211 | 48 | 25 | 2,114 | 4,801 | 853 | 42,864 | 64,676 | 7,473 | 1,746 | 1,771 | 767 |
| 54 | 19 | 13 | 8 | 265 | 99 | 16 | 2,455 | 5,768 | 979 | 49,510 | 69,242 | 7,713 | 1,843 | 1,997 | 856 |
| 55 | 31 | 9 | 5 | 286 | 136 | 36 | 2,652 | 6,576 | 1,115 | 57,465 | 72,979 | 8,326 | 1,938 | 1,733 | 736 |
| 56 | 46 | 13 | 5 | 199 | 151 | 44 | 2,590 | 7,770 | 1,369 | 59,994 | 75,445 | 9,227 | 2,016 | 1,796 | 813 |
| 57 | 71 | 6 | 4 | 239 | 102 | 31 | 2,600 | 7,446 | 1,492 | 63,826 | 75,236 | 7,937 | 2,205 | 1,972 | 857 |
| 58 | 43 | 11 | 7 | 230 | 77 | 35 | 2,802 | 7,545 | 1,327 | 62,346 | 71,541 | 7,649 | 2,180 | 1,733 | 829 |
| 59 | 88 | 11 | 5 | 159 | 78 | 21 | 2,745 | 6,749 | 1,214 | 64,522 | 71,377 | 7,218 | 2,337 | 1,555 | 668 |
| 60 | 62 | 12 | 3 | 196 | 86 | 21 | 2,639 | 7,378 | 1,244 | 66,935 | 69,115 | 7,099 | 2,131 | 1,560 | 613 |
| 61 | 68 | 17 | 6 | 189 | 73 | 27 | 2,769 | 6,689 | 1,263 | 69,862 | 63,219 | 6,965 | 2,031 | 1,499 | 629 |
| 62 | 45 | 10 | 4 | 138 | 51 | 15 | 2,625 | 6,363 | 1,032 | 73,053 | 64,479 | 6,252 | 1,985 | 1,293 | 544 |
| 63 | 52 | 4 | 5 | 153 | 60 | 18 | 2,622 | 6,905 | 1,218 | 60,890 | 62,039 | 6,326 | 1,852 | 1,219 | 592 |
| 元 | 48 | 9 | 1 | 145 | 56 | 14 | 2,260 | 6,249 | 1,285 | 51,881 | 59,177 | 6,334 | 1,597 | 1,081 | 622 |
| 2 | 46 | 10 | 4 | 146 | 71 | 17 | 2,535 | 5,566 | 975 | 49,557 | 49,205 | 5,080 | 1,434 | 947 | 549 |
| 3 | 34 | 12 | 5 | 225 | 61 | 18 | 2,705 | 5,904 | 1,169 | 41,586 | 45,532 | 4,784 | 1,204 | 887 | 435 |
| 4 | 50 | 10 | 1 | 149 | 89 | 19 | 2,361 | 5,293 | 1,024 | 40,954 | 40,022 | 4,392 | 794 | 726 | 323 |
| 5 | 32 | 4 | 1 | 219 | 80 | 26 | 2,273 | 4,593 | 939 | 43,489 | 38,410 | 3,988 | 746 | 517 | 282 |
| 6 | 37 | 12 | 2 | 152 | 68 | 31 | 2,201 | 4,764 | 909 | 42,837 | 34,181 | 3,687 | 675 | 463 | 231 |
| 7 | 44 | 4 | 1 | 253 | 73 | 28 | 2,390 | 4,527 | 907 | 46,086 | 33,738 | 3,736 | 673 | 546 | 250 |
| 8 | 33 | 7 | 1 | 302 | 83 | 24 | 3,051 | 4,920 | 1,304 | 54,738 | 36,195 | 4,970 | 694 | 482 | 250 |

**資料 6 一般保護事件終局総人員中の附添人選任人員
及び選任率**

(昭和39年～平成9年)

| 年 次 | 附添人選任人員 | | 附添人選任率 | |
|-----|---------|-------|--------|-------|
| | 弁護士 | 弁護士以外 | | うち弁護士 |
| 39年 | 1,984 | 2,197 | 1.80 | 0.85 |
| 40 | 2,044 | 844 | 1.20 | 0.85 |
| 41 | 1,867 | 833 | 1.16 | 0.80 |
| 42 | 1,805 | 554 | 1.03 | 0.79 |
| 43 | 1,693 | 372 | 0.90 | 0.74 |
| 44 | 1,724 | 822 | 1.09 | 0.74 |
| 45 | 1,477 | 204 | 0.72 | 0.63 |
| 46 | 1,204 | 40 | 0.55 | 0.53 |
| 47 | 891 | 35 | 0.45 | 0.43 |
| 48 | 870 | 40 | 0.46 | 0.45 |
| 49 | 835 | 27 | 0.44 | 0.43 |
| 50 | 746 | 58 | 0.41 | 0.38 |
| 51 | 734 | 93 | 0.40 | 0.35 |
| 52 | 694 | 61 | 0.37 | 0.34 |
| 53 | 1,161 | 47 | 0.53 | 0.51 |
| 54 | 1,116 | 18 | 0.46 | 0.45 |
| 55 | 1,364 | 33 | 0.53 | 0.51 |
| 56 | 1,593 | 24 | 0.57 | 0.56 |
| 57 | 1,577 | 27 | 0.54 | 0.53 |
| 58 | 1,469 | 41 | 0.50 | 0.48 |
| 59 | 1,574 | 53 | 0.55 | 0.53 |
| 60 | 1,565 | 61 | 0.56 | 0.54 |
| 61 | 1,583 | 56 | 0.56 | 0.54 |
| 62 | 1,502 | 111 | 0.55 | 0.51 |
| 63 | 1,658 | 114 | 0.60 | 0.56 |
| 元 | 1,694 | 101 | 0.64 | 0.61 |
| 2 | 1,872 | 103 | 0.74 | 0.70 |
| 3 | 1,967 | 110 | 0.83 | 0.79 |
| 4 | 2,154 | 88 | 0.95 | 0.91 |
| 5 | 2,270 | 113 | 1.11 | 1.06 |
| 6 | 2,266 | 157 | 1.19 | 1.12 |
| 7 | 2,116 | 141 | 1.20 | 1.12 |
| 8 | 2,477 | 198 | 1.42 | 1.31 |
| 9 | 2,968 | 171 | 1.53 | 1.45 |

資料7 非行名別一般保護事件終局総人員中の附添人選任人員

(昭和39年～平成9年)

| 年次 | 殺 人 | 強 盗 | 強盗致傷 | 覚せい剤取締法違反 |
|-----|-----------|-----------|------------|------------|
| 39年 | 45 (13.8) | 102 (7.1) | 49 (8.7) | 1 (1.6) |
| 40 | 45 (13.0) | 64 (4.8) | 57 (8.5) | 2 (4.5) |
| 41 | 57 (16.6) | 88 (7.1) | 71 (10.4) | 0 (0.0) |
| 42 | 46 (14.9) | 56 (6.1) | 51 (9.8) | 1 (3.8) |
| 43 | 52 (20.0) | 48 (6.1) | 48 (10.9) | 0 (0.0) |
| 44 | 34 (14.9) | 54 (7.4) | 42 (10.1) | 1 (6.3) |
| 45 | 25 (12.8) | 33 (4.9) | 48 (9.8) | 3 (6.3) |
| 46 | 21 (16.3) | 30 (5.7) | 24 (6.0) | 4 (9.5) |
| 47 | 21 (14.6) | 22 (5.5) | 23 (6.2) | 2 (3.3) |
| 48 | 12 (12.6) | 22 (5.4) | 27 (9.2) | 8 (4.0) |
| 49 | 18 (19.1) | 22 (5.3) | 41 (11.4) | 5 (4.2) |
| 50 | 14 (15.2) | 17 (4.6) | 20 (6.1) | 5 (1.9) |
| 51 | 15 (20.5) | 16 (5.2) | 15 (5.1) | 11 (2.2) |
| 52 | 8 (12.1) | 16 (5.3) | 19 (9.3) | 17 (2.2) |
| 53 | 25 (30.5) | 17 (5.5) | 20 (8.3) | 63 (4.4) |
| 54 | 22 (22.9) | 19 (6.7) | 22 (9.4) | 58 (3.1) |
| 55 | 9 (22.5) | 28 (7.4) | 33 (11.0) | 89 (3.9) |
| 56 | 14 (31.1) | 36 (7.9) | 34 (12.5) | 113 (3.9) |
| 57 | 9 (14.1) | 29 (7.4) | 28 (8.6) | 145 (4.8) |
| 58 | 21 (25.9) | 24 (6.5) | 33 (10.4) | 88 (3.0) |
| 59 | 15 (24.6) | 23 (6.7) | 30 (10.8) | 126 (4.4) |
| 60 | 26 (25.0) | 21 (8.1) | 22 (8.7) | 91 (4.0) |
| 61 | 26 (33.8) | 21 (6.9) | 25 (8.3) | 73 (4.0) |
| 62 | 24 (26.4) | 27 (9.3) | 29 (8.9) | 80 (5.1) |
| 63 | 22 (37.3) | 21 (10.3) | 52 (15.2) | 61 (4.7) |
| 元 | 34 (55.7) | 25 (10.8) | 36 (12.3) | 80 (7.3) |
| 2 | 32 (55.2) | 31 (14.4) | 53 (15.0) | 71 (8.3) |
| 3 | 24 (40.0) | 35 (15.0) | 54 (13.2) | 98 (9.0) |
| 4 | 30 (58.8) | 48 (15.8) | 63 (16.5) | 106 (9.5) |
| 5 | 31 (50.8) | 50 (19.5) | 108 (24.9) | 122 (10.3) |
| 6 | 23 (62.2) | 47 (14.5) | 113 (19.4) | 114 (11.9) |
| 7 | 29 (56.9) | 38 (15.1) | 115 (18.4) | 135 (10.5) |
| 8 | 31 (63.3) | 61 (17.2) | 197 (23.2) | 194 (11.2) |
| 9 | 24 (58.5) | 79 (19.3) | 364 (26.8) | 204 (10.2) |

注 () 内は、附添人選任率である。

資料8 抗告事件既済人員

(昭和48年～平成9年)

| 年 次 | 48年 | 49年 | 50年 | 51年 | 52年 | 53年 | 54年 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 人 員 | 144 | 136 | 151 | 160 | 192 | 213 | 219 |
| 年 次 | 55年 | 56年 | 57年 | 58年 | 59年 | 60年 | 61年 |
| 人 員 | 272 | 343 | 364 | 412 | 379 | 326 | 360 |
| 年 次 | 62年 | 63年 | 元年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 |
| 人 員 | 300 | 254 | 281 | 283 | 308 | 388 | 370 |
| 年 次 | 6 年 | 7 年 | 8 年 | 9 年 | | | |
| 人 員 | 393 | 370 | 446 | 566 | | | |

資料 9 試験観察終了人員及び試験観察比
(昭和37年～平成 9 年)

| 年 次 | ① 一般保護事件 | | ② 交通保護事件 | |
|-----|----------|---------|----------|---------|
| 37年 | 9,612 | (5.62) | 4,985 | (0.68) |
| 38 | 10,425 | (5.50) | 12,258 | (1.75) |
| 39 | 11,972 | (6.16) | 19,187 | (2.61) |
| 40 | 13,333 | (6.60) | 29,062 | (3.84) |
| 41 | 15,274 | (7.13) | 38,771 | (4.89) |
| 42 | 14,548 | (6.91) | 31,513 | (4.11) |
| 43 | 16,744 | (8.07) | 30,494 | (4.98) |
| 44 | 18,691 | (9.52) | 40,526 | (7.14) |
| 45 | 21,668 | (10.95) | 58,009 | (11.45) |
| 46 | 24,972 | (13.03) | 57,256 | (24.34) |
| 47 | 25,850 | (14.71) | 62,001 | (27.44) |
| 48 | 24,299 | (14.49) | 67,569 | (30.14) |
| 49 | 23,757 | (14.14) | 62,468 | (30.16) |
| 50 | 21,849 | (13.08) | 60,208 | (29.17) |
| 51 | 21,254 | (12.10) | 62,628 | (28.24) |
| 52 | 18,221 | (10.54) | 55,422 | (22.92) |
| 53 | 18,873 | (9.89) | 55,281 | (21.18) |
| 54 | 18,397 | (8.79) | 46,600 | (18.26) |
| 55 | 18,410 | (8.16) | 42,918 | (16.47) |
| 56 | 19,060 | (7.83) | 39,226 | (13.96) |
| 57 | 19,375 | (7.57) | 39,755 | (13.56) |
| 58 | 19,652 | (7.56) | 41,573 | (12.87) |
| 59 | 18,654 | (7.43) | 37,174 | (10.92) |
| 60 | 17,957 | (7.19) | 35,392 | (10.42) |
| 61 | 18,458 | (7.38) | 34,447 | (10.46) |
| 62 | 20,311 | (7.97) | 29,460 | (11.13) |
| 63 | 20,109 | (7.87) | 20,643 | (9.60) |
| 元 | 20,638 | (8.50) | 18,400 | (9.32) |
| 2 | 20,400 | (8.70) | 19,620 | (9.91) |
| 3 | 17,798 | (8.10) | 14,879 | (8.48) |
| 4 | 15,255 | (7.30) | 11,860 | (7.53) |
| 5 | 12,889 | (6.74) | 9,211 | (6.99) |
| 6 | 11,879 | (6.55) | 7,912 | (7.09) |
| 7 | 10,907 | (6.48) | 5,902 | (6.06) |
| 8 | 10,305 | (6.09) | 6,007 | (6.32) |
| 9 | 9,459 | (5.13) | 5,432 | (5.63) |

注 () 内は試験観察比である。

資料10 少年保護事件種類別の主な処分別人員

① 一般保護事件

(昭和32年～平成9年)

| 年次 | 総 数 | 検察官送致 | 保護観察 | 少年院送致 | 不処分 | 審判不開始 |
|-----|---------|-------|--------|-------|--------|---------|
| 32年 | 108,036 | 3,238 | 16,814 | 8,206 | 32,017 | 45,901 |
| 33 | 114,874 | 3,308 | 17,422 | 8,699 | 33,459 | 50,082 |
| 34 | 122,717 | 4,049 | 19,437 | 9,279 | 34,180 | 53,775 |
| 35 | 139,537 | 4,291 | 20,126 | 8,952 | 35,024 | 69,213 |
| 36 | 143,599 | 3,887 | 19,879 | 8,700 | 33,260 | 75,817 |
| 37 | 149,395 | 3,461 | 18,538 | 8,292 | 34,032 | 83,007 |
| 38 | 165,179 | 3,125 | 18,206 | 7,632 | 34,847 | 99,508 |
| 39 | 163,908 | 2,886 | 19,423 | 8,246 | 37,080 | 94,540 |
| 40 | 166,116 | 3,119 | 20,458 | 7,816 | 41,702 | 91,470 |
| 41 | 167,177 | 3,959 | 21,348 | 8,074 | 42,626 | 89,731 |
| 42 | 151,677 | 3,619 | 18,605 | 6,648 | 37,336 | 84,172 |
| 43 | 137,391 | 3,075 | 16,810 | 5,338 | 33,963 | 77,037 |
| 44 | 119,148 | 2,442 | 13,835 | 4,375 | 29,642 | 67,785 |
| 45 | 119,935 | 1,995 | 13,019 | 3,899 | 29,908 | 70,160 |
| 46 | 117,739 | 1,408 | 11,900 | 3,208 | 30,469 | 69,829 |
| 47 | 108,721 | 1,130 | 10,042 | 2,777 | 29,533 | 64,435 |
| 48 | 109,932 | 1,052 | 8,466 | 2,197 | 28,267 | 69,194 |
| 49 | 117,370 | 859 | 8,372 | 1,889 | 29,446 | 76,126 |
| 50 | 121,171 | 850 | 9,152 | 2,452 | 29,294 | 78,775 |
| 51 | 129,428 | 670 | 9,905 | 2,546 | 31,428 | 84,080 |
| 52 | 128,460 | 527 | 9,389 | 3,074 | 29,436 | 85,285 |
| 53 | 142,558 | 596 | 11,264 | 3,604 | 30,408 | 95,944 |
| 54 | 158,868 | 641 | 12,097 | 3,855 | 32,764 | 108,609 |
| 55 | 176,234 | 877 | 14,691 | 4,386 | 34,544 | 120,820 |
| 56 | 191,625 | 754 | 14,962 | 4,626 | 36,781 | 133,496 |
| 57 | 201,661 | 845 | 16,332 | 4,861 | 39,155 | 139,402 |
| 58 | 202,664 | 1,023 | 16,221 | 5,371 | 39,003 | 139,978 |
| 59 | 195,297 | 992 | 16,847 | 5,661 | 38,524 | 132,182 |
| 60 | 194,184 | 851 | 16,007 | 5,626 | 36,283 | 134,306 |
| 61 | 194,081 | 820 | 15,819 | 5,362 | 35,306 | 135,790 |
| 62 | 191,488 | 857 | 14,935 | 4,871 | 33,035 | 136,724 |
| 63 | 193,004 | 715 | 14,694 | 4,526 | 31,199 | 140,825 |
| 元 | 178,160 | 659 | 13,837 | 4,452 | 30,204 | 127,963 |
| 2 | 171,616 | 490 | 13,018 | 3,859 | 30,176 | 123,045 |
| 3 | 159,169 | 525 | 12,748 | 3,909 | 27,289 | 113,714 |
| 4 | 148,993 | 473 | 12,448 | 3,902 | 24,945 | 106,268 |
| 5 | 134,801 | 407 | 11,157 | 3,790 | 21,447 | 97,148 |
| 6 | 132,628 | 360 | 10,826 | 3,600 | 20,073 | 96,932 |
| 7 | 124,441 | 327 | 12,253 | 3,493 | 17,117 | 90,493 |
| 8 | 127,974 | 294 | 13,003 | 3,804 | 15,940 | 94,185 |
| 9 | 146,245 | 292 | 14,909 | 4,535 | 16,332 | 109,406 |

資料10 少年保護事件種類別の主な処分別人員

② 業過事件

(昭和32年～平成9年)

| 年次 | 総 数 | 検察官送致 | 保護観察 | 少年院送致 | 不処分 | 審判不開始 |
|-----|--------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 32年 | 8,240 | 2,571 | 280 | 3 | 3,028 | 2,219 |
| 33 | 10,488 | 3,252 | 477 | 2 | 3,841 | 2,722 |
| 34 | 13,901 | 5,181 | 534 | 4 | 5,100 | 2,828 |
| 35 | 19,365 | 7,679 | 781 | 4 | 6,267 | 4,251 |
| 36 | 21,475 | 8,632 | 769 | 3 | 7,104 | 4,660 |
| 37 | 21,692 | 10,233 | 608 | 5 | 6,491 | 4,041 |
| 38 | 24,441 | 10,849 | 727 | 12 | 8,124 | 4,328 |
| 39 | 30,361 | 11,409 | 1,185 | 22 | 11,985 | 5,350 |
| 40 | 36,042 | 13,785 | 1,683 | 15 | 15,461 | 4,717 |
| 41 | 47,169 | 16,911 | 2,375 | 12 | 21,172 | 6,151 |
| 42 | 58,822 | 22,022 | 2,834 | 17 | 24,887 | 8,228 |
| 43 | 70,109 | 24,594 | 3,762 | 14 | 32,383 | 8,529 |
| 44 | 77,232 | 22,667 | 4,211 | 20 | 39,105 | 10,067 |
| 45 | 77,985 | 21,677 | 4,938 | 36 | 41,054 | 9,083 |
| 46 | 73,844 | 19,075 | 4,930 | 50 | 42,130 | 6,414 |
| 47 | 66,986 | 15,022 | 4,715 | 53 | 40,400 | 5,585 |
| 48 | 57,774 | 11,185 | 4,099 | 36 | 36,462 | 4,799 |
| 49 | 50,675 | 8,358 | 3,811 | 46 | 33,396 | 4,102 |
| 50 | 45,917 | 7,605 | 3,777 | 69 | 29,871 | 3,648 |
| 51 | 46,255 | 7,416 | 4,121 | 59 | 30,149 | 3,469 |
| 52 | 44,491 | 6,393 | 5,895 | 107 | 27,233 | 3,871 |
| 53 | 48,283 | 6,039 | 8,729 | 106 | 27,535 | 4,652 |
| 54 | 50,470 | 6,034 | 11,049 | 115 | 27,670 | 4,423 |
| 55 | 49,452 | 5,362 | 12,036 | 185 | 26,381 | 4,287 |
| 56 | 51,839 | 5,618 | 12,883 | 163 | 27,449 | 4,379 |
| 57 | 54,303 | 5,881 | 13,554 | 152 | 28,326 | 4,774 |
| 58 | 57,194 | 6,390 | 14,573 | 164 | 29,190 | 4,864 |
| 59 | 55,838 | 6,530 | 13,871 | 138 | 27,921 | 5,330 |
| 60 | 55,604 | 6,041 | 14,288 | 156 | 27,501 | 5,334 |
| 61 | 56,108 | 5,783 | 15,511 | 140 | 28,345 | 4,488 |
| 62 | 63,469 | 5,571 | 17,345 | 113 | 32,202 | 5,642 |
| 63 | 62,435 | 4,029 | 17,015 | 119 | 32,568 | 6,103 |
| 元 | 64,675 | 3,454 | 18,049 | 98 | 33,058 | 6,965 |
| 2 | 62,844 | 2,930 | 17,364 | 97 | 32,471 | 7,188 |
| 3 | 60,690 | 2,088 | 16,677 | 101 | 31,729 | 7,402 |
| 4 | 60,063 | 1,843 | 15,731 | 97 | 30,719 | 9,052 |
| 5 | 56,385 | 1,582 | 14,050 | 79 | 27,944 | 10,275 |
| 6 | 48,612 | 1,160 | 11,314 | 82 | 24,435 | 9,517 |
| 7 | 43,977 | 994 | 9,928 | 62 | 22,778 | 8,203 |
| 8 | 41,257 | 888 | 9,346 | 56 | 21,908 | 7,246 |
| 9 | 38,032 | 763 | 8,854 | 75 | 19,864 | 6,774 |

資料10 少年保護事件種類別の主な処分別人員

③ 道路交通保護事件

(昭和32年～平成9年)

| 年次 | 総 数 | 検察官送致 | 保護観察 | 少年院送致 | 不処分 | 審判不開始 |
|-----|---------|---------|--------|-------|---------|---------|
| 32年 | 282,585 | 20,515 | 1,981 | 5 | 50,284 | 208,036 |
| 33 | 341,434 | 29,597 | 2,756 | 6 | 48,674 | 258,307 |
| 34 | 366,600 | 35,975 | 3,341 | 8 | 60,301 | 264,562 |
| 35 | 519,908 | 53,230 | 3,430 | 11 | 62,890 | 396,488 |
| 36 | 604,255 | 75,902 | 2,483 | 10 | 55,372 | 467,010 |
| 37 | 733,089 | 120,539 | 2,801 | 11 | 56,549 | 548,566 |
| 38 | 701,723 | 107,001 | 3,900 | 15 | 78,871 | 507,763 |
| 39 | 734,835 | 100,866 | 5,707 | 22 | 125,306 | 499,104 |
| 40 | 757,548 | 120,542 | 6,356 | 19 | 157,008 | 470,397 |
| 41 | 793,649 | 125,247 | 7,431 | 16 | 184,509 | 472,881 |
| 42 | 766,599 | 135,864 | 7,797 | 14 | 179,801 | 438,616 |
| 43 | 612,269 | 80,718 | 8,447 | 22 | 179,114 | 340,713 |
| 44 | 567,717 | 52,691 | 8,143 | 38 | 181,926 | 322,455 |
| 45 | 506,751 | 54,947 | 9,675 | 35 | 179,767 | 259,649 |
| 46 | 235,257 | 52,120 | 8,659 | 63 | 127,694 | 44,619 |
| 47 | 225,964 | 46,307 | 9,203 | 32 | 129,818 | 38,363 |
| 48 | 224,157 | 42,742 | 8,650 | 38 | 133,457 | 36,907 |
| 49 | 207,153 | 37,329 | 8,255 | 43 | 125,539 | 33,500 |
| 50 | 206,399 | 38,924 | 8,789 | 48 | 123,103 | 32,557 |
| 51 | 221,761 | 42,855 | 10,309 | 67 | 130,875 | 34,130 |
| 52 | 241,813 | 42,212 | 18,853 | 117 | 135,384 | 41,634 |
| 53 | 260,990 | 38,461 | 25,510 | 91 | 146,835 | 45,748 |
| 54 | 255,157 | 35,665 | 27,454 | 121 | 142,481 | 45,379 |
| 55 | 260,591 | 35,310 | 29,996 | 205 | 143,087 | 47,657 |
| 56 | 280,991 | 39,939 | 32,111 | 255 | 151,876 | 51,857 |
| 57 | 293,140 | 42,998 | 34,513 | 251 | 156,653 | 53,013 |
| 58 | 322,924 | 50,855 | 40,223 | 307 | 165,914 | 58,459 |
| 59 | 340,406 | 56,945 | 40,686 | 320 | 169,468 | 64,930 |
| 60 | 339,633 | 56,722 | 41,845 | 317 | 168,976 | 62,950 |
| 61 | 329,347 | 50,380 | 41,606 | 314 | 166,231 | 63,412 |
| 62 | 264,766 | 36,462 | 39,126 | 310 | 133,442 | 48,388 |
| 63 | 215,090 | 24,859 | 36,901 | 255 | 104,522 | 42,373 |
| 元 | 197,374 | 22,707 | 38,901 | 318 | 92,493 | 37,314 |
| 2 | 197,923 | 23,631 | 43,959 | 366 | 89,633 | 35,159 |
| 3 | 175,555 | 21,011 | 41,769 | 391 | 76,753 | 30,904 |
| 4 | 157,462 | 20,595 | 41,134 | 441 | 63,357 | 27,682 |
| 5 | 131,846 | 18,055 | 35,304 | 405 | 51,835 | 22,503 |
| 6 | 111,660 | 14,736 | 31,849 | 382 | 43,614 | 17,925 |
| 7 | 97,363 | 11,327 | 29,133 | 336 | 38,138 | 16,104 |
| 8 | 95,061 | 10,827 | 29,173 | 440 | 36,769 | 15,654 |
| 9 | 96,487 | 10,795 | 30,514 | 472 | 36,357 | 15,959 |

資料11 年齢層別一般保護事件終局処理人員及び主な処分別人員

① 年長少年

(昭和42年～平成9年)

| 年次 | 総 数 | 検察官送致 | 保護観察 | 児童施設送致 | 少年院送致 | 不処分 | 審判不開始 |
|-----|--------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|
| 42年 | 53,258 | 3,241 | 8,369 | — | 3,181 | 13,069 | 25,398 |
| 43 | 50,127 | 2,758 | 7,893 | — | 2,695 | 12,322 | 24,459 |
| 44 | 39,722 | 2,256 | 6,760 | — | 2,197 | 11,185 | 17,324 |
| 45 | 34,911 | 1,860 | 6,078 | — | 1,971 | 10,298 | 14,704 |
| 46 | 30,779 | 1,281 | 5,113 | — | 1,590 | 9,117 | 13,678 |
| 47 | 26,845 | 1,012 | 4,123 | 4 | 1,361 | 8,196 | 12,149 |
| 48 | 24,332 | 935 | 3,406 | 2 | 1,010 | 7,103 | 11,876 |
| 49 | 24,863 | 768 | 3,334 | — | 863 | 7,393 | 12,505 |
| 50 | 25,033 | 774 | 3,517 | — | 1,090 | 7,210 | 12,442 |
| 51 | 26,850 | 573 | 3,653 | 1 | 1,077 | 7,788 | 13,758 |
| 52 | 27,164 | 473 | 3,716 | — | 1,369 | 7,739 | 13,867 |
| 53 | 29,091 | 569 | 4,508 | — | 1,532 | 8,091 | 14,391 |
| 54 | 30,383 | 610 | 4,559 | — | 1,607 | 8,381 | 15,226 |
| 55 | 32,864 | 763 | 5,696 | — | 1,877 | 8,802 | 15,726 |
| 56 | 31,517 | 714 | 5,361 | — | 1,890 | 8,425 | 15,127 |
| 57 | 31,134 | 807 | 5,513 | — | 1,884 | 8,076 | 14,854 |
| 58 | 29,748 | 940 | 5,089 | — | 2,015 | 7,639 | 14,065 |
| 59 | 28,862 | 921 | 5,234 | — | 2,090 | 7,307 | 13,310 |
| 60 | 25,260 | 800 | 4,570 | — | 2,105 | 6,495 | 11,290 |
| 61 | 24,283 | 766 | 4,527 | — | 2,039 | 6,186 | 10,765 |
| 62 | 25,620 | 796 | 4,791 | — | 2,045 | 6,564 | 11,424 |
| 63 | 24,295 | 655 | 4,650 | — | 1,852 | 6,162 | 10,976 |
| 元 | 21,991 | 609 | 4,188 | — | 1,788 | 5,626 | 9,780 |
| 2 | 22,031 | 453 | 4,042 | — | 1,524 | 5,635 | 10,377 |
| 3 | 22,630 | 476 | 4,229 | — | 1,699 | 5,575 | 10,651 |
| 4 | 22,763 | 424 | 4,233 | — | 1,696 | 5,428 | 10,982 |
| 5 | 20,678 | 362 | 4,058 | — | 1,736 | 4,722 | 9,800 |
| 6 | 18,674 | 324 | 3,840 | — | 1,531 | 4,254 | 8,725 |
| 7 | 16,687 | 303 | 4,011 | — | 1,418 | 3,500 | 7,455 |
| 8 | 14,858 | 276 | 3,838 | — | 1,401 | 2,925 | 6,418 |
| 9 | 15,661 | 281 | 4,194 | — | 1,730 | 2,794 | 6,662 |

注1 「児童施設送致」とは、教護院（平成10年4月に児童自立支援施設と改称）及び養護施設（同じく児童養護施設と改称）への送致をいう。

注2 「非行無し」による不処分及び審判不開始を除く。また、昭和44年以降は、「所在不明等」・「その他」による不処分・審判不開始及び年齢超過による検察官送致を含まない。

資料11 年齢層別一般保護事件終局処理人員及び主な処分別人員

② 中間少年

(昭和42年～平成9年)

| 年次 | 総 数 | 検察官送致 | 保護観察 | 児童施設送致 | 少年院送致 | 不処分 | 審判不開始 |
|-----|--------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|
| 42年 | 55,275 | 373 | 7,021 | 10 | 2,646 | 14,102 | 31,102 |
| 43 | 49,012 | 305 | 6,256 | 17 | 2,031 | 12,270 | 28,111 |
| 44 | 37,281 | 184 | 5,001 | 13 | 1,678 | 10,807 | 19,573 |
| 45 | 36,075 | 136 | 4,663 | 7 | 1,450 | 11,067 | 18,735 |
| 46 | 36,469 | 112 | 4,422 | 2 | 1,220 | 11,394 | 19,302 |
| 47 | 33,268 | 113 | 3,744 | 8 | 1,013 | 10,868 | 17,503 |
| 48 | 32,981 | 105 | 3,085 | 9 | 815 | 10,450 | 18,506 |
| 49 | 35,936 | 71 | 3,044 | 2 | 693 | 10,948 | 21,171 |
| 50 | 38,893 | 81 | 3,497 | 3 | 920 | 11,318 | 23,067 |
| 51 | 42,669 | 66 | 3,899 | 3 | 982 | 12,345 | 25,355 |
| 52 | 40,333 | 23 | 3,591 | 4 | 1,141 | 11,314 | 24,244 |
| 53 | 44,866 | 36 | 4,250 | 1 | 1,452 | 11,633 | 27,485 |
| 54 | 49,880 | 35 | 4,870 | 5 | 1,473 | 13,057 | 30,431 |
| 55 | 51,794 | 66 | 5,881 | 6 | 1,715 | 13,364 | 30,753 |
| 56 | 55,732 | 53 | 6,151 | 3 | 1,837 | 13,774 | 33,910 |
| 57 | 56,380 | 54 | 6,622 | 2 | 1,927 | 14,276 | 33,495 |
| 58 | 50,834 | 68 | 6,199 | 4 | 2,013 | 12,983 | 29,563 |
| 59 | 51,751 | 72 | 6,595 | 8 | 2,175 | 12,914 | 29,980 |
| 60 | 54,402 | 54 | 6,864 | 3 | 2,310 | 13,539 | 31,624 |
| 61 | 52,755 | 57 | 6,558 | 5 | 2,208 | 12,805 | 31,113 |
| 62 | 50,897 | 63 | 6,201 | 2 | 1,944 | 12,513 | 30,169 |
| 63 | 51,405 | 61 | 6,195 | 3 | 1,750 | 11,877 | 31,517 |
| 元 | 49,662 | 53 | 5,738 | 5 | 1,789 | 11,593 | 30,478 |
| 2 | 49,964 | 37 | 5,690 | 4 | 1,575 | 11,752 | 30,899 |
| 3 | 46,667 | 42 | 5,539 | 2 | 1,570 | 11,016 | 28,492 |
| 4 | 42,895 | 49 | 5,371 | 5 | 1,573 | 9,929 | 25,961 |
| 5 | 36,724 | 45 | 4,701 | 5 | 1,475 | 8,318 | 22,179 |
| 6 | 33,986 | 37 | 4,490 | 9 | 1,513 | 7,727 | 20,203 |
| 7 | 31,752 | 25 | 5,274 | 9 | 1,480 | 6,815 | 18,146 |
| 8 | 31,019 | 16 | 5,716 | 7 | 1,704 | 6,488 | 17,079 |
| 9 | 32,696 | 11 | 6,412 | 10 | 1,944 | 6,527 | 17,789 |

資料11 年齢層別一般保護事件終局処理人員及び主な処分別人員

③ 年少少年

(昭和42年～平成9年)

| 年次 | 総 数 | 検察官送致 | 保護観察 | 児童施設送致 | 少年院送致 | 不処分 | 審判不開始 |
|-----|--------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|
| 42年 | 41,652 | 5 | 3,199 | 187 | 805 | 9,901 | 27,145 |
| 43 | 36,646 | 11 | 2,639 | 180 | 605 | 9,016 | 23,855 |
| 44 | 25,930 | 4 | 2,036 | 152 | 484 | 7,330 | 15,614 |
| 45 | 26,695 | 2 | 2,239 | 174 | 460 | 8,034 | 15,516 |
| 46 | 31,177 | 11 | 2,342 | 162 | 388 | 9,530 | 18,451 |
| 47 | 30,790 | 9 | 2,147 | 133 | 393 | 9,978 | 17,879 |
| 48 | 33,892 | 14 | 1,957 | 118 | 355 | 10,392 | 20,801 |
| 49 | 36,840 | 2 | 1,970 | 134 | 321 | 10,708 | 23,512 |
| 50 | 38,565 | — | 2,112 | 147 | 432 | 10,474 | 25,222 |
| 51 | 40,641 | 2 | 2,325 | 173 | 465 | 10,979 | 26,485 |
| 52 | 40,544 | — | 2,085 | 165 | 553 | 10,172 | 27,376 |
| 53 | 44,833 | 1 | 2,460 | 166 | 605 | 10,384 | 31,053 |
| 54 | 51,162 | — | 2,635 | 206 | 760 | 11,061 | 36,308 |
| 55 | 58,299 | — | 3,102 | 212 | 782 | 12,098 | 41,916 |
| 56 | 65,954 | 1 | 3,454 | 238 | 896 | 14,262 | 46,885 |
| 57 | 74,762 | 1 | 4,171 | 248 | 1,031 | 16,483 | 52,562 |
| 58 | 79,209 | — | 4,887 | 285 | 1,321 | 18,143 | 54,335 |
| 59 | 75,055 | — | 4,960 | 288 | 1,382 | 18,118 | 50,077 |
| 60 | 71,233 | — | 4,550 | 302 | 1,200 | 16,001 | 48,929 |
| 61 | 70,362 | 1 | 4,718 | 316 | 1,107 | 16,106 | 47,914 |
| 62 | 62,176 | — | 3,923 | 275 | 871 | 13,739 | 43,101 |
| 63 | 60,472 | — | 3,845 | 311 | 918 | 13,027 | 42,141 |
| 元 | 59,844 | — | 3,893 | 317 | 860 | 12,826 | 41,730 |
| 2 | 56,455 | — | 3,282 | 298 | 755 | 12,625 | 39,256 |
| 3 | 47,480 | 5 | 2,975 | 297 | 633 | 10,561 | 32,772 |
| 4 | 42,904 | 1 | 2,833 | 251 | 625 | 9,489 | 29,523 |
| 5 | 36,778 | — | 2,390 | 255 | 570 | 8,298 | 25,100 |
| 6 | 34,440 | — | 2,490 | 210 | 551 | 8,008 | 23,035 |
| 7 | 30,383 | — | 2,958 | 235 | 588 | 6,691 | 19,774 |
| 8 | 28,673 | 3 | 3,433 | 230 | 692 | 6,424 | 17,757 |
| 9 | 31,742 | — | 4,282 | 242 | 852 | 6,895 | 19,346 |

資料12 男女別一般保護事件終局処理人員及び主な処分別人員

① 男子

(昭和32年～平成9年)

| 年次 | 総 数 | 検察官送致 | 保護観察 | 少年院送致 | 不処分 | 審判不開始 |
|-----|---------|-------|--------|-------|--------|---------|
| 32年 | 97,992 | 3,175 | 15,592 | 7,396 | 29,661 | 40,514 |
| 33 | 105,331 | 3,243 | 16,084 | 7,812 | 31,042 | 45,526 |
| 34 | 112,963 | 3,969 | 18,072 | 8,397 | 31,716 | 49,033 |
| 35 | 127,708 | 4,219 | 18,649 | 8,155 | 32,555 | 62,406 |
| 36 | 131,981 | 3,783 | 18,478 | 7,904 | 30,841 | 69,200 |
| 37 | 136,785 | 3,409 | 17,209 | 7,592 | 31,560 | 75,200 |
| 38 | 149,115 | 3,080 | 16,801 | 6,964 | 32,262 | 88,417 |
| 39 | 148,675 | 2,844 | 17,952 | 7,501 | 34,389 | 84,458 |
| 40 | 149,808 | 3,066 | 18,730 | 7,096 | 38,411 | 81,165 |
| 41 | 150,256 | 3,879 | 19,566 | 7,418 | 39,143 | 78,983 |
| 42 | 136,123 | 3,548 | 16,989 | 6,096 | 34,198 | 74,148 |
| 43 | 121,744 | 3,038 | 15,317 | 4,843 | 31,073 | 66,476 |
| 44 | 105,014 | 2,421 | 12,673 | 4,008 | 27,183 | 57,804 |
| 45 | 105,938 | 1,973 | 12,041 | 3,594 | 27,590 | 59,924 |
| 46 | 102,949 | 1,385 | 10,965 | 2,948 | 27,884 | 59,005 |
| 47 | 94,199 | 1,109 | 9,249 | 2,558 | 26,975 | 53,618 |
| 48 | 94,158 | 1,028 | 7,765 | 1,987 | 25,657 | 57,065 |
| 49 | 98,662 | 820 | 7,665 | 1,740 | 26,445 | 61,430 |
| 50 | 100,623 | 836 | 8,381 | 2,270 | 25,984 | 62,611 |
| 51 | 104,985 | 632 | 8,930 | 2,307 | 27,750 | 64,735 |
| 52 | 101,802 | 486 | 8,420 | 2,747 | 25,528 | 64,027 |
| 53 | 112,923 | 589 | 9,986 | 3,177 | 26,480 | 72,118 |
| 54 | 127,631 | 623 | 10,762 | 3,338 | 29,017 | 83,159 |
| 55 | 141,884 | 806 | 13,155 | 3,864 | 30,550 | 92,763 |
| 56 | 153,084 | 741 | 13,324 | 4,106 | 32,325 | 101,753 |
| 57 | 162,192 | 833 | 14,458 | 4,302 | 34,382 | 107,348 |
| 58 | 158,850 | 961 | 14,000 | 4,671 | 33,697 | 104,625 |
| 59 | 154,654 | 950 | 14,303 | 4,938 | 32,962 | 100,629 |
| 60 | 156,185 | 822 | 13,630 | 4,883 | 31,210 | 104,763 |
| 61 | 154,897 | 776 | 13,518 | 4,720 | 30,357 | 104,733 |
| 62 | 151,751 | 823 | 12,701 | 4,290 | 28,052 | 105,019 |
| 63 | 147,731 | 685 | 12,426 | 3,955 | 26,276 | 103,561 |
| 元 | 134,334 | 628 | 11,702 | 3,903 | 25,066 | 92,230 |
| 2 | 130,111 | 466 | 11,003 | 3,399 | 24,699 | 89,741 |
| 3 | 122,055 | 496 | 10,592 | 3,400 | 22,351 | 84,437 |
| 4 | 116,588 | 434 | 10,530 | 3,375 | 20,496 | 81,009 |
| 5 | 106,412 | 377 | 9,556 | 3,322 | 18,024 | 74,456 |
| 6 | 104,392 | 349 | 9,374 | 3,156 | 17,104 | 73,745 |
| 7 | 96,919 | 310 | 10,679 | 3,029 | 14,730 | 67,564 |
| 8 | 97,778 | 278 | 11,285 | 3,326 | 13,774 | 68,519 |
| 9 | 107,704 | 274 | 13,025 | 4,025 | 14,128 | 75,626 |

資料12 男女別一般保護事件終局処理人員及び主な処分人員

② 女子

(昭和32年～平成9年)

| 年次 | 総 数 | 検察官送致 | 保護観察 | 少年院送致 | 不処分 | 審判不開始 |
|-----|--------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 32年 | 10,044 | 63 | 1,222 | 810 | 2,356 | 5,387 |
| 33 | 9,543 | 65 | 1,338 | 887 | 2,417 | 4,556 |
| 34 | 9,754 | 80 | 1,365 | 882 | 2,464 | 4,742 |
| 35 | 11,829 | 72 | 1,477 | 797 | 2,469 | 6,807 |
| 36 | 11,618 | 104 | 1,401 | 796 | 2,419 | 6,617 |
| 37 | 12,610 | 52 | 1,329 | 700 | 2,472 | 7,807 |
| 38 | 16,070 | 45 | 1,405 | 668 | 2,585 | 11,097 |
| 39 | 15,233 | 42 | 1,471 | 745 | 2,691 | 10,082 |
| 40 | 16,308 | 53 | 1,728 | 720 | 3,291 | 10,305 |
| 41 | 16,921 | 80 | 1,782 | 656 | 3,483 | 10,748 |
| 42 | 15,554 | 71 | 1,616 | 552 | 3,138 | 10,024 |
| 43 | 15,647 | 37 | 1,493 | 495 | 2,890 | 10,561 |
| 44 | 14,134 | 21 | 1,162 | 367 | 2,459 | 9,981 |
| 45 | 13,997 | 22 | 978 | 305 | 2,318 | 10,236 |
| 46 | 14,790 | 23 | 935 | 260 | 2,585 | 10,824 |
| 47 | 14,522 | 21 | 793 | 219 | 2,558 | 10,817 |
| 48 | 15,774 | 24 | 701 | 210 | 2,610 | 12,129 |
| 49 | 18,654 | 17 | 698 | 149 | 2,928 | 14,776 |
| 50 | 20,548 | 14 | 771 | 182 | 3,310 | 16,164 |
| 51 | 24,452 | 12 | 963 | 234 | 3,608 | 19,480 |
| 52 | 26,732 | 11 | 977 | 323 | 3,951 | 21,326 |
| 53 | 29,586 | 19 | 1,262 | 428 | 3,829 | 23,892 |
| 54 | 31,188 | 20 | 1,319 | 516 | 3,741 | 25,429 |
| 55 | 34,342 | 18 | 1,532 | 518 | 3,996 | 28,116 |
| 56 | 38,529 | 21 | 1,651 | 527 | 4,441 | 31,737 |
| 57 | 39,465 | 26 | 1,851 | 560 | 4,769 | 32,060 |
| 58 | 43,810 | 44 | 2,186 | 700 | 5,312 | 35,354 |
| 59 | 40,662 | 41 | 2,500 | 721 | 5,622 | 31,572 |
| 60 | 37,999 | 29 | 2,377 | 743 | 5,073 | 29,543 |
| 61 | 39,184 | 44 | 2,301 | 642 | 4,949 | 31,057 |
| 62 | 39,737 | 34 | 2,234 | 581 | 4,983 | 31,705 |
| 63 | 45,273 | 30 | 2,268 | 571 | 4,923 | 37,264 |
| 元 | 43,826 | 31 | 2,135 | 549 | 5,138 | 35,733 |
| 2 | 41,505 | 24 | 2,015 | 460 | 5,477 | 33,304 |
| 3 | 37,114 | 29 | 2,156 | 509 | 4,938 | 29,277 |
| 4 | 32,405 | 39 | 1,918 | 527 | 4,449 | 25,259 |
| 5 | 28,389 | 30 | 1,601 | 468 | 3,423 | 22,692 |
| 6 | 28,236 | 11 | 1,452 | 444 | 2,969 | 23,187 |
| 7 | 27,522 | 17 | 1,574 | 464 | 2,387 | 22,929 |
| 8 | 30,196 | 16 | 1,718 | 478 | 2,166 | 25,666 |
| 9 | 38,541 | 18 | 1,884 | 510 | 2,204 | 33,780 |

資料13 殺人の終局処理人員及び処分別人員

(昭和33年～平成9年)

| 年次 | 総 数 | 検察官送致 | 保護観察 | 児童施設送致 | 少年院送致 | 不処分 | 審判不開始 |
|-----|-----|-------|------|--------|-------|-----|-------|
| 33年 | 252 | 132 | 37 | 1 | 40 | 30 | 10 |
| 34 | 291 | 161 | 50 | — | 46 | 28 | 6 |
| 35 | 318 | 137 | 66 | — | 56 | 42 | 17 |
| 36 | 360 | 167 | 77 | — | 56 | 42 | 17 |
| 37 | 283 | 133 | 55 | — | 53 | 34 | 7 |
| 38 | 305 | 154 | 59 | — | 52 | 26 | 14 |
| 39 | 292 | 124 | 63 | — | 66 | 34 | 4 |
| 40 | 310 | 136 | 73 | — | 58 | 33 | 8 |
| 41 | 314 | 159 | 52 | — | 63 | 27 | 13 |
| 42 | 285 | 139 | 64 | 1 | 45 | 29 | 6 |
| 43 | 233 | 119 | 37 | — | 41 | 25 | 11 |
| 44 | 189 | 80 | 56 | — | 34 | 14 | 5 |
| 45 | 165 | 69 | 41 | 1 | 29 | 24 | 1 |
| 46 | 106 | 44 | 23 | 1 | 19 | 15 | 4 |
| 47 | 114 | 51 | 18 | — | 27 | 16 | 2 |
| 48 | 80 | 23 | 27 | — | 16 | 13 | 1 |
| 49 | 84 | 36 | 17 | 1 | 13 | 14 | 2 |
| 50 | 81 | 18 | 20 | — | 27 | 16 | — |
| 51 | 67 | 23 | 16 | 2 | 18 | 7 | 1 |
| 52 | 55 | 18 | 13 | — | 13 | 10 | 1 |
| 53 | 69 | 11 | 17 | — | 23 | 17 | 1 |
| 54 | 74 | 26 | 14 | 1 | 22 | 9 | 2 |
| 55 | 35 | 6 | 12 | — | 8 | 8 | 1 |
| 56 | 41 | 11 | 13 | 1 | 13 | 3 | — |
| 57 | 58 | 16 | 17 | — | 18 | 6 | 1 |
| 58 | 68 | 24 | 9 | — | 31 | 3 | 1 |
| 59 | 52 | 9 | 15 | — | 20 | 8 | — |
| 60 | 86 | 29 | 11 | — | 39 | 7 | — |
| 61 | 63 | 22 | 9 | 1 | 27 | 3 | 1 |
| 62 | 74 | 22 | 17 | — | 29 | 4 | 2 |
| 63 | 52 | 15 | 9 | 1 | 25 | 1 | 1 |
| 元 | 55 | 20 | 7 | 1 | 24 | 3 | — |
| 2 | 48 | 10 | 6 | — | 31 | — | 1 |
| 3 | 42 | 11 | 7 | — | 23 | 1 | — |
| 4 | 43 | 10 | 6 | — | 24 | 1 | 1 |
| 5 | 51 | 17 | 4 | — | 29 | 1 | — |
| 6 | 29 | 13 | 3 | — | 13 | — | — |
| 7 | 44 | 11 | 10 | — | 21 | 2 | — |
| 8 | 42 | 16 | 4 | — | 22 | — | — |
| 9 | 33 | 4 | 2 | — | 26 | 1 | — |

注 資料11の注に同じ。

資料14 強盗の終局処理人員及び処分別人員

(昭和33年～平成9年)

| 年次 | 総 数 | 検 察 官 送 致 | 保 護 観 察 | 児 童 施 設 送 致 | 少 年 院 送 致 | 不 処 分 | 審 判 不 開 始 |
|-----|-------|-----------|---------|-------------|-----------|-------|-----------|
| 33年 | 1,157 | 158 | 369 | — | 313 | 243 | 73 |
| 34 | 1,332 | 182 | 440 | 1 | 358 | 249 | 99 |
| 35 | 1,394 | 176 | 475 | 1 | 336 | 277 | 127 |
| 36 | 1,153 | 105 | 401 | 2 | 294 | 236 | 114 |
| 37 | 1,127 | 131 | 364 | 2 | 309 | 205 | 110 |
| 38 | 1,108 | 139 | 351 | 2 | 272 | 240 | 104 |
| 39 | 1,085 | 118 | 377 | 5 | 271 | 220 | 92 |
| 40 | 1,023 | 136 | 331 | 5 | 271 | 204 | 74 |
| 41 | 1,045 | 124 | 349 | 1 | 321 | 180 | 66 |
| 42 | 770 | 125 | 263 | — | 224 | 123 | 35 |
| 43 | 640 | 86 | 223 | 4 | 179 | 106 | 40 |
| 44 | 488 | 75 | 168 | 2 | 135 | 94 | 14 |
| 45 | 446 | 41 | 174 | — | 119 | 90 | 22 |
| 46 | 375 | 31 | 142 | 2 | 86 | 91 | 23 |
| 47 | 285 | 23 | 101 | — | 63 | 89 | 9 |
| 48 | 306 | 31 | 94 | 2 | 50 | 104 | 25 |
| 49 | 260 | 32 | 75 | 1 | 53 | 79 | 20 |
| 50 | 256 | 16 | 87 | 2 | 57 | 70 | 23 |
| 51 | 230 | 16 | 75 | 1 | 46 | 66 | 26 |
| 52 | 204 | 17 | 60 | 1 | 45 | 58 | 23 |
| 53 | 223 | 12 | 72 | 1 | 61 | 66 | 10 |
| 54 | 192 | 18 | 70 | — | 49 | 48 | 7 |
| 55 | 271 | 12 | 109 | — | 72 | 69 | 9 |
| 56 | 335 | 13 | 136 | 1 | 80 | 85 | 20 |
| 57 | 306 | 17 | 106 | 1 | 51 | 97 | 34 |
| 58 | 290 | 6 | 97 | — | 91 | 73 | 23 |
| 59 | 245 | 8 | 89 | 1 | 81 | 48 | 18 |
| 60 | 193 | 4 | 59 | — | 59 | 51 | 20 |
| 61 | 230 | 5 | 95 | 2 | 63 | 52 | 12 |
| 62 | 229 | 13 | 84 | — | 52 | 62 | 17 |
| 63 | 142 | 7 | 52 | — | 40 | 37 | 6 |
| 元 | 176 | 3 | 53 | 1 | 65 | 43 | 11 |
| 2 | 162 | 7 | 59 | 1 | 54 | 32 | 9 |
| 3 | 173 | 8 | 72 | 1 | 43 | 42 | 7 |
| 4 | 209 | 8 | 75 | 1 | 65 | 45 | 15 |
| 5 | 203 | 3 | 74 | 1 | 62 | 50 | 12 |
| 6 | 213 | 6 | 87 | 1 | 57 | 51 | 10 |
| 7 | 197 | 5 | 109 | 2 | 38 | 34 | 9 |
| 8 | 229 | 4 | 121 | 1 | 55 | 38 | 9 |
| 9 | 276 | 2 | 131 | 1 | 107 | 25 | 10 |

注 資料11の注に同じ。

資料15 窃盗の終局処理人員及び処分別人員

(昭和33年～平成9年)

| 年次 | 総 数 | 検察官送致 | 保護観察 | 児童施設送致 | 少年院送致 | 不処分 | 審判不開始 |
|-----|--------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 33年 | 48,920 | 987 | 7,958 | 128 | 4,653 | 13,867 | 20,915 |
| 34 | 53,073 | 1,195 | 8,682 | 145 | 4,904 | 14,012 | 23,687 |
| 35 | 60,904 | 1,309 | 9,276 | 91 | 4,735 | 15,464 | 29,616 |
| 36 | 67,037 | 1,319 | 9,215 | 115 | 4,361 | 15,539 | 35,988 |
| 37 | 72,231 | 1,072 | 8,675 | 172 | 4,213 | 16,525 | 40,983 |
| 38 | 81,238 | 945 | 8,424 | 116 | 3,745 | 17,268 | 50,289 |
| 39 | 83,674 | 837 | 9,019 | 134 | 3,860 | 18,715 | 50,675 |
| 40 | 84,905 | 997 | 9,377 | 154 | 3,707 | 20,913 | 49,323 |
| 41 | 86,163 | 1,207 | 10,188 | 133 | 4,053 | 21,567 | 48,651 |
| 42 | 76,682 | 1,176 | 8,718 | 106 | 3,261 | 18,807 | 44,328 |
| 43 | 70,685 | 1,048 | 8,179 | 103 | 2,785 | 17,579 | 40,754 |
| 44 | 53,237 | 788 | 7,094 | 74 | 2,327 | 15,733 | 26,987 |
| 45 | 51,776 | 644 | 6,921 | 81 | 2,079 | 16,219 | 25,645 |
| 46 | 54,185 | 469 | 6,209 | 85 | 1,657 | 17,194 | 28,369 |
| 47 | 53,712 | 357 | 5,429 | 77 | 1,447 | 17,827 | 28,399 |
| 48 | 54,237 | 297 | 4,683 | 60 | 1,137 | 17,670 | 30,197 |
| 49 | 60,143 | 212 | 4,569 | 77 | 1,032 | 18,084 | 36,030 |
| 50 | 62,154 | 219 | 4,681 | 70 | 1,330 | 17,440 | 38,281 |
| 51 | 65,054 | 168 | 4,751 | 70 | 1,310 | 17,776 | 40,837 |
| 52 | 63,251 | 95 | 4,276 | 66 | 1,546 | 15,889 | 41,255 |
| 53 | 69,705 | 126 | 4,843 | 75 | 1,722 | 15,809 | 47,037 |
| 54 | 76,960 | 122 | 5,156 | 76 | 1,805 | 16,778 | 52,922 |
| 55 | 82,395 | 141 | 5,820 | 87 | 1,913 | 17,377 | 56,941 |
| 56 | 89,467 | 175 | 6,003 | 94 | 2,024 | 18,559 | 62,498 |
| 57 | 94,222 | 201 | 6,782 | 88 | 2,059 | 19,649 | 65,315 |
| 58 | 93,043 | 193 | 6,986 | 110 | 2,290 | 19,603 | 63,727 |
| 59 | 90,642 | 194 | 7,584 | 122 | 2,542 | 19,717 | 60,356 |
| 60 | 90,231 | 152 | 7,408 | 128 | 2,722 | 18,818 | 60,873 |
| 61 | 88,548 | 163 | 7,368 | 144 | 2,605 | 18,256 | 59,916 |
| 62 | 82,634 | 194 | 7,031 | 138 | 2,358 | 16,904 | 55,870 |
| 63 | 82,936 | 176 | 6,862 | 144 | 2,241 | 16,149 | 57,249 |
| 元 | 78,481 | 141 | 6,286 | 138 | 2,118 | 15,218 | 54,469 |
| 2 | 74,054 | 110 | 5,817 | 130 | 1,795 | 14,810 | 51,282 |
| 3 | 64,213 | 106 | 5,329 | 136 | 1,738 | 12,834 | 43,953 |
| 4 | 57,937 | 96 | 5,132 | 117 | 1,649 | 11,488 | 39,350 |
| 5 | 51,585 | 64 | 4,869 | 124 | 1,630 | 10,307 | 34,501 |
| 6 | 49,207 | 64 | 4,665 | 103 | 1,510 | 10,277 | 32,514 |
| 7 | 43,704 | 46 | 5,080 | 133 | 1,341 | 8,509 | 28,521 |
| 8 | 41,886 | 39 | 5,387 | 101 | 1,382 | 8,152 | 26,743 |
| 9 | 43,844 | 50 | 5,845 | 107 | 1,467 | 8,196 | 28,128 |

注 資料11の注に同じ。

資料16 傷害の終局処理人員及び処分別人員

(昭和33年～平成9年)

| 年次 | 総 数 | 検察官送致 | 保護観察 | 児童施設送致 | 少年院送致 | 不処分 | 審判不開始 |
|-----|--------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|
| 33年 | 13,200 | 433 | 1,788 | 2 | 379 | 5,134 | 5,456 |
| 34 | 13,858 | 512 | 2,063 | 2 | 470 | 5,239 | 5,558 |
| 35 | 14,192 | 534 | 2,049 | — | 421 | 4,703 | 6,479 |
| 36 | 14,595 | 487 | 2,094 | 4 | 437 | 4,400 | 7,166 |
| 37 | 14,166 | 526 | 1,855 | 1 | 412 | 4,439 | 6,928 |
| 38 | 13,782 | 503 | 1,739 | 3 | 366 | 4,022 | 7,132 |
| 39 | 13,530 | 552 | 1,886 | 3 | 490 | 4,181 | 6,410 |
| 40 | 13,920 | 488 | 2,017 | 8 | 431 | 4,821 | 6,145 |
| 41 | 14,572 | 626 | 2,178 | 5 | 436 | 5,128 | 6,197 |
| 42 | 14,492 | 662 | 1,997 | 4 | 422 | 4,997 | 6,406 |
| 43 | 12,265 | 543 | 1,766 | 6 | 315 | 4,168 | 5,462 |
| 44 | 9,268 | 403 | 1,333 | 10 | 262 | 3,409 | 3,850 |
| 45 | 8,448 | 335 | 1,212 | 2 | 177 | 3,272 | 3,446 |
| 46 | 7,664 | 224 | 1,062 | 2 | 141 | 3,001 | 3,231 |
| 47 | 6,418 | 182 | 889 | 4 | 127 | 2,597 | 2,618 |
| 48 | 6,203 | 150 | 823 | — | 87 | 2,457 | 2,684 |
| 49 | 6,215 | 129 | 692 | 1 | 81 | 2,519 | 2,792 |
| 50 | 6,226 | 115 | 765 | 5 | 114 | 2,363 | 2,856 |
| 51 | 5,997 | 88 | 739 | 6 | 131 | 2,334 | 2,698 |
| 52 | 6,064 | 100 | 741 | 7 | 174 | 2,337 | 2,701 |
| 53 | 5,978 | 100 | 901 | 8 | 180 | 2,083 | 2,706 |
| 54 | 6,123 | 98 | 959 | 4 | 199 | 2,241 | 2,616 |
| 55 | 7,249 | 128 | 1,222 | 7 | 250 | 2,436 | 3,200 |
| 56 | 8,282 | 92 | 1,323 | 15 | 324 | 3,015 | 3,508 |
| 57 | 9,653 | 118 | 1,488 | 16 | 348 | 3,508 | 4,166 |
| 58 | 9,432 | 119 | 1,438 | 17 | 365 | 3,875 | 3,608 |
| 59 | 9,660 | 128 | 1,503 | 15 | 396 | 3,761 | 3,849 |
| 60 | 8,736 | 137 | 1,506 | 18 | 408 | 3,595 | 3,061 |
| 61 | 9,206 | 111 | 1,535 | 35 | 419 | 3,732 | 3,357 |
| 62 | 8,644 | 120 | 1,519 | 14 | 372 | 3,544 | 3,056 |
| 63 | 7,995 | 108 | 1,475 | 27 | 363 | 3,206 | 2,803 |
| 元 | 8,532 | 109 | 1,580 | 11 | 372 | 3,429 | 3,009 |
| 2 | 7,837 | 80 | 1,395 | 27 | 316 | 3,451 | 2,546 |
| 3 | 7,386 | 82 | 1,463 | 26 | 435 | 3,050 | 2,312 |
| 4 | 7,884 | 71 | 1,742 | 26 | 472 | 3,221 | 2,338 |
| 5 | 6,963 | 56 | 1,406 | 16 | 431 | 2,954 | 2,082 |
| 6 | 6,204 | 58 | 1,497 | 23 | 394 | 2,634 | 1,589 |
| 7 | 6,177 | 57 | 1,895 | 15 | 402 | 2,301 | 1,496 |
| 8 | 6,116 | 52 | 2,053 | 27 | 450 | 2,243 | 1,283 |
| 9 | 7,392 | 34 | 2,722 | 34 | 654 | 2,430 | 1,503 |

注 資料11の注に同じ。

資料17 覚せい剤取締法違反の終局処理人員及び処分別人員

(昭和33年～平成9年)

| 年次 | 総 数 | 検察官送致 | 保護観察 | 児童施設送致 | 少年院送致 | 不処分 | 審判不開始 |
|-----|-------|-------|------|--------|-------|-----|-------|
| 33年 | 14 | 3 | — | — | 2 | 3 | 6 |
| 34 | 9 | 1 | 3 | — | 2 | — | 3 |
| 35 | 29 | 3 | 9 | — | 6 | 7 | 4 |
| 36 | 29 | 5 | 5 | — | 3 | 7 | 9 |
| 37 | 24 | 3 | 4 | — | 4 | 4 | 9 |
| 38 | 36 | 11 | 6 | — | 6 | 8 | 5 |
| 39 | 41 | 14 | 9 | — | 5 | 3 | 10 |
| 40 | 31 | 10 | 5 | — | 3 | 3 | 10 |
| 41 | 29 | 3 | 6 | — | 2 | 5 | 13 |
| 42 | 25 | 7 | 3 | — | 1 | 2 | 12 |
| 43 | 38 | 2 | 4 | — | — | 2 | 30 |
| 44 | 9 | — | 4 | — | — | 2 | 3 |
| 45 | 26 | 5 | 4 | — | 2 | 12 | 3 |
| 46 | 22 | 4 | 6 | — | 1 | 4 | 7 |
| 47 | 37 | 2 | 12 | — | 7 | 8 | 8 |
| 48 | 111 | 16 | 26 | 1 | 7 | 37 | 24 |
| 49 | 67 | 1 | 15 | — | 7 | 31 | 13 |
| 50 | 137 | 8 | 43 | 1 | 17 | 49 | 19 |
| 51 | 288 | 11 | 110 | — | 36 | 87 | 44 |
| 52 | 459 | 21 | 162 | 1 | 71 | 156 | 48 |
| 53 | 911 | 44 | 362 | 1 | 175 | 249 | 80 |
| 54 | 1,203 | 53 | 452 | — | 244 | 340 | 113 |
| 55 | 1,487 | 111 | 572 | — | 332 | 341 | 131 |
| 56 | 1,868 | 131 | 813 | 1 | 458 | 347 | 118 |
| 57 | 2,045 | 169 | 847 | 1 | 549 | 358 | 120 |
| 58 | 1,931 | 158 | 794 | 1 | 562 | 326 | 90 |
| 59 | 1,882 | 139 | 802 | 2 | 571 | 286 | 82 |
| 60 | 1,500 | 101 | 621 | 1 | 520 | 186 | 71 |
| 61 | 1,235 | 77 | 534 | — | 452 | 134 | 38 |
| 62 | 1,064 | 71 | 438 | — | 391 | 130 | 33 |
| 63 | 863 | 67 | 380 | 2 | 287 | 97 | 30 |
| 元 | 730 | 50 | 329 | — | 247 | 87 | 17 |
| 2 | 574 | 25 | 259 | — | 198 | 79 | 13 |
| 3 | 767 | 50 | 308 | 1 | 316 | 80 | 12 |
| 4 | 757 | 36 | 331 | 2 | 296 | 73 | 18 |
| 5 | 799 | 27 | 347 | 3 | 339 | 66 | 17 |
| 6 | 640 | 34 | 259 | 1 | 273 | 63 | 10 |
| 7 | 884 | 38 | 408 | 1 | 364 | 63 | 8 |
| 8 | 1,101 | 31 | 566 | 2 | 429 | 56 | 17 |
| 9 | 1,281 | 34 | 660 | 4 | 485 | 65 | 33 |

注1 資料11の注に同じ。

注2 昭和44年以降は、「所在不明等」・「その他」による不処分・審判不開始を含まない。

資料18 虞犯の終局処理人員及び処分別人員

(昭和33年～平成9年)

| 年次 | 総 数 | 検察官送致 | 保護観察 | 児童施設送致 | 少年院送致 | 不処分 | 審判不開始 |
|-----|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|
| 33年 | 7,430 | — | 1,101 | 81 | 1,030 | 1,761 | 3,317 |
| 34 | 6,155 | — | 1,025 | 64 | 908 | 1,475 | 2,590 |
| 35 | 5,717 | — | 993 | 50 | 797 | 1,322 | 2,466 |
| 36 | 5,306 | — | 875 | 85 | 761 | 1,166 | 2,307 |
| 37 | 5,573 | — | 953 | 89 | 772 | 1,272 | 2,416 |
| 38 | 6,203 | — | 1,000 | 95 | 741 | 1,324 | 2,953 |
| 39 | 6,259 | — | 1,079 | 100 | 873 | 1,540 | 2,578 |
| 40 | 6,980 | — | 1,177 | 79 | 729 | 1,823 | 3,065 |
| 41 | 6,838 | — | 1,209 | 67 | 566 | 2,018 | 2,893 |
| 42 | 6,645 | — | 1,189 | 66 | 509 | 1,864 | 2,925 |
| 43 | 6,566 | — | 1,220 | 60 | 442 | 1,710 | 3,056 |
| 44 | 5,751 | — | 1,047 | 61 | 405 | 1,719 | 2,458 |
| 45 | 4,843 | — | 846 | 78 | 292 | 1,476 | 2,085 |
| 46 | 5,035 | — | 911 | 60 | 304 | 1,695 | 1,995 |
| 47 | 3,616 | — | 615 | 51 | 248 | 1,279 | 1,355 |
| 48 | 2,375 | — | 366 | 54 | 216 | 796 | 898 |
| 49 | 2,126 | — | 393 | 41 | 127 | 759 | 763 |
| 50 | 2,452 | — | 494 | 54 | 215 | 790 | 872 |
| 51 | 2,502 | — | 535 | 76 | 249 | 854 | 734 |
| 52 | 2,567 | — | 576 | 69 | 366 | 837 | 665 |
| 53 | 2,863 | — | 700 | 62 | 412 | 931 | 702 |
| 54 | 2,846 | — | 741 | 103 | 459 | 852 | 624 |
| 55 | 3,202 | — | 900 | 84 | 483 | 992 | 696 |
| 56 | 2,931 | — | 837 | 86 | 435 | 886 | 621 |
| 57 | 3,032 | — | 948 | 98 | 454 | 891 | 555 |
| 58 | 3,296 | — | 1,015 | 113 | 597 | 973 | 535 |
| 59 | 3,035 | — | 1,013 | 108 | 507 | 822 | 529 |
| 60 | 2,748 | — | 977 | 121 | 448 | 731 | 387 |
| 61 | 2,357 | — | 818 | 88 | 362 | 669 | 359 |
| 62 | 2,400 | — | 797 | 79 | 373 | 673 | 413 |
| 63 | 2,105 | — | 762 | 94 | 331 | 584 | 263 |
| 元 | 1,866 | — | 652 | 123 | 303 | 496 | 235 |
| 2 | 1,817 | — | 607 | 103 | 298 | 546 | 193 |
| 3 | 1,497 | — | 514 | 89 | 209 | 438 | 196 |
| 4 | 1,245 | — | 404 | 69 | 192 | 368 | 178 |
| 5 | 969 | — | 311 | 75 | 153 | 265 | 137 |
| 6 | 814 | — | 276 | 51 | 150 | 208 | 94 |
| 7 | 737 | — | 258 | 61 | 154 | 169 | 69 |
| 8 | 819 | — | 323 | 70 | 138 | 182 | 79 |
| 9 | 749 | — | 270 | 58 | 123 | 175 | 82 |

注1 資料11の注1に同じ。

注2 昭和44年以降は、「所在不明等」・「その他」による不処分・審判不開始を含まない。

資料19 不処分の理由別人員

(昭和42年～平成9年)

| 年次 | 総 数 | 保護的措置 | 別件保護中 | 非行なし | 所在不明等 | その他 |
|-----|--------|---------------|-------------|-----------|-----------|-----------|
| 42年 | 62,223 | 58,124 (93.4) | 3,753 (6.0) | 238 (0.4) | 81 (0.1) | 27 (0.0) |
| 43 | 66,346 | 62,590 (94.3) | 3,321 (5.0) | 318 (0.5) | 87 (0.1) | 30 (0.0) |
| 44 | 68,747 | 65,366 (95.1) | 2,800 (4.1) | 455 (0.7) | 66 (0.1) | 60 (0.1) |
| 45 | 70,962 | 68,032 (95.9) | 2,256 (3.2) | 493 (0.7) | 111 (0.2) | 70 (0.1) |
| 46 | 72,599 | 69,727 (96.0) | 2,205 (3.0) | 567 (0.8) | 69 (0.1) | 31 (0.0) |
| 47 | 69,933 | 67,224 (96.1) | 2,060 (2.9) | 570 (0.8) | 55 (0.1) | 24 (0.0) |
| 48 | 64,729 | 62,272 (96.2) | 2,011 (3.1) | 366 (0.6) | 51 (0.1) | 29 (0.0) |
| 49 | 62,842 | 60,328 (96.0) | 2,068 (3.3) | 327 (0.5) | 82 (0.1) | 37 (0.1) |
| 50 | 59,165 | 56,678 (95.8) | 2,155 (3.6) | 263 (0.4) | 36 (0.1) | 33 (0.1) |
| 51 | 61,577 | 58,511 (95.0) | 2,587 (4.2) | 315 (0.5) | 47 (0.1) | 117 (0.2) |
| 52 | 56,669 | 53,703 (94.8) | 2,575 (4.5) | 279 (0.5) | 47 (0.1) | 65 (0.1) |
| 53 | 57,943 | 54,877 (94.7) | 2,772 (4.8) | 219 (0.4) | 20 (0.0) | 55 (0.1) |
| 54 | 60,434 | 56,979 (94.3) | 3,126 (5.2) | 267 (0.4) | 38 (0.1) | 24 (0.0) |
| 55 | 60,925 | 57,025 (93.6) | 3,591 (5.9) | 258 (0.4) | 37 (0.1) | 14 (0.0) |
| 56 | 64,230 | 59,998 (93.4) | 3,868 (6.0) | 322 (0.5) | 21 (0.0) | 21 (0.0) |
| 57 | 67,481 | 62,976 (93.3) | 4,102 (6.1) | 360 (0.5) | 18 (0.0) | 25 (0.0) |
| 58 | 68,193 | 63,627 (93.3) | 4,206 (6.2) | 314 (0.5) | 16 (0.0) | 30 (0.0) |
| 59 | 66,445 | 61,685 (92.8) | 4,460 (6.7) | 282 (0.4) | 12 (0.0) | 6 (0.0) |
| 60 | 63,784 | 58,890 (92.3) | 4,577 (7.2) | 289 (0.5) | 24 (0.0) | 4 (0.0) |
| 61 | 63,651 | 59,004 (92.7) | 4,380 (6.9) | 233 (0.4) | 29 (0.0) | 5 (0.0) |
| 62 | 65,237 | 60,621 (92.9) | 4,343 (6.7) | 244 (0.4) | 24 (0.0) | 5 (0.0) |
| 63 | 63,767 | 59,435 (93.2) | 4,057 (6.4) | 263 (0.4) | 8 (0.0) | 4 (0.0) |
| 元 | 63,262 | 59,256 (93.7) | 3,681 (5.8) | 305 (0.5) | 16 (0.0) | 4 (0.0) |
| 2 | 62,647 | 58,714 (93.7) | 3,674 (5.9) | 233 (0.4) | 13 (0.0) | 13 (0.0) |
| 3 | 59,018 | 55,383 (93.8) | 3,434 (5.8) | 183 (0.3) | 9 (0.0) | 9 (0.0) |
| 4 | 55,664 | 52,495 (94.3) | 2,997 (5.4) | 154 (0.3) | 9 (0.0) | 9 (0.0) |
| 5 | 49,391 | 46,538 (94.2) | 2,673 (5.4) | 154 (0.3) | 7 (0.0) | 19 (0.0) |
| 6 | 44,508 | 42,194 (94.8) | 2,191 (4.9) | 118 (0.3) | 2 (0.0) | 3 (0.0) |
| 7 | 39,895 | 37,811 (94.8) | 1,963 (4.9) | 106 (0.3) | 4 (0.0) | 11 (0.0) |
| 8 | 37,848 | 36,053 (95.3) | 1,709 (4.5) | 83 (0.2) | 2 (0.0) | 1 (0.0) |
| 9 | 36,196 | 34,308 (94.8) | 1,790 (4.9) | 93 (0.3) | 1 (0.0) | 4 (0.0) |

注 () 内は不処分総数に占める比率である。

資料20 審判不開始の理由別人員

(昭和42年～平成9年)

| 年次 | 総 数 | 保護的措置 | 別件保護中 | 事案軽微 | 非行なし | その他 |
|-----|---------|---------------|-------------|---------------|-----------|-------------|
| 42年 | 92,400 | 57,074 (61.8) | 3,986 (4.3) | 27,127 (29.4) | 422 (0.5) | 3,791 (4.1) |
| 43 | 85,566 | 53,997 (63.1) | 3,512 (4.1) | 23,961 (28.0) | 484 (0.6) | 3,612 (4.2) |
| 44 | 77,852 | 48,493 (62.3) | 2,724 (3.5) | 21,945 (28.2) | 694 (0.9) | 3,996 (5.1) |
| 45 | 79,243 | 48,892 (61.7) | 2,257 (2.8) | 23,446 (29.6) | 636 (0.8) | 4,012 (5.1) |
| 46 | 76,243 | 49,060 (64.3) | 1,904 (2.5) | 21,188 (27.8) | 644 (0.8) | 3,447 (4.5) |
| 47 | 70,020 | 44,985 (64.2) | 1,566 (2.2) | 19,909 (28.4) | 679 (1.0) | 2,881 (4.1) |
| 48 | 73,993 | 46,925 (63.4) | 1,432 (1.9) | 22,407 (30.3) | 618 (0.8) | 2,611 (3.5) |
| 49 | 80,228 | 54,314 (67.7) | 1,377 (1.7) | 20,944 (26.1) | 511 (0.6) | 3,082 (3.8) |
| 50 | 82,423 | 58,443 (70.9) | 1,539 (1.9) | 19,341 (23.5) | 417 (0.5) | 2,683 (3.3) |
| 51 | 87,549 | 62,216 (71.1) | 1,840 (2.1) | 20,727 (23.7) | 339 (0.4) | 2,427 (2.8) |
| 52 | 89,156 | 63,026 (70.7) | 1,922 (2.2) | 21,371 (24.0) | 315 (0.4) | 2,522 (2.8) |
| 53 | 100,596 | 70,873 (70.5) | 2,324 (2.3) | 25,137 (25.0) | 219 (0.2) | 2,043 (2.0) |
| 54 | 113,032 | 78,886 (69.8) | 2,494 (2.2) | 30,141 (26.7) | 257 (0.2) | 1,254 (1.1) |
| 55 | 125,107 | 85,498 (68.3) | 2,976 (2.4) | 35,079 (28.0) | 255 (0.2) | 1,299 (1.0) |
| 56 | 137,875 | 92,915 (67.4) | 3,116 (2.3) | 40,339 (29.3) | 214 (0.2) | 1,291 (0.9) |
| 57 | 144,176 | 97,100 (67.3) | 3,464 (2.4) | 42,168 (29.2) | 295 (0.2) | 1,149 (0.8) |
| 58 | 144,842 | 93,205 (64.3) | 3,747 (2.6) | 46,398 (32.0) | 274 (0.2) | 1,218 (0.8) |
| 59 | 137,512 | 88,769 (64.6) | 3,979 (2.9) | 43,357 (31.5) | 230 (0.2) | 1,177 (0.9) |
| 60 | 139,640 | 87,170 (62.4) | 3,674 (2.6) | 47,539 (34.0) | 226 (0.2) | 1,031 (0.7) |
| 61 | 140,278 | 85,691 (61.1) | 3,621 (2.6) | 49,727 (35.4) | 180 (0.1) | 1,059 (0.8) |
| 62 | 142,366 | 82,166 (57.7) | 3,347 (2.4) | 55,702 (39.1) | 177 (0.1) | 974 (0.7) |
| 63 | 146,928 | 82,644 (56.2) | 2,987 (2.0) | 60,174 (41.0) | 150 (0.1) | 973 (0.7) |
| 元 | 134,928 | 81,811 (60.6) | 2,718 (2.0) | 49,445 (36.6) | 125 (0.1) | 829 (0.6) |
| 2 | 130,233 | 81,913 (62.9) | 2,517 (1.9) | 44,919 (34.5) | 85 (0.1) | 799 (0.6) |
| 3 | 121,116 | 73,565 (60.7) | 2,360 (1.9) | 44,328 (36.6) | 119 (0.1) | 744 (0.6) |
| 4 | 115,320 | 69,338 (60.1) | 2,257 (2.0) | 42,885 (37.2) | 80 (0.1) | 760 (0.7) |
| 5 | 107,423 | 61,663 (57.4) | 1,867 (1.7) | 43,213 (40.2) | 108 (0.1) | 572 (0.5) |
| 6 | 106,449 | 57,754 (54.3) | 1,603 (1.5) | 46,473 (43.7) | 96 (0.1) | 523 (0.5) |
| 7 | 98,696 | 50,728 (51.4) | 1,528 (1.5) | 45,916 (46.5) | 62 (0.1) | 462 (0.5) |
| 8 | 101,431 | 45,588 (44.9) | 1,496 (1.5) | 53,895 (53.1) | 63 (0.1) | 389 (0.4) |
| 9 | 116,180 | 47,718 (41.1) | 1,648 (1.4) | 66,364 (57.1) | 36 (0.0) | 414 (0.4) |

注1 ()内は審判不開始総数に占める比率である。

注2 「その他」には「所在不明等」を含む。

資料21 非行無しを理由とする不処分・不開始人員

(昭和42年～平成9年)

| 年次 | 不処分人員 | 審判不開始人員 |
|-----|------------|------------|
| 42年 | 238 (0.38) | 422 (0.46) |
| 43 | 318 (0.48) | 484 (0.57) |
| 44 | 455 (0.66) | 694 (0.89) |
| 45 | 493 (0.69) | 636 (0.80) |
| 46 | 567 (0.78) | 644 (0.84) |
| 47 | 570 (0.82) | 679 (0.97) |
| 48 | 366 (0.57) | 618 (0.84) |
| 49 | 327 (0.52) | 511 (0.64) |
| 50 | 263 (0.44) | 417 (0.51) |
| 51 | 315 (0.51) | 339 (0.39) |
| 52 | 279 (0.49) | 315 (0.35) |
| 53 | 219 (0.38) | 219 (0.22) |
| 54 | 267 (0.44) | 257 (0.23) |
| 55 | 258 (0.42) | 255 (0.20) |
| 56 | 322 (0.50) | 214 (0.16) |
| 57 | 360 (0.53) | 295 (0.20) |
| 58 | 314 (0.46) | 274 (0.19) |
| 59 | 282 (0.42) | 230 (0.17) |
| 60 | 289 (0.45) | 226 (0.16) |
| 61 | 233 (0.37) | 180 (0.13) |
| 62 | 244 (0.37) | 177 (0.12) |
| 63 | 263 (0.41) | 150 (0.10) |
| 元 | 305 (0.48) | 125 (0.09) |
| 2 | 233 (0.37) | 85 (0.07) |
| 3 | 183 (0.31) | 119 (0.10) |
| 4 | 154 (0.28) | 80 (0.07) |
| 5 | 154 (0.31) | 108 (0.10) |
| 6 | 118 (0.27) | 96 (0.09) |
| 7 | 106 (0.27) | 62 (0.06) |
| 8 | 83 (0.22) | 63 (0.06) |
| 9 | 93 (0.26) | 36 (0.03) |

注 ()内は不処分総数に占める比率及び審判不開始総数に占める比率(構成比)である。

資料22 非行名別の非行無しを理由とする不処分・審判不開始人員

(昭和44年～平成9年)

| 年次 | 総 数 | 窃 盗 | 傷 害 | 車両運転 |
|-----|--------------|------------|-----------|------------|
| 44年 | 1,149 (0.78) | 133 (0.25) | 29 (0.36) | 536 (1.09) |
| 45 | 1,129 (0.75) | 128 (0.22) | 29 (0.39) | 515 (1.03) |
| 46 | 1,211 (0.81) | 172 (0.29) | 29 (0.43) | 590 (1.22) |
| 47 | 1,249 (0.89) | 173 (0.29) | 29 (0.52) | 484 (1.05) |
| 48 | 984 (0.71) | 177 (0.28) | 40 (0.72) | 483 (1.17) |
| 49 | 838 (0.59) | 133 (0.19) | 29 (0.51) | 434 (1.16) |
| 50 | 680 (0.48) | 155 (0.22) | 23 (0.42) | 307 (0.92) |
| 51 | 654 (0.44) | 161 (0.22) | 17 (0.32) | 270 (0.81) |
| 52 | 594 (0.41) | 138 (0.19) | 28 (0.53) | 232 (0.75) |
| 53 | 438 (0.28) | 99 (0.12) | 16 (0.32) | 179 (0.56) |
| 54 | 524 (0.30) | 121 (0.13) | 23 (0.46) | 184 (0.57) |
| 55 | 513 (0.28) | 124 (0.12) | 44 (0.74) | 142 (0.46) |
| 56 | 536 (0.27) | 143 (0.13) | 26 (0.38) | 148 (0.47) |
| 57 | 655 (0.31) | 142 (0.12) | 40 (0.50) | 227 (0.69) |
| 58 | 588 (0.28) | 152 (0.13) | 26 (0.34) | 240 (0.71) |
| 59 | 512 (0.25) | 136 (0.12) | 24 (0.30) | 172 (0.52) |
| 60 | 515 (0.25) | 165 (0.15) | 23 (0.33) | 160 (0.49) |
| 61 | 413 (0.20) | 122 (0.11) | 20 (0.27) | 132 (0.40) |
| 62 | 421 (0.20) | 112 (0.10) | 12 (0.18) | 168 (0.44) |
| 63 | 413 (0.20) | 85 (0.07) | 14 (0.22) | 220 (0.57) |
| 元 | 430 (0.22) | 65 (0.06) | 14 (0.21) | 265 (0.66) |
| 2 | 318 (0.16) | 50 (0.05) | 11 (0.18) | 171 (0.43) |
| 3 | 302 (0.17) | 65 (0.08) | 7 (0.12) | 140 (0.36) |
| 4 | 234 (0.14) | 34 (0.05) | 9 (0.16) | 138 (0.35) |
| 5 | 262 (0.17) | 39 (0.06) | 16 (0.30) | 141 (0.37) |
| 6 | 214 (0.14) | 30 (0.04) | 10 (0.22) | 129 (0.38) |
| 7 | 168 (0.12) | 36 (0.05) | 4 (0.10) | 85 (0.27) |
| 8 | 146 (0.10) | 34 (0.05) | 6 (0.16) | 70 (0.24) |
| 9 | 129 (0.08) | 26 (0.03) | 4 (0.09) | 39 (0.15) |

注 () 内は、不処分・審判不開始の合計人員中に占める「非行無し」を理由とする
不処分・審判不開始の人員の比率である。

資料23 非行なしを理由とする不処分・不開始人員

(昭和44年～平成9年)

| 年次 | 殺人 | 強盗 | 強盗致傷 | 覚せい剤 |
|-----|----|----|------|------|
| 44年 | 5 | 3 | 0 | 0 |
| 45 | 1 | 3 | 0 | 1 |
| 46 | 1 | 1 | 3 | 1 |
| 47 | 7 | 0 | 2 | 0 |
| 48 | 1 | 1 | 0 | 2 |
| 49 | 0 | 8 | 2 | 2 |
| 50 | 1 | 1 | 0 | 3 |
| 51 | 1 | 3 | 1 | 8 |
| 52 | 1 | 3 | 0 | 8 |
| 53 | 1 | 2 | 0 | 5 |
| 54 | 0 | 0 | 0 | 7 |
| 55 | 1 | 2 | 0 | 8 |
| 56 | 1 | 1 | 2 | 13 |
| 57 | 0 | 1 | 1 | 12 |
| 58 | 1 | 1 | 0 | 12 |
| 59 | 2 | 2 | 0 | 20 |
| 60 | 2 | 3 | 0 | 7 |
| 61 | 3 | 3 | 0 | 4 |
| 62 | 0 | 1 | 0 | 9 |
| 63 | 1 | 1 | 0 | 7 |
| 元 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| 2 | 1 | 0 | 0 | 2 |
| 3 | 3 | 2 | 0 | 2 |
| 4 | 2 | 0 | 1 | 5 |
| 5 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 6 | 0 | 1 | 0 | 2 |
| 7 | 0 | 0 | 1 | 3 |
| 8 | 1 | 0 | 0 | 3 |
| 9 | 0 | 1 | 3 | 2 |
| 計 | 38 | 44 | 16 | 153 |

少年保護観察対象者の成り行きに関する研究

研 究 官 生 島 浩
研 究 官 河 原 田 徹

目 次

| | | |
|-----|-------------------------------|-----|
| 第1 | はじめに | 107 |
| 第2 | 分析結果 | 107 |
| 1 | 分析対象者の属性 | 107 |
| 2 | 少年保護観察対象者の終了事由 | 107 |
| (1) | 終了事由の推移 | 107 |
| (2) | 終了事由と身上特性等との関連 | 111 |
| 3 | 少年保護観察対象者の終了時成績状況 | 114 |
| (1) | 終了時の成績の推移 | 114 |
| (2) | 終了時の成績と身上特性等との関連 | 116 |
| 4 | 少年保護観察対象者の再犯状況 | 119 |
| (1) | 再犯状況の推移 | 119 |
| (2) | 再犯状況と身上特性等との関連 | 122 |
| (3) | 身上特性別の再犯率の推移 | 124 |
| (4) | 受理時非行名別の再犯率の推移 | 128 |
| (5) | 過去10年間の累計による受理時非行名等別再犯率 | 130 |
| 第3 | まとめ | 135 |

第1 はじめに

本研究は、法務大臣官房司法法制調査部の保護統計に基づいて、保護観察処分少年及び少年院仮退院者（この二つを合わせて「少年保護観察対象者」と呼ぶ。）の成り行きについて分析することを目的としている。

このため、保護統計のうち「保護観察・更生緊急保護事件終了調査票」により集積された昭和63年から平成9年までの最近10年間のデータを用いて、「保護観察終了事由」、「保護観察終了時の成績」、「保護観察中の犯罪・非行による処分」の三つを指標として少年保護観察対象者の成り行きを見ることにする。さらに、このような少年保護観察対象者の成り行きを、「受理時非行名」、「受理時不良集団関係」、「受理時薬物等使用関係」、「終了時職業」等の要因とクロス集計することにより、これらの要因が少年保護観察対象者の成り行きに影響を及ぼしているか否かということも、可能な限り視野に収めることとした。

なお、交通短期保護観察については、「保護観察・更生緊急保護事件終了調査票」が作成されないため、本研究の分析対象としていない。

第2 分析結果

1 分析対象者の属性

本研究の分析対象は、昭和63年から平成9年の間に保護観察事件が終了した交通短期保護観察少年を除く保護観察処分少年22万6,826人及び少年院仮退院者4万3,648人である。分析対象者の性別、事件の種別、非行名、受理時刑事処分歴、受理時保護処分歴などの属性は、表1及び表2に示したとおりである。なお、分析対象者のすべてについて集計を行うことを原則としたが、受理時不良集団関係、受理時薬物使用関係、終了時職業などの要因については不詳な対象者がおり、「再犯率」を見る際などにはこれらの人員等を除いて集計しているので、あらかじめお断りしておく。

2 少年保護観察対象者の終了事由

(1) 終了事由の推移

最近10年間の保護観察処分少年及び少年院仮退院者の保護観察終了事由別構成比の推移は、表3のとおりである。保護観察処分少年では、期間満了の比率は低下傾向、解除の比率は上昇傾向にあり、また、保護処分取消しの比率は、おおむね低下する傾向にある。一方、少年院仮退院者では、期間満了の比率が上昇し、保護処分取消しの比率はおおむね低下する傾向を示しているが、退院の比率に大きな変化は見られない。また、戻し収容の比率は昭和63年から平成5年にかけて減少傾向を示したが、それ以降は、おおむね同じ水準で推移している。

さらに、事件の種別ごとに、最近10年間の少年保護観察対象者の保護観察終了事由別構成比の推移を見たのが、表4及び表5である。なお、表4においては、平成6年に導入された短期保護観察（注1）を除いた人員を計上しており（注2）、表5においては、平成3年に新設された特修短期処遇を含んだ人員を計上している（注3）。

表1 保護観察処分少年の性別・事件の種別・非行名・受理時処分歴

(昭和63年～平成9年の累計)

| 区 分 | 人 員 (構成比) | |
|--------------|-----------|--------|
| 総 数 | 226,826 | |
| (1) 性 別 | | |
| 男 子 | 199,981 | (88.2) |
| 女 子 | 26,845 | (11.8) |
| (2) 事件の種別 | | |
| 一般保護観察 | 121,721 | (53.7) |
| 交通保護観察 | 97,565 | (43.0) |
| 短期保護観察 | 7,540 | (3.3) |
| (3) 非行名 | | |
| 刑 法 犯 | 132,983 | (58.6) |
| 殺 人 | 73 | (0.0) |
| 強 盗 | 2,321 | (1.0) |
| 傷 害 | 17,260 | (7.6) |
| 恐 喝 | 7,677 | (3.4) |
| 窃 盗 | 61,158 | (27.0) |
| 詐 欺 | 501 | (0.2) |
| 強制わいせつ・強姦 | 2,144 | (0.9) |
| 業 過 | 33,379 | (14.7) |
| その他の刑法犯 | 8,470 | (3.7) |
| 特別法犯 | 88,370 | (39.0) |
| 覚せい剤取締法 | 3,899 | (1.7) |
| 毒 劇 法 | 16,632 | (7.3) |
| 道路交通法 | 65,166 | (28.7) |
| その他の特別法犯 | 2,673 | (1.2) |
| 虞 犯 | 5,473 | (2.4) |
| (4) 刑事処分歴 | | |
| な し | 221,065 | (97.5) |
| あ り | 5,619 | (2.5) |
| 実 刑 | 3 | (0.0) |
| 観察付猶予 | 6 | (0.0) |
| 単純猶予 | 36 | (0.0) |
| 罰 金 | 5,564 | (2.5) |
| 一 般 | 75 | (0.0) |
| 交 通 | 5,489 | (2.4) |
| 拘留・科料 | 5 | (0.0) |
| 起訴猶予 | 5 | (0.0) |
| 不 詳 | 142 | (0.1) |
| (5) 受理時保護処分歴 | | |
| な し | 90,154 | (39.7) |
| あ り | 136,356 | (60.1) |
| 少年院送致2回以上 | 603 | (0.3) |
| 少年院送致1回 | 3,137 | (1.4) |
| 長期処遇 | 1,815 | (0.8) |
| 短期処遇 | 1,322 | (0.6) |
| 保護観察 | 47,597 | (21.0) |
| 教護院・養護施設送致 | 2,182 | (1.0) |
| 不処分・審判不開始 | 82,837 | (36.5) |
| 不 詳 | 316 | (0.1) |

注 1 「観察付猶予」とは、保護観察付きの刑の執行猶予を、「単純猶予」とは、売春防止法違反による補導処分付きの刑の執行猶予又は保護観察付きの刑の執行猶予以外の刑の執行猶予をいう。

2 「業過」とは、業務上過失致死傷及び重過失致死傷をいう。

3 「毒劇法」とは、毒物及び劇物取締法をいう。

表 2 少年院仮退院者の性別・事件の種別・非行名・受理時処分歴

(昭和 63 年～平成 9 年の累計)

| 区 分 | 人 員 (構成比) | |
|--------------|-----------|--------|
| 総 数 | 43,648 | |
| (1) 性 別 | | |
| 男 子 | 38,215 | (87.6) |
| 女 子 | 5,433 | (12.4) |
| (2) 事件の種別 | | |
| 長期処遇 | 26,241 | (60.1) |
| 一般短期処遇 | 15,602 | (35.7) |
| 特修短期処遇 | 1,805 | (4.1) |
| (3) 非行名 | | |
| 刑 法 犯 | 30,945 | (70.9) |
| 殺 人 | 239 | (0.5) |
| 強 盗 | 1,465 | (3.4) |
| 傷 害 | 4,381 | (10.0) |
| 恐 喝 | 2,259 | (5.2) |
| 窃 盗 | 18,099 | (41.5) |
| 詐 欺 | 145 | (0.3) |
| 強制わいせつ・強姦 | 1,857 | (4.3) |
| 業 過 | 860 | (2.0) |
| その他の刑法犯 | 1,640 | (3.8) |
| 特別法犯 | 9,799 | (22.5) |
| 覚せい剤取締法 | 3,020 | (6.9) |
| 毒劇法 | 2,617 | (6.0) |
| 道路交通法 | 3,847 | (8.8) |
| その他の特別法犯 | 315 | (0.7) |
| 虞 犯 | 2,904 | (6.7) |
| (4) 刑事処分歴 | | |
| な し | 42,856 | (98.2) |
| あ り | 742 | (1.7) |
| 実 刑 | 3 | (0.0) |
| 観察付猶予 | 9 | (0.0) |
| 単純猶予 | 10 | (0.0) |
| 罰 金 | 720 | (1.6) |
| 一 般 | 27 | (0.1) |
| 交 通 | 693 | (1.6) |
| 拘留・科料 | — | (—) |
| 起訴猶予 | — | (—) |
| 不 詳 | 50 | (0.1) |
| (5) 受理時保護処分歴 | | |
| な し | 8,548 | (19.6) |
| あ り | 35,035 | (80.3) |
| 少年院送致 2 回以上 | 2,624 | (6.0) |
| 少年院送致 1 回 | 7,599 | (17.4) |
| 長期処遇 | 4,636 | (10.6) |
| 短期処遇 | 2,963 | (6.8) |
| 保護観察 | 18,188 | (41.7) |
| 教護院・養護施設送致 | 1,842 | (4.2) |
| 不処分・審判不開始 | 4,782 | (11.0) |
| 不 詳 | 65 | (0.1) |

注 表 1 の注に同じ。

表3 保護観察処分少年及び少年院仮退院者の保護観察終了事由別構成比の推移

(昭和63年～平成9年)

| 年次 | 保護観察処分少年 | | | | | 少年院仮退院者 | | | | | |
|-----|-----------------|------|------|---------|-----|----------------|------|------|---------|------|-----|
| | 計 | 期間満了 | 解除 | 保護処分取消し | その他 | 計 | 期間満了 | 退院 | 保護処分取消し | 戻し収容 | その他 |
| 累計 | 100.0 (226,826) | 16.3 | 72.1 | 11.2 | 0.4 | 100.0 (43,648) | 63.0 | 19.1 | 17.0 | 0.4 | 0.5 |
| 63年 | 100.0 (25,996) | 17.4 | 69.2 | 13.0 | 0.4 | 100.0 (5,456) | 58.8 | 18.6 | 21.3 | 0.7 | 0.6 |
| 元 | 100.0 (24,580) | 18.3 | 68.9 | 12.4 | 0.4 | 100.0 (5,203) | 62.3 | 16.9 | 19.6 | 0.6 | 0.6 |
| 2 | 100.0 (23,963) | 18.3 | 70.1 | 11.2 | 0.4 | 100.0 (4,534) | 63.3 | 16.5 | 18.5 | 0.7 | 0.9 |
| 3 | 100.0 (23,989) | 17.4 | 71.3 | 10.9 | 0.4 | 100.0 (4,374) | 63.1 | 18.5 | 17.6 | 0.3 | 0.4 |
| 4 | 100.0 (23,737) | 17.1 | 70.4 | 12.1 | 0.4 | 100.0 (4,384) | 62.9 | 18.0 | 18.1 | 0.5 | 0.5 |
| 5 | 100.0 (23,171) | 16.9 | 71.9 | 10.8 | 0.4 | 100.0 (4,370) | 63.7 | 20.0 | 15.5 | 0.2 | 0.6 |
| 6 | 100.0 (21,699) | 16.4 | 72.5 | 10.8 | 0.3 | 100.0 (4,276) | 63.0 | 21.5 | 14.9 | 0.2 | 0.4 |
| 7 | 100.0 (20,441) | 14.1 | 74.9 | 10.8 | 0.3 | 100.0 (4,027) | 62.2 | 22.1 | 15.2 | 0.2 | 0.3 |
| 8 | 100.0 (18,579) | 13.3 | 77.0 | 9.4 | 0.3 | 100.0 (3,484) | 66.7 | 19.9 | 12.8 | 0.3 | 0.4 |
| 9 | 100.0 (20,671) | 12.3 | 77.1 | 10.3 | 0.3 | 100.0 (3,540) | 66.3 | 19.8 | 13.1 | 0.2 | 0.6 |

注 1 「その他」は、死亡等により保護観察が終了した場合である。

2 () 内は、保護観察終了人員である。

表4 保護観察処分少年の種別及び保護観察終了事由別構成比の推移

(昭和63年～平成9年)

| 年次 | 一般保護観察少年 | | | | | 交通保護観察少年 | | | | |
|-----|-----------------|------|------|---------|-----|----------------|------|------|---------|-----|
| | 計 | 期間満了 | 解除 | 保護処分取消し | その他 | 計 | 期間満了 | 解除 | 保護処分取消し | その他 |
| 累計 | 100.0 (121,721) | 23.5 | 60.0 | 16.0 | 0.5 | 100.0 (97,565) | 8.5 | 85.6 | 5.6 | 0.2 |
| 63年 | 100.0 (15,064) | 23.3 | 58.2 | 17.9 | 0.6 | 100.0 (10,932) | 9.2 | 84.4 | 6.3 | 0.2 |
| 元 | 100.0 (14,301) | 24.3 | 57.5 | 17.6 | 0.6 | 100.0 (10,279) | 9.9 | 84.7 | 5.1 | 0.2 |
| 2 | 100.0 (13,321) | 26.1 | 57.3 | 16.0 | 0.6 | 100.0 (10,642) | 8.4 | 86.1 | 5.2 | 0.2 |
| 3 | 100.0 (13,000) | 24.9 | 58.7 | 15.8 | 0.6 | 100.0 (10,989) | 8.5 | 86.2 | 5.1 | 0.2 |
| 4 | 100.0 (12,855) | 24.1 | 58.4 | 17.0 | 0.6 | 100.0 (10,882) | 9.0 | 84.6 | 6.3 | 0.1 |
| 5 | 100.0 (12,400) | 24.1 | 60.2 | 15.2 | 0.5 | 100.0 (10,771) | 8.6 | 85.4 | 5.7 | 0.3 |
| 6 | 100.0 (11,944) | 22.5 | 62.3 | 14.8 | 0.4 | 100.0 (9,755) | 8.8 | 85.1 | 5.9 | 0.2 |
| 7 | 100.0 (11,135) | 20.0 | 64.8 | 14.8 | 0.4 | 100.0 (8,251) | 7.8 | 86.2 | 5.9 | 0.2 |
| 8 | 100.0 (8,562) | 22.8 | 63.2 | 13.6 | 0.5 | 100.0 (7,099) | 7.3 | 87.4 | 5.1 | 0.2 |
| 9 | 100.0 (9,139) | 21.5 | 63.1 | 15.0 | 0.4 | 100.0 (7,965) | 7.2 | 87.1 | 5.5 | 0.2 |

注 1 「その他」は、死亡等により保護観察が終了した場合である。

2 「一般保護観察少年」には、短期保護観察少年を含まない。

3 () 内は、保護観察終了人員である。

表 5 少年院仮退院者の種別及び保護観察終了事由別構成比の推移

(昭和 63 年～平成 9 年)

| 年 次 | 長 期 処 遇 | | | | | | | 短 期 処 遇 | | | | | | |
|-----|----------------|------|------|---------|------|-----|--|----------------|------|------|---------|------|-----|--|
| | 計 | 期間満了 | 退院 | 保護処分取消し | 戻し収容 | その他 | | 計 | 期間満了 | 退院 | 保護処分取消し | 戻し収容 | その他 | |
| 累 計 | 100.0 (26,241) | 69.4 | 11.0 | 18.6 | 0.5 | 0.5 | | 100.0 (17,407) | 53.2 | 31.2 | 14.6 | 0.3 | 0.6 | |
| 63年 | 100.0 (3,527) | 62.5 | 13.0 | 23.1 | 0.9 | 0.5 | | 100.0 (1,929) | 52.0 | 28.9 | 17.9 | 0.4 | 0.8 | |
| 元 | 100.0 (3,367) | 67.0 | 11.3 | 20.5 | 0.6 | 0.6 | | 100.0 (1,836) | 53.7 | 27.2 | 17.9 | 0.7 | 0.6 | |
| 2 | 100.0 (2,900) | 67.9 | 10.7 | 19.6 | 0.9 | 0.9 | | 100.0 (1,634) | 55.0 | 26.9 | 16.6 | 0.6 | 0.9 | |
| 3 | 100.0 (2,704) | 68.9 | 11.3 | 19.0 | 0.4 | 0.4 | | 100.0 (1,670) | 53.9 | 30.1 | 15.4 | 0.2 | 0.4 | |
| 4 | 100.0 (2,610) | 68.7 | 10.9 | 19.4 | 0.6 | 0.4 | | 100.0 (1,774) | 54.2 | 28.5 | 16.1 | 0.3 | 0.8 | |
| 5 | 100.0 (2,472) | 71.6 | 10.0 | 17.6 | 0.2 | 0.7 | | 100.0 (1,898) | 53.5 | 33.0 | 12.9 | 0.1 | 0.5 | |
| 6 | 100.0 (2,462) | 71.8 | 11.0 | 16.6 | 0.2 | 0.5 | | 100.0 (1,814) | 51.1 | 35.7 | 12.6 | 0.2 | 0.4 | |
| 7 | 100.0 (2,236) | 71.9 | 10.2 | 17.3 | 0.3 | 0.3 | | 100.0 (1,791) | 50.0 | 37.0 | 12.5 | 0.2 | 0.3 | |
| 8 | 100.0 (1,997) | 75.5 | 10.1 | 13.9 | 0.3 | 0.3 | | 100.0 (1,487) | 54.8 | 33.0 | 11.4 | 0.3 | 0.5 | |
| 9 | 100.0 (1,966) | 75.6 | 9.9 | 13.8 | 0.2 | 0.6 | | 100.0 (1,574) | 54.6 | 32.2 | 12.3 | 0.3 | 0.6 | |

注 1 「その他」は、死亡等により保護観察が終了した場合である。

2 「短期処遇」には、特修短期処遇を含む。

3 () 内は、保護観察終了人員である。

なお、解除とは、保護観察の成績が良好で再非行のおそれがなく、保護観察の必要がなくなったと認められる保護観察処分少年に対して、保護観察所の長が期間途中で保護観察を終了させる措置であり、退院とは、保護観察の成績が良好で再非行のおそれがなく、保護観察の必要がないと認められる少年院仮退院者に対して、地方更生保護委員会が期間途中で保護観察を終了させる措置である。また、保護処分の取消しとは、保護観察中の再非行等により新たに保護処分がなされたり又は有罪判決が確定した少年保護観察対象者に対して、家庭裁判所が当初の保護観察処分を取り消す措置であり、戻し収容とは、少年院仮退院者が保護観察中の遵守事項を遵守しなかった場合などに、家庭裁判所がその者に対して少年院に戻して収容すべき旨の決定を行う措置である。よって、解除及び退院は、成績良好者に対する措置であり、保護処分の取消しは、主に成績不良者に対する措置といえることができる。

次に、保護観察処分少年及び少年院仮退院者について、最近 10 年間を累計して、保護観察終了事由と保護観察実施期間とをクロス集計したものが、表 6 である。保護観察処分少年では、保護観察期間が 6 月を超え 1 年以内の場合に解除が 9 割を超え、解除の比率が最も高い値を示しているが、2 年を超える場合には 4 割未満であり、解除の比率が最も低くなっていることが分かる。一方、少年院仮退院者では、保護観察期間が 1 年を超え 1 年 6 月以内の場合に退院の割合が 3 割を超え、退院の比率が最も高い値を示している（注 4）。

(2) 終了事由と身上特性等との関連

保護観察処分少年及び少年院仮退院者について、最近 10 年間を累計して、保護観察終了事由と受理時不良集団関係とをクロス集計したものが、表 7 である（注 5）。保護観察処分少年では、不良集団関係の有無と解除の比率の高低に関連が見いだされ、概して不良集団関係を有する者の解除の比率は低くなっている。ただし、不良集団関係の内訳を見ると、不良集団関係が「暴走族」である者の解除の比率は、不良集団関係のない者の解除の比率よりも若干高くなっている。一般に不良集団関係を有する者の成り

行きは不良集団関係がない者に比べ良くないが、暴走族だけは例外であるということが言えよう。

一方、少年院仮退院者の方を見ると、不良集団関係がある者の退院の比率は、不良集団がない者に比べて、むしろ高い値を示している。とりわけ、「暴走族」や「不良生徒学生集団」の場合には、高い退院の比率を示している。ただし、「不良生徒学生集団」の場合には、同時に、保護処分取消しの比率も高くなっていることには留意する必要があるものと思われる。

なお、不良集団関係が暴力団である場合には、解除、退院のいずれの比率も、保護観察処分少年、少年院仮退院者中、それぞれ最も低くなっている。

表 6 保護観察処分少年及び少年院仮退院者の保護観察実施期間・保護観察終了事由別構成比
(昭和 63 年～平成 9 年の累計)

| 区 分 | 保護観察処分少年 | | | | | 少年院仮退院者 | | | | | |
|-----------|-----------------|------|------|---------|-----|----------------|------|------|---------|------|-----|
| | 計 | 期間満了 | 解除 | 保護処分取消し | その他 | 計 | 期間満了 | 退院 | 保護処分取消し | 戻し収容 | その他 |
| 総 数 | 100.0 (226,826) | 16.3 | 72.1 | 11.2 | 0.4 | 100.0 (43,648) | 63.0 | 19.1 | 17.0 | 0.4 | 0.5 |
| 6 月以内 | 100.0 (6,854) | — | 42.7 | 53.9 | 3.5 | 100.0 (9,846) | 84.7 | 3.7 | 10.2 | 0.5 | 1.0 |
| 1 年以内 | 100.0 (82,605) | — | 90.4 | 9.3 | 0.3 | 100.0 (12,304) | 55.0 | 23.4 | 20.5 | 0.5 | 0.5 |
| 1 年 6 月以内 | 100.0 (59,494) | — | 89.8 | 9.9 | 0.3 | 100.0 (7,575) | 45.5 | 30.8 | 22.9 | 0.4 | 0.4 |
| 2 年以内 | 100.0 (43,621) | 47.7 | 43.3 | 8.8 | 0.2 | 100.0 (5,042) | 54.7 | 23.9 | 20.5 | 0.5 | 0.4 |
| 2 年を超える | 100.0 (34,252) | 47.2 | 39.7 | 12.8 | 0.2 | 100.0 (8,881) | 69.6 | 17.3 | 12.6 | 0.2 | 0.3 |

注 1 「その他」は、死亡等により保護観察が終了した場合である。

2 () 内は、保護観察終了人員である。

表 7 保護観察処分少年及び少年院仮退院者の受理時不良集団関係・保護観察終了事由別構成比
(昭和 63 年～平成 9 年の累計)

| 区 分 | 保護観察処分少年 | | | | | 少年院仮退院者 | | | | | |
|----------|-----------------|------|------|---------|-----|----------------|------|------|---------|------|-----|
| | 計 | 期間満了 | 解除 | 保護処分取消し | その他 | 計 | 期間満了 | 退院 | 保護処分取消し | 戻し収容 | その他 |
| 総 数 | 100.0 (226,826) | 16.3 | 72.1 | 11.2 | 0.4 | 100.0 (43,648) | 63.0 | 19.1 | 17.0 | 0.4 | 0.5 |
| な し | 100.0 (151,765) | 15.9 | 75.0 | 8.9 | 0.3 | 100.0 (19,917) | 64.4 | 17.0 | 17.5 | 0.5 | 0.6 |
| あ り | 100.0 (74,234) | 17.1 | 66.4 | 16.0 | 0.5 | 100.0 (23,569) | 61.7 | 20.8 | 16.5 | 0.4 | 0.5 |
| 暴力団 | 100.0 (3,995) | 36.0 | 45.5 | 18.1 | 0.4 | 100.0 (4,569) | 78.3 | 8.3 | 12.7 | 0.4 | 0.4 |
| 暴走族 | 100.0 (32,922) | 11.0 | 76.4 | 12.2 | 0.4 | 100.0 (9,253) | 57.9 | 29.0 | 12.4 | 0.2 | 0.5 |
| 地域不良集団 | 100.0 (27,117) | 21.9 | 58.3 | 19.2 | 0.6 | 100.0 (7,868) | 59.5 | 17.3 | 22.0 | 0.5 | 0.7 |
| 不良生徒学生集団 | 100.0 (7,421) | 13.2 | 66.0 | 20.2 | 0.6 | 100.0 (1,131) | 39.6 | 32.8 | 26.3 | 0.7 | 0.5 |
| その他 | 100.0 (2,779) | 25.0 | 57.7 | 16.6 | 0.7 | 100.0 (748) | 63.9 | 16.6 | 18.4 | 0.5 | 0.5 |
| 不 詳 | 100.0 (827) | 31.2 | 52.0 | 16.6 | 0.2 | 100.0 (162) | 67.3 | 11.1 | 20.4 | 0.6 | 0.6 |

注 1 「その他」は、死亡等により保護観察が終了した場合である。

2 二つ以上の不良集団と交渉があった場合は、最も交渉の程度の深い不良集団を計上した。

3 () 内は、保護観察終了人員である。

次に、保護観察処分少年及び少年院仮退院者について、最近 10 年間を累計して、保護観察終了事由と受理時薬物等使用関係とをクロス集計したものが、表 8 である(注 6)。いずれも、薬物等の使用関係がある場合の方が、良好措置である解除及び退院の比率が低い。とりわけ、保護観察処分少年におけるシンナー・ボンド・トルエン等の使用関係が認められる場合及び少年院仮退院者における覚せい剤の使用関係が認められる場合に、解除、退院の比率は、特に低くなっている。

表 8 保護観察処分少年及び少年院仮退院者の受理時薬物等使用関係・保護観察終了事由別構成比
(昭和 63 年～平成 9 年の累計)

| 区 分 | 保護観察処分少年 | | | | | 少年院仮退院者 | | | | | |
|---------------|-----------------|------|------|---------|-----|----------------|------|------|---------|------|-----|
| | 計 | 期間満了 | 解除 | 保護処分取消し | その他 | 計 | 期間満了 | 退院 | 保護処分取消し | 戻し収容 | その他 |
| 総 数 | 100.0 (226,826) | 16.3 | 72.1 | 11.2 | 0.4 | 100.0 (43,648) | 63.0 | 19.1 | 17.0 | 0.4 | 0.5 |
| な し | 100.0 (166,505) | 13.7 | 77.4 | 8.6 | 0.3 | 100.0 (20,249) | 61.3 | 22.0 | 16.0 | 0.4 | 0.4 |
| あ り | 100.0 (59,474) | 23.4 | 57.5 | 18.4 | 0.6 | 100.0 (23,222) | 64.4 | 16.5 | 17.9 | 0.5 | 0.7 |
| 麻薬・あへん・大麻 | 100.0 (840) | 17.1 | 75.0 | 7.6 | 0.2 | 100.0 (220) | 77.3 | 12.7 | 10.0 | — | — |
| 覚せい剤 | 100.0 (4,612) | 24.3 | 64.1 | 11.2 | 0.4 | 100.0 (4,248) | 79.5 | 12.0 | 8.0 | 0.2 | 0.2 |
| シンナー・ボンド・トルエン | 100.0 (53,957) | 23.5 | 56.7 | 19.2 | 0.6 | 100.0 (18,734) | 60.8 | 17.6 | 20.2 | 0.5 | 0.8 |
| その他 | 100.0 (65) | 15.4 | 69.2 | 15.4 | — | 100.0 (20) | 50.0 | 25.0 | 25.0 | — | — |
| 不 詳 | 100.0 (847) | 26.2 | 56.0 | 17.5 | 0.4 | 100.0 (177) | 67.2 | 13.6 | 18.6 | 0.6 | — |

注 1 終了事由のうち「その他」は、死亡等により保護観察が終了した場合である。

2 二つ以上の薬物等を使用していた場合は、最も使用程度の深い薬物等を計上した。

3 () 内は、保護観察終了人員である。

保護観察処分少年及び少年院仮退院者について、最近 10 年間を累計して、保護観察終了事由と終了時の職業状況とをクロス集計したものが、表 9 である(注 7)。当然予想されたこととは言え、この表を見ると、保護観察終了時に無職者となっている者(再非行等により身柄を拘束されたまま終了した者)にあっては、身柄を拘束される直前に無職者となっている者は、保護処分取消しになるものの比率が高く、解除や退院の比率が極めて低くなっていることが分かる。

表 9 保護観察処分少年及び少年院仮退院者の終了時職業の有無・保護観察終了事由別構成比
(昭和 63 年～平成 9 年の累計)

| 区 分 | 保護観察処分少年 | | | | | 少年院仮退院者 | | | | | |
|--------------|-----------------|------|------|---------|-----|----------------|------|------|---------|------|-----|
| | 計 | 期間満了 | 解除 | 保護処分取消し | その他 | 計 | 期間満了 | 退院 | 保護処分取消し | 戻し収容 | その他 |
| 総 数 | 100.0 (226,826) | 16.3 | 72.1 | 11.2 | 0.4 | 100.0 (43,648) | 63.0 | 19.1 | 17.0 | 0.4 | 0.5 |
| 有職者及びそれに準ずる者 | 100.0 (196,853) | 12.7 | 80.5 | 6.5 | 0.3 | 100.0 (30,231) | 64.5 | 27.0 | 8.0 | 0.1 | 0.4 |
| 有職者 | 100.0 (174,140) | 13.9 | 79.1 | 6.7 | 0.3 | 100.0 (28,710) | 65.5 | 25.9 | 8.1 | 0.1 | 0.4 |
| 定収入のある者 | 100.0 (20) | 5.0 | 85.0 | 10.0 | — | 100.0 (5) | 60.0 | 20.0 | 20.0 | — | — |
| 学生・生徒 | 100.0 (18,803) | 1.4 | 92.9 | 5.5 | 0.2 | 100.0 (643) | 31.7 | 52.7 | 14.5 | 0.8 | 0.3 |
| 家事従事者 | 100.0 (3,890) | 13.3 | 85.1 | 1.5 | 0.1 | 100.0 (873) | 53.5 | 44.4 | 1.9 | — | 0.1 |
| 無 職 者 | 100.0 (22,758) | 25.6 | 21.5 | 51.9 | 1.1 | 100.0 (10,269) | 51.4 | 1.4 | 44.7 | 1.5 | 1.0 |
| 不 詳 | 100.0 (7,215) | 85.5 | 1.6 | 12.4 | 0.6 | 100.0 (3,148) | 86.6 | 0.1 | 12.8 | 0.1 | 0.4 |

注 1 「その他」は、死亡等により保護観察が終了した場合である。

2 再非行等により身柄を拘束されたまま終了した場合については、身柄を拘束される直前の職業状況を計上している。

3 () 内は、保護観察終了人員である。

3 少年保護観察対象者の終了時成績状況

(1) 終了時の成績の推移

最近 10 年間の保護観察処分少年及び少年院仮退院者の保護観察終了時の成績別構成比の推移は、表 10 のとおりである。なお、ここで言う成績が良好な者とは、期間満了により保護観察が終了し、満了時の成績評定が良好であった者、良好停止（注 8）の状態で期間を満了した者並びに解除及び退院により保護観察を終了した者である。また、成績が普通な者とは、期間満了により保護観察が終了し、満了時の成績評定が普通であった者であり、成績が不良な者とは、期間満了により保護観察が終了し、期間満了時の成績評定が不良であった者及び満了時に身柄拘束されていた者、保護処分取消しにより保護観察が終了した者並びに戻し収容により保護観察が終了した者である。

保護観察処分少年及び少年院仮退院者いずれについても、成績良好者の割合は上昇傾向にある。成績が普通な者の比率は、保護観察処分少年については下降傾向にあると言えるが、少年院仮退院者においてはおおむね同じ水準で推移している。また、成績不良者の比率は、保護観察処分少年及び少年院仮退院者のいずれにおいても下降する傾向を示していたが、平成 9 年は、前年に比べてそれぞれ若干上昇している。

表 10 保護観察処分少年及び少年院仮退院者の保護観察終了時における成績別構成比の推移
(昭和 63 年～平成 9 年)

| 年 次 | 保護観察処分少年 | | | | | 少年院仮退院者 | | | | |
|-----|-----------------|------|-----|------|-----|----------------|------|------|------|-----|
| | 計 | 良 好 | 普 通 | 不 良 | その他 | 計 | 良 好 | 普 通 | 不 良 | その他 |
| 累 計 | 100.0 (226,826) | 75.9 | 8.9 | 12.2 | 3.0 | 100.0 (43,648) | 42.2 | 27.6 | 22.9 | 7.4 |
| 63年 | 100.0 (25,996) | 73.0 | 9.4 | 14.1 | 3.5 | 100.0 (5,456) | 37.3 | 26.9 | 27.9 | 7.9 |
| 元 | 100.0 (24,580) | 73.0 | 9.7 | 13.5 | 3.8 | 100.0 (5,203) | 37.0 | 28.1 | 26.2 | 8.6 |
| 2 | 100.0 (23,963) | 74.3 | 9.9 | 12.2 | 3.6 | 100.0 (4,534) | 37.6 | 28.3 | 24.7 | 9.4 |
| 3 | 100.0 (23,989) | 75.3 | 9.6 | 11.9 | 3.3 | 100.0 (4,374) | 39.6 | 27.9 | 23.7 | 8.9 |
| 4 | 100.0 (23,737) | 74.4 | 9.2 | 13.1 | 3.4 | 100.0 (4,384) | 40.3 | 28.5 | 23.7 | 7.6 |
| 5 | 100.0 (23,171) | 75.9 | 9.3 | 11.7 | 3.0 | 100.0 (4,370) | 43.7 | 28.1 | 21.0 | 7.3 |
| 6 | 100.0 (21,699) | 76.6 | 9.0 | 11.7 | 2.7 | 100.0 (4,276) | 46.9 | 27.0 | 20.0 | 6.1 |
| 7 | 100.0 (20,441) | 78.1 | 8.0 | 11.6 | 2.3 | 100.0 (4,027) | 48.2 | 26.9 | 19.5 | 5.4 |
| 8 | 100.0 (18,579) | 80.0 | 7.4 | 10.3 | 2.4 | 100.0 (3,484) | 48.4 | 27.6 | 18.2 | 5.9 |
| 9 | 100.0 (20,671) | 80.4 | 6.4 | 11.2 | 2.0 | 100.0 (3,540) | 48.1 | 26.0 | 20.2 | 5.7 |

注 1 () 内は、保護観察終了人員である。
2 「良好」には、解除、良好停止及び退院を含む。
3 「不良」には、保護処分取消し、戻し収容及び身柄拘束を含む。
4 「その他」は、別件保護観察中、所在不明、死亡などの事由により保護観察が終了した場合をいう。

さらに、保護観察の成績の推移を事件の種別ごとに見たのが、表 11 及び表 12 である（注 9）。

表 11 保護観察処分少年の種別及び保護観察終了時における成績別構成比の推移

（昭和 63 年～平成 9 年）

| 年 次 | 一般保護観察少年 | | | | | 交通保護観察少年 | | | | |
|-----|-----------------|------|------|------|-----|----------------|------|-----|-----|-----|
| | 計 | 良 好 | 普 通 | 不 良 | その他 | 計 | 良 好 | 普 通 | 不 良 | その他 |
| 累 計 | 100.0 (121,721) | 65.6 | 12.5 | 17.4 | 4.4 | 100.0 (97,565) | 87.4 | 4.9 | 6.1 | 1.5 |
| 63年 | 100.0 (15,064) | 63.5 | 12.4 | 19.4 | 4.8 | 100.0 (10,932) | 86.2 | 5.3 | 6.8 | 1.7 |
| 元 | 100.0 (14,301) | 63.0 | 12.6 | 19.2 | 5.2 | 100.0 (10,279) | 86.9 | 5.7 | 5.6 | 1.8 |
| 2 | 100.0 (13,321) | 63.3 | 14.1 | 17.5 | 5.1 | 100.0 (10,642) | 88.1 | 4.6 | 5.6 | 1.7 |
| 3 | 100.0 (13,000) | 64.6 | 13.4 | 17.2 | 4.8 | 100.0 (10,989) | 88.0 | 5.0 | 5.6 | 1.5 |
| 4 | 100.0 (12,855) | 64.2 | 12.5 | 18.4 | 4.9 | 100.0 (10,882) | 86.4 | 5.3 | 6.9 | 1.5 |
| 5 | 100.0 (12,400) | 66.1 | 13.0 | 16.6 | 4.3 | 100.0 (10,771) | 87.3 | 5.0 | 6.1 | 1.6 |
| 6 | 100.0 (11,944) | 68.0 | 12.1 | 16.1 | 3.8 | 100.0 (9,755) | 87.2 | 5.1 | 6.3 | 1.4 |
| 7 | 100.0 (11,135) | 69.7 | 10.9 | 16.0 | 3.4 | 100.0 (8,251) | 87.6 | 5.0 | 6.3 | 1.2 |
| 8 | 100.0 (8,562) | 68.4 | 12.5 | 15.2 | 3.9 | 100.0 (7,099) | 88.8 | 4.2 | 5.6 | 1.5 |
| 9 | 100.0 (9,139) | 69.0 | 11.0 | 16.7 | 3.3 | 100.0 (7,965) | 88.8 | 3.9 | 6.1 | 1.2 |

- 注 1 「一般保護観察少年」には、短期保護観察少年を含まない。
 2 () 内は、保護観察終了人員である。
 3 「良好」には、解除及び良好停止を含む。
 4 「不良」には、保護処分取消し及び身柄拘束を含む。
 5 表 10 の注 4 に同じ。

表 12 少年院仮退院者の種別及び保護観察終了時における成績別構成比の推移

（昭和 63 年～平成 9 年）

| 年 次 | 長 期 処 遇 | | | | | 短 期 処 遇 | | | | |
|-----|----------------|------|------|------|------|----------------|------|------|------|-----|
| | 計 | 良 好 | 普 通 | 不 良 | その他 | 計 | 良 好 | 普 通 | 不 良 | その他 |
| 累 計 | 100.0 (26,241) | 33.5 | 31.6 | 26.1 | 8.8 | 100.0 (17,407) | 55.2 | 21.4 | 18.1 | 5.3 |
| 63年 | 100.0 (3,527) | 30.8 | 29.0 | 31.5 | 8.7 | 100.0 (1,929) | 49.1 | 23.1 | 21.4 | 6.4 |
| 元 | 100.0 (3,367) | 30.4 | 31.2 | 28.4 | 9.9 | 100.0 (1,836) | 49.1 | 22.4 | 22.1 | 6.3 |
| 2 | 100.0 (2,900) | 31.0 | 31.2 | 27.1 | 10.8 | 100.0 (1,634) | 49.5 | 23.2 | 20.4 | 6.9 |
| 3 | 100.0 (2,704) | 31.7 | 31.8 | 26.3 | 10.2 | 100.0 (1,670) | 52.3 | 21.5 | 19.4 | 6.8 |
| 4 | 100.0 (2,610) | 32.2 | 32.8 | 26.5 | 8.5 | 100.0 (1,774) | 52.1 | 22.3 | 19.6 | 6.1 |
| 5 | 100.0 (2,472) | 33.2 | 33.1 | 24.9 | 8.8 | 100.0 (1,898) | 57.4 | 21.5 | 15.9 | 5.3 |
| 6 | 100.0 (2,462) | 36.2 | 32.0 | 23.8 | 8.0 | 100.0 (1,814) | 61.4 | 20.1 | 14.9 | 3.6 |
| 7 | 100.0 (2,236) | 36.6 | 33.1 | 23.1 | 7.2 | 100.0 (1,791) | 62.7 | 19.2 | 15.1 | 3.0 |
| 8 | 100.0 (1,997) | 40.0 | 32.5 | 20.5 | 7.1 | 100.0 (1,487) | 59.7 | 20.9 | 15.2 | 4.2 |
| 9 | 100.0 (1,966) | 38.6 | 31.3 | 23.3 | 6.9 | 100.0 (1,574) | 59.9 | 19.4 | 16.4 | 4.3 |

- 注 1 「短期処遇」には、特修短期処遇を含む。
 2 () 内は、保護観察終了人員である。
 3 「良好」には、退院を含む。
 4 「不良」には、保護処分取消し及び戻し収容を含む。
 5 表 10 の注 4 に同じ。

先に保護観察処分少年及び少年院仮退院者について、成績良好者の比率が上昇していることを指摘したが、表 11 を見ると、保護観察処分少年の場合にこのことが当てはまるのは一般保護観察少年についてであり、交通保護観察少年については当てはまらず、成績良好者の比率は、ほぼ同じような水準で推移していることが分かる。それに対して少年院仮退院者の場合には、表 12 により、長期処遇、短期処遇のいずれについても成績良好者の比率がおおむね上昇しているということが分かる。同様に、成績不良者の比率がおおむね下降する傾向を示している点も、交通保護観察については当てはまらず、その比率は、最近 10 年間はほぼ同じような水準で推移している。ただし、平成 9 年において、前年に比べて成績不良者の比率が若干上昇しているという点は、どの事件の種別についても例外なく当てはまっている。

次に、保護観察処分少年及び少年院仮退院者について、最近 10 年間を累計して、保護観察終了時の成績と保護観察実施期間とをクロス集計したものが、表 13 である。いずれについても、保護観察の実施期間が 6 月を超え 1 年以内である場合に成績が良好で終了する者の比率が最も高くなっており、保護観察実施期間が 1 年 6 月を超えると成績良好者の比率が低下している（注 10）。

表 13 保護観察処分少年及び少年院仮退院者の保護観察実施期間・保護観察終了時における成績別構成比の推移

（昭和 63 年～平成 9 年の累計）

| 区 分 | 保護観察処分少年 | | | | | 少年院仮退院者 | | | | |
|-----------|-----------------|------|------|------|-----|----------------|------|------|------|------|
| | 計 | 良 好 | 普 通 | 不 良 | その他 | 計 | 良 好 | 普 通 | 不 良 | その他 |
| 総 数 | 100.0 (226,826) | 75.9 | 8.9 | 12.2 | 3.0 | 100.0 (43,648) | 42.2 | 27.6 | 22.9 | 7.4 |
| 6 月以内 | 100.0 (6,854) | 42.7 | — | 53.9 | 3.5 | 100.0 (9,846) | 34.3 | 42.1 | 17.2 | 6.4 |
| 1 年以内 | 100.0 (82,605) | 90.4 | — | 9.3 | 0.3 | 100.0 (12,304) | 49.2 | 19.9 | 25.9 | 5.0 |
| 1 年 6 月以内 | 100.0 (59,494) | 89.8 | — | 9.9 | 0.3 | 100.0 (7,575) | 47.0 | 18.7 | 28.4 | 5.9 |
| 2 年以内 | 100.0 (43,621) | 55.1 | 25.6 | 11.7 | 7.7 | 100.0 (5,042) | 42.0 | 23.7 | 26.5 | 7.8 |
| 2 年を超える | 100.0 (34,252) | 49.9 | 26.1 | 15.6 | 8.4 | 100.0 (8,881) | 37.1 | 31.8 | 18.2 | 12.8 |

注 表 10 の注に同じ。

（2）終了時の成績と身上特性等との関連

保護観察処分少年及び少年院仮退院者について、最近 10 年間を累計して、保護観察終了時の成績と受理時不良集団関係とをクロス集計したものが、表 14 である（注 11）。

表 14 を見ると、先に見た保護観察終了事由と受理時不良集団関係とのクロス集計（表 7 参照）の結果から言えたことと、ほぼ同じことが言える。すなわち、保護観察処分少年では、不良集団関係の有無と成績良好者の比率の高低に関連が見いだされ、概して不良集団に所属する者に占める成績良好者の比率は低くなっている。ただし、不良集団関係の内訳を見ると、不良集団関係が「暴走族」である者に占める成績良好者の比率は、不良集団関係のない者に占める成績良好者の比率よりも若干高くなっている。既に述べたが、一般に不良集団関係を有する者の成り行きは不良集団関係がない者に比べ良くないが、暴走族だけにはこのことが当てはまらないことを指摘できるであろう。

一方、少年院仮退院者の方を見ると、不良集団関係がある者に占める成績良好者の比率は、不良集団がない者とそれ程違いがない。特に、「暴走族」及び「不良生徒学生集団」等の場合には、不良集団がない場合に比較して成績良好者の比率は高くなっている。ただし、不良生徒学生集団の場合には、同時に、成績不良者の比率も高くなっていることに留意しておく必要がある。

なお、不良集団関係が暴力団である場合には、成績良好者の比率は顕著に低くなっており、保護観察処分少年及び少年院仮退院者のいずれにおいても、成績良好者の比率は最も低い値を示している（ただし、不良集団関係が不詳な者を除く。）。

表 14 保護観察処分少年及び少年院仮退院者の受理時不良集団関係・保護観察終了時における成績別構成比

(昭和 63 年～平成 9 年の累計)

| 区 分 | 保護観察処分少年 | | | | | 少年院仮退院者 | | | | |
|----------|-----------------|------|------|------|-----|----------------|------|------|------|------|
| | 計 | 良 好 | 普 通 | 不 良 | その他 | 計 | 良 好 | 普 通 | 不 良 | その他 |
| 総 数 | 100.0 (226,826) | 75.9 | 8.9 | 12.2 | 3.0 | 100.0 (43,648) | 42.2 | 27.6 | 22.9 | 7.4 |
| な し | 100.0 (151,765) | 78.7 | 8.6 | 9.8 | 3.0 | 100.0 (19,917) | 40.5 | 27.8 | 23.7 | 7.9 |
| あ り | 100.0 (74,234) | 70.3 | 9.4 | 17.2 | 3.1 | 100.0 (23,569) | 43.6 | 27.3 | 22.1 | 6.9 |
| 暴力団 | 100.0 (3,995) | 52.1 | 17.6 | 21.6 | 8.7 | 100.0 (4,569) | 32.1 | 36.2 | 21.2 | 10.5 |
| 暴走族 | 100.0 (32,922) | 79.3 | 6.2 | 12.9 | 1.6 | 100.0 (9,253) | 55.5 | 23.8 | 16.3 | 4.5 |
| 地域不良集団 | 100.0 (27,117) | 63.1 | 12.4 | 20.6 | 4.0 | 100.0 (7,868) | 36.3 | 27.9 | 28.3 | 7.5 |
| 不良生徒学生集団 | 100.0 (7,421) | 68.7 | 7.1 | 21.0 | 3.2 | 100.0 (1,131) | 46.2 | 18.2 | 29.4 | 6.3 |
| その他 | 100.0 (2,779) | 64.6 | 13.1 | 18.1 | 4.2 | 100.0 (748) | 41.4 | 24.7 | 23.8 | 10.0 |
| 不 詳 | 100.0 (827) | 57.8 | 13.2 | 19.7 | 9.3 | 100.0 (162) | 30.9 | 27.2 | 30.9 | 11.1 |

注 1 表 7 の注 2 に同じ。

2 表 10 の注に同じ。

次に、保護観察処分少年及び少年院仮退院者について、最近 10 年間を累計して、保護観察終了時の成績と受理時薬物等使用関係とをクロス集計したものが、表 15 である（注 12）。いずれも、薬物等の使用関係がある場合の方が、保護観察終了時に成績良好となっている者の比率が低い。特に、シンナー・ボンド・トルエン等の使用関係が認められる場合に、保護観察処分少年、少年院仮退院者のいずれにおいても、成績良好者の比率は、最も低くなっている（ただし、薬物使用関係が不詳な者を除く。）。ところで、表 8 においては少年院仮退院者が良好措置である退院で終了する者の比率は、薬物使用関係が覚せい剤である場合に最も低くなっていたのに対し、表 15 においては、シンナー・トルエン・ボンド等である場合に、少年院仮退院者が成績良好で終了する者の比率が最も低くなっており、この点において違いを見せている。

また、保護観察処分少年及び少年院仮退院者について、最近 10 年間を累計して、保護観察終了時の成績と終了時の職業状況とをクロス集計したものが、表 16 である（注 13）。この表を見ると、保護観察終了時に無職者となっている者（再非行等により身柄を拘束されたまま終了した者にあつては、身柄を拘束される直前に無職者となっている者）は、成績が不良となっている者の比率が高く、成績が良好となっている者の比率は極めて低くなっている。また、保護観察処分少年、少年院仮退院者のいずれにおいても、有職者及びそれに準ずる者の場合には、成績良好となっている者の比率が高く、特に「学生・生徒」の場合にその値は最も高くなっており、「家事従事者」がそれに続いている。これらの結果は、表 9 で見た結果とほぼ同様の傾向を示している。

表 15 保護観察処分少年及び少年院仮退院者の受理時薬物等使用関係・保護観察終了時における成績別構成比

(昭和 63 年～平成 9 年の累計)

| 区 分 | 保護観察処分少年 | | | | | 少年院仮退院者 | | | | |
|---------------|-----------------|------|------|------|-----|----------------|------|------|------|------|
| | 計 | 良 好 | 普 通 | 不 良 | その他 | 計 | 良 好 | 普 通 | 不 良 | その他 |
| 総 数 | 100.0 (226,826) | 75.9 | 8.9 | 12.2 | 3.0 | 100.0 (43,648) | 42.2 | 27.6 | 22.9 | 7.4 |
| な し | 100.0 (166,505) | 80.5 | 7.4 | 9.4 | 2.7 | 100.0 (20,249) | 45.8 | 25.8 | 21.3 | 7.0 |
| あ り | 100.0 (59,474) | 63.2 | 12.8 | 20.0 | 4.0 | 100.0 (23,222) | 39.0 | 29.1 | 24.2 | 7.7 |
| 麻薬・あへん・大麻 | 100.0 (840) | 78.7 | 10.5 | 8.3 | 2.5 | 100.0 (220) | 40.9 | 35.0 | 17.3 | 6.8 |
| 覚せい剤 | 100.0 (4,612) | 70.4 | 12.4 | 13.0 | 4.2 | 100.0 (4,248) | 42.1 | 35.8 | 15.0 | 7.0 |
| シンナー・ボンド・トルエン | 100.0 (53,957) | 62.3 | 12.8 | 20.8 | 4.0 | 100.0 (18,734) | 38.3 | 27.5 | 26.4 | 7.8 |
| その他 | 100.0 (65) | 73.8 | 9.2 | 15.4 | 1.5 | 100.0 (20) | 55.0 | 20.0 | 25.0 | — |
| 不 詳 | 100.0 (847) | 59.9 | 13.3 | 19.1 | 7.7 | 100.0 (177) | 34.5 | 23.7 | 27.1 | 14.7 |

注 1 表 8 の注 2 に同じ。

2 表 10 の注に同じ。

表 16 保護観察処分少年及び少年院仮退院者の終了時職業の有無・保護観察終了時における成績別構成比

(昭和 63 年～平成 9 年の累計)

| 区 分 | 保護観察処分少年 | | | | | 少年院仮退院者 | | | | |
|--------------|-----------------|------|------|------|------|----------------|------|------|------|------|
| | 計 | 良 好 | 普 通 | 不 良 | その他 | 計 | 良 好 | 普 通 | 不 良 | その他 |
| 総 数 | 100.0 (226,826) | 75.9 | 8.9 | 12.2 | 3.0 | 100.0 (43,648) | 42.2 | 27.6 | 22.9 | 7.4 |
| 有職者及びそれに準ずる者 | 100.0 (196,853) | 84.6 | 7.7 | 6.9 | 0.7 | 100.0 (30,231) | 58.6 | 29.0 | 10.4 | 2.0 |
| 有職者 | 100.0 (174,140) | 83.6 | 8.5 | 7.2 | 0.7 | 100.0 (28,710) | 57.9 | 29.5 | 10.5 | 2.0 |
| 定収入のある者 | 100.0 (20) | 85.0 | — | 10.0 | 5.0 | 100.0 (5) | 40.0 | 40.0 | 20.0 | — |
| 学生・生徒 | 100.0 (18,803) | 93.4 | 0.7 | 5.6 | 0.3 | 100.0 (643) | 74.5 | 9.0 | 15.9 | 0.6 |
| 家事従事者 | 100.0 (3,890) | 89.7 | 8.4 | 1.7 | 0.3 | 100.0 (873) | 69.4 | 27.1 | 2.5 | 0.9 |
| 無 職 者 | 100.0 (22,758) | 23.5 | 17.5 | 56.4 | 2.6 | 100.0 (10,269) | 6.5 | 28.8 | 60.4 | 4.3 |
| 不 詳 | 100.0 (7,215) | 1.9 | 12.1 | 17.7 | 68.3 | 100.0 (3,148) | 0.6 | 9.5 | 20.6 | 69.4 |

注 1 表 9 の注 2 に同じ。

2 表 10 の注に同じ。

4 少年保護観察対象者の再犯状況

(1) 再犯状況の推移

最近 10 年間の保護観察処分少年及び少年院仮退院者の再犯率と再処分の内容の推移を見たのが、それぞれ表 17 及び表 18 である。保護観察処分少年及び少年院仮退院者のいずれについても、平成 8 年までは再犯率はおおむね低下傾向にあったが、9 年においては前年よりも上昇している。再処分の内容は、保護観察処分少年、少年院仮退院者のいずれにおいても、少年院送致の比率が最も高く、保護観察がそれに続いている。そのうち、少年院送致の比率はおおむね低下する傾向を示していたが、9 年においては、保護観察処分少年において 1.3 ポイント、少年院仮退院者において 2.3 ポイント、前年よりも上昇した。一方、保護観察中の犯罪により実刑に処せられた者の最近の比率は、いずれの場合も低く、2 年以降は 0.3 % 以下で推移しており、また、懲役・禁錮の執行猶予に処せられた者の最近の比率も低く、保護観察処分少年の場合には 0.7 % 前後、少年院仮退院者の場合には 0.5 % 前後となっている。

なお、ここでいう「再犯率」とは、各年中における保護観察終了者に占める、保護観察中の犯罪・非行により刑事処分（起訴猶予を含む。）又は保護処分（戻し収容を除く。）を受けた者の比率を意味している。ただし、保護観察中に犯罪・非行を引き起こしても期間中に刑事処分が確定しないか、保護処分の決定を受けなかった者及び不処分・審判不開始の決定を受けた場合は、ここでいう「再犯」には計上していない。また、複数の再犯がある場合には、実刑、懲役・禁錮の執行猶予、少年院送致、保護観察、罰金、拘留・科料、執行猶予、その他の順に従い、処分一つを計上している。

表 17 保護観察処分少年及び少年院仮退院者の再犯率の推移

(昭和 63 年～平成 9 年)

| 年 次 | 保護観察処分少年 | | | 少年院仮退院者 | | |
|-----|-----------------|------|------|----------------|------|------|
| | 計 | 再犯なし | 再犯率 | 計 | 再犯なし | 再犯率 |
| 累 計 | 100.0 (226,826) | 83.1 | 16.9 | 100.0 (43,648) | 76.2 | 23.8 |
| 63年 | 100.0 (25,996) | 80.8 | 19.2 | 100.0 (5,456) | 72.3 | 27.7 |
| 元 | 100.0 (24,580) | 81.8 | 18.2 | 100.0 (5,203) | 73.3 | 26.7 |
| 2 | 100.0 (23,963) | 83.4 | 16.6 | 100.0 (4,534) | 75.3 | 24.7 |
| 3 | 100.0 (23,989) | 83.6 | 16.4 | 100.0 (4,374) | 75.1 | 24.9 |
| 4 | 100.0 (23,737) | 82.2 | 17.8 | 100.0 (4,384) | 75.0 | 25.0 |
| 5 | 100.0 (23,171) | 83.6 | 16.4 | 100.0 (4,370) | 78.0 | 22.0 |
| 6 | 100.0 (21,699) | 83.3 | 16.7 | 100.0 (4,276) | 79.5 | 20.5 |
| 7 | 100.0 (20,441) | 83.8 | 16.2 | 100.0 (4,027) | 78.5 | 21.5 |
| 8 | 100.0 (18,579) | 85.6 | 14.4 | 100.0 (3,484) | 80.3 | 19.7 |
| 9 | 100.0 (20,671) | 84.5 | 15.5 | 100.0 (3,540) | 77.6 | 22.4 |

- 注 1 () 内は、保護観察終了人員である。
 2 各年中の保護観察が終了した者について、保護観察中の犯罪又は非行により新たに刑事処分又は保護処分を受けた者の比率を「再犯率」として計上している。
 3 再犯として計上した「刑事処分」には起訴猶予を含み、また、「保護処分」には、戻し収容、不処分及び審判不開始を含まない。

表 18 保護観察処分少年及び少年院仮退院者の処分内容別再犯率の推移

(昭和 63 年～平成 9 年)

① 保護観察処分少年

| 年 次 | 保護観察 終了人員 | 再犯率 | 処 分 内 容 | | | | | | |
|-----|--------------|------|---------|------|-----|-----|------------|------------|-----|
| | | | 懲役・禁錮 | | 罰 金 | | 少年院 送 致 | 保 護 観 察 | その他 |
| | | | 実 刑 | 執行猶予 | 一 般 | 交 通 | | | |
| 63年 | 25,996 | 19.2 | 0.3 | 1.0 | 0.3 | 3.5 | 8.8 | 5.2 | 0.1 |
| 元 | 24,580 | 18.2 | 0.2 | 0.8 | 0.4 | 3.1 | 8.9 | 4.6 | 0.1 |
| 2 | 23,963 | 16.6 | 0.3 | 0.8 | 0.4 | 2.8 | 7.6 | 4.7 | 0.1 |
| 3 | 23,989 | 16.4 | 0.2 | 0.8 | 0.3 | 2.9 | 7.3 | 4.8 | 0.1 |
| 4 | 23,737 | 17.8 | 0.2 | 0.8 | 0.3 | 2.7 | 8.3 | 5.3 | 0.1 |
| 5 | 23,171 | 16.4 | 0.2 | 0.8 | 0.4 | 2.8 | 7.3 | 4.8 | 0.1 |
| 6 | 21,699 | 16.7 | 0.2 | 0.7 | 0.4 | 3.0 | 7.5 | 4.8 | 0.1 |
| 7 | 20,441 | 16.2 | 0.2 | 0.7 | 0.3 | 2.7 | 7.0 | 5.3 | 0.1 |
| 8 | 18,579 | 14.4 | 0.2 | 0.8 | 0.3 | 2.4 | 6.0 | 4.7 | 0.1 |
| 9 | 20,671 | 15.5 | 0.2 | 0.7 | 0.3 | 2.2 | 7.2 | 4.8 | 0.0 |

② 少年院仮退院者

| 年 次 | 保護観察 終了人員 | 再犯率 | 処 分 内 容 | | | | | | |
|-----|--------------|------|---------|------|-----|-----|------------|------------|-----|
| | | | 懲役・禁錮 | | 罰 金 | | 少年院 送 致 | 保 護 観 察 | その他 |
| | | | 実 刑 | 執行猶予 | 一 般 | 交 通 | | | |
| 63年 | 5,456 | 27.7 | 0.7 | 1.0 | 0.2 | 1.3 | 18.4 | 6.1 | 0.0 |
| 元 | 5,203 | 26.7 | 0.4 | 1.1 | 0.2 | 1.8 | 17.3 | 5.9 | 0.1 |
| 2 | 4,534 | 24.7 | 0.3 | 0.7 | 0.4 | 1.4 | 16.3 | 5.6 | 0.0 |
| 3 | 4,374 | 24.9 | 0.3 | 0.6 | 0.1 | 1.9 | 16.3 | 5.6 | 0.1 |
| 4 | 4,384 | 25.0 | 0.3 | 0.5 | 0.3 | 1.5 | 17.0 | 5.5 | 0.0 |
| 5 | 4,370 | 22.0 | 0.2 | 0.3 | 0.4 | 1.4 | 14.1 | 5.5 | 0.0 |
| 6 | 4,276 | 20.5 | 0.3 | 0.4 | 0.2 | 1.2 | 13.4 | 5.0 | — |
| 7 | 4,027 | 21.5 | 0.3 | 0.6 | 0.2 | 1.4 | 13.7 | 5.1 | 0.1 |
| 8 | 3,484 | 19.7 | 0.1 | 0.5 | 0.1 | 1.6 | 12.0 | 5.2 | 0.1 |
| 9 | 3,540 | 22.4 | 0.2 | 0.5 | 0.4 | 1.4 | 14.4 | 5.6 | 0.0 |

注 1 「その他」は、拘留、科料、起訴猶予、教護院送致等である。

2 複数の再犯がある場合には、実刑、懲役・禁錮の執行猶予、罰金（一般）、罰金（交通）、少年院送致、保護観察、その他の順に従い、処分一つを計上した。

2 表 17 の注 2. 3 に同じ。

さらに、再犯率の推移を事件の種別ごとに見たのが、表 19 及び表 20 である（注 14）。先に表 17 の結果から、保護観察処分少年、少年院仮退院者のいずれにおいても、平成 8 年までは再犯率がおおむね下降する傾向にあったということを指摘したが、表 19 から分かるとおり、交通保護観察少年には当てはまらず、最近 10 年間、10.0 % 前後とほぼ同じような水準で推移している。

なお、9 年において前年に比べて再犯率が上昇しているということは、どの事件の種別についても例外なく当てはまっており、一般保護観察少年において 1.6 ポイント、交通保護観察少年において 0.8 ポイント、少年院仮退院者長期処遇において 3.8 ポイント、短期処遇において 1.5 ポイント、それぞれ再犯率が上昇している。

表 19 一般保護観察少年・交通保護観察少年別再犯率の推移

(昭和 63 年～平成 9 年)

| 年 次 | 一般保護観察少年 | | | 交通保護観察少年 | | |
|-----|-----------------|------|------|----------------|------|------|
| | 計 | 再犯なし | 再犯率 | 計 | 再犯なし | 再犯率 |
| 累 計 | 100.0 (121,721) | 77.2 | 22.8 | 100.0 (97,565) | 90.0 | 10.0 |
| 63年 | 100.0 (15,064) | 75.1 | 24.9 | 100.0 (10,932) | 88.5 | 11.5 |
| 元 | 100.0 (14,301) | 75.8 | 24.2 | 100.0 (10,279) | 90.2 | 9.8 |
| 2 | 100.0 (13,321) | 77.5 | 22.5 | 100.0 (10,642) | 90.7 | 9.3 |
| 3 | 100.0 (13,000) | 77.6 | 22.4 | 100.0 (10,989) | 90.7 | 9.3 |
| 4 | 100.0 (12,855) | 75.9 | 24.1 | 100.0 (10,882) | 89.6 | 10.4 |
| 5 | 100.0 (12,400) | 77.9 | 22.1 | 100.0 (10,771) | 90.2 | 9.8 |
| 6 | 100.0 (11,944) | 78.1 | 21.9 | 100.0 (9,755) | 89.6 | 10.4 |
| 7 | 100.0 (11,135) | 78.4 | 21.6 | 100.0 (8,251) | 89.8 | 10.2 |
| 8 | 100.0 (8,562) | 79.2 | 20.8 | 100.0 (7,099) | 90.7 | 9.3 |
| 9 | 100.0 (9,139) | 77.7 | 22.3 | 100.0 (7,965) | 89.8 | 10.2 |

注 1 「一般保護観察少年」には、短期保護観察少年を含まない。

2 表 17 の注に同じ。

表 20 少年院仮退院少年の長期処遇・短期処遇別再犯率の推移

(昭和 63 年～平成 9 年)

| 年 次 | 長 期 処 遇 | | | 短 期 処 遇 | | |
|-----|----------------|------|------|----------------|------|------|
| | 計 | 再犯なし | 再犯率 | 計 | 再犯なし | 再犯率 |
| 累 計 | 100.0 (26,241) | 74.4 | 25.6 | 100.0 (17,407) | 78.9 | 21.1 |
| 63年 | 100.0 (3,527) | 70.1 | 29.9 | 100.0 (1,929) | 76.1 | 23.9 |
| 元 | 100.0 (3,367) | 72.3 | 27.7 | 100.0 (1,836) | 75.2 | 24.8 |
| 2 | 100.0 (2,900) | 74.1 | 25.9 | 100.0 (1,634) | 77.4 | 22.6 |
| 3 | 100.0 (2,704) | 74.0 | 26.0 | 100.0 (1,670) | 76.9 | 23.1 |
| 4 | 100.0 (2,610) | 73.5 | 26.5 | 100.0 (1,774) | 77.1 | 22.9 |
| 5 | 100.0 (2,472) | 75.4 | 24.6 | 100.0 (1,898) | 81.3 | 18.7 |
| 6 | 100.0 (2,462) | 77.4 | 22.6 | 100.0 (1,814) | 82.4 | 17.6 |
| 7 | 100.0 (2,236) | 75.8 | 24.2 | 100.0 (1,791) | 82.0 | 18.0 |
| 8 | 100.0 (1,997) | 79.8 | 20.2 | 100.0 (1,487) | 81.1 | 18.9 |
| 9 | 100.0 (1,966) | 76.0 | 24.0 | 100.0 (1,574) | 79.6 | 20.4 |

注 1 「短期処遇」には、特修短期処遇を含む。

2 表 17 の注に同じ。

次に、保護観察処分少年及び少年院仮退院者について、最近 10 年間を累計して、再犯状況と保護観察実施期間とをクロス集計したものが、表 21 である。保護観察処分少年については保護観察実施期間が 6 月を超え 1 年以内の場合に、少年院仮退院者については保護観察実施期間が 6 月以内の場合に、それぞれ再犯率が最も低くなっていることが分かる（注 15）。

表 21 保護観察処分少年及び少年院仮退院者の保護観察実施期間別再犯率

(昭和 63 年～平成 9 年の累計)

| 区 分 | 保護観察処分少年 | | | 少年院仮退院者 | | |
|-----------|-----------------|------|------|----------------|------|------|
| | 計 | 再犯なし | 再犯率 | 計 | 再犯なし | 再犯率 |
| 総 数 | 100.0 (226,826) | 83.1 | 16.9 | 100.0 (43,648) | 76.2 | 23.8 |
| 6 月以内 | 100.0 (6,854) | 47.7 | 52.3 | 100.0 (9,846) | 88.2 | 11.8 |
| 1 年以内 | 100.0 (82,605) | 89.5 | 10.5 | 100.0 (12,304) | 75.2 | 24.8 |
| 1 年 6 月以内 | 100.0 (59,494) | 86.0 | 14.0 | 100.0 (7,575) | 69.5 | 30.5 |
| 2 年以内 | 100.0 (43,621) | 79.4 | 20.6 | 100.0 (5,042) | 69.4 | 30.6 |
| 2 年を超える | 100.0 (34,252) | 74.6 | 25.4 | 100.0 (8,881) | 73.8 | 26.2 |

注 表 17 の注に同じ。

(2) 再犯状況と身上特性等との関連

保護観察処分少年及び少年院仮退院者について、最近 10 年間を累計して、再犯状況と受理時不良集団関係とをクロス集計したものが、表 22 である(注 16)。保護観察処分少年では、不良集団関係のある者の方がいない者よりかなり再犯率が高い。ただし、不良集団関係が「暴走族」である場合の再犯率は 17.5 %であり、不良集団関係のない者の再犯率 14.1 %とそれ程大きな違いはない。

一方、少年院仮退院者については、必ずしも不良集団関係の有無と再犯率との関連性が見いだせないものの、「地域不良集団」や「不良生徒学生集団」に関係していた者の再犯率は高くなっている。それに対して、不良集団関係が「暴力団」及び「暴走族」の場合には、不良集団関係がない者に比べ再犯率は低くなっている。先に表 7 及び表 14 において、「不良生徒学生集団」とかかわりを有する場合には、退院及び成績良好で終了する者の比率が高くなっているが、同時に、保護処分取消し及び成績不良者の比率も高くなっているということを指摘した。このことを、「不良生徒学生集団」の場合には再犯率が高いというここでの結果と考え合わせると、「不良生徒学生集団」とのかかわりがあった少年院仮退院者は、矯正教育を契機として、不良集団関係を断てる者とそうでない者にとりて截然と分かれる傾向があると言えるのかもしれない。また、少年院仮退院者の不良集団関係が「暴力団」である場合には、表 7、表 14 及び表 22 の結果から、退院及び成績良好者の比率は低い、同時に、保護処分取消し及び成績不良者の比率も高くはなく、また、再犯率は低いということが分かる。

なお、少年院仮退院者の再犯率は、不良集団関係の他のすべてのカテゴリーにおいて保護観察処分少年に比べ高くなっているが、暴力団の場合だけは、少年院仮退院者の再犯率の方が低くなっている。

次に、保護観察処分少年及び少年院仮退院者について、最近 10 年間を累計して、再犯状況と受理時薬物等使用関係とをクロス集計したものが、表 23 である(注 17)。いずれも、薬物等の使用がある者の方が、再犯率が高いが、とりわけ、「シンナー・ボンド・トルエン」(以下、「シンナー等」という。)という有機溶剤乱用者の再犯率が高いことが認められる。それに対して、保護観察処分少年で薬物使用関係が「麻薬・あへん・大麻」である場合、少年院仮退院者で薬物使用関係が「覚せい剤」及び「麻薬・あへん・大麻」である場合には、薬物使用関係がない場合に比較して再犯率が低くなっている。

なお、少年院仮退院者の再犯率は、保護観察処分少年の再犯率と比べおおむね高くなっているが、「覚せい剤」については、保護観察処分少年の再犯率の方が高くなっている。

表 22 保護観察処分少年及び少年院仮退院者の受理時不良集団関係別再犯率

(昭和 63 年～平成 9 年の累計)

| 区 分 | 保護観察処分少年 | | | 少年院仮退院者 | | |
|----------|-----------------|------|------|----------------|------|------|
| | 計 | 再犯なし | 再犯率 | 計 | 再犯なし | 再犯率 |
| 総 数 | 100.0 (226,826) | 83.1 | 16.9 | 100.0 (43,648) | 76.2 | 23.8 |
| 不良集団関係なし | 100.0 (151,765) | 85.9 | 14.1 | 100.0 (19,917) | 76.1 | 23.9 |
| 不良集団関係あり | 100.0 (74,234) | 77.7 | 22.3 | 100.0 (23,569) | 76.3 | 23.7 |
| 暴力団 | 100.0 (3,995) | 72.8 | 27.2 | 100.0 (4,569) | 81.5 | 18.5 |
| 暴走族 | 100.0 (32,922) | 82.5 | 17.5 | 100.0 (9,253) | 80.5 | 19.5 |
| 地域不良集団 | 100.0 (27,117) | 73.5 | 26.5 | 100.0 (7,868) | 69.9 | 30.1 |
| 不良生徒学生集団 | 100.0 (7,421) | 74.8 | 25.2 | 100.0 (1,131) | 66.3 | 33.7 |
| その他 | 100.0 (2,779) | 75.7 | 24.3 | 100.0 (748) | 74.2 | 25.8 |
| 不 詳 | 100.0 (827) | 75.9 | 24.1 | 100.0 (162) | 71.0 | 29.0 |

注 1 表 7 の注 2 に同じ。

2 表 17 の注に同じ。

表 23 保護観察処分少年及び少年院仮退院者の受理時薬物等使用関係別再犯率

(昭和 63 年～平成 9 年の累計)

| 区 分 | 保護観察処分少年 | | | 少年院仮退院者 | | |
|---------------|-----------------|------|------|----------------|------|------|
| | 計 | 再犯なし | 再犯率 | 計 | 再犯なし | 再犯率 |
| 総 数 | 100.0 (226,826) | 83.1 | 16.9 | 100.0 (43,648) | 76.2 | 23.8 |
| 薬物使用関係なし | 100.0 (166,505) | 86.4 | 13.6 | 100.0 (20,249) | 78.0 | 22.0 |
| 薬物使用関係あり | 100.0 (59,474) | 74.2 | 25.8 | 100.0 (23,222) | 74.7 | 25.3 |
| 麻薬・あへん・大麻 | 100.0 (840) | 88.5 | 11.5 | 100.0 (220) | 84.1 | 15.9 |
| 覚せい剤 | 100.0 (4,612) | 83.2 | 16.8 | 100.0 (4,248) | 86.8 | 13.2 |
| シンナー・ボンド・トルエン | 100.0 (53,957) | 73.2 | 26.8 | 100.0 (18,734) | 71.8 | 28.2 |
| その他 | 100.0 (65) | 80.0 | 20.0 | 100.0 (20) | 70.0 | 30.0 |
| 不 詳 | 100.0 (847) | 75.4 | 24.6 | 100.0 (177) | 71.2 | 28.8 |

注 1 表 8 の注 2 に同じ。

2 表 17 の注に同じ。

保護観察処分少年及び少年院仮退院者について、最近 10 年間を累計して、再犯状況と終了時の職業状況をクロス集計したものが、表 24 である（注 7）。この表を見ると、保護観察終了時に無職となっている者（再非行等により身柄を拘束されたまま終了した者にあつては、身柄を拘束される直前に無職となっている者）は、保護観察処分少年、少年院仮退院者のいずれにおいても、再犯率がかなり高くなっている。また、有職者及びそれに準ずる者のうち、どちらにおいても「家事従事者」の再犯率が最も低くなっており、保護観察処分少年においては「学生・生徒」が、少年院仮退院少年においては「有職者」がそれに続いている。

表 24 保護観察処分少年及び少年院仮退院者の終了時職業の有無別再犯率
(昭和 63 年～平成 9 年の累計)

| 区 分 | 保護観察処分少年 | | | 少年院仮退院者 | | |
|--------------|-----------------|------|------|----------------|------|------|
| | 計 | 再犯なし | 再犯率 | 計 | 再犯なし | 再犯率 |
| 総 数 | 100.0 (226,826) | 83.1 | 16.9 | 100.0 (43,648) | 76.2 | 23.8 |
| 有職者及びそれに準ずる者 | 100.0 (196,853) | 87.9 | 12.1 | 100.0 (30,231) | 85.7 | 14.3 |
| 有職者 | 100.0 (174,140) | 87.2 | 12.8 | 100.0 (28,710) | 85.5 | 14.5 |
| 定収入のある者 | 100.0 (20) | 85.0 | 15.0 | 100.0 (5) | 80.0 | 20.0 |
| 学生・生徒 | 100.0 (18,803) | 92.9 | 7.1 | 100.0 (643) | 83.8 | 16.2 |
| 家事従事者 | 100.0 (3,890) | 96.0 | 4.0 | 100.0 (873) | 95.5 | 4.5 |
| 無 職 者 | 100.0 (22,758) | 43.0 | 57.0 | 100.0 (10,269) | 46.9 | 53.1 |
| 不 詳 | 100.0 (7,215) | 80.6 | 19.4 | 100.0 (3,148) | 80.2 | 19.8 |

注 1 表 9 の注 2 に同じ。
2 表 17 の注に同じ。

(3) 身上特性別の再犯率の推移

最近 10 年間の保護観察処分少年の再犯率の推移を、受理時不良集団関係別に見たのが、表 25 である(注 19)。平成 8 年までは、不良集団関係の有無にかかわらず、再犯率は、おおむね低下する傾向にあった。ただし、「暴走族」の再犯率は、16 % 台から 19 % 台にかけての一定の範囲で増減を繰り返している。また、9 年は、いずれの関係においても、前年に比較して再犯率が上昇している。ただし、不良集団関係のない場合には 0.5 ポイント上昇したのにすぎないのに対し、不良集団関係がある場合には 2.2 ポイント上昇している。その中でも不良集団関係が「暴力団」の場合には 5.7 ポイントと最も高い伸びを示している。

同様に、最近 10 年間の少年院仮退院者の再犯率の推移を、受理時不良集団関係別に見たのが、表 26 である。いずれの関係でも平成 8 年までは再犯率はおおむね低下傾向にあり、特に、不良集団関係が「暴力団」である場合にその低下が著しかったが、9 年は、「暴走族」の再犯率が前年と同じであるほかは、再犯率が軒並み上昇している。ただし、保護観察処分少年の場合とは異なり、不良集団関係のない場合に 4.0 ポイント上昇しており、不良集団関係のある場合の 1.6 ポイントを大きく上回っている。また、不良集団関係のある者の中では「その他」(地域不良集団、不良生徒学生集団等)が 4.1 ポイントと最も高い伸びを示しており、「暴力団」の 1.8 ポイントがそれに続いている。

表 25 保護観察処分少年の受理時不良集団関係別再犯率の推移

(昭和 63 年～平成 9 年)

| 年 次 | 保護観察処分少年全体 | 不良集団関係なし | 不良集団関係あり | | | |
|-----|------------|----------|----------|------|------|------|
| | | | 計 | 暴力団 | 暴走族 | その他 |
| 累 計 | 16.8 | 14.1 | 22.3 | 27.2 | 17.5 | 26.0 |
| 63年 | 19.2 | 15.9 | 25.9 | 31.7 | 16.7 | 29.8 |
| 元 | 18.2 | 14.7 | 25.3 | 28.2 | 19.2 | 27.8 |
| 2 | 16.6 | 13.6 | 23.0 | 28.5 | 16.2 | 26.5 |
| 3 | 16.4 | 14.0 | 21.7 | 26.7 | 16.8 | 25.2 |
| 4 | 17.8 | 15.0 | 23.8 | 24.9 | 19.4 | 28.3 |
| 5 | 16.3 | 13.9 | 21.0 | 25.7 | 17.2 | 25.0 |
| 6 | 16.7 | 14.1 | 21.4 | 21.0 | 17.3 | 27.1 |
| 7 | 16.2 | 14.0 | 20.7 | 26.3 | 17.8 | 23.9 |
| 8 | 14.4 | 12.6 | 18.2 | 23.1 | 16.6 | 19.7 |
| 9 | 15.5 | 13.1 | 20.4 | 28.8 | 18.2 | 22.4 |

注 1 「その他」は、地域不良集団、不良生徒学生集団等である。

2 不良集団関係が不詳な者を除く。

3 表 7 の注 2 に同じ。

4 表 17 の注 2、3 に同じ。

表 26 少年院仮退院者の受理時不良集団関係別再犯率の推移

(昭和 63 年～平成 9 年)

| 年 次 | 少年院仮退院者全体 | 不良集団関係なし | 不良集団関係あり | | | |
|-----|-----------|----------|----------|------|------|------|
| | | | 計 | 暴力団 | 暴走族 | その他 |
| 累 計 | 23.8 | 23.9 | 23.7 | 18.5 | 19.5 | 30.2 |
| 63年 | 27.7 | 27.8 | 27.6 | 20.9 | 21.3 | 33.5 |
| 元 | 26.7 | 25.8 | 27.4 | 21.4 | 24.2 | 31.7 |
| 2 | 24.7 | 24.4 | 24.9 | 19.5 | 20.0 | 30.5 |
| 3 | 25.0 | 26.0 | 24.0 | 18.4 | 19.6 | 30.8 |
| 4 | 25.0 | 24.1 | 25.7 | 20.1 | 21.9 | 32.4 |
| 5 | 21.9 | 22.7 | 21.4 | 15.6 | 17.3 | 29.8 |
| 6 | 20.5 | 21.7 | 19.5 | 16.1 | 16.0 | 26.2 |
| 7 | 21.4 | 22.1 | 20.9 | 16.8 | 17.3 | 28.3 |
| 8 | 19.7 | 18.5 | 20.7 | 11.9 | 20.4 | 23.7 |
| 9 | 22.4 | 22.6 | 22.3 | 13.7 | 20.4 | 27.8 |

注 表 25 の注に同じ。

次に、最近 10 年間の保護観察処分少年の再犯率の推移を受理時薬物使用関係別に見たのが、表 27 である。「覚せい剤」、「シンナー等」とともに、平成 8 年までは低下傾向にあったが、9 年は、「覚せい剤」が 2.3 ポイント、「シンナー等」が 2.0 ポイント、それぞれ上昇している。それに対して、「その他の薬物」（麻薬、あへん、大麻等）の再犯率は、最近 10 年間増減を繰り返しており、9 年は、前年に比べて 6.5 ポイント下降している。

同様に、最近 10 年間の少年院仮退院者の再犯率の推移を受理時薬物使用関係別に見たのが、表 28 である。薬物使用関係の有無にかかわらず、全体としてみた場合、やはり、平成 8 年までは再犯率がおおむね下降する傾向を示している。ただし、「覚せい剤」の再犯率は、5 年までは下降する傾向を示していたが、それ以降は 7 年をピークとする上昇傾向を見せており、また、「その他の薬物」（麻薬、あへん、大麻等）の再犯率は、上昇下降を繰り返しており、必ずしも明確な傾向は把握できない。9 年は、前年に比べて、薬物使用関係のない者の再犯率が 4.4 ポイント、「覚せい剤」が 1.0 ポイント、「シンナー等」が 2.3 ポイント、「その他の薬物」が 6.3 ポイントと、すべての薬物使用関係において上昇を示している。

表 27 保護観察処分少年の受理時薬物使用関係別再犯率の推移
(昭和 63 年～平成 9 年)

| 年 次 | 保護観察処分少年全体 | 薬物使用 関係なし | 薬物使用関係あり | | | |
|------|------------|--------------|----------|------|-------|------|
| | | | 計 | 覚せい剤 | シンナー等 | その他 |
| 累 計 | 16.8 | 13.6 | 25.8 | 16.8 | 26.8 | 12.2 |
| 63 年 | 19.2 | 15.3 | 29.5 | 22.1 | 30.3 | 12.5 |
| 元 | 18.1 | 13.9 | 28.8 | 17.6 | 29.8 | 17.4 |
| 2 | 16.6 | 13.0 | 25.9 | 15.7 | 26.7 | 16.1 |
| 3 | 16.4 | 13.0 | 24.9 | 17.4 | 25.5 | 16.5 |
| 4 | 17.8 | 14.0 | 26.7 | 16.8 | 27.4 | 11.1 |
| 5 | 16.4 | 13.3 | 23.8 | 14.7 | 24.6 | 8.2 |
| 6 | 16.7 | 13.8 | 24.5 | 16.2 | 25.3 | 14.7 |
| 7 | 16.2 | 13.7 | 24.4 | 14.6 | 25.9 | 9.2 |
| 8 | 14.4 | 12.3 | 22.3 | 13.9 | 23.6 | 14.2 |
| 9 | 15.5 | 13.9 | 23.3 | 16.3 | 25.6 | 7.7 |

注 1 「シンナー等」は、シンナー・ボンド・トルエンである。
2 「その他」は、麻薬、あへん、大麻等である。
3 薬物使用関係が不詳な者を除く。
4 表 8 の注 2 に同じ。
5 表 17 の注 2・3 に同じ。

表 28 少年院仮退院者の受理時薬物使用関係別再犯率の推移

(昭和 63 年～平成 9 年)

| 年 次 | 少 年 院 仮 退院者全体 | 薬物使用 関係なし | 薬物使用関係あり | | | |
|-----|------------------|--------------|----------|------|-------|------|
| | | | 計 | 覚せい剤 | シンナー等 | その他 |
| 累 計 | 23.8 | 22.0 | 25.3 | 13.2 | 28.2 | 17.1 |
| 63年 | 27.7 | 26.4 | 28.9 | 17.1 | 32.1 | 33.3 |
| 元 | 26.7 | 25.3 | 28.0 | 14.9 | 31.3 | 18.2 |
| 2 | 24.7 | 23.4 | 25.8 | 15.9 | 27.6 | 22.2 |
| 3 | 25.0 | 23.4 | 26.3 | 11.9 | 28.7 | 10.5 |
| 4 | 25.0 | 22.0 | 27.0 | 13.5 | 29.2 | 27.8 |
| 5 | 22.0 | 20.6 | 23.0 | 8.0 | 25.9 | 17.2 |
| 6 | 20.5 | 17.3 | 22.9 | 12.5 | 25.4 | 19.2 |
| 7 | 21.4 | 19.4 | 23.4 | 13.8 | 25.9 | 12.1 |
| 8 | 19.6 | 17.5 | 21.7 | 10.3 | 25.5 | 11.4 |
| 9 | 22.4 | 21.9 | 22.9 | 11.3 | 27.7 | 17.8 |

注 表 27 の注に同じ。

続いて、最近 10 年間の保護観察処分少年及び少年院仮退院者の再犯率を終了時の職業の有無別に見たのが、それぞれ表 29 及び表 30 である。

表 29 保護観察処分少年の終了時・有職・無職別再犯率の推移

(昭和 63 年～平成 9 年)

| 年 次 | 保護観察処分 少 年 全 体 | 有 職 者 及 び それに準ずる者 | 無 職 者 |
|-----|-------------------|----------------------|-------|
| 累 計 | 16.8 | 12.1 | 57.0 |
| 63年 | 19.2 | 13.3 | 60.6 |
| 元 | 18.2 | 12.6 | 59.4 |
| 2 | 16.5 | 11.9 | 56.1 |
| 3 | 16.4 | 11.8 | 59.2 |
| 4 | 17.7 | 12.9 | 63.9 |
| 5 | 16.2 | 12.1 | 55.8 |
| 6 | 16.6 | 12.5 | 56.1 |
| 7 | 16.1 | 12.0 | 54.0 |
| 8 | 14.4 | 10.6 | 49.3 |
| 9 | 15.4 | 11.2 | 51.6 |

- 注 1 「有職者及びそれに準ずる者」には、定収入のある無職者、学生・生徒及び家事従事者を含む。
 2 職業の有無が不詳な者を除く。
 3 表 9 の注 2 に同じ。
 4 表 17 の注 2・3 に同じ。

表 30 少年院仮退院者の終了時^{有職・無職別}再犯率の推移

(昭和 63 年～平成 9 年)

| 年 次 | 少年院仮退院者 全 体 | 有 職 者 及 び それに準ずる者 | 無 職 者 |
|-----|----------------|----------------------|-------|
| 累 計 | 24.1 | 14.3 | 53.1 |
| 63年 | 28.5 | 15.6 | 58.6 |
| 元 | 27.2 | 15.9 | 54.7 |
| 2 | 25.2 | 14.8 | 53.3 |
| 3 | 25.5 | 15.3 | 54.5 |
| 4 | 25.4 | 15.4 | 55.9 |
| 5 | 22.0 | 13.0 | 51.5 |
| 6 | 20.7 | 12.4 | 48.9 |
| 7 | 21.6 | 12.7 | 52.3 |
| 8 | 19.7 | 12.8 | 43.6 |
| 9 | 22.4 | 14.2 | 50.4 |

注 表 29 の注に同じ。

これらの表を見ると、保護観察処分少年、少年院仮退院者のいずれにおいても、「有職者及びそれに準ずる者」(注 7 参照)であるか、「無職者」(注 20)であるかを問わず、平成 8 年までは再犯率がおおむね低下しているが、9 年には前年よりも上昇していることが分かる。ただし、9 年における再犯率の上昇の幅には職業状況による違いが見られ、保護観察処分少年においては、「有職者及びそれに準ずる者」が 0.6 ポイントの上昇であるのに対し、「無職者」は 2.3 ポイントの上昇であり、また、少年院仮退院者においては、「有職者及びそれに準ずる者」が 1.4 ポイントの上昇であるのに対して、「無職者」が 6.8 ポイントの上昇となっており、どちらの場合にも、無職者の再犯率の方が上昇の幅が大きい。

(4) 受理時^{非行名別}の再犯率の推移

保護観察処分少年及び少年院仮退院者について、最近 10 年間を累計して、事件受理時の罪名・非行名別の再犯率を示したのが、表 31 である。いずれにおいても、窃盗、毒物及び劇物取締法違反(以下、「毒劇法違反」という。)、虞犯、恐喝などにおいて再犯率が高くなっている。

さらに、殺人・強盗の凶悪犯及び薬物事犯(注 21)に係る保護観察処分少年について、最近 10 年間の再犯率の推移を見たのが、表 32 である。殺人は終了人員が少ないこともあって再犯のない年も多く、明確な傾向は分からないが、強盗及び薬物事犯共に、再犯率は低下傾向にあり、この 10 年間に強盗は 6.3 ポイント、薬物事犯は 7.7 ポイント、それぞれ再犯率が低下している。また、保護観察処分少年全体では、平成 9 年は前年に比較し、再犯率が 1.1 ポイント上昇しているが、強盗では 1.3 ポイント、薬物事犯では 0.5 ポイント、それぞれ再犯率が低下している。

同様に、殺人、強盗及び薬物事犯に係る少年院仮退院者について、最近 10 年間の再犯率の推移を見たのが、表 33 である。殺人は、再犯率に変動が多いものの、平成 9 年は前年に比べ 14.2 ポイントの急上昇を示している。また、強盗及び薬物事犯はいずれも、再犯率は低下傾向にあり、9 年も前年に比べ、2.1 ポイント及び 1.8 ポイント、それぞれ再犯率が低下している。

表 31 保護観察処分少年及び少年院仮退院者の受理時非行名別再犯率

(昭和 63 年～平成 9 年の累計)

| 受 理 時 非 行 名 | 保護観察処分少年 | | 少年院仮退院者 | |
|-------------|----------|------|---------|------|
| | 終了人員 | 再犯率 | 終了人員 | 再犯率 |
| 総 数 | 226,826 | 16.9 | 43,648 | 23.8 |
| 刑 法 犯 | 132,983 | 18.3 | 30,945 | 25.9 |
| 殺 人 | 73 | 5.5 | 239 | 12.1 |
| 強 盗 | 2,321 | 12.6 | 1,465 | 20.3 |
| 傷 害 | 17,260 | 18.9 | 4,381 | 18.8 |
| 恐 喝 | 7,677 | 19.8 | 2,259 | 22.3 |
| 窃 盗 | 61,158 | 25.0 | 18,099 | 31.3 |
| 詐 欺 | 501 | 17.6 | 145 | 17.9 |
| 強制わいせつ・強姦 | 2,144 | 11.0 | 1,857 | 13.8 |
| 業 過 | 33,379 | 5.9 | 860 | 12.8 |
| その他の刑法犯 | 8,470 | 19.3 | 1,640 | 19.1 |
| 特 別 法 犯 | 88,370 | 14.5 | 9,799 | 16.1 |
| 覚せい剤取締法 | 3,899 | 14.2 | 3,020 | 10.0 |
| 毒劇法 | 16,632 | 22.6 | 2,617 | 24.0 |
| 道路交通法 | 65,166 | 12.5 | 3,847 | 15.8 |
| その他の特別法犯 | 2,673 | 13.8 | 315 | 12.1 |
| 虞 犯 | 5,473 | 20.3 | 2,904 | 27.1 |

注 1 表 1 の注 2・3 に同じ。

2 表 17 の注 2・3 に同じ。

表 32 保護観察処分少年の受理時非行名別再犯率の推移

(昭和 63 年～平成 9 年)

| 年 次 | 保護観察処分少年全体 | | 殺 人 | | 強 盗 | | 薬 物 事 犯 | |
|-----|------------|------|------|------|-------|------|---------|------|
| | 終了人員 | 再犯率 | 終了人員 | 再犯率 | 終了人員 | 再犯率 | 終了人員 | 再犯率 |
| 累 計 | 226,826 | 16.9 | 73 | 5.5 | 2,321 | 12.6 | 20,578 | 20.9 |
| 63年 | 25,996 | 19.2 | 9 | 11.1 | 193 | 15.0 | 2,269 | 24.8 |
| 元 | 24,580 | 18.2 | 12 | — | 154 | 12.3 | 2,259 | 24.4 |
| 2 | 23,963 | 16.6 | 8 | 12.5 | 171 | 15.8 | 2,131 | 22.0 |
| 3 | 23,989 | 16.4 | 8 | 12.5 | 189 | 14.3 | 2,281 | 21.1 |
| 4 | 23,737 | 17.8 | 4 | — | 202 | 11.9 | 2,429 | 21.3 |
| 5 | 23,171 | 16.4 | 7 | — | 203 | 16.7 | 2,343 | 19.8 |
| 6 | 21,699 | 16.7 | 9 | 11.1 | 231 | 16.5 | 2,031 | 19.6 |
| 7 | 20,441 | 16.2 | 3 | — | 285 | 10.9 | 1,715 | 19.0 |
| 8 | 18,579 | 14.4 | 8 | — | 290 | 10.0 | 1,559 | 17.6 |
| 9 | 20,671 | 15.5 | 5 | — | 403 | 8.7 | 1,561 | 17.1 |

注 1 「薬物事犯」とは、麻薬及び向精神薬取締法違反、覚せい剤取締法違反及び毒物及び劇物取締法違反である。

2 表 17 の注 2・3 に同じ。

表 33 少年院仮退院者の受理時非行名別再犯率の推移

(昭和 63 年～平成 9 年)

| 年 次 | 保護観察処分少年全体 | | 殺 人 | | 強 盗 | | 薬 物 事 犯 | |
|-----|------------|------|------|------|-------|------|---------|------|
| | 終了人員 | 再犯率 | 終了人員 | 再犯率 | 終了人員 | 再犯率 | 終了人員 | 再犯率 |
| 累 計 | 43,648 | 23.8 | 239 | 12.1 | 1,465 | 20.3 | 5,651 | 16.5 |
| 63年 | 5,456 | 27.7 | 28 | 14.3 | 133 | 23.3 | 720 | 18.6 |
| 元 | 5,203 | 26.7 | 20 | 5.0 | 143 | 18.2 | 652 | 16.7 |
| 2 | 4,534 | 24.7 | 20 | 10.0 | 125 | 18.4 | 503 | 19.5 |
| 3 | 4,374 | 24.9 | 31 | 9.7 | 111 | 18.0 | 486 | 17.7 |
| 4 | 4,384 | 25.0 | 29 | 10.3 | 128 | 22.7 | 575 | 18.1 |
| 5 | 4,370 | 22.0 | 24 | 16.7 | 144 | 22.9 | 624 | 14.7 |
| 6 | 4,276 | 20.5 | 31 | 3.2 | 151 | 24.5 | 596 | 16.4 |
| 7 | 4,027 | 21.5 | 11 | 18.2 | 155 | 18.7 | 517 | 16.6 |
| 8 | 3,484 | 19.7 | 23 | 13.0 | 158 | 19.6 | 490 | 13.7 |
| 9 | 3,540 | 22.4 | 22 | 27.3 | 217 | 17.5 | 488 | 11.9 |

注 表 32 の注に同じ。

(5) 過去 10 年間の累計による受理時非行名等別再犯率

昭和 63 年から平成 9 年までの 10 年間に保護観察を終了した保護観察処分少年のうち「再犯」(注 22)があった者は、3 万 8,250 人であるが、このうち受理時非行名が殺人、強盗及び薬物事犯である保護観察処分少年について、最近 10 年間を累計して、再処分時の非行名別構成比を示したのが、表 34 である。殺人で保護観察処分となり、再犯をした者は 4 人であるが、その再処分時の非行名は、すべて業過(注 23)及び道路交通法違反である。また、受理時非行名が強盗で再犯をした者は 293 人、薬物事犯で再犯をした者は 4,311 人であるが、強盗では、窃盗及び道路交通法違反、薬物事犯では、毒物劇法違反や覚せい剤取締法違反という同種非行、道路交通法違反及び窃盗による再処分が多い。

同様に、昭和 63 年から平成 9 年までの 10 年間に保護観察を終了した少年院仮退院者のうち再犯があった者は、1 万 391 人であるが、このうち受理時再非行名が殺人、強盗及び薬物事犯である少年院仮退院者について、この 10 年間を累計して、再処分時の非行名別構成比を示したのが、表 35 である。受理時非行名が殺人で再犯をした者は 29 人、強盗で再犯をした者は 297 人であるが、これらの者は、窃盗及び傷害により再処分を受けている場合が多い。また、薬物事犯で再犯をした者は 932 人であるが、その再処分時の非行名は、覚せい剤取締法違反、毒劇法違反及び窃盗が多い。

表 34 保護観察処分少年の受理時非行名・再処分時非行名別構成比
(昭和 63 年～平成 9 年の累計)

| 再 処 分 時 の 非 行 の 種 類 | 保護観察 処分全体 | 殺 人 | 強 盗 | 薬物事犯 |
|------------------------|-------------------|--------------|----------------|------------------|
| 計 | 100.0 (38,250) | 100.0 (4) | 100.0 (293) | 100.0 (4,311) |
| 刑 法 犯 | 53.0 | 25.0 | 63.5 | 35.3 |
| 殺 人 | 0.1 | — | 0.7 | 0.0 |
| 強 盗 | 1.2 | — | 3.8 | 0.9 |
| 傷 害 | 9.1 | — | 8.9 | 6.8 |
| 恐 喝 | 4.0 | — | 7.8 | 2.5 |
| 窃 盗 | 28.2 | — | 28.3 | 15.7 |
| 詐 欺 | 0.3 | — | 0.3 | 0.1 |
| 強制わいせつ・強姦 | 1.4 | — | 3.1 | 1.2 |
| 業 過 | 4.7 | 25.0 | 4.1 | 4.6 |
| その他の刑法犯 | 3.9 | — | 6.5 | 3.3 |
| 特 別 法 犯 | 44.3 | 75.0 | 34.5 | 61.6 |
| 覚せい剤取締法 | 4.5 | — | 2.0 | 13.0 |
| 毒 劇 法 | 9.5 | — | 7.5 | 25.7 |
| 道路交通法 | 29.3 | 75.0 | 22.5 | 21.9 |
| その他の特別法犯 | 1.1 | — | 2.4 | 0.9 |
| 虞 犯 | 2.7 | — | 2.0 | 3.2 |

注 1 表 1 の注 2・3 に同じ。

2 表 17 の注 2・3 に同じ。

3 表 32 の注 1 に同じ。

表 35 少年院仮退院者の受理時非行名・再処分時非行名別構成比
(昭和 63 年～平成 9 年の累計)

| 再処分時の非行の種類 | 少年院仮 退院者全体 | 殺 人 | 強 盗 | 薬物事犯 |
|------------|-------------------|---------------|----------------|----------------|
| 計 | 100.0 (10,391) | 100.0 (29) | 100.0 (297) | 100.0 (932) |
| 刑 法 犯 | 69.5 | 75.9 | 78.8 | 37.7 |
| 殺 人 | 0.2 | — | 0.3 | — |
| 強 盗 | 2.6 | 3.4 | 8.1 | 1.0 |
| 傷 害 | 8.7 | 17.2 | 16.2 | 7.3 |
| 恐 喝 | 5.7 | 6.9 | 7.1 | 4.8 |
| 窃 盗 | 42.9 | 41.4 | 37.0 | 17.1 |
| 詐 欺 | 0.7 | — | 0.3 | 0.3 |
| 強制わいせつ・強姦 | 1.6 | — | 2.4 | 0.4 |
| 業 過 | 2.9 | — | 2.7 | 3.4 |
| その他の刑法犯 | 4.3 | 6.9 | 4.7 | 3.3 |
| 特 別 法 犯 | 27.8 | 20.7 | 20.2 | 58.7 |
| 覚せい剤取締法 | 6.6 | 6.9 | 7.4 | 22.4 |
| 毒 劇 法 | 7.3 | — | 3.4 | 24.4 |
| 道路交通法 | 12.8 | 13.8 | 8.8 | 10.7 |
| その他の特別法犯 | 1.0 | — | 0.7 | 1.2 |
| 虞 犯 | 2.7 | 3.4 | 1.0 | 3.6 |

注 表 34 の注に同じ。

続いて、昭和 63 年から平成 9 年までの 10 年間に保護観察を終了した保護観察処分少年から終了時の職業状況が不詳な者を除くと、21 万 9,611 人であるが、このうち受理時非行名が殺人、強盗及び薬物事犯である者について、終了時の職業（再非行等により身柄を拘束されたまま終了した者にあつては、身柄を拘束される直前の職業。以下同じ。）の有無別に再犯率を比較すると、表 36 のようになる。受理時非行名が殺人で終了時に無職であった者は 6 人と極めて少なく、再犯をした者は皆無であるが、その他のカテゴリーについて無職であった者の再犯率を見ると、保護観察処分少年全体では 57.0 %、強盗では 51.6 %、薬物事犯では 55.3 % となっており、いずれも過半数が再犯をしており、また、その大部分は少年院送致という処分を受けている。それに対して、「有職者及びそれに準ずる者」（注 7 参照）の再犯率は、保護観察処分少年全体で 12.1 %、強盗で 8.7 %、薬物事犯で 15.4 % と無職者に比べると極めて低くなっており、しかも、再非行をした者の処分は、いずれのカテゴリーにおいても過半数が保護観察又は罰金であり、少年院送致となっている者の比率は、無職者に比べ低い。

同様に、この 10 年間に保護観察を終了した少年院仮退院者から終了時の職業状況が不詳な者を除いた 4 万 500 人中、受理時非行名が殺人、強盗及び薬物事犯である者について、終了時の職業の有無別に再犯率を比較すると、表 37 のようになる。終了時に無職であった者の再犯率を見ると、少年院仮退院者全体で 53.1 %、殺人で 20.4 %、強盗で 57.1 %、薬物事犯で 34.9 % となっており、また、その大部分が再度少年院送致という処分を受けている。それに対して、「有職及びそれに準ずる者」の再犯率は、少年院仮退院者全体で 14.3 %、殺人で 9.6 %、強盗で 11.7 %、薬物事犯で 10.3 % と、無職者の場合に比べて極めて低い。また、再犯をした者が少年院送致となる比率は、いずれのカテゴリーにおいても無職者の場合より低い。

表 36 保護観察処分少年の受理時非行名別有職者と無職者の再犯率の比較

(昭和 63 年～平成 9 年の累計)

| 再処分の内容 | 保護観察処分少年全体 | | | 殺 人 | | | 強 盗 | | | 薬 物 事 犯 | | |
|-----------|--------------------|--------------------------|-------------------|---------------|--------------------------|--------------|------------------|--------------------------|----------------|-------------------|--------------------------|------------------|
| | 総数 | 有職者 及びそ れに準 ずる者 | 無職者 | 総数 | 有職者 及びそ れに準 ずる者 | 無職者 | 総数 | 有職者 及びそ れに準 ずる者 | 無職者 | 総数 | 有職者 及びそ れに準 ずる者 | 無職者 |
| 計 | 100.0 (219,611) | 100.0 (196,853) | 100.0 (22,758) | 100.0 (71) | 100.0 (65) | 100.0 (6) | 100.0 (2,244) | 100.0 (2,058) | 100.0 (186) | 100.0 (19,835) | 100.0 (17,045) | 100.0 (2,790) |
| 再犯なし | 83.2 | 87.9 | 43.0 | 94.4 | 93.8 | 100.0 | 87.7 | 91.3 | 48.4 | 79.0 | 84.6 | 44.7 |
| 再犯あり | 16.8 | 12.1 | 57.0 | 5.6 | 6.2 | — | 12.3 | 8.7 | 51.6 | 21.0 | 15.4 | 55.3 |
| 実刑・刑の執行猶予 | 1.0 | 0.7 | 3.4 | — | — | — | 0.6 | 0.3 | 3.2 | 2.0 | 1.5 | 5.1 |
| 少年院送致 | 7.6 | 3.5 | 42.8 | — | — | — | 6.6 | 3.4 | 41.4 | 10.1 | 5.0 | 41.1 |
| 保護観察 | 4.9 | 4.5 | 8.9 | 1.4 | 1.5 | — | 3.6 | 3.3 | 6.5 | 4.9 | 4.6 | 7.1 |
| 罰 金 | 3.2 | 3.4 | 1.7 | 4.2 | 4.6 | — | 1.6 | 1.7 | 0.5 | 3.9 | 4.2 | 2.0 |
| その他 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | — | — | — | 0.0 | 0.0 | — | 0.1 | 0.1 | 0.1 |

注 1 「その他」は、拘留、科料及び起訴猶予である。

2 表 9 の注 2・3 に同じ。

3 表 29 の注に同じ。

表 37 少年院仮退院者の受理時非行名別有職者と無職者の再犯率の比較

(昭和 63 年～平成 9 年の累計)

| 再処分の内容 | 少年院仮退院者全体 | | | 殺 人 | | | 強 盗 | | | 薬 物 事 犯 | | |
|-----------|-------------------|--------------------------|-------------------|----------------|--------------------------|---------------|------------------|--------------------------|----------------|------------------|--------------------------|------------------|
| | 総数 | 有職者 及びそ れに準 ずる者 | 無職者 | 総数 | 有職者 及びそ れに準 ずる者 | 無職者 | 総数 | 有職者 及びそ れに準 ずる者 | 無職者 | 総数 | 有職者 及びそ れに準 ずる者 | 無職者 |
| 計 | 100.0 (40,500) | 100.0 (30,231) | 100.0 (10,269) | 100.0 (226) | 100.0 (177) | 100.0 (49) | 100.0 (1,385) | 100.0 (1,126) | 100.0 (259) | 100.0 (5,314) | 100.0 (3,966) | 100.0 (1,348) |
| 再犯なし | 75.9 | 85.7 | 46.9 | 88.1 | 90.4 | 79.6 | 79.8 | 88.3 | 42.9 | 83.4 | 89.7 | 65.1 |
| 再犯あり | 24.1 | 14.3 | 53.1 | 11.9 | 9.6 | 20.4 | 20.2 | 11.7 | 57.1 | 16.6 | 10.3 | 34.9 |
| 実刑・刑の執行猶予 | 0.9 | 0.6 | 1.9 | 0.4 | 0.6 | — | 0.7 | 0.5 | 1.5 | 0.7 | 0.5 | 1.6 |
| 少年院送致 | 15.7 | 5.9 | 44.4 | 8.4 | 5.6 | 18.4 | 13.8 | 5.9 | 48.3 | 9.9 | 3.9 | 27.4 |
| 保護観察 | 5.7 | 5.7 | 5.8 | 1.8 | 1.7 | 2.0 | 4.7 | 4.1 | 7.3 | 4.6 | 4.4 | 5.0 |
| 罰 金 | 1.8 | 2.1 | 0.9 | 1.3 | 1.7 | — | 1.0 | 1.2 | — | 1.3 | 1.5 | 0.8 |
| その他 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | — | — | — | — | — | — | 0.1 | 0.1 | 0.1 |

注 表 36 の注に同じ。

注

- (注 1) 短期保護観察については、法務総合研究所『犯罪白書』(平成 10 年版)、269 頁参照。
- (注 2) 平成 6 年 9 月に導入された短期保護観察においては、大多数の者が解除により保護観察を終了しており、ここでは、保護観察終了事由の構成比の推移を見る際の一貫性を確保するために、この人員を除外した。ちなみに、短期保護観察の終了人員に占める終了事由が解除であった者の比率を見ると、平成 7 年の短期保護観察の終了人員 1,055 人中 980 人の 92.9%，8 年の短期保護観察の終了人員 2,918 人中 2,695 人の 92.4%，9 年の終了人員 3,567 人中 3,237 人の 90.7%となっている。
- (注 3) 特修短期処遇は、従来の交通短期処遇を発展的に解消し、一般短期処遇の対象者よりは非行の傾向が進んでいない一般事件の少年をも対象に含めた処遇に改編したという位置づけを持っている(法務総合研究所『犯罪白書』(平成 4 年版)、226 頁及び同(平成 9 年版)318 頁参照)。
- (注 4) ただし、保護観察の終了事由と保護観察の実施期間との関連を見る場合には、以下のように、保護観察処分少年の保護観察の法定期間及び良好措置を採るための要件となる期間の存在を念頭に置く必要がある。まず、保護観察処分少年の保護観察の法定期間は、保護処分言渡しの日から 20 歳に達するまでであるが、20 歳に達するまでに 2 年に満たない場合は 2 年間とされている。すなわち、保護観察処分少年の場合、2 年未満の期間満了は、存在し得ないのである。良好措置を採るための要件となる期間を見ると、保護観察処分少年の場合、一般事件により保護観察に付された者に対しては原則としておおむね 1 年を経過していること、交通事件により保護観察に付された者に対しては原則としておおむね 6 月を経過していることが、それぞれ解除の要件となっており、また、短期保護観察に付された者は、再非行や遵守事項違反等の問題がなければ、原則として 6 月以上 7 月以内に解除することとされている。一方、少年院仮退院者の場合には、保護観察に付されてから原則としておおむね 6 月を経過していることが退院の

要件とされている。ただし、短期処遇を実施する少年院から仮退院した者の退院については、この要件に該当する必要はない。

- (注5) 保護観察事件を受理したときに調査した各種資料に基づき、受理したときまでに交渉があったか又は受理したときの状況からそのおそれが認められ、処遇上問題とすべき不良集団関係がある場合に、「受理時不良集団関係」があるものとして扱っている。なお、二つ以上の不良集団と交渉が認められる場合には、最も交渉の程度が深い不良集団一つと関係があるものとみなし、数値を計上している。
- (注6) 保護観察事件を受理したときに調査した各種資料に基づき、受理したときまでに使用していたか又は受理したときの状況からそのおそれが認められ、処遇上問題とすべき薬物使用関係がある場合には、「受理時薬物使用関係」があるものとして扱っている。なお、二つ以上の薬物等を使用していたときは、最も使用の程度の深い薬物等一つを使用していたものとみなし、数値を計上している。
- (注7) 身柄を拘束されたまま保護観察が終了した者については、身柄を拘束される直前の職業状況を計上している。なお、本稿では、定収入のある無職者、学生・生徒（学校教育法に基づく学校又はそれ以外の学校に在学中の者をいう。）及び家事従事者を有職者に準ずる者として扱っているので、この点に御留意いただきたい。
- (注8) 良好停止については、法務総合研究所『犯罪白書』（平成10年版）、270頁参照。
- (注9) 第2、2(1)と同様に、表11においては、平成6年に導入された短期保護観察を除いた人員を計上し、また、表12においては、平成3年に導入された特修短期処遇を含んだ人員を計上している。ちなみに、短期保護観察の終了時の成績の推移は、次のとおりである。平成7年においては、良好92.9%、普通0%、不良6.9%、その他0.2%、同8年においては、良好92.4%、普通0%、不良7.4%、その他0.2%、同9年においては、良好90.8%、普通0.2%、不良8.8%、その他0.2%となっている。
- (注10) ただし、保護観察終了時の成績と保護観察の実施期間との関連を見る場合には、上記注4に記載したとおり、保護観察処分少年の保護観察の法定期間及び良好措置を採るための要件となる期間の存在を念頭に置く必要がある。
- (注11) 「受理時不良集団関係」の意味については上記注5を参照。
- (注12) 「受理時薬物使用関係」の意味については上記注6を参照。
- (注13) 「終了時の職業状況」については、上記注7を参照。
- (注14) 第2、2(1)及び3(1)と同様に、表19においては平成6年に導入された短期保護観察を除いた人員を計上し、また、表20においては、平成3年に導入された特修短期処遇を含んだ人員を計上している。ちなみに、短期保護観察の再犯率の推移は、次のとおりである。平成7年においては7.3%（77人）、8年においては8.4%（244人）、9年においては10.1%（360人）となっている。
- (注15) 再犯率と保護観察実施期間との関連を見る場合には、上記注4に記載したとおり、保護観察処分少年の保護観察の法定期間及び良好措置を採るための要件となる期間の存在を念頭に置く必要がある。保護観察実施期間が6月以内であった場合の再犯率が最も高くなっているが、このことには注4で指摘した枠組みが影響を与えているものと思われる。
- (注16) 「受理時不良集団関係」の意味については上記注5を参照。
- (注17) 「受理時薬物使用関係」の意味については上記注6を参照。

- (注 18) 「終了時の職業状況」については、上記注 7 を参照。
- (注 19) 以下、再犯率の推移を見る場合には、不良集団関係が不詳な者、薬物関係が不詳な者、職業の有無が不詳な者を除いているので、その点に留意されたい。
- (注 20) これまでと同様、保護観察終了時に無職者となっている者のことを意味している。ただし、再犯等により身柄を拘束されたまま終了した者にあつては、身柄を拘束される直前に無職者となっている者を意味する。
- (注 21) ここでいう「薬物事犯」とは、麻薬及び向精神薬取締法違反、覚せい剤取締法違反及び毒物及び劇物取締法違反である。
- (注 22) 本稿でいう「再犯」の定義については、第 2, 4 (1) を参照されたい。
- (注 23) ここでいう「業過」とは、業務上過失致死傷及び重過失致死傷である。

第 3 まとめ

以上の分析から得られた結果のうち、注目すべき点をまとめると次のとおりである。

- (1) 最近 10 年間の保護観察終了事由の推移を見ると、保護観察処分少年では解除の比率は上昇傾向にあるが、少年院仮退院者では退院の比率に大きな変化は認められない。また、いずれにおいても、保護処分取消しの比率は、おおむね低下する傾向を示している。
- (2) 保護観察終了事由と受理時不良集団関係との関連を見ると、保護観察処分少年に関しては、不良集団関係の有無と解除の比率の高低に関連性が見いだされ、不良集団関係がある者の方が概して解除の比率は低くなっているが、不良集団関係が「暴走族」である場合はその例外であり、「暴走族」の解除の比率は、不良集団関係のない者よりも若干高くなっている。一方、少年院仮退院者に関して退院の比率を見ると、必ずしも不良集団関係がある場合でも低くはなく、「暴走族」や「不良生徒学生集団」ではかえって高率を示している。ただし、不良集団関係が「不良生徒学生集団」の場合には、同時に、保護処分取消しの比率も高くなっている。
- (3) 最近 10 年間における保護観察終了時の成績の推移を見ると、保護観察処分少年及び少年院仮退院者のいずれについても、成績良好者の割合は上昇傾向にある。
- (4) 保護観察終了時の成績と受理時不良集団関係との関連を見ると、上記(2)と同様の傾向が指摘できる。すなわち、保護観察処分少年に関しては、概して不良集団関係のある者の方が成績良好者の比率が低くなっているが、不良集団関係が「暴走族」である場合はその例外であり、成績良好者の比率は、不良集団関係のない場合よりも若干高くなっている。また、少年院仮退院者に関しては、必ずしも受理時の不良集団関係の有無と終了時の保護観察の成績とに関連性が見いだせず、「暴走族」及び「不良生徒学生集団」等の場合には、むしろ、不良集団がない場合に比較して成績良好者の比率は高くなっている。ただし、「不良生徒学生集団」の場合は、同時に、成績不良者の比率も高くなっている。
- (5) 最近 10 年間の再犯率と再処分の内容の推移を見ると、保護観察処分少年及び少年院仮退院者のいずれも、平成 8 年まではおおむね低下傾向にあったが、9 年では上昇している。ただし、この 9 年における上昇傾向が続くか否かについては、今後の推移を見なければ明確なことは言えない。また、再処分の内容を見ると、どの年次においても少年院送致の比率が最も高く、保護観察がそれに続いている。一方、再犯により実刑又は懲役・禁錮の執行猶予に処される者の比率は、一貫して低い。
- (6) 保護観察中の再犯状況と受理時不良集団関係との関連を見ると、保護観察処分少年では、不良集

団関係がある者の方がいない者よりも再犯率が高い。ただし、「暴走族」の再犯率は、不良集団関係がない者のそれと大きな違いはない。一方、少年院仮退院者については、再犯率と受理時不良集団関係との関連性は見いだせず、不良集団関係が「地域不良集団」や「不良生徒学生集団」である場合の再犯率は、不良集団関係がない場合に比較して高く、「暴力団」及び「暴走族」である場合の再犯率は、低くなっている。上記(2)及び(4)の結果と考え合わせると、「暴走族」の成り行きは、不良集団関係がない場合と比較しても必ずしも悪くはないということが言えるものと思われる。

- (7) 保護観察中の再犯状況と受理時薬物等使用関係との関連を見ると、保護観察処分少年及び少年院仮退院者のいずれの場合も、シンナー・ボンド・トルエン等の有機溶剤乱用者の再犯率が高い。
- (8) 少年院仮退院者の再犯率は、全体的に見た場合、保護観察処分少年に比べ高いということが言えるが、不良集団関係が「暴力団」である場合や薬物使用関係が「覚せい剤」である場合の再犯率に関しては、少年院仮退院者の方が低くなっている。
- (9) 事件受理時の罪名・非行名別に再犯率を見ると、保護観察処分少年及び少年院仮退院者のいずれにおいても、窃盗、毒劇法違反、虞犯、恐喝などにおいて再犯率が高くなっている。
- (10) 殺人・強盗の凶悪犯及び薬物事犯について、最近10年間の再犯率の推移を見ると、殺人は終了人員が少ないこともあって再犯率に変動が多く、明確な傾向を把握できないが、強盗及び薬物事犯に関しては、保護観察処分少年、少年院仮退院者のいずれの場合も、再犯率は低下傾向にある。
- (11) 受理時非行名が凶悪犯及び薬物事犯である保護観察処分少年について、最近10年間を累計して、再処分時の非行名を見ると、殺人で保護観察処分になった者の再処分時の非行名は、すべて業過及び道路交通法違反である。また、強盗では窃盗及び道路交通法違反、薬物事犯では毒劇法違反や覚せい剤取締法違反という同種非行等による再処分が多い。
- (12) 同様に、受理時非行名が凶悪犯及び薬物事犯である少年院仮退院者について、最近10年間を累計して、再処分時の非行名を見ると、殺人及び強盗で少年院送致になった者は、窃盗等により再処分を受けている場合が多い。また、薬物事犯では、毒劇法違反や覚せい剤取締法違反という同種非行等による再処分を受けている場合が多い。
- (13) 受理時非行名が凶悪犯及び薬物事犯である保護観察処分少年について、最近10年間を累計して、保護観察の終了時の職業（再非行等により身柄を拘束されたまま終了したものにあっては、身柄を拘束される直前の職業）の有無別に再犯率を比較すると、受理時非行名が殺人である場合を除き、保護観察処分少年全体、強盗、薬物事犯のいずれの場合においても、終了時に無職の者は、その過半数が再犯をしており、「有職者及びそれに準ずる者」（第2の（注7）参照）に比べ、はるかに再犯率が高かった。また、それらのいずれにおいても、終了時に無職で再犯をした者の大部分は、少年院送致という再処分を受けているのに対し、「有職者及びそれに準ずる者」の場合には、保護観察や罰金などの再処分を受ける比率が高くなっている。

なお、受理時非行名が殺人で終了時に無職であった者は、過去10年間に6人と少なく、そのうち再犯をした者は皆無であった。

- (14) 同様に、受理時非行名が凶悪犯及び薬物事犯である少年院仮退院者について、最近10年間を累計して、保護観察終了時の職業の有無別に再犯率を比較すると、少年院仮退院者全体、殺人、強盗、薬物事犯のいずれにおいても、終了時に無職の者の再犯率は、「有職者及びそれに準ずる者」に比べてはるかに高かった。また、いずれにおいても、再処分を受けた者全体に占める再処分が少年院送致であった者の比率は、無職者の場合が高く、「有職者及びそれに準ずる者」の場合には、保

護観察や罰金などの再処分を受ける比率がより高くなっている。

ところで、本稿では成り行きを見る指標として、保護統計データから集計可能な「終了事由」、「終了時の成績」、「再犯状況」の三つを取り上げたが、それぞれに指標としての限界がある。すなわち、「終了事由」は、解除であれ、保護処分取消しであれ、保護観察所が主導的に行う措置であるため、行政的なファクターが影響することは十分に予見されるところである。「終了時の成績」もまた、保護観察所の判断によって行われるものであり、同様のことが言える。さらに、「終了事由」や「終了時の成績」に比べれば客観的な指標と考えられる「再犯状況」にも、次のようないくつかの限界を指摘することができる。まず、「再犯」として計上されるのは、保護観察期間中に再処分が決まったものに限られており、再非行があっても期間中に処分が決まらなかったものは含まれていないということである。このことは、再犯による処分が不処分又は審判不開始であったものが再犯として計上されていないということとあいまって、再犯の件数や再犯率の正確な把握を困難にしている。また、保護観察対象者が複数回の再処分を受けた場合であっても、そのうちの一つしか計上されていないことも、再犯状況を正確に把握する上での限界として指摘できよう。

このような成り行きを判断する指標のほかに、本稿で使用した保護観察対象者の生活状況を把握するための情報にも一定の限界が伴っている。すなわち、「不良集団関係」と「薬物使用関係」は、保護観察事件受理時における情報であり、また、「職業状況」は、保護観察終了時における情報であり、保護観察期間を通して、これらの状況がどうであったかは把握できないのである。したがって、例えば、保護観察期間のある時点で再犯があったとしても、その再犯がこれらの情報と直接に結びつけて考え得るものかどうかということは必ずしも明らかではない。

もとより、保護統計データに盛り込む情報を豊富なものにすることによって、以上のような現在の保護統計データから得られる情報の限界をある程度克服できることは確かであるが、それによっても克服できない限界が残ることは否定し難い。保護統計データの限界を補い、保護処分の運用実態を正確に明らかにするためには、保護統計データそのものをより充実したものにしていだけでなく、同時に、家庭裁判所等関係機関の協力を得て、保護処分終了後一定期間の追跡調査を含めた成り行き調査を行うことも必要であると言えよう。そして、近年、処遇効果を明らかにする必要性が指摘されていることを考えると、このような成り行き調査を実施する必要性は、ますます高まっていると思われるのである。

法務総合研究所研究部報告 3

平成 11 年 3 月 印 刷

平成 11 年 3 月 発 行

東京都千代田区霞が関 1-1-1

編集兼 法 務 総 合 研 究 所
発行人

印刷所 ヨシダ印刷両国工場
